CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection

eBook

B24n0141

# 嵩山少林寺輯志

輯自傅梅撰《嵩書》

財團法人 佛教電子佛典基金會

# 目次


- 編輯說明
- 章節目次
  - 自序
  - 卜營篇
    - 大法王寺
    - 嵩嶽寺
    - 會善寺
    - 少林寺
    - 峻極寺
    - 永泰寺
    - 盧巖寺
    - 下盧巖寺
    - 龍潭寺
    - 碑樓寺
    - 在孫寺
    - 龍華寺
    - 馬鳴寺
    - 西勝寺
    - 清凉寺
    - 華嚴寺
    - 寶林寺
    - 三峰寺
    - 玉泉寺
    - 淨明寺
    - 大嶽寺
    - 黃峪寺
    - 水峪寺
    - 石門寺
    - 竹園寺
    - 龍泉寺
    - 寶勝寺
    - 弘化寺
    - 普照寺
    - 崇法寺

- 溫姑寺
- 菩提寺
- 清水寺
- 白雲寺
- 宣陽寺
- 崇福寺
- 普明寺
- 道塲寺
- 石窟靈巖寺
- 天中寺
- 封禪寺
- 戒壇院
- 峻極中院
- 峻極下院
- 寶林院
- 龍潭院
- 淨明院
- 護國院
- 法華院
- 舍利院
- 功德院
- 御容院
- 面壁菴
- 二祖菴
- 寶珠菴
- 白雪菴
- 朝陽菴
- 吏隱菴
- 張相公菴
- 郎官菴
- 長春菴
- 谷神菴
- 控鶴菴

◦ 竺業篇
- 南北朝
  - 跋陀
  - 達磨
  - 慧光

        - 慧可
        - 僧稠
        - 善惠
    - 隋
        - 洪遵
        - 大志
        - 慧蕭
    - 唐
        - 慧安
        - 元珪
        - 破竈墮
        - 丁居士
        - 一行
        - 從諗
        - 崇珪
        - 恒政
        - 華嚴
        - 藏奐
        - 惟寬
        - 允文
        - 彥暉
    - 五代
        - 貞峻
    - 宋
        - 報恩
        - 慧昭
    - 金
        - 教亨
    - 元
        - 福裕
        - 緊那羅
    - 大明
        - 徹空
        - 文載
        - 遍罔
- 韻始篇一
    - 周
        - 嵩高八章

        - 烝民 八章
    - 漢
        - 邛疏
        - 王子喬
    - 魏
        - 詠懷
    - 宋
        - 王子晉
    - 梁
        - 王太子
        - 效阮公詩
    - 北朝
        - 道士步虛詞
        - 緱山引
- 韻始篇二
    - 唐
        - 五言古詩
            - 歸山
            - 嵩嶽聞笙
            - 田家
            - 鳳笙曲
            - 感遇
            - 寄宋之問
            - 答田遊巖
            - 奉使嵩山途經緱嶺
            - 賦得雨從箕山來
            - 使至嵩山尋杜四不遇慨然復傷田洗馬韓觀主因以題壁贈杜侯杜四
            - 初至崖口五渡
            - 入崖口五渡寄李適徐彥伯
            - 答宋十一入崖口五渡見贈
            - 答宋十一入崖口五渡見贈
            - 題元丹丘潁陽山居
            - 題元丹丘山居
            - 潁陽別元丹丘
            - 聞丹丘子於城北營石門幽居中有高鳳遺跡僕離群遠懷亦有棲遁之志因序舊以寄之
            - 尋高鳳石門山中元丹丘

- 訓岑勛見尋就元丹丘對酒相待以詩見招
- 題嵩山逸人元丹丘山居
- 贈盧徵君昆弟
- 嵩山采菖蒲者
- 魯城北郭曲腰桑下送張子還嵩陽
- 送于十八應四子舉落第還嵩山
- 送裴十八圖南歸嵩山
- 送楊山人歸嵩山
- 贈嵩山焦鍊師
- 寄焦鍊師
- 潁陽東谿懷古
- 早發交崖山還太室
- 留別溫古上人兄并示舍弟縉
- 戲贈張五弟諲
- 至閒居精舍呈正上人
- 嵩陽觀
- 緱氏尉沈興宋置酒南溪留贈
- 過緱山王處士黑石谷隱居
- 緱山西峰草堂
- 自潘陵尖還少室秋夕憑眺
- 宿五渡谿仙人得道處
- 詠史
- 季冬自嵩山赴洛道中作
- 寄劉方平
- 經少林精舍寄都邑諸親友
- 經李蒙潁陽舊居
- 奉送韋起居老舅百日假滿歸嵩陽舊居
- 石淙
- 哀孟雲卿嵩陽荒居
- 訪嵩陽道士不遇
- 夢上嵩山時足病未平
- 送李垣先輩歸嵩少舊居
- 寄友人
- [緑-大+天]山廟
- 府尹王侍郎准制拜岳因狀嵩高靈勝寄呈三十韻
- 七言古詩
  - 送考功武員外仲春赴嵩山置舍利塔
  - 王子喬

- 下山歌
- 和宋之問下山歌
- 和宋之問下山歌
- 元丹丘歌
- 嵩山十志十首
  - 草堂
  - 倒景臺
  - 樾館
  - 枕煙庭
  - 雲錦淙
  - 期仙磴
  - 滌煩磯
  - 羃翠庭
  - 洞元室
  - 金碧潭
- 少室雪晴送王寧
- 送王道士還山
- 送楊山人歸嵩陽
- 送餞從叔祖舜豐州幕歸嵩陽舊居
- 送張山人歸嵩陽

- 雜體
  - 送考功武員外學士使嵩山置舍利塔
  - 嵩山天門歌

- 五言律詩
  - 登石門
  - 同太平公主遊九龍潭
  - 嶽館
  - 幸少林寺應制
  - 扈從嵩山途中作
  - 幸少林寺應制
  - 登嵩山嶺應制
  - 幸嶽寺應制
  - 扈從登封告成頌
  - 緱山廟
  - 寄嵩陽隱者
  - 永泰公主挽歌
  - 陪張丞相登嵩陽樓
  - 汝墳寄盧徵君

- 遊精思題觀主山房
- 遊精思觀迴王白雲在後
- 口號贈盧徵君鴻
- 中峰居喜見苗發
- 謁啟母祠
- 緱山廟
- 送盧逸人
- 歸嵩山作
- 過方尊師院
- 謁焦鍊師
- 登少室山寺
- 滻水東店送唐子歸嵩陽
- 尋少室張山人聞與偃師周明府入都
- 送靈澈上人歸嵩陽蘭若
- 遊少林寺
- 宿靈巖寺
- 送李城門罷官歸嵩陽
- 送盧處士歸嵩山別業
- 看嵩洛有嘆
- 早春題少室東巖
- 夜從法王寺下歸嶽寺
- 宿石窟寺
- 贈中嶽僧
- 送韓處士歸少室山
- 寄中嶽顒頊先生
- 題嵩陽隱者
- 題嵩高隱者居
- 潁陽縣
- 宿山寺
- 贈王道士
- 送贊律師歸嵩山

- 七言律詩
  - 遊石淙詩
  - 侍遊應制
    - 皇太子顯
    - 太子左奉裕率兼檢校安北大都護相王旦
    - 太子賓客上柱國梁王三思
    - 內史狄仁傑

        - 奉宸令張易之
        - 麟臺監中山縣開國男張□□
        - 鸞臺侍郎李嶠
        - 鳳閣侍郎蘇味道
        - 夏官侍郎姚元崇
        - 給事中閻朝隱
        - 鳳閣舍人崔融
        - 奉宸大夫汾陰縣開國男薛曜
        - 守給事中徐彥伯
        - 右玉鈐衛郎將左奉宸內供奉楊敬述
        - 司封員外于季子
        - 通事舍人沈佺期
    - 侍遊石淙應制
    - 過乘如師蕭居士嵩丘蘭若
    - 送方尊師歸嵩山
    - 送常十九歸嵩山故林
    - 題嵩陽焦道士石壁
    - 謁許由廟
    - 酬暢當嵩山尋麻道士見寄
    - 送澹公歸嵩山龍潭寺
    - 嵩陽觀夜奏霓裳
    - 與諸道者同遊二室至九龍潭作
    - 從龍潭寺至少林題贈同遊者
    - 欲遊嵩嶽留別李少尹益
    - 同徐處士秋懷少室舊居
    - 送蕭處士歸緱山別業
    - 題潁源廟
    - 看賀自真飛昇
    - 和趙嘏題嶽寺
    - 寄嵩陽道人
    - 遊上方石窟寺
    - 贈顓頊山人
    - 龍泉寺絕頂
    - 龍潭張道者
- 五言排律
    - 和劉侍郎入隆唐觀
    - 從駕幸少林寺覩先妃營建之所倍切煢衿逾悽遠慕聊題即事用述悲懷

- 扈從登封告成頌應制
- 秋日於天中寺尋復禮上人
- 和武三思於天中寺尋復禮上人之作
- 登封禮畢洛城酺宴
- 送綦叔遊潁川兼謁淮陽太守
- 題石窟寺
- 寄張十二山人彪
- 和鄭少府祭中嶽寺因訪蕭居士之作
- 酬暢當尋嵩嶽麻道士見寄
- 和太常王卿秋日即事
- 題緱山王子晉廟
- 贈蕭鍊師
- 緱山月夜聞王子晉吹笙
- 前題
- 前題
- 嵩山望幸
- 五言絕句
  - 嵩山夜還
  - 荅田徵君
  - 題田洗馬遊巖桔槔
  - 寄王長史
  - 贈柳喜自號嵩山老
- 七言絕句
  - 嵩山尋馮鍊師不遇
  - 少室韋鍊師昇仙歌
  - 嶨嶺四望
  - 寄李渤
  - 山中五絕
    - 嶺上雲
    - 石上苔
    - 林下樗
    - 澗中魚
    - 洞中蝙蝠
  - 王子晉廟
  - 送嵩客
  - 送友人遊嵩山
  - 嵩陽客舍月夜憶清上人
  - 緱山廟

        - 前題
        - 箕山
        - 題中峰
- 韻始篇三
    - 宋
        - 五言古詩
            - 河陽秋夕夢與永叔遊嵩避雨于峻極院賦詩及覺猶能憶記俄而僕夫自洛來云永叔諸君陪希深祠岳因足成短韻
            - 希深惠書言與師魯永叔子聰幾道遊嵩因誦而韻之
            - 天封觀
            - 啟母石
            - 少姨廟
            - 轘轅道
            - 公路澗
            - 拜馬澗
            - 二室道
            - 自峻極中院步登太室中峰
            - 玉女窻
            - 玉女搗衣石
            - 天門
            - 天門泉
            - 天池
            - 三醉石
            - 登太室中峰
            - 峻極寺
            - 公路澗
            - 拜馬澗
            - 二室道
            - 自峻極中院步登太室中峰
            - 玉女窻
            - 玉女搗衣石
            - 天門
            - 天門泉
            - 天池
            - 三醉石
            - 登太室中峰
            - 峻極寺
            - 公路澗

    - 拜馬澗
    - 二室道
    - 自峻極中院步登太室中峰
    - 玉女窻
    - 玉女搗衣石
    - 天門
    - 天門泉
    - 天池
    - 三醉石
    - 登太室中峰
    - 峻極寺
    - 箕山
    - 潁大夫廟
    - 登封縣宇觀少室
- 七言古詩
    - 贈許道人
    - 送龍茶與許道人
    - 戲石堂山隱者
- 五言律詩
    - 石淙
    - 寄嵩嶽吉上人
    - 天后三陽故宮石淙懷古
    - 緱氏縣二首
    - 過少林輒書四韻兼貽慶長老
- 七言律詩
    - 呈大德禪師
    - 宿少林寺
    - 登嵩頂
    - 和登封裴寺丞翰見寄
    - 依韻謝登封劉李裴三君見約遊山
- 五言絕句
    - 閒適吟
- 七言絕句
    - 遊嵩山
    - 山中寄登封令
    - 和人留題張相公菴
    - 和任司封見寄
    - 嵩山二十四詠

        - 青童峰
        - 黃蓋峰
        - 浮丘峰
        - 三鶴峰
        - 遇聖峰
        - 萬歲峰
        - 玉鏡峰
        - 獅子峰
        - 虎頭峰
        - 起雲峰
        - 鳳凰峰
        - 金壺峰
        - 華蓋峰
        - 玄龜峰
        - 臥龍峰
        - 會仙峰
        - 子晉峰
        - 玉柱峰
        - 老翁峰
        - 玉人峰
        - 玉女峰
        - 獨秀峰
        - 積翠峰
        - 太白峰
    - 潁考叔
- 金
    - 四言古詩
        - 李道人嵩陽歸隱圖
    - 五言古詩
        - 宿少林寺
        - 會善寺恆松
        - 雨後看竝玉所控諸峰
        - 玉華山同元好問裕之
        - 九日登少室絕頂同裕之
        - 會善寺恆松
        - 箕山
        - 同雷淵希顏再登箕山
        - 少林

- 純孝伯廟
- 緱山置酒
- 七言古詩
  - 題元裕之家山圖
  - 愛詩李道人若愚嵩陽歸隱圖
  - 嵩山恆松謠
  - 送郝講師住崇福宮
  - 雪中自洛陽還嵩山
  - 嵩山玉鏡
- 五言律詩
  - 留題崇福宮
  - 太室同希顏賦
  - 少室南原
  - 少林雨中
  - 送母受益自潞府歸嵩山
  - 贈汴禪師
- 七言律詩
  - 遊少林寺
  - 追述嵩少之遊
  - 會善寺
  - 望崧少二首
  - 懷州子城晚望少室
  - 嵩山承天谷
  - 送裕之還嵩山
  - 次韻呈戒壇惠公堂頭
  - 復繼仲寧堂頭韻
- 七言絕句
  - 望少室
  - 少室道中
  - 少林寺呈堂頭和尚
  - 登嵩山絕頂抵宿盧巖
  - 石淙
  - 過嵩山
  - 玉華谷同希顏裕之
  - 酬子京禪師見贈之什二首

- 元
  - 五言古詩
    - 中嶽投龍簡

- 七言古詩
  - 題王子晉
  - 緱山謠
- 七言律詩
  - 遊法王寺呈學公長老
  - 奉祀嵩嶽夜宿少林寺
  - 面壁石影像
  - 遊嵩嶽二首
  - 中嶽投龍簡
  - 嵩山
  - 宿少林
  - 代祀嵩嶽夜宿少林
  - 遊少林寺
  - 題王子晉
  - 送月上人謁少林隆老
- 五言排律
  - 嵩高山三十韻
  - 題故盧諫議書堂
- 五言絕句
  - 轘轅坂
  - 太室
  - 少室
  - 啟母廟
  - 少姨廟
  - 盧巖
  - 龍潭
  - 五渡水
  - 測景臺
  - 箕山
  - 潁水
  - 巢父塚
- 七言絕句
  - 遊法王寺偶觀殿壁馮內翰叔獻雷御史希顏張伯英伯玉昆仲及諸名勝留題和韻輒不自揆勉賡前押
  - 少林寺
  - 宿少林

◦ 韻始篇四

- 大明（洪武至隆慶年詩）

- 五言古詩
  - 詠隱逸二首
    - 武攸緒
    - 盧鴻
  - 別盧巖
  - 黑石渡
  - 登嶐嶺望少室山
  - 過望嵩
  - 渡伊洛望嶽
  - 嵩陽宮觀漢栢
  - 崇福宮禱雨
  - 辛亥端午日遊少林寺示檜菴班上人
  - 登嵩山
  - 天中閣醉後俚語呈鄭明府
- 七言古詩
  - 咏王子喬
  - 遊少林寺
  - 少林行
  - 嵩陽宮三栢歌
  - 三將軍古栢歌
  - 登嵩山
  - 遊少林吟
  - 嵩山高
  - 解五嶽圖贈少林寺僧洪川廣令歌
  - 嵩丘歌送蔣子雲
- 五言律詩
  - 少林寺
  - 周公臺
  - 漢栢
  - 盧巖寺
  - 望日遊少林寺
  - 過少林寺再吟
  - 過少林二首
  - 會善寺
  - 戒壇
  - 奉陪巖翁相公遊少林寺二首
  - 和黃勉之懷嵩嶽詩
  - 宿少林寺

- 登五乳峰二首
- 過登封同吳靜齋遊少林二首
- 宿少林
- 盧巖飛瀑亭
- 達磨面壁洞
- 會善寺
- 崇福宮流觴亭
- 謁中嶽
- 崇福宮
- 恭祀中嶽
- 聞劉泗泉袁裕春二丈遊少林未能躬陪杖履寄此
- 宿少林寺同翠巖少參西谷僉憲
- 少林寺夜懷
- 中嶽廟
- 登封早行
- 經行二室望少林未達有作
- 宿少林寺二首
- 宿少林寺二首
- 雨過會善寺觀茶榜石刻
- 九日重遊少林寺
- 鞏洛道中望嵩二首

- 七言律詩
  - 法王寺
  - 過戒壇
  - 箕陰避暑
  - 題面壁菴
  - 過少林寺
  - 少林寺
  - 遊少林寺
  - 遊少林寺
  - 登嵩陽宮遺址併望崇福觀
  - 望少林
  - 少林寺
  - 宿少林
  - 春日遊盧巖寺
  - 盧巖寺
  - 遊嵩山用薛考功君采韻
  - 奉陪巖翁相公遊嵩山

    - 登五乳峰
    - 盧巖觀瀑
    - 過盧巖觀瀑布
    - 秋日遊少林
    - 周公測景臺
    - 晚至盧巖
    - 盧巖觀瀑布柬登封令
    - 宿少林寺
    - 登嵩嶽携程兒
    - 登封尹侯安甫陪謁中嶽
    - 望少林
    - 嵩山
    - 嵩嶽
    - 遊少林寺
    - 遊盧巖寺
    - 少林寺次華原韻
    - 遊少林
    - 石道喜雨
    - 磎磴坡
    - 登嵩山絕頂
    - 宿少林寺
    - 首歲寓登封
    - 登天中閣
    - 登嵩嶽
- 五言排律
    - 宿少林寺寄余何二分教兼呈松庭長老
    - 遊嵩少
    - 中嶽
    - 遊嵩山少林寺
    - 嵩陽宮栢
    - 遊少林寺
- 五言絕句
    - 過崇福宮
    - 遊嵩少二首
    - 盧巖飛瀑
    - 早發嶕嶺
    - 再過嶕嶺
- 七言絕句

        - 少林寺僧話二首
        - 釣魚臺
        - 盧巖飛瀑
        - 少林雜詠
        - 少林寺
        - 日晚憩少林二首
        - 同登封令汪君循嵩麓至盧巖二首
        - 遊少林用趙內翰韻四首
- 韻始篇五
    - 大明(　萬曆年詩上)
        - 五言古詩
            - 孫熙宇令登封三年嵩高諸峰尚未識焉戲為此嘲
            - 由二祖菴登鍊魔臺眺望
            - 少林寺
            - 甘露臺
            - 法王寺
            - 遊嵩山四首
            - 山中贈丁元父給諫
            - 登少室絕頂
            - 登箕山
            - 城潁
            - 潁陽道中贈登封燕明府
            - 將游嵩少發偃師曉行田間
            - 同傅元鼎遊中嶽
            - 同元鼎遊盧巖寺
            - 箕山
            - 贈別傅元鼎三首
            - 登太室
            - 元鼎令君招同王義華戚不磷遊盧巖二首
            - 夏日同元鼎遊石淙過告成劉先輩叔姪見邀飲觀星臺
            - 望嵩嶽寄傅元鼎明府
            - 登嵩嶽四首
            - 登嵩山
            - 中峯
            - 中天池
            - 逍遙峪
            - 天門泉
            - 石樓洞

    - 少陽河
    - 石柱川
    - 雲母井
    - 織錦臺
    - 待仙峽
    - 搗帛石
    - 拜馬澗
    - 東龍門
    - 三臺山
    - 黃城
    - 遊石羊關外諸山遂窮玉谿之勝入夜遡潁而歸走筆有述
- 七言古詩
    - 送人遊嵩山
    - 潁陽三月雨雪歌贈丁元父
    - 次新鄭寄懷登封令傅元鼎
    - 登封仙令歌
    - 嵩陽宮作歌
    - 登少室同傅元鼎戚不磷
    - 移石幢
    - 嵩高行
    - 萬歲峰嵩呼行
    - 嵩陽宮三柏歌
    - 少室行
    - 白鶴觀古松引
- 五言律詩
    - 同滕北海管建初二山人暨幻休上人遊二祖菴遇雨
    - 遊達磨面壁洞
    - 謁初祖
    - 面壁洞
    - 游少林寺
    - 少林寺夜坐待月
    - 贈無言禪師住持少林二首
    - 贈少林無言法師二首
    - 謁嵩嶽廟
    - 天中閣
    - 使大梁因遊少林寺
    - 三栢
    - 甘露臺

- 寄傅元鼎明府于嵩山
- 少林晚坐
- 面壁洞同丁元父給諫
- 題無言上人溪南精舍二首
- 偕朱非二入少林至初祖洞
- 話無言上人方丈
- 雨後登嵩山
- 雪中同劉用貞孝廉訪無言禪師
- 寄懷戚不磷于登封時客傅元鼎明府
- 春分日送戚不磷重遊嵩少兼柬傅元鼎
- 龍潭
- 紫雲洞
- 嵩嶽詩二首
- 遊盧巖寺觀瀑布水率爾有作
- 少林寺二首
- 少林寺四首
- 過鶯鳴澗懷高計部孩之
- 漁樂坡
- 存古堂
- 醉雨亭
- 渡潁水有感
- 盧巖寺看瀑布
- 客有獨登太室者問之
- 秋雨初霽率爾登山有作

- 七言律詩
  - 登中嶽
  - 嵩陽宮
  - 天中閣
  - 少林寺
  - 少林寺
  - 登嵩山禱祠夜宿少林值雪志喜
  - 遊中嶽
  - 遊少林寺
  - 登太室
  - 登少室
  - 題少林寺
  - 遊嵩少酌盧巖同燕明府
  - 二祖菴在鉢盂峰同秦京作

- 嵩陽院觀漢封三栢
- 遊少林值雨
- 謁中嶽
- 遊少林寺贈無言上人
- 題達磨面壁
- 望少林
- 登太室絕頂
- 觀盧巖寺瀑布二首同朱非二傅元鼎
- 贈登封令傅元鼎
- 嵩陽宮古栢封于漢非漢物也傅元鼎以為三代時物信然
- 宿少林寺
- 謁中嶽廟
- 會善寺示傅元鼎年丈(時修嵩書)
- 太室
- 少室
- 少林寺
- 石淙
- 少林寺夜坐
- 遊少林寺
- 同傅元鼎明府謁中嶽飲黃中樓得門字
- 中嶽別傅元鼎二首
- 遊少林寺宿無言上人精舍同戚不磷四首
- 嵩山雜詠四首
- 令君傅元鼎邀遊上盧巖嵐寒逼人令小史酒余醉且二三寒氣若失喜而有作蓋余不食酒數年矣
- 寄贈元鼎世丈于嵩陽
- 寄贈傅元鼎明府
- 寄答元鼎世兄
- 夏日元鼎招飲天咫樓
- 訪登封傅元鼎明府
- 寓登封贈傅元鼎明府
- 石淙
- 登嵩山
- 登測景臺
- 偕傅元鼎遊石淙望潭而飲尚欲添一斗牛槎也遂成一律
- 登嵩山二首
- 抵登封柬傅元鼎明府時元鼎先遣吏候予于轘轅
- 望子晉峰

        - 遊達磨洞
        - 寄題中嶽
        - 寄題嵩山二室二首
            - 太室
            - 少室
        - 太室
        - 少室
        - 箕山
        - 潁水
        - 陽城
        - 轘轅
        - 盧巖
        - 石淙
        - 過少林寺二首
        - 春日自嵩入洛四首
        - 陪方伯黃公山遊
        - 陪憲長周公山遊
        - 登嵩八首
- 韻始篇六
    - 大明(萬曆年詩下)
        - 五言排律
            - 寄嵩山何野鶴
            - 石淙同元鼎修禊事
            - 春日偕元鼎沿洛入嵩
            - 後遊少林寺兼呈道公
            - 觀星臺
            - 寄贈傅元鼎明府時予渡河將遊嵩山不果遂訂後期
            - 少林寺觀十二靈芝圖
            - 嵩山少林寺月夜譚禪一首
            - 恭謁中嶽廟禮成賦十六韻
            - 少林寺贈道公
            - 春日送客即事
        - 七言排律
            - 遊象極洞
        - 五言絕句
            - 達磨面壁石
            - 登二祖菴四首
            - 秦槐

- 面壁菴
- 少林寺達磨像
- 四樓詠
  - 考辰樓
  - 大觀樓
  - 寶成樓
  - 天咫樓
- 達磨面壁石
- 天中閣
- 詠六祖栢
- 六十峰詩
  - 青童峰
  - 黃盖峰
  - 浮丘峰
  - 三鶴峰
  - 遇聖峰
  - 萬歲峰
  - 玉鏡峰
  - 獅子峰
  - 虎頭峰
  - 起雲峰
  - 鳳凰峰
  - 金壺峰
  - 華蓋峰
  - 玄龜峰
  - 臥龍峰
  - 會仙峰
  - 子晉峰
  - 玉柱峰
  - 老翁峰
  - 玉人峰
  - 玉女峰
  - 金匱峰
  - 積翠峰
  - 太白峰
  - 朝嶽峰
  - 望洛峰
  - 太陽峰

- 少陽峰
- 石笋峰
- 檀香峰
- 丹砂峰
- 鉢盂峰
- 香鑪峰
- 連天峰
- 紫霄峰
- 羅漢峰
- 七佛峰
- 靈隱峰
- 來仙峰
- 清凉峰
- 寶勝峰
- 瑞應峰
- 瓊壁峰
- 紫蓋峰
- 翠華峰
- 紫薇峰
- 藥堂峰
- 白道峰
- 帝字峰
- 卓劒峰
- 白雲峰
- 金牛峰
- 明月峰
- 凝碧峰
- 迎霞峰
- 玉華峰
- 寶柱峰
- 繫馬峰
- 白鹿峰
- 石城峰

- 增定太室十二峰詩
  - 雞鳴峰
  - 春震峰
  - 懸練峰
  - 周道峰

        - 勝觀峰
        - 石幔峰
        - 松濤峯
        - 河帶峰
        - 桂輪峰
        - 立隼峰
        - 觀香峰
        - 望都峰
- 六言絕句
    - 嵩麓四大寺偶題
        - 少林寺
        - 法王寺
        - 嵩嶽寺
        - 會善寺
- 七言絕句
    - 初祖庵示幻休上人二首
    - 少林雜詩四首
    - 五品封槐
    - 嵩山道中
    - 望嵩少二首
    - 觀嵩陽古栢口占 二絕
    - 欲登嵩嶽先呈傅元鼎令君二首
    - 和傅元鼎嵩陽十八詠
        - 嶁嶺穿雲
        - 盧巖飛瀑
        - 少室朝暉
        - 嵩門秋月
        - 箕陰避暑
        - 潁水耕春
        - 中峰長嘯
        - 御砦高吟
        - 石淙修禊
        - 玉溪垂綸
        - 雲洞探奇
        - 星臺望遠
        - 秦槐蔭日
        - 漢栢參天
        - 鶴觀棲霞

        - 熊山積雪
        - 九潭風雨
        - 五渡煙波
    - 嵩陽十八詠
        - 嶐嶺穿雲
        - 盧巖飛瀑
        - 少室朝暉
        - 嵩門秋月
        - 箕陰避暑
        - 潁水耕春
        - 中峰長嘯
        - 御砦高吟
        - 石淙修禊
        - 玉溪垂綸
        - 雲洞探奇
        - 星臺望遠
        - 秦槐蔭日
        - 漢柏參天
        - 鶴觀棲霞
        - 熊山積雪
        - 九潭風雨
        - 五渡煙波
    - 續嵩陽二詠
        - 少林翠靄
        - 嶽廟黃雲
    - 嵩山四詠
        - 嵩山雨
        - 嵩山雲
        - 嵩山月
        - 嵩山雪
- 韻始篇七
    - 古今諸賦
        - 懷舊賦
        - 山呼萬歲賦
        - 測景臺賦
        - 少室山三十六峰賦
        - 太室二十四峰賦
        - 嵩山賦

        - 新增太室十二峰賦
- 章成篇一
    - 碑一
        - 達磨大師碑
    - 勅
        - 戒壇勅
    - 記一
        - 嵩山會善寺戒壇記
        - 嵩嶽少林寺新造厨庫記
    - 碑二
        - 少林寺碑
        - 嵩嶽寺碑
        - 永泰寺碑
    - 書
        - 告柏谷塢少林寺上座書
        - 御製修少林寺書
    - 銘
        - 少林寺靈運禪師功德塔碑銘
        - 少林寺戒壇銘
    - 碑三
        - 嵩山會善寺碑
    - 雜文一
        - 達磨頌
        - 達磨面壁大師贊
        - 嵩山祝文
        - 嵩山紀行
    - 記二
        - 重修面壁菴記
        - 新修雪庭西舍記
        - 嵩頂重修峻極禪院記
    - 碑四
        - 少林禪師裕公碑
        - 重建少林寺達磨大師碑
    - 雜文二
        - 請寶公長老住持嵩山會善寺疏
        - 會善寺茶牓
- 章成篇二
    - 記

        - 少林寺重建初祖殿記
        - 遊嵩記
        - 遊嵩陽記
        - 遊嵩山記
        - 宿煖泉寺遊嵩山少林寺記
        - 嵩游記
        - 嵩少遊記
        - 嵩遊
            - 第一
            - 第二
            - 第三
            - 第四
            - 第五
    - 序
        - 贈潤上人住持少林寺序
        - 贈無言道公慈惠道塲徹座還山序
    - 碑銘
        - 嵩山少林寺禪師道公碑銘
        - 達磨頌
        - 達磨贊
        - 少林寺戒壇銘跋
        - 唐文皇告少林寺書跋
        - 少林寺靈運禪師碑跋
        - 裴漼少林寺碑跋
        - 雪菴茶榜跋
        - 書雷轟道安禪師碑事
    - 後序
- 卷目次
    - 1
    - 9
    - 12
    - 13
    - 14
    - 15
    - 16
    - 17
    - 18
    - 19

    - 22
- 贊助資訊

# 編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2025.R3」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示（黑白色系版本則無顏色差別）。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

# 嵩書自序

文林郎登封縣知縣邢臺傅梅元鼎撰

世謂天道遠人事邇乃儒者有言天人相與之際可得兮遠邇乎此其故聖人罕言之即門弟子無所聞而恒言則曰飲啄皆前定夫飲啄性也前定命也津津出庸愚之口抑又何耶先揚州府君年不惑時四上春官三試既畢出闈就寢夢有冕而自稱山人者直入內室寤而識之數日家報至第四子生問懸弧之候即夢寤之頃也府君私念曰既冕矣猶稱山人是兒必當有異因命名山子山子年七歲從父官山東始出就外傅更今名曰梅則受詩季父南皋先生年十一從父官宛南則受易吉水羅先生年十六從父官京師則受春秋麻城梅先生後以春秋舉京兆自府君謝郡數載即世梅年三十北遊成均間從建業焦先生受書久之丁先恭人艱友里中吳生讀三禮蓋三十年泛濫六藝之中卒無所遇久待公車不覺顛毛短矣夫學者載籍極博猶考信於六藝梅自髮未燥從事鉛槧于二酉之藏多所涉獵今雖老大傴蹇不敢跳入二氏惟是以六經為折衷也六經聖人之文聖人亦數變矣蓋上古之世惟結繩而治耳自書契與八卦畫為文字之始嗣是而增卦爻而箸本草而服衣裳而制律呂至於治曆明時齊政徽典煥乎其有文章也凡五變而盛矣又至於忠質文互用制作損益爛焉方冊而文無可加凡三變而極矣孔子轍環列國東周志阻歸而歎鳳泣麟乃刪述六經為萬世之憲聖人而至此變之盡矣其曰述而不作非不能作無庸作耳竊惟功業者持世之法度言語者挈世之津梁兩者並重而要以心德為之基前人有言死而不朽者三予不謂然也夫世代遷易理勢遞移乘時遘會非中有所得嘗試而漫為之功於何有若夫言也者往往出於約結之人或圍於時束於格意不得自宣思藉空言以俟來詰舉而措之鑿鑿也故非盛德君子謂之竅言世見夫竅言者有當乎哉六藝而後奇勛偉伐垂諸竹帛者歷歷可數即論箸自顯代不乏人要以體大而瞻志曠而肆探六經之秘擷百氏之華則不能不服膺司馬子長焉子長世為太史以其宏博恣其馳騁述先人之意為史記百三十篇自黃帝迄天漢蓋治亂善敗之林今古火薪之寄序天官闡天地陰陽之奧近於易著平準河渠律歷narrow經綸制作之蘊近於書禮樂兩篇悉二經之旨而諸篇中更舉山川草木鳥獸為風人所未殫者又近於詩至其抑揚褒貶微詞隱義亦庶幾春秋家法也彼以絕代之才博古之學而遭李陵之禍名辱身冤安得不鳴今讀其自序引西伯之羑里孔子之陳蔡與屈原之離騷以至於失明髕腳遷蜀囚秦之流謂其人皆意有所鬱結不得通其道也以此發憤遂志有所論載卒欲藏之名山副在京師俟後世聖人君子其思深其致可念矣今國家坐襲承平之業日久上視士太輕求士太薄自制舉義外別無物色之典無論三代耕莘釣渭之遇杳

不可復即如中古束帛尺書下賁巖穴尋常細事亦成曠儀矣士生斯時一降世格生平之氣立盡噫天下一家誰肯北走胡南走越哉雖有豪傑不得不俯首就之屈志受之此其常也梅既以數奇久待公車不第家日益貧不得不效陶元亮思以弦歌資三徑乃謁選探策得濟北之商河既組而悔喟然歎曰男子生而桑弧蓬矢以射四方六合內事皆兮內事予自少至壯東未嘗觀海南未嘗渡江西未嘗入關北未嘗至塞既不能如子長世官太史得紬覽石室金匱之書廣其聞見又不能如子長足跡徧天下遐陬僻壤無不有車輪馬跡以縱覽海內之勝擴其胸懷徒區區守一簿書局促轅下俟河之清人壽幾何於是陳牒銓部乞返初服當事者弗許未幾乃自商河移令登封甫入境見二室插漢不覺躍然喜曰此古所謂中嶽嵩高也夫天下之山讓嶽四方之嶽讓中梅卑卑黃綬儼然稱茲山主雖一城僅如斗大而左右前後無非山者因思先大夫曾名予山子以示賤於稺齡殆成夙讖矣又思子美稱也在周班爵列第四等應兮茅土方五十里今郎官出宰百里輿圖倍之又主祭境內名山得比於古之諸侯豈偶然哉嚴親命之名大君授之位相去四十年若合符節詎止一飲一啄蒼蒼之表有主之者矣嵩故無書古今一切禮樂名物委諸草莽掌故之謂何蓋亦有司失職所致也梅竊有志焉以初至無年拮据荒政未敢誦言纂述既踰一考徼天之幸時和年豐百姓順化諸臺薦剡數上謬以治行高第拜璽書之寵有懷二人晉秩號有加小子梅滶自愧念無足稱塞萬一惟有搦三寸管率職終志陰藉山嶽之靈以上報君父仰答天意此其時矣魯論有言賢者識其大者不賢者識其小者嵩山在禹貢名為外方漢制大邑曰令小邑曰長梅所領小邑也奄有全嵩得自稱外方長在山言山於是退公布卷[打-丁+穸]舊撦新考證往古之失得發明昭代之典則期以補職方之遺備史官之采凡有關於嵩山者芟其煩蕪正其缺謬兮曹列類自天象始

維天垂象[(林/日)*夕]者列星太陽之榮萬物之精填官土位主茲中央兮經遵紀職在保章辨色審度以觀妖祥慎哉下土勿謂杳茫述星政第一

二氣肇兮萬類森然峙而為山流而為川奠方布潤千祀萬年峴山墮淚鄴渠永傳一丘一壑得麗斯延仰止嵩高峻極於天述峙勝第二

形勝自天選勝則人景山揆日土木以新物盛必衰消息環循繁華餘幾化為埃塵既傷實亡更慮名湮眷茲遺址懷彼先民述卜營第三

粵稽虞帝省方惟時柴望山川侯度以垂舉隅而反中嶽可知後皇封禪作俑者誰三公視秩萬歲傳疑警蹕盤遊殷鑒在茲述宸望第四

或謂才賢生不擇地載觀往逖降實不易出必有為氣必有萃造化鍾靈適與之值人亦有言聖以學至告爾後哲聿貞厥志述嶽生第五

巖巖嵩嶽作鎮中州冠蓋至止懷彼前修仕無顯晦澤斬名留德功尚矣言亦千秋悠悠我思皇皇我憂不知我者謂我何求述宦履第六

大人達道高士隱跡異遇殊趨各安所適泉石寄情烟霞奚癖玉質輝山珠光媚澤處則皜皜出則赫赫捷徑終南虛聲何益述巖棲第七

黃帝無為天下以理清淨養性厥惟李耳可以御政可以全己且與化齊而畏生死舉世皆迷日求久視外身身存知者與幾述黃裔第八

浩浩乾坤茫茫亭毒聖凡均性華夷同育聖人大備斯文炳煜若夢若非佛生天竺三乘誰兮五宗惑俗愈遠愈離吾道吾[廖-(彰-章)+貝]述竺業第九

坤德凝厚載嶽巍然巍然者嶽寶藏興焉簡冊匪誣微顯可詮生之居之總總綿綿方內資用方外延年刪同存異奕世珍傳述物華第十

土有墳羊山有靈夔造化變態不知所為界幽生異境絕集奇出鬼入神若信若疑溺之障意通之解頤博物君子無為世嗤述靈緒第十一

四始炳煥六義昭敷世變體兮代有前驅詠歌陳志天藻自攄登高能賦庶幾大夫完石非寶有瑕或瑜披蓁覓路不憚刪鉏述韻始第十二

日星代明雲漢為章高山峩峩流水洋洋天地之文悠久無疆前為後師今傳昔名以繼以開有裁斯成知我罪我先民是程述章成第十三

外方長曰余吏隱陽城述嵩書十三篇統計二十餘萬言食則噍之寢則枕焉手判文書心搖袖札者再更歲曆仰極天象俯究物情上下數千年間自六籍所及以逮今茲凡星緯次舍流峙動靜之故州域國邑宮室田里君臣朝野禮樂制度詞賦文章之跡即仙釋之流詭異之事細而至於夭喬鳥獸鱗介器物之屬亦為品詮悉合規度務在昭垂鑒戒非雅馴不軌於正者靡得而載焉雖博遜子長不敢自謂成一家之言然彼以其十識其大者吾以其一識其小者云耳至若所謂有能紹明世正易傳繼春秋本詩書禮樂之際故非此書所敢任也噫身已詘矣名已晦矣言之傳否遑足計乎先正有言聖人之言海也苟能通陰陽之氣達水泉之流以海為歸者皆海之溢也夫小子亦囿於天道而不能已者也

萬曆四十年歲次壬子冬十月望日

嵩書自序終

## 寺院六(菴附)

### 大法王寺

(在縣北十里嵩山之南麓備考志傳乃漢明帝永平十四年創建魏明帝青龍二年車駕駐蹕更名護國寺晉惠帝永康元年前增建一寺名曰法華元魏孝文帝避暑於此隋文帝仁壽二年創造舍利塔又名舍利寺唐太宗貞觀三年敕補佛像賜莊安禪僧名曰功德寺玄宗開元十八年更名御容寺代宗大曆元年重修又更名文殊師利廣德法王寺五代後唐因廢壞之餘分為五院仍歷代舊稱曰護國曰法華曰舍利曰功德曰御容至宋初五院僧願合

居仁宗慶曆八年增置殿閣僧寮重造佛像賜名嵩山大法王寺金元與本朝俱因之寺背負嵩岑如倚左右高峰張兩翼如衛俯瞰二熊諸山排列如拱真天下形勝之區也）

## 嵩嶽寺

（在法王寺西一里許元魏宣武帝於永平二年令馮亮與沙門統僧暹河南尹甄琛等同視嵩山形勝之處刱興土木本離宮也孝明帝正光元年牓閒居寺廣大佛剎殫極國財僧徒濟濟彌七百眾堂宇落落踰一千間可謂盛矣後周斷廢佛法欲以寺為觀以塔為壇未果至隋開皇五年始改題嵩嶽寺又度隸僧徒四百五十人未幾兵亂焚毀唐興重為修復特賜田碾四所武后每幸嵩山則以寺為行宮送鎮國金佛像貯焉後中宗又於寺前造十三層浮圖讀李邕碑想其壯麗宋元以後漸墮偉觀今也荒涼不堪吊矣）

## 會善寺

（在嵩嶽寺西五里許本北魏孝文帝離宮也魏亡為澄覺禪師精舍至隋開皇中賜名會善寺唐興大加增飾有堵波琉璃壇記稱歲成具戒者盈千日受潔供者數百可謂一時之盛矣朱梁初營宮闕撤佛殿材木輦致汴京寺廢壞者六十餘載宋開寶初有僧奉言全審者同心發願募化重修漸復舊觀金元至今代有補葺不甚荒落寺右一泉泠泠流於堦下僅供僧汲至山門而隱亦一奇也）

## 少林寺

（在縣西北三十五里少室北麓五乳峰之隈後魏孝文太和中建沙門跋陁自西域來詔有司於此寺處之廼於寺西臺造舍利塔翻經堂周建德中滅法廢寺大象中即興復之尋改名陟岵寺隋高祖受禪特令寺名仍舊開皇中詔賜少林寺柏谷屯地一百頃大業末寺為盜焚獨塔存焉王世充僭號洛邑立戍柏谷將圖梵宮寺僧志操惠瑒曇宗等率眾擒世充姪仁則獻之於唐時太宗為秦王賜書慰獎仍賜柏谷地四十頃水磨一具既一天下盡廢偽主寺觀此寺特蒙置立歷太宗高宗武后朝屢被恩寵玄宗開元中御書碑額七字命鐫刻文皇手書於寺中裴漼作文記之歷代相繼修營今獨完好）

## 峻極寺

（在太室絕頂中峰之上按金碑云後唐天成間有僧安禪師自金陵來駐足斯峰感文殊降迹遂立殿一所至晉天福年中賜額峻極禪院至宋末王貴妃自備俸錢重修大殿後遭兵火廢蕩無遺金大定間有忠公禪師者經營數載院宇重新此峻極之始末也予按峻極寺有三院在中峰者為上院在山麓者為中院在西關者為下院後上中二院俱廢獨下院存耳今為朝賀習儀之所）

## 永泰寺

（在縣西北二十里太室之右足後魏正光二年孝明帝之妹出家為尼敕為置此本名明練寺周武時廢隋開皇中重加修復又度尼若干人唐貞觀三年議尼寺居山慮恐非人侵擾敕令移額於偃師至神龍二年嵩嶽寺僧道瑩奏請重修追薦故永泰公主改名永泰寺記稱簷宇四繞廻廊復周蹬道凌虛懸階數帀倚山臨水亦名剎也今寺廢將盡有石幢石獸數事雕鏤精巧近代所無）

## 盧巖寺

（在縣東北十五里太室之左麓也踰嶺渡澗五六轉始望見寺門峰巒環繞寺後有瀑布泉茂樹清湍足稱幽勝相傳是盧鴻故居因名盧巖按盧徵君所居自號寧極乃官為營建者鴻又廣學廬聚徒至五百人規模闊大其沒也子孫不宜居遂舍宅為寺此理之可信者第按鴻所自著嵩山十志有太室南麓天門石崖之語與此東西相去踰三十里鴻不應有兩宅也又按李白集有贈盧徵君昆弟詩云二盧竟不起萬乘高其風惜史逸其名意盧巖或鴻之昆弟故居耶）

## 下盧巖寺

（在盧巖寺東南三里平坡之上登盧巖者自此寺後方漸高也）

## 龍潭寺

（縣東北二十里在盧巖之北隔一大嶺由嶽廟赴寺者渡嶺沿谿令人應接不暇寺據太室左陲面前平壤可容萬馬倚山環水規模壯麗自寺右登山五七轉折便至九龍潭潭上三面山圍中開平地數十畝形勢絕佳相傳武后游龍潭時曾建離宮於此後改為上龍潭寺今廢武后有同太平公主游九龍潭詩見類苑或曰今龍潭寺在金元時稱龍潭下院）

## 碑樓寺

（在縣東四十里平原之上內有豫州劉刺史碑石惡字泐逸其名矣寺前二里許有聚落古名劉碑村蓋以此也又一斷碑文不可讀後僅存天寶八年等數字乃知寺為唐人建也）

## 在孫寺

（在縣東南四十里蔣庄古碑猶存碑陰刻大齊河清三年歲在甲 申敬造惜文字剝落殆盡不可讀矣）

## 龍華寺

(在告成鎮測景臺之東齊武平元年建)

## 馬鳴寺

(在縣東四十里景店之南金大定十四年建)

## 西勝寺

(在縣東五十里大冶鎮元至大年間建)

## 清凉寺

(在縣西二十里少室清凉峰之下金貞祐四年重修)

## 華嚴寺

(在縣西三十五里水磨灣之上金正大三年建)

## 寶林寺

(在潁陽鎮南門外元至大間建)

## 三峰寺

(在縣西九十里大峽內背山如屏面水如帶元至正元年建)

(右諸寺創建之年大半考諸正統間舊志所載彼時古人碑碣尚有存者八朝以來為前邑令磨平遞鐫時貴詩文用之幾盡矣貞珉之災慘於秦火良可歎恨亦有寺僧苦於搨取而潛瘞之土中者瓦礫縱橫荊蒿滿目予雖有好古之心從何處一一尋覓耶今通將基宇僅存世代無考者錄其名與地於左方)

## 玉泉寺

(在石羊關外泉自地湧水光如玉)

## 淨明寺

(在縣南三十里南店之東對箕山環潁水)

大嶽寺

(在縣東南五十里費庄之陽)

黃峪寺

(在縣東南四十里小熊山白栗坪之陰)

水峪寺

(在縣東南五十里大熊山麓其南曰臥羊坪)

石門寺

(在縣東南五十里石門山下境頗幽奇)

竹園寺

(在縣東南六十里大熊山之陰)

龍泉寺

(在縣西南五十里石道鎮)

寶勝寺

(在少室寶勝峰下今廢)

弘化寺

(在清凉寺西北一里許今廢)

普照寺

(在縣西五十里胥店鎮)

## 崇法寺

(在潁陽鎮西門外)

## 溫姑寺

(在潁陽之南三里許)

## 菩提寺

(在潁陽北二里背山面水松柏森然)

## 清水寺

(在石堂山東嶺上襟山帶水亦勝境也)

## 白雲寺

(在縣西八十五里于家集)

## 宣陽寺

(在縣西九十里東王村)

## 崇福寺

(一名潭榆寺在縣西九十里)

## 普明寺

(在縣西南一百二十里丁流鎮之西長河當門遠山列障去嵩雖遠然嵩之餘也而嵩山之寺盡於此矣)

(又有史傳明繫嵩山而基址漫滅無考者書之以存舊蹟吊古君子或有契焉目列於左)

## 道塲寺

(馮亮為宣武造閒居佛寺林泉既奇營製又美曲盡山居之妙亮時至京師延昌二年冬遇疾還居嵩高道塲寺見北史)

## 石窟靈巖寺

(北魏永熙二年正月齊獻武王自晉陽出討尒朱兆大破之於赤洪嶺兆遁走自殺車駕幸嵩高石窟靈巖寺見魏書)

## 天中寺

(唐蘇味道有天中寺尋復禮上人詩云藩戚三雍暇禪居二室隈見類苑)

## 封禪寺

(五代時高僧貞峻在嵩山會善寺戒壇院納法因棲封禪寺學新章律疏見高僧傳)

## 戒壇院

(在會善寺西二百步許積翠峰下古稱會善寺戒壇院非另一寺也其壇名琉璃壇唐宋時天下僧尼受戒於此有四石刻天王像立四隅未圮其餘棟柱陛礎石雕鬼神山水之形今俱臥荊棘中矣壇東有元僧學士溥光石刻茶榜獨完好字徑二寸頗具風骨)

## 峻極中院

(在太室之麓今廢)

## 峻極下院

(在西關今為峻極寺頗稱修整內有古檜數株)

## 寶林院

(在中嶽廟北黃蓋峰之傍今廢)

## 龍潭院

(在縣東北大寧保今廢)

淨明院

(在縣南高馬保按舊碑云金貞祐四年僧法通重修)

護國院

法華院

舍利院

功德院

御容院

(以上五院註見前大法王寺下)

面壁菴

(亦稱初祖菴在少林寺西北三里許即達磨九年面壁之處也背倚五峰前臨霻澗古松偃蓋古柏參天為山中之勝境菴有蔡卞署書黃庭堅頌俱鐫碑寺西閣簷下有石刻面壁之菴四大字則蔡京書也菴內影石不類好事者為之耳)

二祖菴

(在少林寺南鉢盂峰之巔乃惠可禪棲地也菴前有四井探手可汲泉味甘美名卓錫泉門對高岑稍升之西北望伊洛二水如雙白練平鋪煙靄中亦奇觀也)

寶珠菴

(在縣南白栗坪西十里南北有石門境有幽閒之趣)

白雪菴

(在城東南十四里雷家岡之南)

朝陽菴

(在白栗坪河西)

## 吏隱菴

(宋國博龐元常隱嵩山所築司馬溫公有詩今廢)

## 張相公菴

(在萬歲峰之前見邵堯夫集惜不著張之名也)

## 郎官菴

(與羅漢洞相近金元光二年菴僧慧朗曾與五渡保民郭道寧同修羅漢洞見碑刻)

## 長春菴

## 谷神菴

(二菴見嵩陽宮元時仆碑)

## 控鶴菴

(在嵩山顛最深處宋劉居中居此二十年壁間得異書習之成仙又孫登天臺賦曰王喬控鶴以冲天菴名蓋取諸此今不詳其處矣)

嵩書卷之九

（文林郎登封縣知縣傅梅元鼎撰）

## 竺業篇

外方長曰自西方之教蔓延中夏域內名山半為梵宇據之今持鉢荷錫之流與四民分道而馳矣求在身為律在口為法在意為禪庶幾所謂佛者累世不一見儒者往往詆之而搢紳好奇者乃欲代其徒精解而攻焉此亦賢智之過也夫佛始於天竺其道以為人死性靈不滅輪轉受形所行善惡各有果報修其道者澡練神明澡練不已以至無生則佛矣佛者覺也以慧為歸以定為門定則悟悟則慧而以慈悲為室和柔忍辱為度而約於一空故豪穎者嘉其超恬雅者契其澹即麤鄙者亦足銷客氣之浮游彼其始固天地運氣萃於一隅者耳儻亦聖人所不必敵者邪然而果報之說淺矣愚者之所設非好奇者之所宜惑也二室多古寺而少林為大基肇於跋陁法傳於達磨自是而後高僧雲集戒壇時復有錚錚於彼道者於是嵩山得稱祖庭非諸方所敢望矣予悲世之入其教而迷其旨 也略採傳記姓名令得有所證焉亦足以明天地聖人之大矣

## 南北朝

### 跋陀

跋陀禪師本天竺人一稱佛陀學務靜攝博通經法在彼國時結友六人相隨業道五僧證果唯跋陀無獲有謂者曰修道藉機時來便克非可斯須徒為虛死可於震旦別立緣也從之勤苦勵節遊歷諸國遂至魏北臺之恒安焉孝文帝一見敬隆誠至特設禪林鑿石為龕給以資供倍加餘部而徵應潛著皆知其非常人也後隨帝南遷定都伊洛敕設靜院居之陀性愛幽棲林谷是託屢往嵩嶽擬謝人世未幾帝敕就少室山為之造寺今之少林是也陀既卓錫於此四方來學者聞風響會眾恒數百一一篤課無倦後連度二沙門慧光僧稠教傳定業釋道為之大振化行東夏矣年漸遲暮不預僧倫移居寺外別房感一善神常隨擁護每食必祀之將終之夕在房門之壁手畫神像於今尚存相傳少林開創時有讖云後五百年當有女主來欲葬此跋陀因叱水不令東流至唐則天后果欲奪其地竟以無水而止云

### 達磨

達磨大師天竺國王之子姓剎帝利本名菩提多羅其師般若多羅取通大之義為改是名師既得法住止天竺六十餘年乃辭國王東遊震旦國王為具大舟送至海濡凡三周寒暑達於南海實梁武帝大通元年魏明帝孝昌之三年也廣州刺史蕭昂表聞武帝詔至闕庭帝問師曰朕即位以來造寺寫經度僧不可勝記有何功德師曰並無功德帝曰何以無功德師曰此但人天小果有漏之因如影隨形雖有非實帝曰如何是真功德答曰淨智妙圓體自空寂如是功德不以世求帝又問如何是聖諦第一義師曰廓然無聖帝曰對朕者誰師曰不識帝不領悟師知機不契合遂去梁折蘆一枝度江而北留於洛陽後寓止於嵩山少林寺九年面壁而坐終日默然人莫之測謂之壁觀於時有慧可禪師立雪斷臂求授諸佛法印得其精髓傳領衣鉢法偈及楞伽諸經咸得餘緒以度迷情行化已終乃往禹門千聖寺息腳三日期城太守楊衒之仰求宗旨 懇留住世師不獲已受以讖語衒之默記禮辭而去師以化緣已畢傳法得人曰吾即逝矣端坐而寂時梁大同二年魏天平三年十月也至十二月葬於熊耳山起塔於定林寺後二歲魏使宋雲自西域還遇師於蔥嶺見師手提隻履翩翩西逝謂雲曰汝主已厭世雲聞之茫然別師而東既歸帝果登遐雲具奏其事其門人啟壙乃空其棺其中唯隻履而已遂取履供養於少林寺至唐開元中有人竊置五臺華嚴寺今不知所在代宗追謚曰圓覺大師

（按傳燈錄云達磨以九月二十一日至廣州刺史以表聞奏帝遣使齎詔迎之磨以十月一日至金陵然自廣至金陵亡慮三千餘里將命者往而復磨方啟行豈使者能以十日之間便歷六千里乎又謂魏孝明帝欽磨異迹三屈詔命竟不下少林及磨示寂宋雲自西域還遇於蔥嶺孝莊帝有旨 令啟壙如南史普通八年即大通元年也孝明以是歲四月癸丑殂磨以十月至梁當未至魏時孝明已去世矣其子即位未幾為尒朱榮所弒乃立孝莊帝由是魏國大亂越三年而孝莊殂又五年而分割為東西魏然則達磨在少林時正值其亂及宋雲之還則孝莊去世亦五六年其國至於分割久矣烏有帝令啟壙之說乎又按舊唐史云後魏末有僧達磨航海而來既卒其年魏使宋雲於蔥嶺回見之門徒發其墓但有隻履而已此乃實錄也至云光統律師菩提流支數下毒害達磨至於不救尤屬謬妄今並削去）

## 慧光

慧光姓楊氏定州長盧人年十三隨父入洛往佛陀禪師所從受三歸陀異其眼光外射如燄深惟必有奇操也苦邀留之且令誦經光執卷覽文皆若昔習遂度而出家所習經典便為人說辭既清靡理亦高華時人號為聖沙彌因獲利養受而還施然量度弘方不拘小節佛陀曰此沙彌非常人也若受大戒宜先聽律律是慧基非智不奉若初依經論必輕戒網邪見滅法障道之源由是因循多授律檢及年登冠學行略周乃從辯公參學論說之美聲颺趙郡後入洛京搜揚新異南北音字通貫幽微方事紙筆綴述所聞兼以意量參互銷釋陀乃呼而告曰吾之度子望傳果向於心耳何乃區

區方事世語乎今觀神器已成可為高明法師矣道務非子分也如何自累因而流涕會佛陀任少林寺主譯翻十地諸經光時預席以素習方言通悟綱領命章開釋草創基茲其華嚴涅槃維摩十地等並疏其奧旨 而弘其演導文存風骨不事章句朝野為之欽服嘗遇亢旱光就嵩嶽池邊燒香請雨尋即流霑原隰民 皆利之後召入鄴都轉為國統將終前日乘車向曹行出寺門屋脊自裂既坐判事塊落筆前尋視無從未幾奄化

## 慧可

慧可大師虎牢人姓姬氏生時光照滿室因名曰光自幼志氣不群博涉詩書尤精玄理後覽佛典超然自得遂出家於永穆寺終日宴坐久之忽於寂默中見一神人謂曰將欲受果何滯此耶大道匪遙汝其南矣光知神助因改名神光白於寶靜禪師師謂曰汝相吉祥當有所證神令汝南者意少林達磨大士必汝之師也光遂造於少室師事達磨晨夕參承師常端坐面壁莫聞誨勵光乃堅立向師求教會天大雨雪光立不動遲明積雪過膝師憫而問曰汝久立雪中當求何事光悲泣曰惟願和尚慈悲開甘露門廣度群品師曰諸佛無上妙道曠劫難逢豈以小德小智輕心慢心欲覬真乘徒勞勤苦光聞師誨勵潛取利刀自斷左臂置於師前師知法器乃曰諸佛最初求道為法忘形汝今斷臂吾前求亦可矣遂與易名曰慧可可曰諸佛法印可得聞乎師曰諸佛法印匪從人得可曰我心未寧乞師與安師曰將心來與汝安曰覓心了不可得師曰我與汝安心竟久　之遂盡得達磨之傳師將示寂西返天竺乃顧慧可而告之曰昔如來以正法眼付迦葉大士展轉傳授以至於我我今付汝汝當護持并授袈裟以為法信可跪受其衣後師端坐而逝自師託化西歸可繼闡玄風博求法嗣至北齊天平二年以所授達磨衣鉢傳之僧璨即於鄴都隨宜說法韜光混跡積三十餘載至隋開皇十三年三月逝於筦城縣今稱二祖云

## 僧稠

僧稠姓孫鉅鹿人心厭世煩一覽佛經渙然神解嘗於鵲山靜處感神來嬈抱肩築腰氣噓頂上稠以死要心因證深定九日不起後從定覺情想澄然究略世間全無樂者便詣少林寺祖師三藏呈己所證跋陁曰自蔥嶺已東禪學之最汝其第一矣乃更授深要即住嵩嶽寺僧有百人泉水纔足忽見婦人敝衣挾帚却坐階上聽僧誦經眾便訶遣之婦有慍色以足蹋泉水立枯竭身亦不現眾以告稠稠呼優婆夷三呼乃出謂曰眾僧行道宜加擁護婦人以足撥於故泉水即湧上神異如此後詣懷州王屋山修習前法聞兩虎交鬪咆響振巖乃以錫杖中觸各散而去一時忽有仙經兩卷在於牀上稠曰我本修佛道豈拘域中長生者乎須臾自失北齊高帝詔稠將啟

行而峰巒振響飛走悲鳴如是者三日而止稠至京師降蹕迎候命入宮留四十日出居外寺尋有旨 罷講席俾沙門盡習禪觀稠入諫帝以為弘通教理漸誘童蒙正賴講授願勿禁也從之及宣帝即位嘗謁稠稠牀坐不迎其徒有勸迎者稠曰昔賓頭盧尊者迎阿育王起行七步致王失國七年貧道雖寡德冀帝獲福耳俄以此被譖帝銜之將復入寺按其不敬誅之稠已前知預出十里許候之帝怪問稠對曰恐身血污伽藍故遠來就刃耳帝懼然悔謝謂其臣楊遵彥曰朕不明幾妄黷聖師即奉之如故當終之時異香滿寺頃有白鳥數百徘徊悲鳴移時乃逝

## 善惠

善惠大士姓傅氏名翕婺州義烏人年十六納劉氏女為室生二子嘗有西域沙門見大士曰吾與汝毘婆尸佛所同發誓今兜率宮衣鉢現在何日當歸因命臨水觀其影見圓光寶蓋大士笑謂之曰鑪鞴之所多鈍鋏良醫之門足病人度生為急何思彼樂乎居無幾常見釋迦金粟定光三如來放光襲其身大士喜曰吾得首楞嚴三昧即舍田宅及賣妻子得錢五萬以設法施會遂於嵸山之頂因雙檮樹刱寺而居故稱雙林大士日自營作夜則行道復一日於山頂繞連理雙樹行道感七佛相隨釋迦前引維摩接後唯釋尊頻顧大士共語由是異迹日顯遣弟子傅昶致書於朝梁武帝覽之遽遣詔迎至帝問曰從來師事何人答曰從無所從來無所來師事亦爾昭明太子問大士何不論義答曰菩薩所說非長非短非廣非狹非有邊非無邊如如正理復有何言帝曰何為真諦答曰息而不滅帝曰息而不滅此則有色有色故鈍如此則居士未免流俗答曰臨財無苟得臨難無苟免帝曰居士大識禮答曰天下非道不安非禮不樂帝默然未幾大士辭退遂還雙林至陳大建元年四月加趺而逝

# 隋

## 洪遵

洪遵姓時氏相州人八歲出家從師請業專學律部嘗自惟曰出家基址其在戒乎乃辭師友遊方聽習諮訪滎義三年遂知大旨 初住嵩高少林寺依資雲公前後參聽並扣其關戶渙然大明又從鄴下暉公講論文疏登座覆述眾仰如山自後徧詣禪林參學問法年踰十臘四遠望風堂盈千計齊主寵之授為斷事沙門時青齊諸眾連有訟爭下敕令往遵以法和喻以律科懲曲感物情繁諍自弭法侶欣然及齊曆將季擅名逾遠非類不交唯與慧遠等名僧隱於白鹿巖中及宣政搜揚被舉住於嵩嶽德不孤峙眾復屯歸隋開皇七年下敕追詣京闕與五大德同時奉見特蒙勞引令住與善

寺又敕與天竺僧共譯梵文後復敕請為講律眾主於崇敬寺聚徒成業開導四分為僧祇之絕唱仁壽四年敕使遵奉舍利往博州起塔初至州西有白鶴數十頭當於輿上旋繞數帀久之方逝及至城東塔所夜有白光數十道各如車軸至四月八日當下塔時又見白蓮華在塔四角高數百丈密葉分布垂於虛空下覆訖乃滅由是遵之名譽益震遠邇矣以大業四年五月卒於興善寺

## 大志

大志姓顧氏會稽山陰人發蒙出家師事天台顗禪師顗覩其形神灑落高放物表因名為大志開皇十年行遊廬嶽住峰頂寺誦法華經索然閒雅音聲清轉聽者忘疲後於蓮華山甘露峰南建靜觀道場頭陀為業介爾一身不避虓虎山粒數絕終日忘餐容色如故經歷七載禪業無斷晚住福林寺會大業屏除流徒乃變服毀形頭擐孝經麤布為衣在佛堂中高聲慟哭三日三夕初不斷絕寺僧慰喻志曰余歎惡業乃如此耶要盡此形骸伸明正教耳遂往東都上表曰願陛下興顯三寶當然一臂於嵩嶽用報國恩帝許之敕設大齋七眾通集志不食三日登大棚上燒鐵烙臂以刀截斷布裹蠟灌下火然之光耀巖岫於時大眾皆痛心貫髓不安其足而志詞色不變時誦法句讚歎佛德為眾說法不絕臂燒既盡乃下棚七日入定跏坐而卒時年四十有三

## 慧蕭

慧蕭姓劉氏家於許州之長葛十八為書生聰悟敏達善說詩禮州郡以明經舉之非其所好遂入嵩高山求師出家強識前聞以戒行見稱開皇初遊學鄴城博綜經律乃貫練眾部偏示四分聞泰山靈巖寺幽栖結行之宅也乃往從焉後以和尚年衰復還中嶽時龍門沙門明朗聞蕭道聲籍甚不遠從之朗雖年齒隆於蕭而卑身禮事深相悅服淹留歲序請歸河曲蕭相與同行住於龍門定林寺歷緣山水居隨所好尋訪同志不憚危險後震錫徂南路經蒲坂晉川英彥相與周旋留連累載自中條王屋巨壑深林無險不登若遊庭戶也逮隋季大亂河東郡丞丁榮敬服德音招住仁壽長弘律藏學者肩隨義寧中被擁西城不虧講業及得安靜彌崇法會蒲陝晉絳五眾師焉以貞觀十四年終於仁壽年七十有三

# 唐

## 慧安

慧安荊州支江人姓衛氏隋開皇十七年括天下私度僧尼安本無名遂遁於山谷大業中大發丁夫開通濟渠饑殍相枕安乞食以救之獲濟者甚眾後潛入太和山煬帝幸江都海內擾攘乃杖錫登衡嶽寺行頭陀行唐貞觀中至黃梅謁忍祖遂得心要徧歷名山至嵩少云是吾終焉之地也自爾禪者輻輳有坦然懷讓二人來參問曰如何是祖師西來意安曰何不問自己意曰如何是自己意安曰當觀密作用曰如何是密作用安以目開合示之然言下知歸更不他適讓機緣不逗辭往曹谿武后徵安至輦下待以師禮與神秀禪師同加欽重后嘗問安甲 子對曰不記帝曰何不記耶安曰生死之身其若循環環無起盡焉用記為神龍二年賜紫袈裟仍延入禁中供養三載辭歸嵩嶽是年三月三日囑門人曰吾死已將屍向林中待野火焚之俄爾萬迴公來見安猖狂握手言論傍侍傾耳都不體會至八日閉戶偃身而寂年一百二十八門人遵旨 舁置林間果野火自然得舍利八十粒

## 元珪

元珪姓李氏伊闕人生有異質永淳二年隸名閑居寺律戒惟謹後悟少林禪宗卜廬於龐塢一日有裛冠貴人徒步造訪珪異其英偉問所從來對曰我此嶽神也願受正戒珪曰神既乞戒即既戒也戒外無戒又何戒哉神稽首再拜懇請珪辭不獲即為張座焚香秉罏正几曰付汝五戒乃歷詰之曰汝能不婬乎不盜乎不殺乎不妄乎不遭酒敗乎神亦歷應之曰能辯議甚多不能悉載珪曰是為佛戒也又言以有心奉持而無心拘執以有心為物而無心想身能如是則先天地生不為精後天地死不為老終日變化而不為動畢盡寂默而不為休是謂無心也無心則無戒無戒則無心無佛無眾生無汝及無我孰能戒哉又為[僕-((平-丨)/夫)+(句-口+用)]述佛法數百言神曰我誠淺昧師授我戒既聞命矣願報慈德効我之所能師必命我為世間事少展奇功使天下知有佛有神耳珪再辭不獲乃言曰東巖寺之障也而無樹北岫甚多汝能移而植之乎神曰諾俟夜為之即辭去珪送之門見儀衛森嚴如王者之狀淩空漸沒焉其夕果風雨震電大作棟宇振搖鳥獸驚奔良久始定珪謂眾僧曰無怖無怖神與我約矣詰旦和霽則北巖松栢盡移東嶺森然成列焉珪至開元四年卒

## 破竈墮

破竈墮和尚不稱名氏言行叵測隱居嵩嶽山塢有廟甚靈殿中唯安一竈遠近祭祀不輟多烹殺物命師一日領侍僧入廟以杖敲竈三下云咄此竈只是泥瓦合成聖從何來靈從何起恁麼烹宰物命又打三下竈乃傾破墮落須臾有一人青衣裛冠設拜師前云我本此廟竈神久受業報今日蒙師說無生法得脫此處生在天中特來致謝師曰是汝本有之性非吾彊

言神再禮而沒侍僧等問師云某等久在和尚左右未蒙苦口直為竈神說什麼徑旨 便得生天師曰我只向伊道本是泥瓦合成別無道理侍僧等立而無言師曰會麼主事云不會師曰本有之性為什麼不會侍僧等乃禮拜師曰墮也墮也破也破也後有義豐禪師舉白安國師國師歎曰此子會盡物我一如可謂如朗月處空無不見者難遘伊語脉豐禪師乃低頭乂手而問云未審什麼人遘他語脉國師曰不知者其後莫知所終

## 丁居士

丁居士定陶人不著其名專勤梵行嘗往來嵩山禮事普寂禪師得其深法將終合掌跏趺儼然而絕遠近諸寺院鐘磬不擊自鳴人多異之既葬三載為開元十五年西域僧安靜振錫東遊至定陶直問丁居士何在鄉人以實告之靜曰伊乃在家菩薩也遂至墳所躬自開發時五色雲氣騰噴而上取視其骨皆金色連環若鏁可五丈許鏗然響亮擐杖頭而行別樹塔重葬眾咸驚歎未幾靜不知其所之

## 一行

一行姓張鉅鹿人郯國公公謹支孫也丱歲聰穎讀書不再覽輒能成誦出家嵩山師事普寂禪師精曉經法寂師嘗設大會遠近赴期數踰千眾先請盧鴻為文讚之至日鴻持文至寺置於几案鐘梵既作鴻謂寂曰某為文數千言字僻詞奧盍選朗悟者面為指授寂乃令召行既至伸紙一覽復致几上鴻怪其輕脫俄而群僧會於堂行抗音宣誦一無遺誤鴻愕視久之謂寂曰非君所能教也當縱其遊學自是求訪師資不遠數千里問律藏於當陽僧真並習陰陽讖緯之書學筭術於天台山國清寺僧求太玄經於道士尹崇又於金剛三藏學陀羅尼秘印復同無畏三藏譯毗盧遮那諸經著書數種計一百二十餘卷不悉其名內開元大衍曆五十二卷已采入唐書矣邢和璞嘗謂尹愔曰一行其聖人乎漢洛下閎造曆云後八百歲當差一日則有聖人定之今年期畢矣而一行大衍曆成正其差謬則洛下閎之言可信非聖人其孰能之玄宗嘗召入內殿示以宮籍一覽即能熟誦帝嗟歎良久後召對無恒占 其災福言多補益行又多異術移星致雨神變莫測其事不一也開元未裴寬為河南尹一日造普寂寂云方有少事未暇欵語請暫息也寬乃屏從人止於旁室伺之見寂潔滌正堂焚香端坐未久一行至向寂作禮禮訖附耳密語寂頷云無不可者語訖又禮禮訖又語如是者三寂唯云是是無不可者行遂降階入南室自闔其戶寂乃徐命弟子曰速聲鐘一行已滅度左右疾走視之瞑坐息絕矣帝親製碑官為建塔銅人原謚曰大慧禪師

## 從諗

從諗青州臨淄人童稚之歲孤介弗群初投本州龍興寺從師翦落尋往嵩山琉璃壇納戒師勉之曰聽習於經律但染指而已聞池陽願禪師道化翕如諗執心定志鑽仰忘疲後於趙郡開物化迷大行禪道以真定帥王氏阻兵封疆多梗朝廷患之王氏抗拒過制而偏歸心於諗諗嘗寄麈拂上王氏曰王若問何處得此拂子答道老僧平生用不盡者物凡所舉揚天下傳之號趙州法道語錄大行為世所貴也

## 崇珪

崇珪姓姜氏郟城人家素業儒天寶中父故早孤遂議出家年十八遊南嶽淹留數載居棲霞寺經業蔚通道聲洋溢會贊皇李公德裕廉訪是邦延諸慈和寺久之珪曰吾有幽憂之疾非是居侯藩聚落之人也明歲遂行抵嵩山居於嶽寺太和戊申歲洛中亢陽唯嵩下多雨或謂為珪之德能動龍神也開成元年贊皇公攝冢宰請珪於洛住龍興寺兩京問道參學之士多從之遊釋望益隆矣忽告眾訣別入方丈而滅年八十六白侍郎為撰塔銘云

## 恒政

恒政姓周氏平原人少入鄉校業儒殊不嗜書籍或見佛經輒躭味不捨後就本州延和寺出家問道於嵩少受誦經法精專戒律尋入太一山中由行風教學人蝗慕太和中文宗皇帝酷嗜蚌蛤沿海官吏先時遞進人亦勞止一日御饌中盈盤而進有擘之不開者俄變為菩薩形梵相克全莊嚴可敬遂致於金粟檀香合以錦覆之送興善寺宣問群臣斯何瑞也相國李公德裕奏曰臣唯知聖德昭應若問佛理聞終南山有恒政禪師當知之乃詔而問焉政曰物無虛應此乃啟沃陛下之信心耳經云應以此身得度者即現此身而為說法也帝曰菩薩身已見未聞說法政曰陛下覩此為常非常耶信非信耶帝曰奇事烏得不信政曰陛下已聞說法了帝大悅敕天下寺院各立觀音像奉之政累辭入山宣住聖壽寺至武宗即位忽入終南或問其故曰吾避仇也年八十七卒未久有廢教之敕政之先見若合符節焉

## 華嚴

華嚴和尚學於神秀禪師謂之北祖嘗在洛都天官寺弟子三百餘每日堂食齊集有夏臘者道業高而性褊時因臥疾不赴會一沙彌欲上堂無鉢向臘借之臘堅不與沙彌懇求再三臘乃借之曰吾愛鉢如命儻有損同

殺我也沙彌持鉢矜持太甚食畢下堂誤蹴碎之沙彌惶懼遂至臘所長拜謝過臘大叫曰汝殺我也怒甚病亟遂死後華嚴於嵩山嶽寺與眾講經沙彌亦在列忽聞山谷聲震華嚴遂隱此沙彌於背後須臾見一大蛇長七八丈直入寺來努目張口左右駭欲奔華嚴戒令勿動蛇升階睥睨若有兩求華嚴喝云住蛇至座前遂俛首閉目華嚴以錫杖叩其首曰既明宿業今當迴向三寶傳令諸僧齊聲念佛與受三歸五戒蛇乃宛轉而去時夏臘弟子亦在列華嚴謂曰此蛇汝師也修行累年合證果位為臨終時惜一鉢嗔怒不化遂至此適來欲殺此沙彌耳若殺之當永墮大地獄無出期也賴吾識破與受禁戒今當捨此身矣汝往尋之弟子尋蛇十里之外所過草木開靡皆如車路至澗谷間已死矣歸白之華嚴曰伊今已受生在裴郎中宅作女年十八當亡即卻為男然後出家修道裴即我門徒汝可入城為我省問之其女今已欲生而甚艱難汝便可救之弟子受命至裴家郎中出見神色甚憂云妻欲產已六七日不下柰何僧曰某能救之遂令於堂門外淨牀席焚香擊磬呼和尚者三夫人安然而產一女後果十八而卒

## 藏奐

藏奐姓朱氏蘇州華亭人為兒時嘗墮井有神人接持而出卅歲出家禮道曠禪師及弱冠詣嵩嶽受戒母喪用儒禮守制廬墓三年由此顯名尋遊方訪道復詣五洩山遇靈默大師一言辨析旨 趣符合會昌中釋道幾滅已而復盛洎周洛再搆長壽寺敕度奐居焉時內典焚毀奐從煨燼中手緝散落實為大藏尋南海楊公收典姑蘇請奐歸於故林以建精舍大中十二年鄯水檀越任景求捨宅為院迎奐居之時有剎寇鼓眾作亂執兵晝入奐瞑目宴坐了無懼色盜異之叩頭謝過寇平州奏其事改額為棲心寺以旌之數年禪望大著徒眾雲集奐學識泉涌指鑒岐分詰難排疑之眾攻堅索隱之士皆立褰苦霧坐泮堅冰一言入神永破沈惑咸通七年秋八月預命香水剃髮謂弟子曰吾七日在矣及期而滅焚化之日異香凝空遠近郁烈獲舍利數千粒其色紅翠弟子詣闕請謚奉敕易名曰心鑑塔曰壽相初任生將迎奐人或難之對曰治宅之始有異僧令大其門云二十年後當有聖者居之比奐至止果二十年矣

## 惟寬

惟寬禪師衢州祝氏子年十三出家初習毗尼修止觀後參大寂乃得心要貞元中止嵩山少林寺僧問如何是道寬曰大好山曰學人問道師何言山寬曰汝秖識山何曾達道元和初詔至闕下白樂天問曰既曰禪師何以說法寬曰無上菩提者被於身為律說於口為法行於心為禪其致一也譬如江淮河漢在處立名名雖不一水惟無二律即是法法不離禪云何於

中妄起分別曰既無分別何以修心寬曰心本無損傷云何要修理無論垢與淨一切勿念起曰垢即不可念淨無念可乎寬曰金屑雖珍寶在眼亦為病曰無修無念何異凡夫寬曰凡夫無明二乘執著離此二病是為真修真修者不得勤不得忘勤即近執著忘即落無明此為心要也又僧問道在何處寬曰秖在目前曰我何不見寬曰汝有我故所以不見曰我有我故即不見和尚還見否寬曰有汝有我展轉不見曰無我無汝還見否寬曰無汝無我阿誰求見元和十二年二月就化謚大徹禪師

## 允文

允文字執經姓朱氏秀州嘉禾人九歲父亡其家捨文奉佛師授維摩法華二經敏速之性再稔皆通或戲問文曰爾出家之後擬營何事業乎率然對曰當陟蓮華臺而作獅子吼或誚之曰耆宿前敢爾或曰志欲得大此兒將來未易測也至十六歲削髮投嵩山臨壇大德遠和尚受法時年二十三矣後就中京攻相部律宗并中觀論補衣分衛寒燠四周既扣義門遂入師室玄樞律範尤見精微太和五年返故鄉後聞錢塘天竺寺講大涅槃經蔚為勝集文往學焉歷住越嘉祥寺復移靜林寺專以涅槃宣導四方屬武宗澄汰例被搜揚晝披縫掖夜著緇縵罔虧僧行唯逭俗譏大中伊始復振空門重整法儀乃隸名開元寺寺之耆舊命講律乘詞高理暢學者宗之中和二年六月長逝享齡七十有八遺言不許封樹慕白傳自作誌預著方墳銘藏於篋笥門人懷益因尋閱文籍見而悲咽遂從先師之志建小塔焉

## 彥暉

彥暉姓孫氏陽武縣人少時聞父讀金剛般若瞪目凝聽若有悟者其家內嘗齋僧磬梵俱作暉於簾幕之下合掌欣然年十五隨師學法後於嵩山少室寺受大戒隸習毗尼尋討內典皆能洞達且曰為善不同同歸乎治治則戒定慧也入聖機械此三治性之極致也洛都先達無不推伏暉三衣之外百一之資量足而供更無餘長所行慈忍匪事規求不畜門徒惟勞自己勤勤化導默默進修是故南燕之人號為佛子焉初寄明福寺講百法論四方英士雲合景從精研論席鑽仰經宗其間碩學兼才故分為上下十惡反其詞以善之上十惡則洞閑性相高建法幢宗因喻三立破無滯下十惡則學包內外吟詠風騷擊論談經聲清口捷讚揚梵唄表白導宣蓋立題分目皆門弟子為之乃極才能之際云暉因明百法論各講百許徧出弟子一百五十餘人著鈔曰滑臺盛行於世乾化元年秋八月以壽終

## 五代

## 貞峻

貞峻姓張氏鄭州新鄭人唐張果先生之裔孫髫齡不弄年十四投相國寺歸正律師出家丰神俊朗資稟穎悟未幾遂諷徹淨名仁王諸經計數萬言時同儕戲之曰汝是有腳經笥也峻遜讓而已及削染為僧十八升論座後於嵩山會善寺戒壇院納法因棲封禪寺今號開寶律院學新章律疏二十三策名講授長大順二年相國寺災樓閣廊殿四百餘間都為煨燼時寺眾惶惶莫知投跡或曰如請得峻歸寺寺可成矣乃相率往今開寶堅請峻歸充為上座前後數載寺遂重新視舊增華焉又請為新章宗主復開律講僧尼弟子日有五十餘人執疏問難峻之戒行冰雪相高暑未見裸寒止於袷食惟知量以清約而終為後唐同光二年也

# 宋

## 報恩

報恩禪師黎陽劉氏子世皆碩儒師未冠舉方略擢上第後厭塵境請於朝乞謝簪紱為僧上從其請遂游心祖道至投子未久即悟心要子曰汝再來人也宜自護持辭謁諸名宿皆蒙印可丞相韓公縝請開法於西京少林未幾大洪革律為禪詔師居之參禪說法機辯雲湧一日問諸人要識達磨祖師麼乃舉手作捏勢曰達磨鼻孔在少林手裏若放開去也從教此土西天說黃道黑欺胡謾漢若不放過不消一捏有人要與祖師作主便請出來與少林相見還有麼良久曰果然上堂拈起拄杖曰昔日德山臨濟信手拈來便能坐斷十方壁立千仞直得冰河焰起枯木花芳諸人若也善能橫擔豎夯徧問諸方苟或不然少林倒行此令去也隨擊禪牀一下其傳授議論詞多隱怪狀多奇詭皆此類也又一日忽拈起拄杖曰穿卻德山鼻孔換卻臨濟眼睛掀翻大海撥轉虛空且道三千里外誰是知音於斯明得大似杲日照天苟或未明不免雲騰致雨卓地一下又嘗設百問以問學者其略曰假使百千劫所作業不忘為甚麼一稱南無佛罪滅河沙劫又畫一圈曰森羅萬象總在其中具眼禪人試請甄別又上堂拈起拄杖曰看看大地雪漫漫春來特地寒靈峰與少室料掉不相干休論佛意祖意漫謂言端語端鐵牛放去無踪跡明月蘆花君自看乃卓拄杖下坐(報恩禪師有答張商英論三教書玅徹義理不能盡載見五燈會元集)

## 慧昭

慧昭禪師河東絳人母娠合掌而生人謂宿世僧也少年尚武輕財重義里中有鬬而直者將敗遂佐之為吏所執逃之永安昭孝院為僧終不言

其姓叩之則曰幼孤不知吾第姓佛耳日誦經文數千言元豐三年結侶遊方禮法王寺冲禪師參究言下便契強記博聞為禪流所宗朝廷賜紫袈裟號慧昭大師政和七年晝夢有異作頌曰緣生二十八地水火風別夢覺向誰言三春花雨雪遂奄然而逝

## 金

### 教亨

教亨禪師號虛明濟州任城王氏子生有奇瑞早歲出家從寶公法席參證頓解真宗越逸流輩道譽大彰寶公遂記別曰吾謾汝不得也諸方知師得法懇求出世師亦知緣至輒往應命五坐道場嵩山之戒壇韶山之雲門鄭州之普照林溪之大覺嵩山之法王知河南府國公石揀仲溫以少林虛席請師繼之居無何師復引去徜徉嵩少間者數年興定己卯秋七月十日謂眾曰汝輩各宜著力忽索筆書頌詞理奧不可曉其末後句云咦一二三四五六七堅坐不動而逝

## 元

### 福裕

福裕自號雪庭太原文水張氏子九齡入學日了千言鄉閭稱曰聖小兒幼遭世變煢然無依道逢老比丘勸以學佛曰能誦法華足矣裕曰佛法止是乎比丘異之與偕謁休林古佛於仙巖曰此龍象種也即為祝法授具歲在乙巳世祖潛邸慕其名德命住少林憲宗命總領釋教授都僧省之符至庚申歲世祖踐祚因論辨偽經馳驛以聞火其書乃賜光宗正法大禪師之號時萬壽祖席無可當之者眾請裕主之既老倦於接納仍歸栖嵩陽未久示微疾書偈告終壽七十三有弟子千餘人裕之住世也剛果英毅風神閒敞三閱藏典俱能成誦誘掖後學無倦色通群書善翰墨吟詠提唱普說幾十萬言播在叢林云幼時與雙谿廣公同執事者七年遊方來燕親炙萬松師又十年始終萬壽又十四年道益隆名益著學者日益廣其住少林也萬松實為之主屬嵩少煨燼之餘暫憩緱氏之永慶已而興仆起廢訓徒說法施者如丘山來者如歸市嵩陽諸剎金碧一新洛陽白馬經筵不輟皆裕力也世以興復嵩寺功比開山謂之祖師再出世非虛語矣皇慶元年贈大司徒追封晉國公

### 緊那羅

緊那羅者西天菩薩也至正初忽有一僧至少林蓬頭裸背跣足止著單裩在廚中作務數年慇勤負薪執爨朝暮寡言暇則閉目打坐人皆異之而莫曉其姓名至十一年辛卯三月二十六日潁州紅巾賊率眾突至少林欲行刼掠此僧乃持一火棍而出變形數十丈獨立高峰賊眾望見驚怖而遁僧大叫曰吾緊那羅王也言訖遂沒人始知為菩薩化身也眾感其德為塑像寺中遂為少林護伽藍神至今靈異(按傳燈錄隋開皇中天台顗禪師居荊州玉泉山有神通謁稱蜀前將軍關羽以戰功廟食此山聞師欲營精藍願庀役事七日而成捷出神功事聞於朝敕封玉泉山護伽藍神今天下寺院皆塑關像蓋始諸此獨少林以緊那羅代也)

## 大明

### 徹空

徹空和尚法名本原籍順天大興人父寓洛陽本生於正統丙寅有文在手成慈字少時祝髮洛之福先寺禮貞公為師貞公沒本回家業儒三年經史皆通復入寺師詠公晝習釋典夜溫儒書寒暑無間如是又三載豁然貫通天順中下令僧未度者還俗本復歸家父母議擇婚配辭之成化丙戌始請度為真僧矣久之參定國寺從公無方知識授禪學得曹洞真宗從公遂將僧伽黎印證法語手卷並拂塵悉以付之時本年方二十有五也壬辰春入檀榆山三載閉關習靜時蝗蝝徧野惟本菴地禾稼蔚然夏中亢旱居民瓣香叩請本出山為禱雨即大降洛陽僧俗力舉於郡請視僧篆本辭之有詩云松窻竹戶影沈沈名利塲中寄好音許大乾坤今古事秋雲幾片掛疎林未幾從公來住少林本隨侍執巾拂三載是冬少林主席者禮請開堂演法本陞座垂語機辯颺馳四眾歎服後乃遨遊吳楚江湖之間十有餘秋法幢高建遠播宗風弘治辛亥還山復入少林安禪與座者五十三員就食者幾千餘眾旬日後禪堂中外金光燭天三日方息俄供廚泉竭本隨禱而泉湧明年遂主福先寺本以高僧兼工詞賦請詩千文者戶外之屨常滿壬申秋陞為都綱總領一郡釋教預營壽藏於少林之西尋以壽終

### 文載

文載別號月舟北畿通州人父清早歲無子嘗禮事廣濟寺白菴禪師受戒發願曰若生子必命出家至景泰甲戌臘月十日夜清夢一僧入室而載生童稚時或結草為菴或聚沙為塔或塑泥為像或撮土為香或采花為供戲作種種佛事人皆異之九歲入鄉校讀儒書輒了了十三父謂之曰昔我有誓言今捨汝為佛子便當割恩愛也載曰為佛子者云何父曰讀佛之書行佛之道超三界利四生奚啻九族蒙庇也載欣然曰唯遂禮白菴落髮

年二十游虎林登昭慶方等之壇受大乘具足之戒三載北還閉門不出日習靜業因閱萬松評唱疑其葛藤潛心久之忽自省曰曹洞宗風大播天下有織錦回文之玅非鍼線細密盤旋轉折立觸當頭者不能與伊作主也遂幡然出關參扣少林三周寒暑朗然大悟乃復北還徧歷京師諸大禪席弘治中住白塔精舍閱大藏經衣不解帶暇則流覽群書以資宏博正德改元少林諸徒以寺久無主舉載名請於祠部三辭不獲乃束裝而南住持少林十六載門人以千計闡宗猷輝祖教令譽赫隆不踁而走四裔也至嘉靖甲申年七十三示寂

## 遍円

遍円禪師者號無空取派曰悟頓禹州陳氏子也年踰二十忽辭父母求出家父母曰此兒引舌過鼻非常人相任其去也乃投少林寺禮梵僧喇嘛為師掛搭三年一日跪於師前請求法名師曰道本無形何名之有禪師曰三世諸佛皆有名號弟子安得獨無師授以心經讀至五蘊皆空豁然大悟曰身尚是幻何處求名一日手編大円於師前師指曰遍円是汝名也答曰既名遍円內也無空師曰教外別傳方契此語一日辭師至中條山修行三月有餘忽自惟曰善財童子向南方參見五十五人歷百一十城莊嚴妙行今住此山中獨善其身者好直造神仙耳去之後到峨嵋絕頂結茆以居一日見阿彌陁佛手執大彌陁經一部曰藏內有經藏外全無付授與汝廣令傳化禪師遂飛錫周流寓內徧蹈九州後到京都遇御馬監中貴張暹等待以師禮卜吉祥菴居焉前後印造大彌陁經若干藏未幾復返少林嘉靖四十二年去少林再之峨嵋山欲以終老行至夔州江中曰道曠無涯逢人不盡登岸端坐而逝祥雲結頂身如金色徒孫普明等曰少室吾師發身之地乃歸骨焉建塔葬之

予少不肯讀佛書然亦不至如种名逸裂經作幛自領縣嵩下歲以趨府或候客常十餘過少林兀坐松陰輒命僧取大藏二三函置几上覽竟乃去不竟則於輿中卒業以為常今既五載覺有少入嵩書之役予手自纂錄名僧自此中得正果者共若而人不敢謂即佛亦庶幾佛之徒也又有名存事亡者如唐之普寂宋末之萬松輩方策既無所考耆宿亦無所傳難免遺珠之歎矣噫寺因達磨得稱祖庭達磨不立文字終日壁觀今乃講頌唱繁律儀近於史矣至於習戈棒演攻刺近於兵矣又甚而高堂室華器御近於宦矣佛教中衰莫此為甚遐想前哲能不大息云

門人(高亮　郭國器)校字

嵩書卷之九終

嵩書卷之十二

(文林郎登封縣知縣傅梅元鼎撰)

## 韻始篇一

外方長曰古人有言登高能賦可以為大夫然則聲律之道果與政通矣而必曰登高何哉豈有待於山川之助耶蓋人之有遠趣逸韻者情近乎山水而登臨眺望往往發為詩歌縱目開心神思若曠而澹焉固其宜耳然古來奧區奇境以不遇通人名湮沒者不可勝數惟曾經品題者稱焉由茲以譚山川與人兩相待而俱稱不朽巍巍洋洋雖與天地竝昭可也其何有于政乎嵩高在禹貢稱為外方自大雅篇出而峻極之名遂著予首錄其詩取標于吉甫歸重于嶽神匪獨以其韻也而韻實始基之矣其他古今篇什託于此中者甚侈中原之大觀將在于是予廣收而精取之各以代次俾觀者得論其世焉

### 周

#### 嵩高八章

尹吉甫(卿士)

嵩高維嶽駿極于天維嶽降神生甫及申維申及甫維周之翰四國于蕃四方于宣

亹亹申伯王纘之事于邑于謝南國是式王命召伯定申伯之宅登是南邦世執其功

王命申伯式是南邦因是謝人以作爾庸王命召伯徹申伯土田王命傅御遷其私人

申伯之功召伯是營有俶其城寢廟既成既成藐藐王錫申伯四牡蹻蹻鉤膺濯濯

王遣申伯路車乘馬我圖爾居莫如南土錫爾介圭以作爾寶往近王舅南土是保

申伯信邁王餞于郿申伯還南謝于誠歸王命召伯徹申伯土疆以峙其粻式遄其行

申伯番番既入于謝徒御嘽嘽周邦咸喜戎有良翰不顯申伯王之元舅文武是憲

申伯之德柔惠且直揉此萬邦聞于四國吉甫作誦其詩孔碩其風肆好以贈申伯

## 烝民八章

尹吉甫

天生烝民有物有則民之秉彝好是懿德天監有周昭假于下保茲天子生仲山甫

仲山甫之德柔嘉維則令儀令色小心翼翼古訓是式威儀是力天子是若明命使賦

王命仲山甫式是百辟纘戎祖考王躬是保出納王命王之喉舌賦政于外四方爰發

肅肅王命仲山甫將之邦國若否仲山甫明之既明且哲以保其身夙夜匪解以事一人

人亦有言柔則茹之剛則吐之維仲山甫柔亦不茹剛亦不吐不侮矜寡不畏彊禦

人亦有言德輶如毛民鮮克舉之我儀圖之維仲山甫舉之愛莫助之袞職有闕維仲山甫補之

仲山甫出祖四牡業業征夫捷捷每懷靡及四牡彭彭八鸞鏘鏘王命仲山甫城彼東方

四牡騤騤八鸞喈喈仲山甫徂齊式遄其歸吉甫作誦穆如清風仲山甫永懷以慰其心

## 漢

### 邛疏

劉向(光祿大夫)

八珍促壽五石延生邛疏得之鍊髓餌精人以百年我享千齡寢息中嶽遊步仙庭

### 王子喬

劉向

妙哉王子神遊氣爽笙歌伊洛擬音鳳響浮丘感應接手俱上揮策青崖假翰獨往

魏

詠懷

阮籍(步兵校尉)

王子十五年游衍伊洛濱朱顏茂春華辯慧懷清真為見浮丘公舉手謝時人輕蕩易恍惚飄颻棄其身飛飛鳴且翔揮翼且酸辛

宋

王子晉

謝靈運(臨川內史)

淑質非不麗難以之百年儲宮非不貴豈若登雲天王子愛清淨區中寔囂諠冀見浮丘公與爾共繽翻

梁

王太子

江淹(金紫光祿大夫)

子喬好輕舉不待鍊銀丹控鶴去窈窕學鳳對巑岏山無一春草谷有千年蘭雲衣不躑躅龍駕何時還

效阮公詩

江淹

昔余登大梁西南望洪河時寒原野曠風急霜露多仲冬正慘切日月少精華落葉縱橫起飛鳥時相過搔首廣川陰懷歸思如何常願反初服閒步潁水阿

北朝

## 道士步虛詞

庾信(司宗中大夫)

渾成空教立元始正圖開赤玉靈文下朱陵真氣來中天九龍館倒景八風臺雲度弦歌響星移空殿迴青衣上少室童子向蓬萊逍遙聞四會倏忽度三災

## 緱山引

鮑照(前軍刑獄參軍)

王子吹笙去不還當時舊物惟緱山山深老樹藏遺廟秋月春風空自閒轘轅左界連商雒碧瓦朱欄露華薄經時掩戶庭草深永晝無人對花落徘徊未下日將夕遙望嵩陽煙景微鶴馭飄颻向前許林間空見白雲飛

門人(焦一霑　何流清)校字

嵩書卷之十二終

嵩書卷之十三

## 韻始篇二

### 唐

#### 五言古詩

### 歸山

劉希夷(一名庭芝汝州人)

歸去嵩山道煙花覆青草草綠山無塵山青楊柳春日暮松聲合空歌思殺人

### 嵩嶽聞笙

劉希夷

月出嵩山東月明山益空山人愛清景散髮臥秋風風止夜何清獨夜草蟲鳴仙人不可見乘月近吹笙絳脣吸靈氣玉指調真聲真聲是何曲三山鸞鶴情昔去落塵俗願言聞此曲今來臥嵩岑何幸承幽音神仙樂吾事笙歌銘夙心

### 田家

王績(待詔門下省)

家住箕山下門枕潁川濱不知今有漢唯言昔避秦琴伴前庭月酒勸後園春自得中林士何忝上皇人

### 鳳笙曲

沈佺期(太子詹事)

憶昔王子晉鳳笙遊虛空揮手弄白日安能戀青宮豈無嬋娟子結念羅帷中憐壽不貴色身世兩無窮

## 感遇

陳子昂(右拾遺)

吾愛鬼谷子青谿無垢氛囊括經世道遺身在白雲七雄方龍鬬天下亂無君浮榮不足貴遵養晦時文舒可彌宇宙卷之不盈分豈徒山木壽空與麋鹿群

## 寄宋之問

田遊巖(太子洗馬)

信彼稱靈石居然狎遁棲徘徊承翠巘斌駁帶深溪夕陰起層岫清景半虹蜺風來應嘯阮波渡可琴稽僕也潁陽客望彼空思齊倘見山人至簪蒿且杖藜

## 答田遊巖

宋之問(越州刺史)

家臨清溪水溪水遶盤石綠蘿四面垂裊裊百餘尺風泉度絲管苔蘚鋪茵席傳聞潁陽人霞外漱靈液忽枉巖中翰吟臥朝復夕何當遂遠遊物外候逋客

## 奉使嵩山途經緱嶺

宋之問

侵晨發洛城城中歌吹聲畢景至緱嶺嶺上煙霞生草樹饒野意山川多古情大隱德所薄歸來可退耕

## 賦得雨從箕山來

宋之問

雨從箕山來倏與飄風度晴明西峰日綠縟南溪樹此時客精廬幸蒙真僧顧深入清淨理妙斷往來趣意得兩契如言盡共忘諭觀化靜不

動聞鳥懸可悟向夕聞天香淹留不能去

## 使至嵩山尋杜四不遇慨然復傷田洗馬韓觀主因以題壁贈杜侯杜四

宋之問

洛橋瞻太室期子在雲烟歸來不相見孤賞弄寒泉與君闊松石於茲二十年田公謝昭世韓子祕幽埏憶昔同携手山棲接二賢笙歌入玄地詩酒坐寥天舊友悉零落罷琴私自憐遊者非藥誤餐霞意可全為余理還策相與事靈仙

## 初至崖口五渡

宋之問

崖口眾山斷嶔崟聳天壁氣衝落日紅影入春潭碧錦繢織苔蘚丹青畫松石水禽泛容與巖華飛的皪微路從此深我來恨于役惆悵情未已群峰暗將夕

## 入崖口五渡寄李適徐彥伯

宋之問

抱琴登絕壑伐木泝清川路極意謂盡勢迴趣轉綿人遠草木秀山深雲影鮮余負海嶠情自昔微尚然彌曠十餘載今來宛仍前未窺仙源極獨進野人船時攀乳竇憩屢薄天牕眠夜絃響松月朝楫弄苔泉因冥象外理永謝區中緣碧潭可遺老丹砂堪學仙莫使馳光暮空令歸鶴憐

## 答宋十一入崖口五渡見贈

李適(工部侍郎)

聞君訪遠山躋險造幽絕眇然青雲境觀奇彌年月登嶺亦泝溪孤舟事沿越崿嶂傅彩翠崖磴互欹缺石林上攢叢金澗下明滅捫壁窺丹井梯苔瞰乳穴忽枉巖中贈對翫未嘗輟殷勤獨往事委曲煉藥說邀余名山期從爾泛海渤歲晏秉夙心斯言匪張設

## 答宋十一入崖口五渡見贈

徐彦伯(太子賓客)

聞有獨往客拂衣捐世心結忻薄枉渚撰念縈舊林經亘去崖合冥綿歸壑滜琪樹環碧彩金潭生翠陰沿洄弄沙榜危仄眺明岑夕聞桂裏猿曉翫松上禽雜珮蘊孤袖瓊敷綴雙衿我懷滄洲想懿爾白雲吟秉願理方叶存期跡易尋茲言庶不負為報巖中琴

## 題元丹丘潁陽山居(并序)

李白(翰林供奉)

丹丘家于潁陽新卜別業其地北倚馬嶺連峰嵩丘南瞻鹿臺極目汝海雲嵓映鬱有佳致焉白從之遊故有此作

仙遊度潁水訪隱同元君忽遺蒼生望獨與洪崖群卜地初晦跡興言且成文卻顧北山斷前瞻南嶺分遙通汝海月不隔嵩丘雲之子合逸趣而我欽清芬舉跡倚松石談笑迷朝曛終願狎青鳥拂衣棲江濱

## 題元丹丘山居

李白

故人棲東山自愛丘壑美青春臥空林白日猶不起松風清襟袖石潭洗心耳羨君無紛喧高枕碧霞裏

## 潁陽別元丹丘

李白

吾將元夫子異姓為天倫本無軒裳契素以煙霞親嘗恨迫世網銘意俱未伸松柏雖寒苦羞逐桃李春悠悠市朝間玉顏日緇磷所共重山嶽所得輕埃塵精魄漸蕪穢衰老相憑因我有錦囊訣可以持君身當餐黃金藥去為紫陽賓萬事難並立百年猶崇晨別爾東南去悠悠多悲辛前志庶不易遠途期所遵已矣歸去來白雲飛天津

## 聞丹丘子於城北營石門幽居中有高鳳遺跡僕離群遠懷亦有棲遁之志因序舊以寄之

李白

春華滄江月秋色碧海雲離居盈寒暑對此長思君思君楚水南望君淮水北夢魂雖飛來會面不可得疇昔在嵩陽同衾臥羲皇綠蘿笑簪紱丹壑賤巖廊晚途各分析乘興任所適僕在鴈門關君為峨眉客心懸萬里外影滯兩鄉隔長劒復歸來相逢洛陽陌陌上何喧喧都令心意煩迷津覺路失託勢隨風翻以茲謝朝列長嘯歸故園故園恣閒逸求古散縹帙久欲入名山婚娶殊未畢人生信多故世事豈惟一念此憂如焚悵然若有失聞君臥石門宿昔契彌敦方從桂樹隱不羨桃花源高鳳起遐曠幽人跡復存松風清瑤瑟溪月湛芳樽安居偶佳賞丹心期此論

## 尋高鳳石門山中元丹丘

李白

尋幽無前期乘興不覺遠蒼崖渺難涉白石忽欲晚未窮三四山已歷千萬轉寂寂聞猿愁行行見雲[(冰-水+丨)*夕]高松上好月空谷宜清秋壑深古雪在石斷寒泉流峰巒秀中天登眺不可盡丹丘遙相呼顧我忽而哂遂造窮谷間始知靜者閒留歡達永夜清曉方言還

## 訓岑勛見尋就元丹丘對酒相待以詩見招

李白

黃鶴東南來寄書寫心曲倚松開其緘憶我腸斷續不以千里遙命駕來相招中逢元丹丘登嶺宴碧霄對酒忽思我長嘯臨清颸蹇余未相知茫茫綠雲垂俄然素書及解此長渴饑策馬望山月途窮造階墀喜茲一會面若覩瓊樹枝憶君我遠來我歡方速至開顏酌美酒樂極忽成醉我情既不淺君意方亦深相知兩相得一顧輕千金且向山客笑與君論素心

## 題嵩山逸人元丹丘山居(有序)

李白

白久在廬霍元公近遊嵩山故交深情出處無間巖信頻及許為主人欣然適會本意當冀長往不返欲便舉家就之兼書共遊因有此贈

家本紫雲山道氣未淪落沉懷丹丘志冲賞歸寂寞竭來遊閎荒捫涉窮禹鑿夤緣泛湖海偃蹇涉廬霍憑雷躡天窻弄景憩霞閣且欣登眺美頗愜隱淪諾三山曠幽期四嶽聊所託故人憩嵩潁高義炳丹臒滅跡遺紛囂終言本峰壑自矜林湍好不羨朝市樂偶與真意并頓覺世情薄爾能折芳桂吾亦采蘭若拙妻好乘鸞嬌女愛飛鶴提攜訪神仙從此鍊金藥

## 贈盧徵君昆弟

李白

明主訪賢逸雲泉今已空二盧竟不起萬乘高其風河上喜相得壺中趣每同滄洲即此地觀化游無窮水落海上青[敖/龜]背覩方蓬與君弄倒景攜手凌星虹

## 嵩山采菖蒲者

李白

神仙多古貌雙耳下垂肩嵩嶽逢漢武疑是九疑仙我來采菖蒲服食可延年言終忽不見滅影入雲煙喻帝竟莫悟終歸茂陵田

## 魯城北郭曲腰桑下送張子還嵩陽

李白

送別枯桑下凋葉落半空我行懵道遠爾獨知天風誰念張仲蔚還依蒿與蓬何時一杯酒更與李膺同

## 送于十八應四子舉落第還嵩山

李白

吾祖吹橐籥天人信森羅歸根復太素群動熙元和炎炎四真人摛辯若濤波交流無時寂楊墨曰成科夫子聞洛誦誇才才故多為金好踊

躍久客方蹉跎道可束賣之五寶溢山河勸君還嵩丘開酌眄庭柯三花如未落乘興一來過

## 送裴十八圖南歸嵩山

李白

何處可為別長安青綺門胡姬招素手延客醉金樽臨當上馬時我獨與君言風吹芳蘭折日沒鳥雀喧舉手指飛鴻此情難具論同歸無早晚潁水有清源君思潁水綠忽復歸嵩岑歸時莫洗耳為我洗其心洗心得真情洗耳徒買名謝公終一起相與濟蒼生

## 送楊山人歸嵩山

李白

我有萬古宅嵩陽玉女峰常留一片月挂在東溪松爾去掇仙草菖蒲花紫茸歲晚或相訪青天騎白龍

## 贈嵩山焦鍊師

李白

嵩山有神人焦鍊師者不知何許婦人也又云生於齊梁時其年可稱五六十常胎息絕穀居無室廬遊行若飛倏忽萬里世或傳其入東海登蓬萊竟不能測其往也予訪道少室登三十六峰聞風有寄灑翰遙贈

二室凌青天三花含紫煙中有蓬海客宛疑麻姑仙道在喧莫染跡高想已綿時餐金鵝蕊屢讀碧苔篇八極恣遊憩九垓常周旋下瓢酌潁水舞鶴來伊川還歸空山上獨拂秋霞眠蘿月挂朝鏡松風鳴夜絃潛光隱嵩嶽鍊魄棲雲幄霓裳何飄飄鳳吹轉綿邈願同西王母下顧東方朔紫書倘可傳銘骨誓相學

## 寄焦鍊師

李頎(新鄉[尉-小+少])

得道凡百歲燒丹唯一身悠悠孤峰頂日見三花春白鶴翠微裏黃精幽澗濵始知世上客不及山中人仙境若在夢朝雲如可親何由覩顏色揮手謝風塵

## 潁陽東谿懷古

崔曙(進士)

靈谿氛霧歇皎鏡清心顏空色不映水秋聲多在山世人久疎曠萬物皆自閒白鷺寒更浴孤雲晴未還昔時讓王者此地閉玄關無以躡高步凄凉林壑間

## 早發交崖山還太室

崔曙(一作薛據)

東林氣微白寒鳥忽高翔吾亦別茲去北山歸草堂仲冬正三五日月遙相望蕭蕭過潁上朧朧辨少陽川冰生積雪野火出枯桑獨往路難盡窮陰人易傷傷此無衣客如何度雪霜

## 留別溫古上人兄并示舍弟縉

王維(尚書右丞)

解薜登天朝去師偶時哲豈惟山中人兼負松上月宿昔同遊止致身雲霞末開軒臨潁陽臥視飛鳥沒好依盤石飯屢對瀑泉歇理齊小狎隱道勝寧外物舍弟官崇高宗兄此削髮荊扉但灑掃乘閒當過拂

## 戲贈張五弟諲(時在常樂東園走筆成三首)

王維

吾弟東山時心尚一何遠日高猶自臥鐘動始能飯領上髮未梳牀頭書不卷清川興悠悠空林對偃蹇青苔石上淨細草松下軟牕外鳥聲閒階前虎心善徒然萬象多澹爾太虛緬一知與物平自顧為人淺對君忽自得浮念不煩遣

其二

張弟五車書讀書仍隱居染翰過草聖賦詩輕子虛閉門二室下隱居十年餘宛是野人野時從漁父漁秋風日蕭索五柳高且疎望此去人世渡水向吾廬歲晏同攜手只應君與予

其三

設罝守[(奐-大+比)/免]兔垂釣伺遊鱗此是安口腹非關慕隱淪吾生好清靜蔬食去情塵今子方豪蕩思為鼎食人我家南山下動息自遺身入鳥不相亂見獸皆相親雲霞成伴侶虛白侍衣巾何事須夫子邀予谷口真

## 至閒居精舍呈正上人(即天后故宮)

儲光羲(監察御史)

太室三招提其趣皆不同不同非一趣况是天遊宮雙嶺前夾門閣道復橫空寶坊若花積宛轉不可窮流泉自成池青松信饒風秋宴景氣迴晶明丹素功近將隱者鄰遠與西山通大師假慧照念以息微躬

## 嵩陽觀(即天皇故宮)

儲光羲

真人上清室乃在中峰前花霧生玉井霓裳畫列仙念茲宮故宇多此地新泉松栢有清陰薜蘿亦自妍一聞步虛子又話逍遙篇忽若在雲漢風中意冷然

## 緱氏尉沈興宋置酒南溪留贈

王昌齡(龍標尉)

林色與溪古淙篁引幽翠山樽在漁舟棹月情已醉始窮清源口壑絕人境異春泉滴空崖萌草坼陰地久之風榛寂遠聞樵聲至海鴈時獨飛永然滄洲意古時青冥客滅迹淪一尉五子躊躇心豈其紛埃事緱岑信所剋濟北余乃遂齊物意己會息肩理猶未卷舒形性表脫略賢哲議乘月期角巾飯僧嵩陽寺

## 過緱山王處士黑石谷隱居

岑參(嘉州刺史)

舊居緱山下偏識緱山雲處士久不還見雲如見君別來逾十秋兵馬日紛紛青谿開戰場黑谷屯行軍遂令巢由輩遠逐麋鹿群獨有南澗水潺湲如昔聞

緱山西峰草堂

岑參

結廬對中嶽青翠常在門遂耽水木興盡作漁樵言頃來闕章句但欲閒心魂日色隱空谷蟬聲喧暮村曩聞道士語偶見清淨源隱几閱吹葉乘秋眺歸根獨遊念求仲開徑招王孫片雨下南澗孤峰出東原栖遲慮益淡脫略道彌敦野藹晴拂枕客帆遙入軒尚平今何在此意誰與論佇立雲去盡蒼蒼月滿園

自潘陵尖還少室秋夕憑眺

岑參

草堂近少室夜靜聞風松月出潘陵尖照見十六峰九月山葉赤谿雲淡秋容火點伊陽村煙深嵩角鐘尚子不可見蔣生難再逢勝愜只自知佳趣為誰濃昨詣山僧期上到天壇東向下望雷雨雲間見回龍久與人群疎轉愛丘壑中心淡水木會興幽魚鳥通稀微了自釋出處乃不同況本無宦情誓將依道風

宿五渡谿仙人得道處

常建(旰[日*台]尉)

五渡谿上花生根依兩崖二月尋片雪願宿秦人家上見懸崖崩下見白水湍仙人彈碁處石上青蘿盤無處求玉童翳翳惟林巒前谿遇新月聊取玉琴彈

詠史

李華(司戶參軍)

巢許在嵩潁陶唐不得臣九州尚洗耳一命安能親綿邈數千祀丘中誰隱淪朝遊公卿府夕是山林人蒲帛揚側陋薛蘿為搢紳九重念入夢三事思降神且設庭中燎寧窺泉下人

## 季冬自嵩山赴洛道中作

獨孤及(司封郎中)

皇運偶中變長虵食中土天蓋西北傾眾星隕如雨胡塵動地起千里聞戰鼓死人成為阜流血塗草莽策馬何紛紛捐軀抗豺虎甘心赴國難誰謂荼葉苦天子初受命省方造區宇斬鯨安溟波截[敖/龜]作天柱三微復正統五玉歸文祖不圖漢官儀今日忽再覩升高望京邑佳氣連海浦寶鼎歊景雲明堂舞干羽虎臣頗激昂奔走爭禦侮腐儒著縫掖何處議鄒魯西上轘轅山丘陵橫今古和風蒸萬物臘月春靄吐得為太平人窮達不足數他日遇封禪著書繼三五

## 寄劉方平

皇甫冉(右補闕)

坐憶山中人窮棲事南畝煙霞相親外墟落今何有潘郎作賦年陶令辭官後達生貴自適良願固無負田取潁水流樹入陽城口歲暮憂思盈離居不堪久

## 經少林精舍寄都邑諸親友

韋應物(蘇州刺史)

息駕依松嶺高閣一攀緣前瞻路已窮既詣喜更延出巘聽萬籟入林濯幽泉鳴鐘生道心暮鶴空雲煙獨往雖蹔適多累終見牽方思結茅地歸息期暮年

## 經李蒙潁陽舊居

錢起(考功郎中)

同心而早世天道亦何論獨有山陽宅平生永不諼青溪引白鳥流涕弔芳蓀蔓草入空室叢篁滶毀垣舊遊還在眼神理更忘言唯見東山月人亡不去門

## 奉送韋起居老舅百日假滿歸嵩陽舊居

權德輿(平章事進扶風郡公)

威鳳翔紫氛孤雲出寥天奇彩與幽姿縹緲皆自然嘗聞陶唐氏亦有巢許全以茲聳風俗豈必效羈牽大君遂群方左史蹈前賢振文去朝市賜告歸林泉滑和固難久循性得所便有名皆畏途無事乃真詮舊壑窮杳冥新潭漾淪漣巖花落又開山月缺復圓輕策逗蘿徑幅巾凌翠煙機閒魚鳥狎體和芝朮鮮四皓本避難二疏猶待年况今寰宇清復此鬢髮玄顧慙纓上塵未絕區中緣齊竽終自退心寄嵩峰巔

## 石淙(十首今錄二首)

孟郊(參謀)

巖谷不自勝水木幽奇多朔風入空曲徑流無大波迢遞逗難盡參差勢相羅雪霜有時洗塵土無由和潔冷誠未厭晚步將如何

其二

出曲水未斷入山淙更重泠泠若偃語皎皎多異容萬響不相雜四時皆自濃日月互分照雲霞各生峰久迷向方理逮茲聳前蹤

## 哀孟雲卿嵩陽荒居

孟郊

戚戚抱幽獨晏晏沈荒居不聞新歡笑但覩舊詩書藝蘗意彌苦耕山食無餘定交昔何在至戚今或疎薄俗易銷歇淳風難久舒秋蕪上空堂寒槿落枯渠薤草恐傷蕙攝衣自理鋤殘芳亦可餌遺秀誰忍除徘徊未能去為爾涕漣如

## 訪嵩陽道士不遇

孟郊

先生五嶽遊文焰藏金鼎日下鶴過時人間空落影常言一粒藥不墮生死境何當列禦寇去問仙人請

## 夢上嵩山時足病未平

白居易(刑部尚書)

夜夢上嵩山獨攜藜杖出千巖與萬壑遊覽皆周畢夢中足不病健是少年日既悟神返初依然舊形質始知形神內形病神無疾形神兩是幻夢悟俱非實晝行雖蹇澀夜步頗安逸晝夜既平分其間何得失

## 送李垣先輩歸嵩少舊居

劉駕(國子博士)

高秋灞滻路遊子多慘戚君於此地行獨以尋春色文章滿人口高第非苟得要路在長安歸山卻為客□□□□□狂歌罷嘆息我豈無故山千里同外國

## 寄友人

于鄴

長安清渭東游子跡重重此去紅塵路難尋君馬蹤昔時輕一別漸老貴相逢應戀嵩陽住嵩陽饒古松

## [緑-大+天]山廟

吳筠(嵩山道士)

朝吾自嵩山驅駕遵洛汭逶迤轘轅側仰望[緑-大+天]山際王子謝時人笙歌此宸帝仙材夙所稟寶位焉足繫為迫丹霄期闕流蒼生惠高蹤邈千載遺廟今一詣肅肅生風雲森森列松桂大君弘至道層構何壯麗稽首環金壇焚香陟瑤砌伊余超浮俗塵慮久已閉況復清夙心蕭然叶真契

## 府尹王侍郎准制拜岳因狀嵩高靈勝寄呈三十韻

尉遲汾(衛尉少卿)

雄雄天之中峻極聞維嵩作鎮盛標格出雲為雨風瑞時物不癘順澤年多豐加高冠四方視秩居三公明朝虔昭報頒祀歲嚴恭署祝紆御札詔賢導宸衷皇皇三寸守馨德清明躬肅徒奉蘭沐竟夕玉華東星漢耿齋戶松泉寒壽宮具修諒蠲吉曙色猶蔥曚端儀大圭立興俛聲玲瓏挹瓚椒桂馥奏金巖壑空靈歆若有答髣髴傳祝工卒事不遑偃勝奇紛四叢朝霞破林嶂錯落間蒼紅動息形似蟻玄黃氣如籠奔傾千萬狀群岳安比崇日月襟袖捧人天道路通冥搜必殫竭躋覽忘崎穹踏翠遍諸剎趣綿步難終浮丘仙袂接謝公屐齒窮龍潭應下瞰九曲當駭容龍門計東豁三臺有何蹤金像語奚應玉人光想融瑤漿與石髓清骨宜遭逢况是降神處跡惟申甫同周翰已洽論伊衡亦期功誠富東山興須陟中台庸勉促旋騑軫未可戀雲松散材事即異期為卜一峰

(此唐太和三年石刻也予葺岳廟于圮墻之下得之移置壁間續錄于此庶可永乎)

## 七言古詩

### 送考功武員外仲春赴嵩山置舍利塔

張說(尚書左丞相)

懷玉泉戀仁者寂滅真心不可見空留影塔嵩巖下寶玉四海轉千輪金曇百粒送分身山中二月娑羅會虛唄遙遙愁思人我念過去微塵刼與子禪門同正法雖在神仙蘭省間常持清淨蓮花葉來亦好去亦好了觀車行馬不移當見菩提離煩惱

### 王子喬

宋之問

王子喬愛神仙七月七日上賓天白虎搖瑟鳳吹笙乘騎雲氣嗡日精嗡日精長不歸遺廟今在而人非空望山頭草草露濕人衣

### 下山歌

宋之問

下嵩山兮多所思攜佳人兮步遲遲松間明月長如此君再遊兮復何時

## 和宋之問下山歌

王無競(廣州司馬)

日云暮兮下嵩山路連綿兮松石間出谷口兮見明月心徘徊兮不能還

## 和宋之問下山歌

賈曾(禮部侍郎)

良遊晼晚兮月呈光錦路逶迤兮山路長王孫不留兮歲將晏嵩巖仙草兮為誰芳

## 元丹丘歌

李白

元丹丘愛神仙朝飲潁川之清流暮還嵩岑之紫煙三十六峰長周旋長周旋躡星虹身騎飛龍耳生風橫河跨海與天通我知爾遊心無窮

## 嵩山十志十首(并序)

盧鴻(嵩山隱士)

### 草堂

草堂者蓋因自然之溪阜前當塘洫資人力之締構後加茅茨將以避燥濕成棟宇之用昭簡易叶乾坤之德道可容膝休閑谷神同道此其所貴也及靡者居之則妄為剪飾失天理矣詞曰

山為宅兮草為堂芝蘭兮葯房羅靡蕪兮拍薜荔荃壁兮蘭砌靡蕪薜荔兮成草堂陰陰邃兮馥馥香中有人兮信宜常讀金書兮飲玉漿童顏幽操兮不易長

## 倒景臺

倒景臺者蓋太室南麓天門石崖傑峰如臺氣凌倒景臺登路有三處可憩或曰三休臺可以邀馭風之客會絕塵之子超逸真盪遐襟此其所絕也及世人登焉則魂散神越目極心傷矣詞曰

天門豁兮仙臺聳傑屹崒兮零頌湧窮三休兮曠一觀忽若登崐崙兮中期汗漫仙聳天開兮倒景臺鯊顥氣兮軼囂埃皎皎之子兮自獨立雲可朋兮赮可吸曾何榮辱之所及

## 槭館

槭館者蓋即林取材基巔柘架茅茨居不期逸為不至勞清淡娛賓斯為尚矣及盪者鄙其隘闐苟事宏湎乖其實矣詞曰

紫巖隈兮青磎側雲松煙蔦兮千古色芳靡蘼兮蔭蒙蘢幽人構館兮在其中靡蘼蒙蘢兮開槭館臥風霄兮坐赭旦粵有賓兮時戾止樵蘇不爨兮清談已永歲終朝兮常若此

## 枕煙庭

枕煙庭者蓋特峰秀起意若枕煙祕庭凝虛窅若仙會即楊雄所謂爰靜神遊之庭是也可以超絕紛世永潔精神矣及機士登焉則寥闐憭恍愁懷情累矣詞曰

臨泱漭兮背青熒吐雲煙兮合窅冥怳欻翕兮沓幽靄意縹緲兮群仙會窅冥仙會兮枕煙庭竦魂形兮凝視聽聞夫至誠必感兮祈此巔契顥氣養丹田終彷像兮覿靈仙

## 雲錦淙

雲錦淙者蓋激溜衝攢傾石叢倚鳴湍疊濯噴若雲風詭輝分麗煥若雲錦可以瑩發靈矚幽玩忘歸及匪士觀之則反曰寒泉傷玉趾矣詞曰

水攢衝兮石叢聳煥雲錦兮噴洶湧苔駮犖兮草夤緣芳羃羃兮瀨濺濺水石攢叢兮雲錦淙波連珠兮文沓峰有絜員者媚此幽漱靈液兮樂天休實獲我心兮夫何求

## 期仙磴

期仙磴者蓋危磴穹窿迴接雲路靈仙髣髴若可期及儒者毀所不見則黜之蓋疑冰之談信矣詞曰

霏微陰壑兮氣騰虹迤[這-言+里]危磴兮上凌空青霞杪兮紫雲垂鸞歌鳳舞兮吹參差鸞歌鳳舞兮期仙磴鴻駕迎兮瑤華贈山中人兮好神仙想像聞此兮欲升煙鑄月煉液兮竚還年

## 滌煩磯

滌煩磯者蓋穹谷峻崖發地盤石飛流攢激積漱成渠澡性滌煩迴有幽致可為智者說難為俗人言詞曰

靈磯盤礴兮溜奔錯漱冷風兮鎮冥壑研苔滋兮泉珠潔一飯一憩兮氣想滅磷漣清淬兮滌煩磯靈仙境兮仁智歸中有琴兮徽以玉峨峨湯湯彈此曲寄聲知音兮同所欲

## 羃翠庭

羃翠庭者蓋崖巘積陰林蘿沓翠其上懸羃其下滜湛可以王神可以冥道矣及喧者遊之則酣謔永日汩情薄厚詞曰

青崖陰兮月磴曲重幽疊邃兮隱淪躅草拊綿羃兮翠蒙蘢當其無兮庭在中當無有用兮羃翠庭神可谷兮道可冥有幽人兮張素琴白玉徽兮綠水音德之愔兮澹多心

## 洞元室

洞元室者蓋因巖作室即理談玄室返自然元斯洞矣及邪者居之則假容竊吹妄作虛誕竟以盜言詞曰

嵐氣肅兮巖翠冥室陰虛兮戶芳迎披蕙帳兮促蘿筵談空空兮覈元元蕙帳蘿筵兮洞元室祕而幽兮真可吉返自然兮道可冥澤妙思兮草玄經結幽門兮在黃庭

## 金碧潭

金碧潭者蓋水潔石鮮光涵金碧巖葩林蔦有助芳陰鑒洞虛道斯勝矣而世生纏乎利害則未暇遊之詞曰

水碧色兮石金光灩熠熠兮滲湟湟泉葩映兮煙蔦臨紅灼灼翠陰陰翠相鮮兮金碧潭霜天洞兮煙景涵有幽人兮好冥絕炳其煥兮凝其潔悠悠千古兮長不滅

予讀盧顥然嵩山十志標奇據勝可謂能受享山林之樂矣第列序篇篇莫不以人形已得無分畛己甚乎古有木石與居鹿豕與游幾希于深山野人者虛中之度可想也顥然力辭諫議或亦自諒其勝心之未融浮氣之未化耳外方長曰勝心浮氣果不可以立人之本朝矣

## 少室雪晴送王寧

李頎

少室眾峰幾峰別一峰晴見一峰雪隔城半山連青松素色峨峨千萬重過景斜臨不可道白雲欲盡難為容行人與我翫幽境北風切切吹衣冷惜別浮橋駐馬時舉頭試望南山嶺

## 送王道士還山

李頎

嵩陽道士餐柏實居處山花對石室心窮伏火陽精丹口誦淮王萬畢術自言神訣不可求我師聞之玄圃遊出入彤庭佩金印承恩赫赫如王侯雙峰樹下曾受業應傳肘後長生法吾聞仙地多後身安知不是具茨人玉膏清冷瀑泉水白雲谿中曰方此從今不見數十年鬢髮顏容只如是先生捨我欲何歸竹杖黃裳登翠微當有巖前白蝙蝠迎君日暮雙來飛

## 送楊山人歸嵩陽

高適(散騎常侍渤海縣侯)

不到嵩陽動十年舊時心事已徒然一二故人不復見三十六峰猶眼前夷門二月柳條色流鶯數聲淚沾臆鑿井耕田不我招知君以此忘帝力山人好去嵩陽路惟余眷眷長相憶

## 送餞從叔祖舜豐州幕歸嵩陽舊居

盧綸(進士)

白鬚宗孫侍坐時願持壽酒前致詞鄙詞何所擬請自邊城始邊城貴者李將軍戰鼓遙疑天上聞屯田布錦周千里牧馬攢花溢萬群白雲本是喬松伴來遶青營復飛散三聲畫角咽不通萬里蓬根一時斷豐州聞說似凉州沙塞晴明部落稠行客已去依獨戍主人猶自在高樓夢親旌旆何由見每值清風一回面洞裏先生那惌遲人天無路自無期砂泉丹井非同味桂樹榆林不並枝吾翁致身殊得計地仙亦是三千歲莫著戎衣期上清東方曼倩逢人輕

## 送張山人歸嵩陽

白居易

黃昏慘慘天微雪脩竹坊西鼓聲絕張生馬瘦衣且單夜扣柴門與我別媿君冐寒來別我為君沽酒張燈火酒酣火暖與君言何事入關又出關答云前年偶下山四十餘月客長安長安古來名利地空手無金行路難朝遊九城陌肥馬輕裘欺殺客暮宿五侯門殘茶冷酒愁殺人春明門門前便是嵩山路幸有雲泉容此身明日辞君且歸去

### 雜體

## 送考功武員外學士使嵩山置舍利塔

徐堅(集賢院學士)

伊川別騎灞岸分筵對三春之花月覽千里之風烟望青山兮分地見白雲兮在天寄愁心于尊酒愴離緒于清絃共握手而相顧各銜悽而黯然

## 嵩山天門歌

宋之問

登天門兮坐盤石之磷[石*旬]前淙淙兮未平下漠漠兮無垠紛窈窕兮巖倚披以鵬翅洞膠葛兮峰稜層以龍鱗松移岫轉左變而右易風生雲起出鬼而入神吾亦不知其靈惌如此願遊杳冥兮見羽人重曰天門兮窮崇迴合兮攢蔡松萬接兮柱日石千尋兮倚空晚陰兮足風夕陽兮赭紅試一望兮奪魄况眾妙之無窮

## 五言律詩

### 登石門

駱賓王(臨海丞)

層巖遠接天絕嶺上棲煙松低輕蓋偃藤細弱絲縣石明如挂鏡苔分似列錢蹔策為龍杖何處得神仙

### 同太平公主遊九龍潭

武后

山牕遊玉女澗戶對瓊峰巖頂翔雙鳳潭心倒九龍酒中浮竹葉杯上寫芙蓉欲驗山家賞唯有風入松

### 嶽館

沈佺期

洞壑仙人館孤峰玉女臺空濛朝氣合窈窕夕陽開荒澗含輕雨虛巖應薄雷正逢鸞與鶴歌舞出天來

### 幸少林寺應制

沈佺期

長歌遊寶地徙倚對珠林鴈塔風霜古龍池歲月深紺園澄夕霽碧殿下秋陰歸路煙霞晚山蟬處處吟

### 扈從嵩山途中作

宋之問

帳殿鬱崔嵬仙遊實壯哉曉雲連幕捲夜火雜星回谷暗千旗出山鳴萬乘來扈遊良可賦終乏掞天材

## 幸少林寺應制

宋之問

紺宇橫天室迴鑾指帝休曙陰迎日盡春氣抱巖流空樂繁行漏香煙薄綵旂玉膏從此泛仙馭接浮丘

## 登嵩山嶺應制

宋之問

翼翼高旌轉鏘鏘鳳輦飛塵銷清蹕路雲濕從臣衣白羽搖丹壑天營逼翠微芳聲耀千古四海警宸威

## 幸嶽寺應制

宋之問

蹕幸珠筵地俱憐石瀨清泛流張翠幕拂迴挂紅旌雅曲龍調管芳尊蟻泛[舟*光]陪歡玉座晚復得聽金聲

## 扈從登封告成頌

宋之問

複道開行殿鉤陳列禁兵和風吹鼓角佳氣動旗旌後騎迴天苑前山入御營萬方俱下拜相與樂昇平

## 緱山廟

宋之問

王子賓仙去飄颻笙鶴飛徒聞滄海變不見白雲歸天路何其遠人間此會稀空歌日云暮霜月漸微微

## 寄嵩陽隱者

李咸

昔年江上別初入亂離中我住匡山北君之少室東信來經險道詩半憶皇風何事猶高臥巖邊夢未通

## 永泰公主挽歌(二首)

吳兢(右庶子後為恒王傅)

穠華從婦道釐降適諸侯河漢天孫合瀟湘帝子遊關雎方作訓鳴鳳自相求可歎凌波迹東川遂不流

其二

舜華徂北渚宸思結南陽盭綬哀榮備遊軒寵悼彰三川謀遠日八水宅連岡無復秦樓上吹簫下鳳凰

## 陪張丞相登嵩陽樓

孟浩然(襄陽布衣)

獨步人何在嵩陽有故樓歲寒問耆舊行縣擁諸侯林莽北彌望沮漳東會流客中遇知己無復越鄉憂

## 汝墳寄盧徵君

孟浩然

行乏憩余駕依然見汝墳洛川方罷雪嵩嶂有殘雲曳曳半空裏溶溶五色分聊題一時興因寄盧徵君

## 遊精思題觀主山房

孟浩然

誤入花源裏初憐竹逕深方知仙子宅未有世人尋舞鶴過閒砌飛猿嘯密林漸通玄妙理深得坐忘心

## 遊精思觀迴王白雲在後

孟浩然

出谷未停午至家日已曛迴瞻山下路但見牛羊群樵子暗相失草蟲寒不聞衡門猶未掩佇立望夫君

## 口號贈盧徵君鴻

李白

陶令辭彭澤梁鴻入會稽我尋高士傳君與古人齊雲臥留丹壑天書降紫泥不知楊伯起早晚向關西

## 中峰居喜見苗發

祖詠(駕部員外郎)

自得中峰住深林亦閉關經秋無客到入夜有僧還暗澗泉聲小荒岡樹影閒高牕不可望星月滿空山

## 謁啟母祠

崔曙

閟宮凌紫微芳草閉閒扉帝子復何在王孫遊不歸春風鳴玉珮暮雨拂靈衣豈但湘江口能令懷二妃

## 緱山廟

崔曙

遺廟肅陰陰孤峰映綠林步隨仙路遠意入道門深澗水流年月山雲變古今祇聞風竹裏猶有鳳笙音

## 送盧逸人

李頎

洛陽為此別攜手更何時不復人間見祇應海上期清溪入雲木白首臥茅茨共惜盧敖去天邊望所思

## 歸嵩山作

王維

清川帶長薄車馬去閒閒流水如有意暮禽相與還荒城臨古渡落日滿秋山迢遞嵩山下歸來且閉關

## 過方尊師院

綦母潛(著作郎)

羽客北山尋草堂松徑深養神宗示法得道不知心洞戶逢雙履寥天有一琴更登玄圃上仍種杏成林

## 謁焦鍊師

王昌齡(龍標尉)

中峰青苔壁一點雲生時豈意石堂裏得逢焦鍊師爐香淨棐案松影閒瑤墀拜受長年藥翩翻西海期

## 登少室山寺

褚朝陽(大曆時人)

飛閣青雲裏先秋獨早凉天花映窻近月桂拂簷香華嶽三峰小黃河一帶長空聞指歸路煙處有垂楊

## 滻水東店送唐子歸嵩陽

岑參

野店臨官路重城壓御隄山開灞水北雨過杜陵西歸夢秋能作鄉書醉嫩題橋回忽不見征馬尚聞嘶

## 尋少室張山人聞與偃師周明府入都

岑參

中峰鍊金客昨日遊人間葉縣鳧共去葛陂龍蹔還春雲湊溱水秋雨懸空山寂寂青谿上空餘丹竈閒

## 送靈澈上人歸嵩陽蘭若

劉長卿

南地隨緣久東林幾歲空暮山門獨掩春草路難通作梵連松韻焚香入桂叢唯將舊瓶鉢卻寄白雲中

## 遊少林寺

戴叔倫(經略使)

步入招提路因之訪道林石龕蒼蘚積香徑白雲溪雙樹含秋色孤峰起夕陰屧廊行欲遍回首一長吟

## 宿靈巖寺

戴叔倫

馬疲盤道峻投宿入招提雨急山溪漲雲迷嶺樹低凉風來殿角赤日下天西偃腹虛簷外林空恣鳥啼

## 送李城門罷官歸嵩陽

權德輿

與君相識處吏隱在墻東啟閉千門靜逢迎兩掖通罷官多暇日肄業有儒風歸去塵寰外春山蘭桂叢

## 送盧處士歸嵩山別業

劉禹錫(禮部尚書)

世業嵩山隱雲淙無四隣藥爐燒姹女酒甕貯賢人晚日華陰霧秋風函谷塵送君從此去鈴閣少談賓

## 看嵩洛有嘆

白居易

今日看嵩洛回首嘆世間榮華急如水憂患大於山見苦方知樂經忙始愛閒未聞籠裏鳥飛出肯飛還

## 早春題少室東巖

白居易

三十六峰晴雪消嵐翠生月留三夜宿春引四山行遠草初含色寒禽未變聲東巖最高石唯我有題名

## 夜從法王寺下歸嶽寺

白居易

雙剎夾虛空緣雲一逕通似從忉利下如過劒門中燈火光初合笙歌曲未終可憐獅子坐昇出淨名翁

## 宿石窟寺

喻鳧

一剎古岡南孤鐘撼夕嵐客閒明月閣僧閉白雲菴野鶴立枯枏天龍吟淨潭因知無生理合自此中探

## 贈中嶽僧

方干(處士)

坐來叢木大誰見入巖年多病長留藥無憂亦是禪揸牀移片石舂粟引高泉盡願求心法逢誰擬即傳

## 送韓處士歸少室山

張喬(進士)

江外立千岑還歸少室吟地閒緱嶺月窻迴洛城砧石竇垂寒乳松枝長別琴他年瀑泉下亦擬置家林

## 寄中嶽顓頊先生

張喬

先生顓頊後得道自何人松柏卑于壽兒孫老卻身夜窻峰頂曙寒澗洞中春戀此逍遙境雲間不見親

## 題嵩陽隱者

崔塗(進士)

四十年高夢生涯指一丘無人同久住有鶴對冥修草雜芝田出泉和石髓流更嫌庭樹老疑是世間秋

## 題嵩高隱者居

鄭谷(都官郎中)

豈易訪仙蹤雲蘿千萬重他年來卜隱此境願相容亂木林中路淒山望裏鐘見君琴酒樂迴首興何慵

## 潁陽縣

韋莊

琴堂連少室故事即仙蹤樹老風聲壯山高臘候濃雪多庭有鹿縣僻地無鐘何處留詩客茅簷倚後峰

## 宿山寺

張蠙

中峰半夜起忽覺有青冥此界自生雨上方猶有星樓高鐘尚遠殿古像多靈好是潺湲水房房伴誦經

## 贈王道士

釋清塞

藥力資蒼鬢應非舊日身一為嵩嶽客幾[(殗-食+匕)/大]洛陽人冰縫瓢探水雲根斧斷薪關西往來熟誰得水銀銀

## 送賛律師歸嵩山

釋清江

禪客歸山意山深定易安清貧修道苦孝友別家難雲路尋溪轉花宮映嶽看到時松塔暮松月向人寒

# 七言律詩

## 遊石淙詩(並序)

武后

若夫圓嶠方壺涉滄波而靡際金臺玉闕陟玄圃而無階惟聞山海之經空覽神仙之記爰有石淙者即平樂澗也尔其近接嵩嶺俯屆箕峰瞻少室兮若蓮睇潁川兮如帶既而躡崎嶇之山徑蔭蒙密之藤蘿洶湧洪湍落虛潭而送響高低翠壁列幽澗而開筵密葉舒帷屏梅氛而蕩燠踈松引吹清麥候以含凉就林藪而王心神對煙霞而滌塵累森沈丘壑即是桃源淼漫平流還浮竹箭綱薛荔而成帳聳蓮石而如樓洞口全開溜千年之芳髓山腰半坼吐十里之香粳無煩崐閬之遊自然形勝之所當使人題綵翰各寫瓊篇庶無滯於幽栖冀不孤於泉石各題四韻咸賦七言　聖製

三山十洞光玄籙玉嶠金巒鎮紫微均露均霜標勝壤交風交雨列皇畿萬仞高巖藏日色千尋幽澗浴雲衣且駐歡筵賞仁智琱鞍薄晚雜塵飛

侍遊應制(碑刻每人名上有臣字名下有上字今削)

皇太子顯

三陽本自標靈紀二室由來獨擅名霞衣霞錦千般狀雲峰雲岫百重生水炫珠光遇泉客巖懸石鏡厭山精永願乾坤符睿算長居膝下屬歡情

太子左奉裕率兼檢校安北大都護相王旦

奇峰嶷嶙箕山北秀嵩岩嶢嵩鎮南地首地肺何曾擬天目天台倍覺憩樹影蒙籠鄣疊岫波聲洶湧落懸潭□願紫宸居得一永欣丹扆御通三

太子賓客上柱國梁王三思

此地巖壑數千重吾君駕鶴□乘龍掩映葉光含翡翠參差石影帶芙蓉白日將移衝疊巘玄雲欲度礙高峰對酒鳴琴追野趣時聞清吹入長松

內史狄仁傑

宸暉降望金輿轉仙路崢嶸碧洞幽羽仗遙迎鸞鶴駕帷宮直坐鳳麟洲飛泉灑液恒疑雨密樹含凉鎮似秋老臣預陪玄圃宴餘年方共赤松遊

奉宸令張易之

六龍驤首曉駸駸七聖陪軒集潁陰千丈松蘿交翠幕一丘山水當鳴琴青鳥白雲王母使垂藤斷葛野人心山中日暮幽巖下泠然香吹落花深

麟臺監中山縣開國男張□□(名剝落或昌宗也)

雲車遙裔三株樹帳殿交陰八桂蔂磴嶮泉聲疑度雨川平橋勢若晴虹叔夜彈琴歌白雪孫登長嘯韻清風即此陪歡遊閬苑無勞辛苦向崆峒

## 鸞臺侍郎李嶠

羽蓋龍旗下絕冥蘭除薜幄坐雲扃鳥和百籟疑調管花發千巖似畫屏金竈浮煙朝漠漠石牀寒水夜泠泠自然碧洞窺仙境何必丹丘是福庭

## 鳳閣侍郎蘇味道

琱輿藻衛擁千官仙洞靈谿訪九丹隱曖源花迷近路參差嶺竹掃危壇重崖對聳霞文駮瀑水交飛雨氣寒日落宸襟有餘興徘徊周曬駐歸鑾

## 夏官侍郎姚元崇

二室三塗光地險均霜揆日處天中石泉石境恒留月山鳥山花競逐風周王久謝瑤池賞漢主懸慙玉樹宮別有祥煙伴佳氣能隨輕輦共蒸蒸

## 給事中閻朝隱

金臺隱隱陵黃道玉輦亭亭下絳雰千種岡巒千種樹一重巖壑一重雲花落風吹紅的歷藤垂日晃綠葐葍五百里內賢人聚願陪閶闔侍天文

## 鳳閣舍人崔融

洞口仙巖類削成泉香石冷晝含清龍旗畫月中天下鳳管披雲此地迎樹作帷屏陽景翳芝如宮闕夏凉生今朝出豫臨玄圃明日陪遊向赤城

## 奉宸大夫汾陰縣開國男薛曜

玉洞幽尋更是天朱霞綠景鎮韶年飛花藉藉迷行路囀鳥遙遙作管絃霧隱長林成翠幄風吹細雨即紅泉此中碧酒恒參聖浪道崐山別

有仙

守給事中徐彥伯

碧淀紅涔嶨嶂閒淙嵌洑岨洊成灣琪樹琁娟花未落銀芝窟咤露初還八風行殿開仙牓七景飛輿下石關張蔦席雲平圃讌焜煌金記蘊名山

右玉鈐衛郎將左奉宸內供奉楊敬述

山中別有神仙地屈曲幽湥碧澗垂巖前蹔駐黃金輦席上還飛白玉巵遠近風泉俱合雜高低雲石共參差林壑偏能留睿賞長天莫遽下丹曦

司封員外于季子

九旗雲布臨嵩室萬騎星陳集潁川瑞液含滋登禹膳飛流薦響入虞絃山扉野逕朝花積帳殿帷宮夏葉連微臣獻壽迎千壽願奉堯年億萬年

通事舍人沈佺期

金輿旦下綠雲衢綵殿晴臨碧澗隅谿水泠泠雜行漏巖煙片片遶香罏仙人六膳調神鼎玉女三漿捧帝壺自昔汾陽紆道駕何如太室覽真圖

是碑刻于久視元年蕤賔之月薛曜奉敕書也在石淙北岸磨崖石為之下臨湥谿非架木為梁不可以讀世鮮有見者所傳僅沈佺期宋之問應制二篇而已今觀碑列十六人延清之名與其詩俱不載豈別有續遊耶抑此公中熱而擬作也按傳稱三陽宮御苑東西二十里削巒起觀竭流漲海池亭奇巧仰出雲路今尋一斷礎敗瓦了不可得獨此石以僻險完好無恙予棧觀良久因嘆武氏操粉奩而移國命此時年七十有六耄矣猶復作此清遊勝語文彩精神暎帶千古之下豈其人果由天縱耶惟是太子相王與三思鴈行在側而狄姚諸公亦與二三嬖幸之臣接席唱和不知當日母子君臣作何面孔相向真不滿弔古者一笑耳予故備錄如其式而梓之俾後世有所考焉更從正文十一字剥落闕四字

侍遊石淙應制

宋之問

離宮祕苑勝瀛洲別有仙人洞壑幽巖邊樹色含風冷石上泉聲帶雨秋鳥向歌筵來度曲雲依帳殿結為樓微臣昔忝方明御今日還陪八駿遊

過乘如師蕭居士嵩丘蘭若

王維

無著天親弟與兄嵩丘蘭若一峰晴食隨鳴磬巢烏下行踏空林落葉聲迸水定侵香案濕雨花應共石牀平深洞長松何所有儼然天竺古先生

送方尊師歸嵩山

王維

仙官欲往九龍潭旄節朱幡倚石龕山厭天中半天上洞穿江底出江南瀑布杉松常帶雨夕陽蒼翠忽成嵐借問迎來雙白鶴已曾衡嶽送蘇昧

送常十九歸嵩山故林

劉長卿

迢迢此恨杳無涯楚澤嵩丘萬里賒岐路別時驚一葉雲林歸處憶三花秋天蒼翠寒飛雁古堞蕭條晚噪鴉他日山中逢勝事桃源洞裏幾人家

題嵩陽焦道士石壁

錢起(考功郎中)

三峰花畔碧堂懸錦里真人此得仙玉醴纔飛西蜀雨霓裳欲向大羅天綵雲不散燒丹竈白鹿時藏種玉田幸入桃源因去世方期丹訣一延年

## 謁許由廟

錢起

故向箕山訪許由林泉物外自清幽松上挂瓢枝幾變石間洗耳水空流綠苔唯見遮三徑青史空傳謝九州緬想古人增嘆息颯然雲樹滿巖秋

## 酬暢當嵩山尋麻道士見寄

盧綸

聞逐樵夫閒看棋忽逢人世是秦時開雲種玉嫌山淺渡海傳書怪鶴遲陰洞石幢微有字古壇松樹半無枝煩君遠示青囊篆願得相從一問師

## 送澹公歸嵩山龍潭寺

楊巨源(河中少尹)

野煙秋水滄茫遠禪境真機去住閒雙樹為家思舊壑千花成塔禮寒山洞宮曾向龍邊宿雲徑應從鳥外還莫戀本師金谷地空門無處復無關

## 嵩陽觀夜奏霓裳

白居易

開元遺曲自凄凉況近秋天調是商愛者誰人唯白尹奏時何處在嵩陽迴臨山月聲彌怨散入松風韻更長子晉少姨聞定怪人間亦便有霓裳

## 與諸道者同遊二室至九龍潭作

白居易

喜逢二室遊仙子厭作三川守土臣舉手摩挲潭上石開襟抖擻府中塵他日終為獨往客今朝未是自由身若言尹是嵩山主三十六峰應笑人

## 從龍潭寺至少林題贈同遊者

白居易

山屐田衣六七賢搴芳踏翠弄潺湲九龍潭月落杯酒三品松風飄管絃強健且宜遊勝地清凉不覺過炎天始知鶴駕乘雲外別有逍遙地上仙

## 欲遊嵩嶽留別李少尹益

賈島(司倉參軍)

孤策遲迴洛水湄孤禽嘹唳幸人知嵩嶽望中常待我河梁欲上未題詩新秋愛月愁多雨古觀逢仙看盡棋微眇此來將敢問鳳凰何日定歸池

## 同徐處士秋懷少室舊居

周賀(處士)

曾居少室黃河畔秋夢長懸未得回扶病半年離水石思歸一夜隔風雷荒齋幾遇僧眠後晚菊頻經鹿踏來燈下此心誰共說傍松幽徑已多苔

## 送蕭處士歸緱山別業

許渾(節勝二州刺史)

醉敧烏帽髮如絲曾看仙人一局棋賓館有魚為客久鄉書無雁到家遲緱山住近吹笙廟湘水行逢鼓瑟祠今夜月明何處宿九疑雲盡綠參差

## 題潁源廟

韋莊

曾是巢由棲隱地百川唯說潁源清微波乍向雲根出去浪遙衝雪嶂橫萬木倚簷踈榦直群峰當戶曉嵐晴臨川試問堯年事猶被封人勸濯纓

## 看賀自真飛昇

陳陶(處士)

子晉鸞飛古洛川金桃再熟賀郎仙三清樂奏嵩丘下五色雲屯御苑前朱頂舞低迎絳節青鬟歌對駐香軿誰能白晝相悲哭太極光陰幾萬年

## 和趙嘏題嶽寺

溫庭筠(方山尉)

疎鐘細響亂鳴泉客省高臨似水天嵐翠暗來空覺潤澗茶餘爽不成眠越僧寒立孤燈外嶽月秋當萬木前張邴宦情何太薄遠公窻外有池蓮

## 寄嵩陽道人

曹鄴(洋州刺史)

三山浮海倚蓬瀛路入真元險盡平華表千年孤鶴語人間一夢晚蟬鳴將龍逐虎神初定積火焚心氣漸清見說嵩陽有仙客欲持金簡問長生

## 遊上方石窟寺

劉滄(龍門令)

苔徑縈迴景漸分翛然空界靜埃氛一聲疎磬過寒水半壁危樓隱白雲雪下石龕僧在定日西山木鳥成羣幾來吟嘯立朱檻風起天香處處聞

贈顓頊山人

劉滄

浩氣含真玉片輝著書精義入玄微洛陽紫陌幾曾醉少室白雲時一歸松雪月高唯鶴宿煙嵐秋霽到人稀知君濟世有長策莫問滄浪隱釣磯

龍泉寺絕頂

方干

未明先見海底日良久遠雞方報晨古樹含風常帶雨寒巖四月始知春中天氣爽星河近下界時豐雷雨均前後登臨思無盡年年改換往來人

龍潭張道者

伍喬

碧洞幽巖獨息心時人何路得相尋養生不說憑諸藥適意惟聞在一琴石逕掃稀山蘚合竹軒開晚野雲深他年功就期飛去應笑吾徒多苦吟

五言排律

和劉侍郎入隆唐觀

楊炯(盈川令)

福地陰陽合仙都日月開山川臨四險城樹隱三臺伏檻排雲出飛軒遶澗迴參差凌倒影瀟灑軼浮埃百果珠為實群峰錦作苔懸蘿暗疑霧瀑布響成雷方士燒丹液真人泛玉杯還如問桃水更似得蓬萊漢帝求仙日相如作賦才自然金石奏何必上天台

從駕幸少林寺覩先妃營建之所倍切梵衿逾悽遠慕聊題即事用述悲懷

武后

陪鑾遊禁苑侍賞出蘭闈雲偃攢峰蓋霞低插浪旂日宮疏澗戶月殿啟巖扉金輪轉金地香閣曳香衣鐸吟輕吹發幡搖薄霧霏昔遇焚芝火山紅迺野飛花臺無半影蓮塔有全輝寔賴能仁力攸資善逝威慈緣興福緒於此罄歸依風枝不可靜泣血竟何追

## 扈從登封告成頌應制

宋之問

御路迴中嶽天營接下都百靈無後至萬國競前驅文衛嚴清蹕幽仙讀寶符貝花明漢果芝草入堯厨濟濟衣冠會喧喧夷夏俱宗禋仰神理刊木望山途撫己貧非病時來本不愚願陪丹鳳輦率舞白雲衢

## 秋日於天中寺尋復禮上人

武三思(封梁王後伏誅)

妙域三時殿香巖七寶宮金繩先界道玉柄即談空喻筏知何極傳燈竟不窮彌天高義遠初地勝因通理詣歸一處心行不二中有無雙惑遣真俗兩緣同摘葉疑焚翠投花若散紅網珠遙暎日簷鐸近吟風定沼寒光素禪枝暝色蔥願隨方便力長冀釋塵籠

## 和武三思於天中寺尋復禮上人之作

蘇味道(眉州刺史)

藩戚三雍暇禪居二室隈忽聞從桂苑移步踐花臺敏學推多藝高譚屬辯才是非寧滯著空有掠嫌猜五術幽機暢三番妙鍵開味同甘露灑香似遡風來砌古留方石池清辨火灰人尋鶴洲返月逐虎谿迴企躅瞻飛蓋攀游想渡杯願陪為善樂從此去塵埃

## 登封禮畢洛城酺宴(奉和聖製)

張九齡(中書令左遷長史)

大君畢能事端宸樂成功運與千齡合歡將萬國同漢酺歌聖酒韶樂舞薰風河洛榮光遍雲煙喜氣通春華頓覺早天澤倍知崇草木皆沾被猶言不在躬

## 送漪叔遊潁川兼謁淮陽太守

李頎

罷吏今何適舜家方獨行嵩陽入歸夢潁水半前程聞道淮陽守東南臥理清郡齋觀政日人馬望鄉情疊嶺雪初霽寒砧霜後鳴臨川嗟拜手寂寞事躬耕

## 題石窟寺

宋昱(中書舍人)

梵宇開金地香龕鑿鐵圍影中群象動空裏眾靈飛簾牖籠朱旭房廊挹翠微瑞蓮生佛步寶樹挂天衣邀福功雖在興王代久非誰知雲朔外更覩化胡歸

## 寄張十二山人彪

杜甫(工部員外郎)

獨臥嵩陽下三違潁水春艱難隨老母慘澹向時人謝氏尋山屐陶公漉酒巾群兇彌宇宙此物在風塵歷下舜姜被關西得孟鄰早通交契密晚接道流新靜者心多妙先生藝絕倫草書何太古詩興不無神曹植休前輩張芝更後身數篇吟可老一字買堪貧將恐曾防寇深潛託所親寧聞倚門夕盡力潔餐晨踈嬾為名誤驅馳喪我真索居猶寂寞相遇益愁辛流轉依邊徼逢迎念席珍時來故舊少亂後別離頻世祖修高廟文公賞從臣商山猶入楚渭水不離秦存想青龍祕騎行白鹿馴耕巖非谷口結草即河濱肘後符應驗囊中藥未陳旅懷殊不愜良覿眇無因自古皆悲恨浮生有屈伸此邦今尚武何處且依仁鼓角凌天籟關山倚月輪官場羅鎮磧賊火近洮岷蕭瑟論兵地蒼茫鬬將辰大軍多處所餘孽尚紛綸高興知籠鳥斯文起獲麟窮秋正搖落回首望松筠

## 和鄭少府祭中嶽寺因訪蕭居士之作

皇甫冉(右補闕)

肅事祠靈境尋真到隱居夤緣幽谷遠蕭散白雲餘晚節持僧律他年著道書海邊曾狎鳥濠上正觀魚寂靜求無相淳和覩太初一峰綿歲月萬象任盈虛門掩林鐘度窻臨澗水疎謝公懷舊壑迴駕復何如

## 酬暢當尋嵩嶽麻道士見寄

盧綸

自別前峰隱同為外累侵幾年親酒會此日有僧尋學稼功還棄論邊事亦沈眾歡徒滿目專愛久離心覽鬢絲垂鏡彈琴淚灑襟訪田悲洛下寄宅憶山陰薄溜漫青石橫雲架碧林壞簷藤陣密衰菜棘籬淡流散俱多故憂傷併在吟唯當竢高躅歸止共抽簪

## 和太常王卿秋日即事

盧綸

嵩高雲日明潘岳賦初成籬槿花無色堦桐葉有聲絳紗垂簟淨白羽拂衣輕鴻鴈悲天遠龜魚覺水清別絃添楚思牧馬動邊情田雨農官閒林風苑吏驚松篁終茂盛蓬艾自衰榮遙仰憑軒夕惟應善宋生

## 題緱山王子晉廟

鄭畋(檢校司徒贈太傅)

在昔靈王子吹笙遡泬寥六宮攀不住三島去相招亡國原陵古賓天歲月遙無蹊窺海曲有廟訪山椒石帳龍蛇拱雲樓彩翠銷露壇粧琬琰真像寫松喬珠館青童宴琳宮阿母朝氣輿仙女侍天馬吏兵調湘妓紅絲瑟秦郎白管簫西城邀綽約南嶽命嬌嬈句曲觴金洞天台嘯石橋曉花珠弄蘂春茹玉生苗二景神光祕三元寶籙饒霧垂鴉翅髮冰束虎章腰鶴馭爭銜箭龍飛各獻綃衣從星渚浣丹就日宮燒物外花常滿人間葉自凋望臺悲漢戾閱水笑梁昭古殿香殘燼荒堦柳長條幾曾期七日無復降重霄嵩嶺絙天漢伊瀾入海潮何由得真訣使我珮環飄

## 贈蕭鍊師(并序)

許渾

鍊師貞元初自黎園進為內妓善舞柘枝宮中莫有倫比者寵錫甚厚及駕幸奉天以病不獲從遂失所止洎復宮闈上頗懷其藝求之浹日得于人間後聞神仙之事謂長生可致乞奉黃老上許之詔居嵩南洞清觀迨今八十餘矣雪膚花顏與昔無異則方龜鶴之壽安得不由所尚哉因賦是詩題于院壁

曾試昭陽曲瑤齋帝自臨紅珠絡繡帽翠鈿束羅襟雙闕朝塵起千門宿霧陰出宮迷國步回駕軫皇心桂殿春空晚椒居夜自深急宣求故劒冥契得遺簪暗記神仙傳潛封女史箴壺中知日永掌上畏年侵莫比班家扇寧同卓氏琴雲車辭鳳輦羽帔別鴛衾網斷魚游藻籠開鶴戲林洛煙浮碧漢嵩月上丹岑露草爭三秀風篁共八音吹笙延鶴舞敲磬引龍吟旄節纖腰舉霞杯皓腕斟還磨照寶鏡猶插辟寒金東海人情變南山聖壽沈朱顏常似渥綠髮已如尋養氣齊生死留形盡古今更求應不見雞犬日駸駸

## 緱山月夜聞王子晉吹笙

張仲素(中書舍人)

王子千年後笙音五夜聞逶迤遶清洛斷續下仙雲泄泄飄難定啾啾曲未分松風助幽律波月動輕文鳳管聽何遠鸞聲若在群暗空思羽蓋餘韻自氛氳

## 前題

厲玄(侍御史)

緱山明月夜岑寂隔塵氛紫府參差曲清宵次第聞韻流多入洞聲度半和雲拂竹鸞驚侶經松鶴舞群蟾光聽處合仙路望中分坐惜千巖曙遺音過汝墳

## 前題

鍾輅

月滿緱山夜風傳子晉笙初聞盈谷遠漸聽入雲清杳異人間曲遙分鶴上情孤鸞驚欲舞萬籟寂無聲此夕留煙駕何時返玉京唯愁音響絕曉色出都城

## 嵩山望幸

王邕

峻極位何崇方知造化功降靈逢聖主望幸表維嵩隱映連青壁嵯峨向碧空象車因叶瑞龍駕願升中萬歲聲長在千巖氣轉雄東都歌盛事西笑佇皇風

### 五言絕句

## 嵩山夜還

宋之問

家住嵩山下好采舊山薇自省遊泉石何曾不夜歸

## 荅田徵君

宋之問

出遊杳何處遲回伊洛間歸寢忽成夢宛在嵩丘山

## 題田洗馬遊巖桔槔

陳子昂

望遠長為客商山遂不歸誰憐北陵井未息漢陰機

## 寄王長史

祖詠

汝潁俱宿好往來託層巒終日何寂寞遶籬生蕙蘭

贈柳喜自號嵩山老

釋皎然

一見嵩山老吾生恨太遲問君年幾許曾出上皇時

七言絕句

嵩山尋馮鍊師不遇

崔曙

青谿訪道凌煙曙王子仙成已飛去更值空山雷雨時雲林薄暮歸何處

少室韋鍊師昇仙歌

皇甫冉

紅霞紫氣晝氤氳絳節青幢迎少君忽從林下昇天去空使時人禮白雲

嵩嶺四望

武元衡(平章事封臨淮郡公)

漢家仙仗在咸陽洛水東流出建章野老至今猶望幸離宮秋樹獨蒼蒼

寄李渤

張籍(主客郎中)

五渡溪頭躑躅紅嵩陽寺裏講時鐘春山處處行應好一月看花到幾峰

山中五絕

白居易

遊嵩陽見五物各有所感感興不同隨興而吟因成五絕

嶺上雲

嶺上白雲朝未散田中青麥旱將枯自生自威成何事能逐東風作雨無

石上苔

漠漠斑斑石上苔幽芳靜綠絕纖埃路傍凡草榮遭遇曾得七香車碾來

林下樗

香檀文桂苦雕鐫生理何曾得自全知我無材老樗否一枝不損盡天年

澗中魚

海水桑田欲變時風濤翻覆沸天池鯨吞蛟鬬波成血滾澗游魚樂不知

洞中蝙蝠

千年鼠化白蝙蝠黑洞深藏避網羅遠害全身誠得計一生幽暗又何如

王子晉廟

白居易

子晉廟前山月明人聞往往夜吹笙鸞吟鳳唱聽無拍多似霓裳散序聲

送嵩客

白居易

登山臨水分無期泉石煙霞今屬誰君到嵩陽吟此句與交三十六峰知

## 送友人遊嵩山

陳羽

嵩山歸路繞天壇雲影松聲滿谷寒君見九龍潭上月莫辭清夜訪袁安

## 嵩陽客舍月夜憶清上人

徐凝(金部侍郎)

獨夜嵩陽憶上仙月明三十六峰前瑤池月勝嵩陽月人在玉清眠不眠

## 緱山廟

許渾

王子求仙月滿臺玉笙清轉鶴徘徊曲終飛去不知處山下碧桃春自開

## 前題

鄭仲賢

秋風寂寞秋雲輕緱氏山頭月正明帝子西飛仙馭遠不知何處夜吹笙

## 箕山

胡曾

寂寂箕山春復秋更無人到此溪頭棄瓢碞畔中宵月千古空聞屬許由

**題中峰**

費冠卿

中峰高拄泬寥天上有茅菴與石泉晴景獵人曾望見青藍色裏一僧禪

門人(焦弘祚　陳懋齡)校字

嵩書卷之十三終

嵩書卷之十四

## 韻始篇三

### 宋

#### 五言古詩

### 河陽秋夕夢與永叔遊嵩避雨于峻極院賦詩及覺猶能憶記俄而僕夫自洛來云永叔諸君陪希深祠岳因足成短韻

梅堯臣(都官員外郎)

夕寢北窻下青山夢與尋相歡不異昔勝事卻疑今風雨幽林靜雲煙古寺深(此二句夢中得)攬衣方有感還喜問來音

### 希深惠書言與師魯永叔子聰幾道遊嵩因誦而韻之

梅堯臣

聞君奉宸詔瑞祝趨靈岫山水聊得遊志願庶可就豈無朋從俱況此二三秀方辭建春陌十刻殘晝漏初經緱氏嶺古栢尚鬱茂卻過轘轅關巨石相撐門夕齋禮神祠法衮被藻繡畢事登山椒常服更短後從者十數人輕齎不為陋是時天清陰力氣勇奔驟雲巖香虧蔽花草藏澗竇傍林有珍禽驚聒若避彀磐石暫憩休泓泉助吞漱上窺玉女窻嶄絕非可構下玩搗衣磴焜燿金紋透尹子體雄矯攀緣逾習狃歐陽稱壯齡疲軟屢顛踣競歡相扶持芒屩資踐蹂八仙存故壇三醉孰云謬鄙哉封祀碑數子昔鐫鏤偶誌一時事曷虞來者詬絕頂瞰諸峰隘然輕宇宙遙思謝塵煩欲知羣鳥獸韓公傳石室聞之固已舊當時興稍衰不暇苦尋究東崖亂壑中釋子持經咒于今二十年飲食同猿狖君子聆法音充爾溢膚腠嘗期躡屐過吾儕色先愀遂乖真諦言茲亦甘自咎中頂會幾望涼蟾皓如晝紛紛坐談謔草草具觴豆清露濕巾裳誰人苦羸瘦便即忘形骸胡為戀纓綬或疑桂宮近斯語豈在脊歸來遊少室嵷崒殊引脰石堂迢遞過探訪仍邂逅捫蘿上岑邃仙屋何廣衮乳水出其間涓涓自成溜凡骨此薰蒸靈真安可覿霞壁幾千尋四字侔篆籀咸意苔蘚文誠為造化授標之神清洞民俗未嘗遘忽覺風雨冥無能久瞻扣忽忽遂宵征勝

事皆可復俚歌縱喧譁怪說多駮糅凌晨關塞陽追賞顏匪厚窮極四百里寧憚疲左右昨朝書報予聞甚醉醇酹所嗟遊遠方心焉倍如疚

## 天封觀

梅堯臣

車馬雲外來衣沾半山雨弭節扣真居捫蘿笑塵矩迴溪響石松靈茹抽巖塢玉檻刻年華應無媿前古

## 啟母石

梅堯臣

曠哉嵩室陽神怪所棲宅蒼石不知年靈熊去無迹煙巖想桂宮苔壁疑椒掖不學舜娥悲瀟湘竹枝碧

## 少姨廟

梅堯臣

雲祠古殿深少室群峰碧行雨欲隨車望巖非化石常聞蘭氣蒸誰奠椒香液寄謝洛川妃凌波定何益

## 轘轅道

梅堯臣

險絕稱漢關晨躋瞻二室盤紆石路回迤邐雲峰出古壁挂青蒼天風起蕭颼洛城西首時望望平煙密

## 公路澗(此下十二題范歐二公俱有作)

梅堯臣

我來袁公溪斷岸猶殘壘僵柳遠臨灣新蒲初出水行行古臺近兩兩驚禽起雞犬何處聞人家深塢裏

## 拜馬澗

梅堯臣

王子昔凌霓國人茲拜馬依稀月夜笙聲入寒泉瀉空傳七日期飛鶴何時下

## 二室道

梅堯臣

度嶺失群山千峰出天際方欣左右看屢改縈迴勢勝事與誰同芬然有蘭蕙

## 自峻極中院步登太室中峰

梅堯臣

稅駕綠巖前攀蘿不知倦人從樹杪來路向雲端轉忽覺在煙霞回看峰嶺變

## 玉女窻

梅堯臣

玉洞倚雲壁大窻露微明驂鸞去不返啼鳥空相驚萬木自虧蔽捫蘿空復情

## 玉女搗衣石

梅堯臣

有石稱搗衣搗衣人不見雲纓白飄颻巖樹長蔥蒨猶應寒夜中山月來鋪練

## 天門

梅堯臣

古壁何蒼蒼穿雲玉梯出欻然起青冥卻立觀少室前嵓復後峰陰晴狀非一

## 天門泉

梅堯臣

泠泠雲外泉的的巖光入靜若仙鑑開寒疑玉龍蟄時應下鹿群印跡青苔濕

## 天池

梅堯臣

安知最高頂清淺水池開有時片雲出倏忽生風雷誰羨雙黃鵠刷羽來徘徊

## 三醉石

梅堯臣

相期物外遊共醉仙臺石舉手薄高穹清風生羽翼都忘塵世煩笑傲聊為適

## 登太室中峰

梅堯臣

日夕望蒼崖嶄嶄在天外及來步其巔下見河如帶半壁雲霧昏山根已滂沛

## 峻極寺

梅堯臣

山高路已窮倏爾逢蘭若落日老僧閒支頤古松下緩步入禪庭蒼苔但瀟灑

## 公路澗

范仲淹(參知政事謚文正)

嵩山發靈源北望洛陽注清流引河漢白氣橫雲霧英雄昔此地百萬曾相拒近代無戰爭常人自來去

## 拜馬澗

范仲淹

傳聞王子仙澗邊遺逸驥當時青雲路雞犬亦可致未必真龍媒悠然在平地

## 二室道

范仲淹

太室何森聳少室欲飛動相對起雲霞恍如遊仙夢何以寵此行行歌降神頌

## 自峻極中院步登太室中峰

范仲淹

白雲隨人來翩翩疾如馬洪崖與浮丘襟袂安足把不來峻極遊何能小天下

## 玉女窻

范仲淹

窈窕玉女窻想像玉女粧皎皎月為鑑飄飄霓作裳莫學陽臺夢無端惑楚王

## 玉女搗衣石

范仲淹

但見巖前砧誰聞月下杵金文與鐵色璨璨知千古試問搗衣仙何如補天女

## 天門

范仲淹

天遊絕境遊熙然揖灝氣下顧莽蒼間雲雷走平地天威不遠人孰起欺天意

## 天門泉

范仲淹

天門有靈泉塵埃未嘗至日月自高照雲霞亦輝媚惟抱夷齊心飲之可無媿

## 天池

范仲淹

嶽頂見仙池神異安可度勿謂無波濤雲雷有時惡乘此澄清間吾纓亦可濯

## 三醉石

范仲淹

巍巍八仙壇上有三醉石憐此高陽徒如樂華胥域憔悴澤邊人獨醒良可惜

## 登太室中峰

范仲淹

嵩山最高處逸客徧登臨回看日月影正得天地心念此非常遊千載一披襟

## 峻極寺

范仲淹

徘徊峻極寺清意滿煙霞好風從天來吹落桂樹花高高人物外猶屬梵王家

## 公路澗

歐陽修(太子少保謚文忠)

驅馬渡寒流斷澗橫荒堡槎危欲敧岸花落多依草擊波翫游儵倒影看飛鳥留連愛芳杜漸下四峰照

## 拜馬澗

歐陽修

昔聞王子晉把袂浮丘仙金駿于此墮吹笙不復還玉蹄無跡久澗草但荒煙

## 二室道

歐陽修

二室對岧嶤群峰聳嵷直雲隨高下起路轉參差碧春曉桂叢滶日下山煙白芝英已可茹悠然想泉石

## 自峻極中院步登太室中峰

歐陽修

繫馬青松陰躡屐蒼崖路驚鳥動林花空山荅人語雲霞不可攬直入冥冥霧

## 玉女窻

歐陽修

玉女不可邀蒼崖鬱岩直石乳滴空竇仰見泬寥碧徙倚難久留桂樹含春色

## 玉女搗衣石

歐陽修

玉女搗仙衣夜下青松嶺山深風露寒月杵遙相應靈蹤杳何尋片石秋光瑩

## 天門

歐陽修

石徑方盤紆雙峰忽中斷呀豁青冥間畜泄煙雲亂杉蘿試舉手自可階天漢

## 天門泉

歐陽修

煙霞天門深靈泉吐巖側雲濕顥氣寒石老林腹碧長松暫休坐一酌煩心滌

## 天池

歐陽修

高步登天池靈源湛然吐俯窺不可見淵默神龍護靜夜天籟寒宿客疑風雨

## 三醉石

歐陽修

拂石登古壇曠懷聊共醉雲霞半酣樂忽在千峰外坐久還自醒日落松聲起

## 登太室中峰

歐陽修

望望不可到行行何屈盤一逕林杪出千巖雲下看煙嵐半明滅落照在峰端

## 峻極寺

歐陽修

路入石門見蒼蒼澗靄間雲生石砌潤木老天風寒客來依晚照徙倚聽山蟬

## 箕山

歐陽修

朝下黃蘆坂夕望箕山雲緬懷巢上客想彼巖中人弱歲慕高節壯年嬰世紛漱流羨潁水振衣嗟洛塵空祠亂驚鳥山木含餘曛聊茲謝芝桂歸月及新春

## 潁大夫廟

蘇軾(團練副使贈太師謚文忠)

人情難強回天性可微感世人爭曲直苦語費搖撼大夫言何柔暴主意自慙荒祠傍孤[塚-豕+(一/豕)]古隧有殘坎千年惟茅焦世亦貴其膽不解此微言脫衣徒勇敢

## 登封縣宇觀少室

邵雍(處士謚康節先生)

天地始融結此山已高極群峰擁旌幢巨石羅劒戟日出崖先紅雨餘嵐更碧安知無神仙其間久邈跡

### 七言古詩

## 贈許道人

歐陽修

洛城三月亂鶯飛潁陽山中花發時往來車馬遊山客貪看山花踏山石紫雲仙洞鎖雲深洞中有人人不識飄飄許子旌陽後道骨仙風本仙胄 多年洗耳避世喧獨臥山巖聽山溜至人無心不算心無心自得無窮壽忽來顧我何殷勤笑我白髮老紅塵子歸為築舊前室待我明年乞得身

## 送龍茶與許道人

歐陽修

潁陽道士青霞客來似浮雲去無蹟夜朝北斗太虛壇不道姓名人不識我有龍團古蒼壁九龍泉深一百尺憑君汲井試烹之不是人間香味色

## 戲石堂山隱者

歐陽修

石堂仙室紫雲深潁陽真人此算心真人一去升寥廓歲歲巖花自開落我昔曾為洛陽客偶向巖前坐盤石四字丹書萬仞崖神清之洞鎖樓臺雲深路絕無人到鸞鶴今應待我來

### 五言律詩

石淙

王贊(三司副使知揚州)

磴道山巖下茅楹竹樹中深潭魚可見攢石路纔通坐聽潺湲碧縣思爛漫紅平生丘壑志覽此興何窮

寄嵩嶽吉上人

李若谷(太子少傅謚康靖)

結菴嵩少深高道恐難倫苦海好求寶天花莫著身一心俱已了五字更應新誰謂孤雲跡名曾達紫宸

天后三陽故宮石淙懷古

張仲武(西京轉運使)

二室盤遊日三陽宴喜心分流來萬壑巨石擬千岑玉殿煙蕪在金碑雨蘚侵翠華何處問山水自清音

緱氏縣二首

歐陽修

亭後徹郊畿人家嶺坂西青山臨古縣綠竹遶寒溪道上行[(冰-水+丨)*夕]穗桑間晚溉畦東皋有深趣便擬卜幽棲

其二

秋色滿郊原人行禾黍間雉飛橫斷澗燒響入空山野水蒼煙起平林夕鳥還嵩嵐久不見寒碧更孱顏

過少林輒書四韻兼貽慶長老

王彥輔(承議郎)

夫人千嵎碧林[(冰-水+丨)*夕]萬古春靜中深有境嶮外絕無鄰宦牒嬰行色禪關脫世塵安心無覓處斷背為何人

## 七言律詩

### 呈大德禪師(有序)

尹輔(大理司直守登封令)

大德偃臥林泉罔求聞達蓋以道行久著聲華自高故得丹詔遠臨紫衣就降信有光于法侶足以榮彼僧門輔方捐道風備嘗真味喜觀殊命形諸詠言謹錄咨呈幸希采覽

支遁行藏惠遠才幾年嵩少避浮埃八行丹詔雲間落一對紫衣天上來誦律夜窻寒月皎閉門秋渚白蓮開名高自達君王聽就降殊恩不假媒

### 宿少林寺

文彥博(太師潞國公謚忠烈)

六六仙峰繞佛居俗塵至此暫銷除西來未悟禪師意北去還馳使者車(予方受命移守北都)五品封槐今尚在九年面壁昔何如心知一宿猶難覺花藏重尋貝葉書

### 登嵩頂

邵雍

九州環遶若棋枰萬歲峰高看太平四海有人能統御中原何復有交爭長憂眼見姦雄輩但願身為堯舜氓五十三年蕪沒事如今方許看春耕

### 和登封裴寺丞翰見寄

邵雍

陋巷簞瓢世所傳予何人斯恥蕭然既知富貴須由命難把升沈更問天靜默有功成野性騫驤無路學時賢紛華出入金門者應笑溪翁治石田

## 依韻謝登封劉李裴三君見約遊山

邵雍

諸公見約往嵩前重走新詩各一篇擺落塵埃非敢後訪尋雲水奈輸先三陽宮近叢幽石萬歲峰高幕紫煙多少勝遊俱未到願陪仙躅共攀緣

### 五言絕句

## 閒適吟

邵雍

春看洛城花秋翫天津月夏披嵩岑風冬賞龍山雪

### 七言絕句

## 遊嵩山

程頤(崇政殿說書謚正公)

鞭羸百里遠來遊數日陰雲暝不[(冰-水+丨)*夂]遮斷好山教不去如何天意異人謀

## 山中寄登封令

邵雍

初離縣日謀經宿既到山中未忍迴公宇若無民事決願攜茶器上山來

## 和人留題張相公菴

邵雍

做了三公更引年人間福德合居先結茅未盡忩君處正在嵩高萬歲前

## 和任司封見寄

邵雍

辭麾來此住雲霄聞健登臨肯憚勞紫陌事多都不見家山圍遶是嵩高

## 嵩山二十四詠(并序)

樓异(登封令)

僕性嗜山水幾成癖所至雖假館僦舍莫不聚拳石環斗池終日玩觀殆忩寢食一旦來令嵩陽正在清泉白石窟中始至以邑事未果後數月稍稍偷息令則訟庭囹戶幾可羅雀乃芟廢圃鑿芙蓉菡萏二池取餘土築臺高可丈許名之揖仙北面嵩嶽西顧少室南望許由自餘諸峰環擁軒檻於是居高遠眺盡山川之形勢暇日既作三十六峰賦以自廣然僕舊聞嵩山二十四峰圖經傳記所不載求之土人亦莫知也一日觀明太師李得柔勝之自京師來訪乃得其名出道藏吳天師靈跡記歷東而西一一可指遂命畫史圖諸峰于仰嵩堂以證其名以永其名僕謂勝之曰二十四峰之名堙沒久矣今自吾二人者發之不可無述也乃作嵩山二十四詠並命勝之作焉

### 青童峰

斬新高髻掠雲開翠色羅衣一樣裁知有真仙此中住故令天女捧書來

### 黃蓋峰

一片黃雲駐不飛中天帝子欲何知不須更問玉人事自有嵩高峻極詩

### 浮丘峰

誰知方丈與瀛洲塵世紛紛漫白頭不到嵩山最高處世人容易揖浮丘

三鶴峰

昔有仙翁住此間煉成青髮與朱顏一朝跨鶴參天去澗草嵓花豈復攀

遇聖峰

漢家天子學神仙曾遇真人耳過肩不待菖蒲長黑髮須知逸樂自延年

萬歲峰

仙仗西來感百神泥金檢玉尚清新山靈知是真天子萬歲聲中第一人

玉鏡峰

皎皎冰盤瑩百圍廣寒宮殿見依稀春山萬疊渾如洗浮翠光中一鏡飛

獅子峰

蒼苔藤蔓飾鬚眉獅子標形是與非果解嘶呻作哮吼窟中狐兔定魂飛

虎頭峰

萬里封侯相不如道人曾此獲陰符軒牙露舌驚樵采猛士還當捋爾鬚

起雲峰

觸石孤飛一葉蓬雷公電母晝鞭龍但知四海為霖雨不道中天第幾峰

## 鳳凰峰

當年翔鳳此徘徊曾為真人覽德來今日飛鳴天外過紛紛燕雀不須猜

## 金壺峰

相見金壺寫墨河皂林餘潤鬱嵯峨伯陽當日傳經後肯向山陰與換鵝

## 華蓋峰

華蓋峰高未易窮捫參歷井到天中回頭卻顧人間世但見群青似小童

## 玄龜峰

玄武名峰古所傳晨昏吐氣作雲煙雖無鑽灼刳腸患歲晚風霜亦可憐

## 臥龍峰

頭角低回蘚蔓封蜿蜒端似臥真龍旱乾歲禱多靈應時見油雲出此峰

## 會仙峰

鶴乘雲軿下九天玉盤星子竟誰先想應漢武題花品留作人間聚八仙

## 子晉峰

當年曾悟鏡中形道骨仙風擬紫冥二十四峰明月夜玉笙須向揖仙聽

## 玉柱峰

丹楹未羡人間侈玉柱一峰天外高自古大材須大用扶持廣廈豈辭勞

### 老翁峰

翳霧埋雲皓首翁難將書傳考前蹤商山羽翼朝家後化作中天一石峰

### 玉人峰

漢武求仙未得仙玉人何事落巖前故知帝主乘雲下神蓋峰頭啟洞天

### 玉女峰

玉仙曾此駐雲車日薄窻紗映雪膚七字天書人不辨定知玄女手中符

### 獨秀峰(或云金匱峯)

孕玉懷金不待媒蓊然佳氣罩崔嵬天教秀拔諸峰上未信狂颱解折摧

### 積翠峰

翠幄籠雲自一家蘿梯夜碾七香車舉頭雨過餘霞散綠芰池開菡萏花

### 太白峰

仰攀日月風雲近俯瞰岡巒培塿低絕頂光芒長不斷人言太白此中棲

宋四明樓异建中靖國初令登封志稱其有惠政而不詳其狀今觀其詩若賦固非俗吏輩也惟是按籍求所謂芙蓉菡萏二池及揖仙臺仰嵩堂盡皆化為烏有矣至序引李得柔勝之想亦韻人而其詩復久逸不可見五百餘年予為樓君之新令尹神交精合若將寤寐遇之所可彷彿遺躅百一者僅此殘碑斷簡耳千古風流不絕如綫後之視今亦猶今之視昔也可勝歎哉可勝歎哉

## 潁考叔

王十朋(太子詹事謚文忠)

衣冠肉食謾紛紛誰解杯羹感悟君潁谷封人雖賤士卻能純孝至今聞

外方長曰宋都汴以洛為西京嵩介乎其間崇福宮祠在此山下計當時搢紳軒車至止者接踵矣而題詠不少概見何哉予披舊簡尋遺碣稍汰其不雅馴者得若干篇止耳中有不能盡汰者詩以人重故也噫安得盡搜一代之全集而進退之哉

### 金

#### 四言古詩

## 李道人嵩陽歸隱圖

麻九疇(應奉翰林文字)

城郭維崇井里維通冠蓋維錯紈綺維蔟云誰之子招子歸嵩　舍我箏筑樂彼潺淙食彼瓦缶遺我鼎鐘云誰之子繪子歸嵩　離人友鹿避俗朋松石嚙我足泉癭我嚨吾恐時人笑子歸嵩　有山有恆有水有龍盜出寇沒嘯兕咻能吾恐狂人誰子歸嵩　子謂我言決意歸嵩歸嵩何如如鴻避弋如鶴脫籠與幻俱化與化俱融是以歸嵩　南山重重翠如植葱北山隆隆紺如堆銅仰嵩俛嵩雨濯雲烘嵩之為我我之為嵩　我聞子言衣如張風心先去鳥層雲盪胸靜言思之富為目蒿貴為心蓬飾說于令詎知任公歸嵩良是生龜脫筒子不歸嵩送子歸嵩

#### 五言古詩

## 宿少林寺

趙元(武勝軍節度使)

雙輪走雞棲下嶺分間道行行得精舍翠崦作迴抱諸峰知客來故故顏色好征衫滿塵土慙媿方丈老殷勤一瓣香為我除熱惱世緣如落花籬裯跡俱掃箇中有佳處行腳恨不早一菴祖師傍異日親結草

## 會善寺恠松

馮[辟/王](同知集慶軍節度使)

嵩高地氣靈花木競妍秀玉峰西南趾有松獨恠陋偃蹇如蟠螭奮迅如攫獸葉勁鬚髯張皮古鱗甲皺菌蠢藤癭怒支離笴節瘦月上虬影搖風度雨聲驟子落慰枯禪枝樛礙飛鼬盤根萬乘器平蓋千歲壽樵斤幸免尋廈匠矧肯構龍化會有時天旱期汝救

## 雨後看竝玉所控諸峰

馮[辟/王]

竝玉如高人壁立九千仞一日不見之令人生鄙吝春溪木葉敷秀色益濡潤結茅寄僧藍晴碧時相趁老宿詫孫峰隅侍到齠齔連延青一色枚數須諦認溟濛空翠間我亦疑未信朝來雲氣昏埋沒瑜匿瑾如蒼梧政愁湘妃鬱思舜重陰俄解駮霾澀夕暉襯娟娟忽層出歷歷分遠近雲峰互吞吐千狀纔一瞬出奇如孫吳相降如廉藺如眾星拱辰如侯伯入覲接武如朋簪承迎如价儐負固如吳楚爭長如齊晉恠詭如夷蠻駢羅貢琛贐窘蹙如擒獲係纍將就釁如應龍神靈蟄臥時奮迅如天駟超軼坰牧稅羈靮如雄對改容失筋駭疾震如猛士無譁攢槊俟嚴陣獨兩峰巍然魁傑儼崇峻光輔岳柱天鬱為中興鎮降生申與甫周室僨復振詩傳配崧高百世磨不磷

## 玉華山同元好問裕之

雷淵(翰林修撰)

洗耳潁川水療饑西山薇山川得佳客草木生光輝末路風教薄此道日已微相期千載事非君誰與歸

## 九日登少室絕頂同裕之

雷淵

閒居愛重九佳人重相過登高酬節物少室鬱嵯峨迤邐謝塵土夷猶出煙蘿欻如據鰲頭萬壑俯蜂窩浩浩跨積風瀰瀰渺長河日車炅紅

輪天宇凝蒼波指點數齊州如覺氛埃多我無倚天劒有淚空滂沱驚鱗盼奥渚倦翼占危柯悔不與家來結茅老巖阿歸途睠老阮廣武意如何

## 會善寺恆松

雷淵

物生自有常恆特物之病嗟嗟此老蒼恆恆生魁柄侏儒蹙髀股宿瘤擁腮頸蜿蜒蛟龍戲騰擲貙虎競鬚髯喜張磔意氣怒狂迸匠石求棟楹節目足譏評芻蕘急薪槱堅悍空盼瞪靜言觀倚伏未易相弔慶雖違時世用顧免斤斧橫陽秋莫榮悴歲月何究竟盤盤曲則全挺挺獨也正小草悞掃迹伏神還守性儻隨天中景廣宇共庥映

## 箕山

元好問(左司員外郎)

幽林轉陰崖鳥道人跡絕許君棲隱地唯有太古雪人間黃屋貴物外祇自潔尚厭一瓢喧重負寧所屑降衷均義稟泊利忘智决得隴又望蜀有齊安用薛干戈幾蠻觸宇宙日流血魯連蹈東海夷齊采薇蕨至今陽城山衡華兩丘垤古人不可作百念肝肺熱浩歌北風前悠悠送孤月

## 同雷淵希顏再登箕山

元好問

千年箕山祠蘿徑淙以悄桂樹不復見禿蔌餘秋篠盤盤盡絕頂石冢平木杪長風萬里來筋骸覺輕矯側身望巖竇解衣憩林表是時夏春交野色亂青縹川光乍明滅地脉互縈繞岡巒蟻垤出井邑蜂衙擾紅塵洛陽昏白雲太行曉玄功信冥漠一覽疑可了悟彼東山人胸中魯宜小

## 少林

元好問

雲林入清淡禪房坐蕭爽澄泉潔餘習高鳥喚長往我無玄豹姿漫有紫霞想迴首山中雲靈芝日應長

## 純孝伯廟

元好問

洩洩潁谷雲瀜瀜潁川水封君去我久水雲自清美人言君善諫微意得鄭子特于悔悟時一語發天理大孝勒金石土苴及頑鄙反身而未誠善諫且敗矣如何千載下乃與茅焦比我行潁水邊永念負甘旨 願作鯉與魴因之日千里

## 緱山置酒

元好問

靈宮肅清曉細柏含古春人言王子喬鶴馭此日賓白雲山蒼蒼平田木欣欣登高覽二化浩蕩融心神西望洛陽城大路通平津行人細如蟻擾擾爭紅塵蓬萊風島涘鬢毛日夜新殷勤一杯酒媿爾雲間人

## 七言古詩

## 題元裕之家山圖

趙元

繫舟盤盤連石嶺牧馬澄澄倒山影山光水氣相混涵中有元家舊盧井鴈門一開豺虎塲駕言投迹嵩之陽青山偃蹇不可將十年竟墮兵塵黃東巖風物知猶在說與寄菴神已會一揮淡墨能似之清輝遠寄形骸外元家故山吾與鄰夢見不如圖畫真舊曾行處聊經眼未得歸時亦可人

## 愛詩李道人若愚嵩陽歸隱圖

雷淵

我家崧前凡再期詩僧騷客相追隨春葩繽紛香澗谷夏泉噴薄清心脾霜林置酒曳錦障雪嶺探梅登玉螭重陽夜宿太平頂天雞夜半鳴喔咿整冠東望見日出金輪湧海光陸離神州赤縣入指顧風埃未靖空歔欷窮探極覽不知老泉石佳處多留題簡書驅出踏朝市期會迫窄愁

鞭笞襟懷塵土少清夢齒頰棘荊真白癡叩門剝啄者誰道人面有熊豹姿披圖二室忽當眼貫咏編貝多文辭我離山久詩筆退摹寫豈復能清奇再三要索不忍拒依依但記經行時道人愛山復愛詩嗜好成癖未易醫山中詩友莫相厭遠勝薰酣聲利兒

## 嵩山恆松謠

李純甫(京兆府判官)

阿誰栽汝來幾時輪囷擁腫蒼虬姿鱗皴百恆雄牙髭拏空夭矯蟠枯枝疑是祕魔巖中老慵物旱火燒天鞭不出睡中失卻照海珠羞入黃泉蛻其骨石鉗沙錮汗且僵埋頭臥角政摧藏試與摩娑定何似怒我棖觸鬚髯張壯士囚縛不得住神物世間無著處隄防夜半雷破山尾血淋漓飛卻去

## 送郝講師住崇福宮

元好問

大方之家幾知津郝君七十老斲輪書文五車喙三尺劇談混沌今猶神太玄博士為絕倒君言誇矣天公嗔長安冠蓋羅青雲洛陽車馬爭紅塵恆君掉頭不肯住寂寞來作由東鄰崧高維嶽古所秩三十六帝有外臣玄都石壇待颺馭宮殿突兀松輪囷上界僊人鄧雲山洞天治所名司真蓬萊方丈去不遠明星玉女時相親瑤華可擷蘭可紉煙霞永隔塵中人黃鵠一去不復還長驅萬里誰能馴為我殷勤謝鄧君玉華歲晚當平分

## 雪中自洛陽還嵩山

元好問

道人薄有塵外緣迫入塵埃私自憐三十六峰一茅屋夢入西家掠社錢津津喜色見眉宇峩峩青城當眼前蹇驢逕入風煙去恰是梅花欲雪天

## 嵩山玉鏡

元好問

玉鏡見何許今旦東山陲積雨洗昏霾旭日發光輝光輝奪人目灩灩如動移初如秋月圓漸如曙星微曙星不能久併與晨露晞此鏡從何來造化祕莫窺山精或寶氣恍惚令人疑誰為問岳祇山川英秀會有歸不能生申與甫瑞王國萬丈光芒徒爾為

## 五言律詩

### 留題崇福宮

趙秉文(上護軍天水郡侯)

山面削瓜碧宮墻鋪粉光晴嵐天自雨夏竇冷噴霜勝地松杉古仙家芝朮香東鄰與西舍欠我一茅堂

### 太室同希顏賦

元好問

壯矣崧維嶽盤盤上窈冥中天瞻巨鎮元氣有遺形雨入秦川黑雲開楚岫青鰲掀一柱在萬古壓坤靈

### 少室南原

元好問

地僻人煙斷山深鳥語譁清溪鳴石齒暖日長藤芽緣映高低樹紅迷遠近花林間見雞犬直擬是仙家

### 少林雨中

元好問

西堂三日雨氣節變蕭森偃臥復敲臥長吟時短吟鐘魚四山靜松竹一燈深重羨禪棲客都無塵慮侵

## 送母受益自潞府歸嵩山

元好問

薄俗科名賤孤生志願違正須謀獨往何暇計群飛泌水真堪樂荊州況可依青山無舊隱此日羨君歸

## 贈汴禪師

元好問

道重疑高蹇禪枯耐寂寥蓋頭茅一把遶腹篾三條趙子曾相問馮公每見招風波門外客無事且相饒

### 七言律詩

## 遊少林寺

許安仁(汾陽節度使)

巖壑深嚴入翠微少林金碧霧煙霏五峰屏簇禪菴小萬劫天開佛日輝聞說九年空面壁得逢二祖便傳衣千秋少室山靈在曾見先師隻履歸

## 追述嵩少之遊(有序)

馮壁

元光間予在上龍潭每春秋二仲月往往與元雷遊歷崧少諸藍禪師汴公方事參訪每相遇輒揮毫賦詩以道閒適之樂今猶夢寐見之兒子渭近以公故抵任城禪師附寄詩以敘疇昔未幾駐錫東菴因造謁間出示裕之數詩醉筆縱橫亦略道崧遊舊事感歎之餘漫賦二首

性理諸方已徧叅歸來一錫駐東菴山中蓮社舊招隱旅舍阿戎新對談詩筆如君僧有幾文章媿我老無堪綾書大字拈香疏須趁微之酒半酣

其二

少林脩竹欲天參竹外幽閒草結菴顧我雖存惟白髮與君曾此共玄談干戈橫絕境猶夢草樹荒殘人豈堪臘瓮松醪髯莫預商歌悲壯不能酣

## 會善寺

元好問

白塔沈沈插翠微魏家宮闕此餘基人生富貴有遺恨世事廢興無了期勝槩只今歸鷰嶺煙花從昔繞龍墀長松想是前朝物及見諸孫賦黍離

## 望崧少二首

元好問

嵩少飛來崛閶山山家茅屋翠微間雞豚鄉社相勞苦花木禪房時徃還結習尚餘三宿戀殘年多負半生閒長河一葦人千里望斷西城碧玉環

其二

飲鶴池邊萬木稠養龍崖上五峰秋藤垂絕壁雲添潤澗落哀湍雪共流田父占年驚玉旆詩仙留迹歎崛丘西風落日山陽道空對紅塵憶舊遊

## 懷州子城晚望少室

元好問

河外青山展臥屏并州孤客倚高城十年舊隱拋何處一片傷心畫不成谷口暮雲知鄭重林梢殘照故分明洛陽見說兵猶滿半夜悲歌意不平

## 嵩山承天谷

趙秉文

煙霞直上逍遙谷路轉山腰咫尺迷已覺洞天分聖境更疑石蹬是仙梯霜添紅葉黃花好天與金壺玉柱齊(兩峯名)醉倚西風正南望暮雲

煙草一時低

### 送裕之還嵩山

王偃(右司郎中)

高懷不受簿書侵清穎鷗盟欲重尋老去宦情知我薄閒來道念見君深對牀夜雨他年夢滿馬西風此日心嵩頂勝遊誰得共仙門仙馭待知音

### 次韻呈戒壇惠公堂頭

路公(宣武將軍行芝田縣令)

官如馬足在泥塵喜見高吟日日新已竊謝公三載祿難甘原憲一生貧徒勞碌碌當年學且樂陶陶此日春幸對清風與明月不知誰是箇中人

### 復繼仲寧堂頭韻

釋承燮

門外曹溪路不賒炷香煙縷裊風斜玄談磊落鑑冰雪花翰清新燦綺霞祖剎金燈風續焰少林鐵樹雨開花庭前大石圓如斗一點難侵意轉嘉

## 七言絕句

### 望少室

許安仁

名山終不見真形萬仞巖巖上杳冥安得雲間跨白鶴下看三十六峰青

### 少室道中

許安仁

少室峰頭曉月沈千家城郭淡陰陰五更雞唱殘星滅馬上看山過少林

## 少林寺呈堂頭和尚

盧庸(定海軍節度使)

嵩嶺穿雲路屈盤少林古寺傍巖巒此行本為安心法今日吾師與我安

## 登嵩山絕頂抵宿盧巖

盧庸

飛梁倒挂虹霓落列障遙連翡翠鮮巖樹溪禽盡相識一春踏遍萬峰巔

## 石淙

張彀(安撫使)

潁水洗餘高士耳是非猶恐污人牛區區武媚何為者水上磨崖紀宴遊

## 過嵩山

辛愿(處士)

催老年光滾滾來好懷知欲向誰開箕山潁水春風裏呼起巢由共一杯

## 玉華谷同希顏裕之

李獻能(鎮南軍節度副使)

玉龍落峽噴飛流空翠霏霏晚不收軟腳山堂一壺酒暮凉閒對兩峰秋

## 酬子京禪師見贈之什二首

元好問

南風穩送北歸船留得虛明一指禪嵩少詩僧幾人在因君迴望一悽然

其二

舊遊重憶故人詩一點青燈兩鬢絲不似戒壇明月夜杏花香裏唱歌時

(自註云往在嵩山時陪馮內翰雷御史遊戒壇詩中所道蓋當時事也)

元

### 五言古詩

## 中嶽投龍簡(并序)

吳全節(真人)

皇慶二年歲在癸丑四月甲子詔玄教太宗師張留孫醮大長春宮弭星芒禱雨澤也聖天子敬天愛民一誠之發其荅如響禮成命玄教嗣師真人吳全節正議大夫太常卿李允中奉金龍玉節投諸嵩洞入山之初一雨遄霽蔵祀之際輕陰護凉咸謂使命必當有紀謹賦五言詩一章以彰聖治云

陽城天地中坤靈奠神嶽積翠千層霄元氣遠盤礴降神生申甫形勢控伊洛谿砑虎豹蹲偃蹇蛟龍躍猛士橫戈矛奇陣出幃幄簇簇羅旌旗巍巍聳臺閣玉鏡為誰開金櫃為誰鑰遠近列畫圖週遭峙郛郭萬狀不可名起伏互連絡皇皇聖帝居歷代重封爵老栢浮蒼煙古殿蝕丹臒天朝混華夏秩禮特優渥皇慶二載春宵旰軫民瘼有旨 醮長春玉簡命新琢詔臣走登封香幣致虔恪邃洞藏寶符瓊音降笙鶴三呼今復聞祥風度天樂小臣奉明祀三使陟雲嵎箕山勝可家潁水清可濯遐想飲牛人高風動寥廓賜玦知何時分我雲半壑歌詩勒嵩珉用賛聖人作

### 七言古詩

## 題王子晉

童南谷(集賢院侍講學士)

屣棄萬乘追浮丘仙成駕鶴緱山頭碧桃千樹鎖金洞玉笙嘹喨天風秋回眸下笑蜉蝣輩蝸角爭戰污濁世何當高氣凌霄霞願隨環珮聯雲騎

## 緱山謠

張廓(進士一作張仝)

緱雲輕緱月明緱山仙人弄雲月徘徊鸞鶴吹玉笙仙人忽輕舉山頭雲月悠悠薄太清浮丘真人學道成丹砂九轉飛零星羽衣芝蓋遙相迎游軿駕鴻相與朝玉京海日岩嵓射青闕閶霞崆峒烘赤城下瞰塵寰滄海桑田平紛紛萬乘兮如癡蠅菌[虫*建]晷促兮不暫停大道茫茫兮其自靈故山柏桂兮煙冥冥邦人思舊兮未忘情香火燁燁兮祝清明青天寥寥兮望霓旌飲鶴池邊幾番兮春草生

### 七言律詩

## 遊法王寺呈學公長老

梁宜(河南府路總管)

坡巘寬圍箕掌圓峰巒高倚翠屏鮮偶迷樵跡愁無人忽得禪關喜有緣漱石溪泉戛環珮隨崖蹬路纏蜿蜒最憐崇塔如迎客雲外亭亭出碧巔

## 奉祀嵩嶽夜宿少林寺

李允中(太常卿)

蔥嶺當時遇宋雲手提隻履果何因入山便得安心法立雪能來斷臂人錫卓一泓雲浸影花開五葉地生春無勞照石瞻遺像滿目青山是法身

## 面壁石影像

李允中

長江折葦渡如神梁武何曾識異人一日棺中忘隻履萬年石上現全身功成面壁禪心苦法後傳衣佛眼真非我有緣遊五乳誰能廓達悟微塵

## 遊嵩嶽二首

蒲理翰(雲南僉事)

嵩嶽巖前鉄作橋重樓朱宇隱層霄道人步月拾瑤草童子倚雲吹玉簫春滿石壇遲晝景龍藏金鼎長丹苗苔封少室山前路何許高人索價饒

其二

名山到處駐征騑來訪幽棲杜德機雲蓋浮丘千歲井煙籠玉女五銖衣唐碑猶有丹砂頌漢室全無青鳥飛風捲長松清嘯發珮環聲響九天微

## 中嶽投龍簡

蒲理翰

自喜華巔預此行遠[亠/(刀*了*(留-刀-田))/貝]綸旨 告功成典謨會與唐虞竝文武更祈申甫生人意達時天意合金龍投處蟄龍驚歸途巖壑清風響疑是當年萬歲聲

## 嵩山

鄭棐(偃師縣主簿)

一重山隔一重雲一澗花藏一澗春泉石任渠輕俗客煙霞元自重高人指開松影杖頭濕踏破苔痕屐齒新笑我青山未歸老蕭蕭鞭馬軟紅塵

## 宿少林

史公賢(河南僉事)

巡行偶向山中宿嵩嶽西南少室前靜愛嶺雲輕世味暫隨僧飯絕葷羶松風蕭颯來疎雨翠障空濛起暮煙面壁巖頭千古月寒光寂寂解逃禪

## 代祀嵩嶽夜宿少林

童南谷

西來碧眼一胡僧曾渡寒蘆隱少林半夜傳衣逢斷臂當年面壁悟安心一庭雪積山猶在五葉花開月未沈奉命頒香瞻隻履菩提樹底得幽尋

## 遊少林寺

程相(參政)

杖屨徒登禮少林亂山佳氣鬱森陰松杉色露真如相禽鳥聲傳梵國音可笑九年閒面壁卻憐二祖與安心西來一曲調青舌白雪陽春和到今

## 題王子晉

李好文(廉訪使)

黃屋非心敝屣然玉笙吹斷鶴昇天載瞻今日叢祠地詎數當時定鼎年琬琰真書文半剝塵埃舊壁畫猶鮮當途卻顧荒山上萬柏森森鎖暮煙

## 送月上人謁少林隆老

釋寥一

隻臂伽黎不作難將心到處遣人安瓶離汴水秋風冷錫入嵩峰夜月寒篋裏贈詩經雨曬囊中施鉢對風餐心知擬就東林宿已向林稍薦剎竿

## 五言排律

### 嵩高山三十韻

孟同(員外郎)

維嶽橫空闊靈根自古長孤高臨上國厚重壓中央雨過龍潭黑風生虎口狂崇高封自漢丹鼎就因唐樹號將軍柏山呼聖主昌真珠晴洒露瀑布冷歊霜幾郡遊中頂諸峰仰上方道宮濃靄覆書院白雲藏九節菖蒲翠三花貝葉芳許由墳自拱啟母石非常更淺逢鸞鶴雖深絕虎狼泉流成五渡嵒祕護三章亂眼山禽碧供厨野蕨香御題千尺笋儒構十三堂遊客終無倦居民自不忙城周三面等屏翠四時張夕照分羅漢脩篁擁法王夜閒聞遠籟天靜見扶桑正列星辰位高承日月光明霞千樹現垂乳幾人嘗上去樵迷路飛穿鳥失行賣松人下嶺采藥叟歸莊橫企來方息時機住可忘影資全庇廕勢遠不低昂字古書蝌蚪石奇立鳳凰發威雷忽震降福雨時霧萬壑寒枝直千崖古蘚蒼穴深留羽客洞遠得瓊漿繪事圖難定詩家狀莫量中封應未晚父老望吾皇

### 題故盧諫議書堂

裴處權(河南少尹)

倚杖溪亭曙迴環勝畫圖峰巒摩碧落雲水誤清都潭冷知龍臥巢低惜鶴孤石苔摛瑞錦松露綴真珠小隱前朝盛幽棲近日無他年婚嫁畢絕頂老樵蘇

## 五言絕句

### 轘轅坂

楊奐(京兆宣撫司參議)

盤盤十三曲石嶺瘦崢嶸腳底有平地何人險處行

### 太室

楊奐

茂陵骨已朽萬歲空虛傳莫上中峰頂秦城隔暮煙

**少室**

楊奐

方若植巍冠森若削寒玉明夜月中遊誰家借黃鵠

**啟母廟**

楊奐

頑石立在世啟母人亦知可憐宋太后死罵寧馨兒

**少姨廟**

楊奐

路傍雙闕老蔓草入荒祠時見山家女燒香乞繭絲

**盧巖**

楊奐

避名名自至身瘠道還腴未到千年後空巖已姓盧

**龍潭**

楊奐

壯哉昌黎筆談笑排佛禍不言動鬼神翻疑觸雷火

**五渡水**

楊奐

幾時落東溪曲折臥天漢語似登山人可飲不可盥

測景臺

楊奐

一片開元石愈知天地中今宵北窻夢或可見周公

箕山

楊奐

土堦墮渺茫多少曹與馬底事住青山近代無讓者

潁水

楊奐

邂逅洗耳翁去飲上流水此日儻相逢黃犢應渴死

巢父塚

楊奐

既知田間樂焉知田間苦惟是唐虞朝所以有巢父

七言絕句

遊法王寺偶觀殿壁馮內翰叔獻雷御史希顏張伯英伯玉昆仲及諸名勝留題和韻輒不自揆勉賡前押

梁宜

堂廊分級趁崖高棟接楹聯互轕膠若就岑樓觀寸木連雲廈劣蓋頭茅

其二

積山曾藉細塵高可道澄河小寸膠自媿穠華久昏昧今朝賴拔塞心茅

少林寺(五首今錄二首)

崔伯淵(肅政廉訪司副使)

初祖匆匆東向來心中已覺五花開要知面壁九年意立雪齊腰心不迴

其二

禪宗一派自西來五葉花枝從此開僧伴白雲無箇事香煙朝暮鎖青苔

宿少林

史鋼(御史)

過客東來宿少林山僧禪榻冷雲深天風驚覺三生夢松杪秋聲響玉琴

門人(傅性良　崔冲奎)校字

嵩書卷之十四終

## 韻始篇四

### 大明(洪武至隆慶年詩)

#### 五言古詩

### 詠隱逸二首

高啟(戶部侍郎)

#### 武攸緒

孽后移寶鼎同姓咸析珪獨去謝親寵龍門事冥棲澹泊如素嘗衣褐復茹藜賜器不肯御牀頭委塵泥族人豈不華回首已粉[卄/(刀*了*(留-刀-田))/韭]苟榮禍必集達識乃弗迷蟬蛻眾濁中名與嵩高齊

#### 盧鴻

顥然守泰一高臥在幽壤開元始求治賢哲勞夢想詔書起巖扃宸意勤挹仰入京遽還山孰得磨以鞅天子遂其高營室致安養爵祿不可加貪士應泚顙

### 別盧巖

厲仲彰(洛陽知縣)

愛山有泬癖况此丘壑美高韻拔風塵一見如知己秀色聳遐觀清聲洗凡耳久住嗟未能回首情無已

### 黑石渡

于範

山足縈清波渡頭枕黑石野花學菊黃山果如丹赤高岸穿林過泬溝落葉集雲靜正秋空出門雙眼碧

## 登嵩嶺望少室山

王堯弼

赤日登嵩嶺薰風自南來滌彼溽暑退吹我衣裳開我懷覺清灑我行寔徘徊節彼少室山峰巒鬱崔嵬白雲鎖其巔蒼松盤其隈芙蓉接漢出罨畫倚天排不說神仙事雲霞亦奇哉平生愛山水此興詎能灰仰止意不盡日夕還登臺何如凌絕頂憑高瞰九垓

## 過望嵩

陳棐(中書舍人)

遠岫倚天高望入碧雲際白鶴駕吹笙仙人去千歲孤標二室尊四嶽群峰細欲赴小山招幽巖結叢桂

## 渡伊洛望嶽

吳三樂(大理寺卿)

端居厭俗紛逸興懷林莽勝景標靈山秀拔中天敞二室最奇絕芙蓉似仙掌取號寄吾生雲壑空遐想佳辰留朱明積雨何蕭爽驅車渡伊洛霽景晨曦朗祥颸鼓蘭橈素波時滉瀁遡流一以眺川原脩且廣沙浦多芳林好鳥遞清響欲濟且踟躕水木坐俯仰丹嶂尚冥濛倏忽煙雲盪風磴掛飛泉中有叢桂長睠彼山中人薜衣閒蘿幌子晉從浮丘出入緱山上携手有良朋稅駕願長往枕石採芝苓餐霞吸瀣沆行行近山阿去去出塵壤夙心今已諧明發恣幽賞

## 嵩陽宮觀漢栢

楊家相(河南巡按御史)

受命巡中土攬轡日駸駸汝南初訖事飛蓋指嵩岑迤邐來登封厥邑幽以深鬱鬱嵩陽宮宛在城北林穹碑紀唐事靈應俱銷沈階前存古栢圍大踰五尋歲月歷千齡老幹何森森龍鱗時剝落風雨長哀吟我來躡芳境坐玩開塵襟因嗟梁棟材乃在煙霞潯盤桓不能去歲晚結同心

## 崇福宮禱雨

李禎(河南左布政使)

清曉戒徒御禱雨謁道宮焚香古像前拜跪肅以恭因之感興亡華構久已空尚有勅撰碑狼籍蔓草中慨想宋全盛鑾輿屢遊從名臣領祠職列辟嚴睟容運往物隨改偉觀難再逢登臨睇煙霞頗愜眺望踪遲回不能去樹杪來長風

## 辛亥端午日遊少林寺示檜菴班上人

李禎

少林聳岩嶌有路達蔥嶺半生懷勝槩老得踐真境緇流遠見迓偏袒仍露頂升高縱遐觀頗覺癡緣屏蒲風翻卷帙艾色侵衣領摩挲前代碑文詞極嚴整掇蔬僧具供飲騎童汲井自拈清淨香作禮爇古鼎超超昔神師順寂同溟涬而於片石上留此不滅影竺夏雖異轍皆貴能猛省閒雲許分坐禪定畢餘景

## 登嵩山

吳會

茲嶽冠神區方中環四維煙霞晨夕幻曜靈東西馳群峰萬古石芳樹千年枝山駐周王駿途經漢帝輦空巖答清嘯豈異三呼時澹澹秋日光漠漠寒雲移悲風振柯條百草無威[(糸-允+豕)-毛+生]孤征感節變悄恍臨路岐迴瞻北邙道為咏遊仙詩子晉去不復浮丘杳難追何當從之遊服食恒在斯

## 天中閣醉後俚語呈鄭明府

金一陽

我登嵩之巔萬壑白雲連不知天路近忽覺有神仙神仙仙令才携手登蓬萊一醉天中閣四望可徘徊徘徊來松風拂我客塵衷歌笑情不極彷彿超樊籠

## 七言古詩

### 咏王子喬

劉基(誠意伯諡文成)

王子喬乃是皇王之子賢聖之孫滍宮洞房不稱意卻駕白鶴尋軒轅虹霓為旗雲為旛飄然乘風上崑崙王子喬去何之朝發暘谷暮崦嵫六龍九鳳相追隨穆王西上不得王母訣胡為元氣獨爾私王子喬去不還社稷功業巍如山猶見九鼎之神姦王城日夕生茀菅爾獨胡為白雲間王子喬空長歎

### 遊少林寺

劉咸(河南按察僉事)

嘗讀古人詩知有少林寺十年欲往苦無因今朝始得遂初志危峰五乳高插天勢與少室相聯綿青宵簾幕貫星斗白日窗戶通嵐煙山僧見客喜相迓環立道傍留駐馬蒼忙延入禪關中殷勤羅拜法堂下循廊導引看殘碑一一指點談當時崇建祇稱唐宋盛品題亦識蘇黃奇須臾邀我凌山頂直向懸崖覽勝景溪邊洗鉢汲清泉澗底拾薪煮香茗為言此山稱法窩開創緣自僧跋跎一從藏經入中國築臺繹字功居多後來達磨方卓錫九年此中坐面壁功成隻履向西歸尚遺靈影在山石當時慧可皈依深斷臂立雪求安心燈燈繼續幾千載妙法相傳猶至今從容問答未及已忽聽蕭颼松風起層巖徙倚重徘徊但覺煩襟清似洗歸來幽興殊未闌還登鐘閣窮遐觀凭欄獨立久延佇置身恍在青雲端大雄殿西古輪藏金碧熒煌屹相向月下平分寶塔陰空中每接仙韶響吁嗟好山真可居公程促迫將何如平生塵土滿胸臆安能為我俱消除出門別僧僧送罷又復回顧與僧話他年優詔許歸田準擬相尋結蓮社

### 少林行

沈文華(河南府知府)

鬼鑿山空風滿窟御砦峰高寒瀉玉憑虛不覺天宇低彷彿青雲礙雙足泉飛六月侵人肌石迸新芽薦山蔌少林勝槩冠中州黃鳥流音花繡谷不因省斂來此遊誰削芙蓉洗塵目山僧那識長官心錯把笙簧奏

新曲村翁牧子傍我車爭欲搴帷話風俗溫言慰藉良再三重惜我民貧切骨臨風感慨不成吟日落山滸聲振木

## 嵩陽宮三栢歌

沈文華

蒼龍蜿蜒潛滸淵一飛直上嵩之巔須臾雲雨遍八極歸來排立宮之前神物從來變化速頭角崢嶸鱗甲綠長髯鼓動清風生世人錯認栢為骨漢武當年重遠遊旌幢五色翳山頭嵩呼萬歲效三祝聲飛千古遵遺猷惟有將軍心素赤鐵面生寒光射日高標豈肯伍凡材矢與皇家為柱石我來再拜嵩陽宮欲祈哀我民疲癃將軍不惜鞭龍雨我土崇臺偉榭千秋報祀無終窮

## 三將軍古栢歌

陳棐

昔摩東嶽大夫松今觀中嶽將軍栢偃蓋影走老蛟青怒濤聲瀉寒空碧扶疎掩暎嵩陽宮仙蹕曾經漢武封溜雨霜皮合六抱凌霄秀色敵群峰嵩峰靈氣來千古神降生申應生甫英賢鍾毓應人文遺靈孕出將軍武尚父八十舊鷹楊方叔元老總戎行此栢正同三代將豈爾秦漢可比量貞心早際風雲會勁節曾依日月光龍虎踞蟠稱得地麒麟殿閣待傳芳老來閒退嵩山前顏色蒼古風韻全金鎖綠沈拋暮景滸巖靜壑得遐年君不見三鶴峰滿山明月鶴無蹤又不見三花樹花落秋風不知數惟有將軍三栢幾千秋壽過子晉邁浮丘將軍將軍天下稀才大真成與用違誰能移置廟堂上莫使風霜冷鐵衣

## 登嵩山

駱顒

放歌今幸游嵩山懸崖千仞初躋攀浮丘子晉在何處祇見白雲時往還石牀洞口處處有青壁截斷仙人關飄然便欲凌汗漫俯視八表空人寰塵緣未盡恣幽探捫蘿豈惜徒步艱穿雲回首葛衣濕林端香氣芬幽蘭轉松移岫坐超忽遙聞流水聲潺潺山高水遠望不極長風飛雨來山間枕璞難得遇金漿堪駐顏玉室儻名列願乞長生丹舉首一笑出塵網不老渾令歲月閒

## 遊少林吟

馮世寧(登封教諭)

罡風吹衣山霧黃松筠遶遶身欲僵攀緣石磴險不上舉頭還有青林岡雲霞遠鎖達磨寺中有山堂說偈事蒼松偃蹇虬龍形石上篆成霹靂字江濤浪擁摘蘆來西域曾踏青蓮臺一朝老坐少林石五乳山峰生紫苔山中秋月明如鏡山下清泉流不盡禪心如月復如泉野壑禽聲天宇淨偶來此地一遨遊登臨直上山之頭雲林杳杳奇如畫恍若三島與十洲鳳聲不聞仙已泯掩靄雲山真列盾千崖掃石看名詩古字蒼苔如虬蚓

## 嵩山高

吳三樂

望嵩嶽兮乃在伊洛之浦箕潁之隈巃嵸萬仞何奇哉盤礴中原橫九垓陰陽昏曉多變態吐吞日月相縈迴翠屏孤聳排丹嶂二室東西宛相向諸峰卻立如欲摧削出芙蓉千萬狀紫峰高處從中起瑤臺紺宇白雲裡古松偃蹇不知年溪流惟見石齒齒遙接崑崙巔下看扶桑水天際長河一線來鯨掀鰲掣勢難止日觀蓮峰稱最高嵬乎泰華未足恃有峰六十信插天森森劍戟自蜿蜒玉女青童遞隱見紫微黃蓋生雲煙上有三花之古樹下有百丈之飛泉晴空片片灑寒雪飛蘿懸瀉如珠連我欲乘風到絕嶺恨無羽翰愁攀緣策杖徘徊日將午倏忽陰雷散輕雨長風為我捲浮雲飛來倒掛巖前樹振衣宛轉陟層巔四顧茫茫小寰宇神僧面壁人不知仙子吹笙鶴自舞即欲舉手探月窟廣寒彷彿見銀闕醉把金壺餐綺霞坐看玉鏡邀明月入石室臥雲門那知身外有乾坤劃然長嘯如雷奔萬壑雲霾虎豹蹲山鬼倚巖笑山鳥繞樹喧靈怪恍惚不可測更從何處問真源君不見周家申甫元非偶詩云嶽降理或有又不見盧鴻巖下草生春卜居偏傍洗耳人吁嗟乎靈山自是毓精英古來高士留其名秀色攬結真堪把而我豈終軒冕者紅塵白馬竟何為不如棲息此山下出山日落迷煙霧回首恐失桃源路他年儻得伴松筠買山還許留詞賦

## 解五嶽圖贈少林寺僧洪川廣令歌

陳文燭(大理寺卿)

夜坐不厭山中月晝行不厭山中雲雲飛月落興無盡披圖指點崗巒分此圖真形號最古天壤名山惟有五芙蓉日觀在東南蓮花仙掌開西土太行峨峨碧玉間一到嵩丘是中宇携來傍我亦有年何人贈之郭次甫高僧况是惠遠流卜居它日誰為主好勒達磨第一峰寒林夜半生風雨

## 嵩丘歌送蔣子雲

薛蕙(吏部考功郎中)

君不見衡恒泰華奠九州豫州巨鎮名嵩丘中天照耀白日景后土灌注黃河流往者天皇題寶帙五嶽真形標第一三花隱映玉女臺二峰羅列仙人室曾聞軒后駐雲駢復有周儲吟鳳笙緱氏山頭鸞鶴去鼎湖水上蛟龍迎君看萬乘亦何似古人棄之如脫躧紛紛流俗笑此言肯把山林易青紫世間萬事俱零落何用明珠彈鳥雀因嗟季子狹三河轉憶尚平娛五嶽我今思歸殊未還夢中每每遊仙山頗疑羽翼落天外但覺烟霧非人間君不見謝公李白神蕭爽天姥羅浮夢來往予也頻夢山中遊心知自是神仙流異時最愛安期術擬臥名山采芝术羽化青雲雖未期肥遯丹崖詎為失送君南行洛陽道一望嵩山愁絕倒谿口空餘躑躅花澗中不見菖蒲草薄遊已自厭風塵多病祇堪學隱淪明年定訪浮丘伯為掃雲林作主人

### 五言律詩

## 少林寺

閻禹錫(監察御史)

梵闕珠林靜巍巍枕大阿嵐風當戶擁鳥韻隔花多禪室通幽徑金田長亂莎山門環洛水萬籟響清和

## 周公臺

厲仲彰

周公初建洛昌運此時開天子垂衣坐諸侯執玉來仁風涵九有王氣接三台餘烈今猶在江山遶廢臺

## 漢栢

厲仲彰

嵩陽有嘉樹漢武號將軍老大空懷寵孤高自出群樛枝懸日月老幹挾風雲正合明堂用誰能運斧斤

## 盧巖寺

孫永思(河南巡按御史)

僧笛從雲墮翛翛引露旌翠微通樹色虛谷應鐘聲弔古深山入尋幽仄徑行當門萬竿竹長日引風清

## 望日遊少林寺

陳棐

夕陽在嶺外林壑已黃昏真境藏蘭若幽尋入祇園慧燈明佛界圓月滿空門欲問傳衣法石間幻影存

## 過少林寺再吟

毛伯溫(兵部尚書)

聞道嵩山峻今知天下奇千巖屏障列二室霧雲移野鶴巢煙樹松風漾石池徘徊為幽興不覺日西垂

## 過少林二首

王韋(河南提學副使)

披霧縱幽尋頻年說少林到門山雨至遶寺石泉吟花落中天淨松藏太室深燈龕耿未滅猶自照禪心

其二

草樹連中嶽煙霞帶北邙古禪傳後魏巍碣峙初唐地僻鯨音壯峰高鶴韻長浮丘招未去夜夜禮名香

## 會善寺

王韋

青山迂轡至不顧客程違荏苒惜芳歲留連餘落暉石同僧貌古泉共梵音微亦有箕山對無人禁采薇

## 戒壇

王韋

兩日登三剎興衰亦漫傷樹交雲榻廢草長石壇荒乞供朝馴鴿栖禪夜怖狼惟餘茶榜在贏得打碑忙

## 奉陪巖翁相公遊少林寺二首

薛蕙(吏部考功郎中)

久悔凡夫行今參初祖禪山開諸佛界樹換六朝年聖諦元無法真空詎有詮不知衣鉢外何物是相傳

其二

少林多老宿祖意若為傳莫學諸方法應參一味禪真心元寂滅妄想浪攀緣季世須龍象題詩獨慨然

## 和黃勉之懷嵩嶽詩

王寵(貢士字履吉)

嵩山有瑤草白玉如膏流何日攀緱嶺相携臥石樓吐雲騰斗極飛翠滿神州笙鶴飄颻去青天子晉遊

## 宿少林寺

許完(監察御史)

枕簟逢僧舍孤眠夢亦清山深雲有腳夜靜雨多聲欲面九年壁難違寸草情明朝驄馬去猿鶴誤相迎

## 登五乳峰二首

許完

少室崇朝雨禪房信宿留攀蘿登絕頂倚石酌靈湫紅粒山椒細蒼煙野樹稠斜陽照林樾何處笛聲幽

其二

五乳峰前路遊人踪跡稀興來成絕賞心醉欲忘歸斸藥分山髓穿雲破石衣夕陽西壑暝洞主掩柴扉

## 過登封同吳靜齋遊少林二首

王應期(嵩縣知縣)

尋真天路杳駐馬嵩峰尖長嘯驚棲鶴清吟落醉髯古碑留法界蒼塔插高簷我欲頻過此能無世俗嫌

其二

鷄鳴苦塵鞅鶴引得幽潛茗碗雲垂腳蔬盤霜割甜藥欄封土靄芝砌墮窻簾愧我非仙骨相携盡日淹

## 宿少林

王溱(監察御史)

客路紆横嶺禪堂空碧岑徒參留石影未了獻花心草澗繁春色松崖倒夕陰焉能無拘束野興遂幽尋

## 盧巖飛瀑亭

呂顒(河南府通判歷知府)

巖有泉中勝人便景外情雷聲冬不秘雪色夏長生從好非緣用捐煩豈為名晚來忘歸徑樵火隔林明

## 達磨面壁洞

呂顒

古洞攀蘿入深栖妙獨傳已含石上月不擾鏡中天冉冉蘆江雪翩翩[葸-十+夕]嶺煙晚參惜未悟結鬱在諸緣

## 會善寺

任淳

會善何年寺雪菴久得名戒壇花雨散茶榜墨煙橫雲淨禪窻白山空野殿明荒凉僧跡少幽鳥狎堦鳴

## 崇福宮流觴亭

任淳

石搆池縈曲山腰落細泉流觴浮玉液摘菊點金錢上界疑無地仙源別有天羈懷成小佇落日未言旋

## 謁中嶽

王應鵬(監察御史)

五嶽從中起平生此勝遊紫雲飛絕頂靈氣溢皇州日落諸天莫風搖萬木秋因懷封禪事吟對獨悠悠

## 崇福宮

王應鵬

凉風吹玉宇吟思獨幽紆松偃前朝舊泉流太液初紫雲封瑞檢仙籟發清虛安得凌霄翼飄飄恣所如

## 恭祀中嶽

蔡汝楠(巡撫河南都御史)

於赫中州鎮明禋鳳勅宣河清凝命日嶽順祝禧年方物蠲常品宮香徹御前共歡呼萬壽不獨漢時傳

## 聞劉泗泉袁裕春二丈遊少林未能躬陪杖履寄此

亢思[謙-(亦-亠)+(烈-列)](河南參政)

珠林雙轡入春色正平分樹杪懸泉溜旌前擁鹿群簿書堪笑我杖履阻隨君崖石應題遍寧無一寄聞

## 宿少林寺同翠巖少參西谷僉憲

鄒守愚(巡撫河南都御史)

瑤草香生徑金罍喜得朋良遊非易遇勝景更同登松下盤飛鶴鐘催入定僧前朝多古跡高塔尚殘燈

## 少林寺夜懷

趙諫之(登封知縣)

樓鐘隔遠遞長夜肅空天月轉鉢峰外僧歸御砦前揮盃花氣入移榻樹陰偏太室遙相對層嵐飛瑞煙

## 中嶽廟

趙諫之

嵩高鎮諸夏四嶽仰岩巃靈異傳周雅明禋本漢朝煙雲覆萬里峰嵣上層霄我欲求丹訣群仙故寂寥

## 登封早行

汪澥(登封知縣)

曉發登封道柴扉盡未開疎林留霧擁野寺傍雲堆僻壤空桃棗枯禾半草萊淒慚時政拙民瘼正憂懷

## 經行二室望少林未達有作

朱衡(太子太保工部尚書)

巡甸初分洛曾經二室中卻懷高壁影遙聽少林鐘老檜春雲滿寒潭夜月空無因陪妙躅行縣儻相從

## 宿少林寺二首

朱衡

初祖開初地香臺控碧岑雙泉泓德水五葉散珠林鐘定禪關夕山寒寶塔陰空堂一片月曾印折蘆心

其二

行縣經名剎因風扣梵筵到來諸品靜行處一燈懸證法何曾法忘緣不離緣焚香持半偈超悟了真詮

## 宿少林寺二首

吳三樂

看山興不盡且復向禪林花落空壇暮燈懸古殿陰翻經貪佛臥聽法伴僧吟少室悠然趣因窺靜者心

其二

翠屏相對處暝色下殘鐘谷靜風飄梵窻虛月度松無生終是夢穩臥已成慵明日登山意還能杖短笻

## 雨過會善寺觀茶榜石刻

吳三樂

寺雨人仍過花香酒故隨尋源行水盡披霧看山時樹杪聞清磬苔餘認斷碑虎溪僧送客一笑有相知

## 九日重遊少林寺

吳三樂

少林佳麗地乘興又重遊九日禪堂靜千年古洞幽群山蒼翠合孤峙白雲浮故友黃花共陶然一醉留

### 鞏洛道中望嵩二首

陸渶(都勻府知府)

塵車衝曉霧嶽樹隱寒雲恍惚三花秀微茫二室分明霞飛嶂影殘雪綻峰紋若聽山神語聲聲祝聖君

其二

自古幽棲地經行入望初仙臺懷對奕靈境慕傳書樹裏盧巖寺峰前巢父居何當結茅宇箕潁共樵漁

## 七言律詩

### 法王寺

山錫之(登封知縣)

一輪松月迥人寰石上藤蘿不可攀綸氏山川圖畫裏梵王宮殿翠微間蘭臺護法天龍寂鶴駕吹笙帝子閒吏隱於斯何獨幸暫遊勝地不知還

### 過戒壇

曹璉(河南按察僉事)

路入嵩陽石磴斜叢林深處有僧家松籠雲碓舂新穀竹引山泉煮嫩茶壇下久無人受戒塔前猶見鹿銜花古碑多是先賢筆鐵畫銀鉤更可嘉

### 箕陰避暑

傅文(刑部員外郎)

獨愛雲林境界幽綠陰蔽日翠光浮棄瓢巖畔排煩熱洗耳溪邊枕細流每有凉風來樹底更無塵事到心頭許由巢父今何在千古箕山五

月秋

## 題面壁菴

胡謐(河南按察副使)

坐當崖面幾經春悟得安心法更真歸去曾携棺内履幻餘猶現石間身泉通靈井龍常蟄草滿荒巖鹿自馴斷臂已亡門掩雪祖燈相繼復何人

## 過少林寺

胡謐

嵩嶽西行望少林二師遺跡尚堪尋法窩弘敞開基遠影壁荒凉歷刼深六六奇峰森梵相雙雙靈井印禪心誰知塵世浮名客也得偷閑一浣襟

## 少林寺

閻鐸(河南左參政)

太室西頭第一山達磨習隱舊禪關足遺隻履傳方外影脫全身在石間松老欲隨龍化去雲深長護鶴飛還諸僧出定門猶掩三十六峰相對閒

## 遊少林寺

左傑(河南參議)

西入珠宮別有天偶聞清磬落層巔香凝蘭蕙薰仙仗石漱瓊瑤韻野絃白鳥青螭仍護法蒼松翠殿不知年客心酌罷蓮花水獨向山僧扣秘詮

## 遊少林寺

段豸(工科給事中)

群山突兀白雲滃綠樹迷茫覆少林石眼泉香清可掬岸頭莎輭翠交侵隱君舊價應須咸衲子新禪未易尋坐待晚風凉似洗幾思移榻就松陰

## 登嵩陽宮遺址併望崇福觀

陳鳳梧(吏部侍郎)

山雲閣雨晚氤氳崇福嵩陽兩觀鄰武帝駕臨聞萬歲將軍栢在歷千春磵砑巨石橫樵徑清徹寒潭躍錦鱗遙望神仙何處覓天風颯颯灑衣巾

## 望少林

李夢陽(江西提學副使)

三十六峰雲氣通何峰寺西何者東林巖霜橫遠亦靜煙嵐日破重還空千山盡歷暮轉碧一樹不落秋能紅漸聞鐘聲出杳靄得路誰憐馬僕功

## 少林寺

李夢陽

林滃谷暝客子入鐘鳴葉落秋山空煙雲細裊石澗底巒岫亂積松窻中唐碑漢碣蘚字剝猿啼虎嘯蘿燈紅獨坐悠悠息塵想少室影下月出東

## 宿少林

李夢陽

萬山微暝一鐘鳴古寺滃秋倦客情僧本折蘆翻面壁人非騎鶴故吹笙寒催亂木風交響白動虛巖月自生慚愧勞勞不成寐丁丁臥聽早樵聲

## 春日遊盧巖寺

李居仁(登封知縣)

東風隨馬試郊坰吹上蒼茫第幾峰春意綠催前澗草夕陽紅送半山鐘雲淡石漱千年水寺古龍蟠萬樹松日暮渾忘歸路遠太平詩酒喜相從

## 盧巖寺

于範

看罷懸崖瀑布泉小欄修竹裊晴煙叢松不礙巖頭路高岫能侵雲外天隱士有名從異代殘碑無字記當年連鑣有客同清賞把酒賡歌伐木篇

## 遊嵩山用薛考功君采韻

喬宇(吏部尚書)

五嶽生來有夙期嵩山登處一何奇西連太華三峰影東接扶桑萬里枝騁步力窮闉闔際放歌聲振泬寥時茲遊最勝誰當記恨少琳琅金薤辭

## 奉陪巖翁相公遊嵩山

薛蕙

壯遊佳節似相期嵩嶽登高天下奇策杖俯看鴻鴈影接[(冂@(企-止))/離]滿插菊花枝山川俶儻中原地雲霧蒼茫落日時勝槩此生能幾遇尊前醉倒不須辭

## 登五乳峰

許完

少室山前五乳峰振衣千仞許誰從黃河淼淼舒晴練洛邑微微見蟻封足縮羊腸迴俗駕眼空鰲極盪塵胸乾坤勝地鍾靈異雲雨時時起蟄龍

## 盧巖觀瀑

李元(監察御史)

絕壑何年掛玉龍洗心我一問盧鴻半簾秋雨落天上十丈白蓮開雲中穎水風高吹不斷嵩門月近照全空縣官更有泉亭約應許山靈識醉翁

## 過盧巖觀瀑布

楊儒魯(河南府知府)

名山天下半探奇鳳石龍湫忽在茲皎日一天飛雨雪清風雙壑瀉珠璣浮浮仙洞蘿煙裊翳翳書臺樹影移不見當年盧諫議高山流水動遐思

## 秋日遊少林

楊儒魯

古林削壁藏金剎秋色陰崖隱紺城千樹紅黃千樹碧一山雲雨一山晴洞靈猶識胡僧面天籟如聞子晉笙踏破紅塵來憩此欲依定影學無生

## 周公測景臺

王洙(河南按察僉事)

周公祠宇尚中天一瓣香燒豈素緣景正嵩陽分曉暮山宗黃蓋列曾玄千年臺照寒空月萬井春餘碧樹煙制作至今猶想見當時誰賦黍離篇

## 晚至盧巖

王洙

遠嶼煙光散夕藍幽尋有客問盧巖疎鐘隱約穿林出古篆迷茫遍石鑳擎蓋蟠松何鬱鬱濺珠飛瀑故潺潺久居城市逢山快況值清秋景不凡

## 盧巖觀瀑布柬登封令

王洙

恠得高人勝地潛懷歸客子也須淹三生石上聞仙樂百尺崖前看瀑簾過眼浮雲從漠漠暎堦瑤草自纖纖問君解組前來否塵世真能吏隱兼

## 宿少林寺

任惟賢(都御史)

數聲清磬度林霏琴鶴隨僧入翠微絕俗信無塵得到開山真有錫曾飛青峰處處堪容隱白髮勞勞未息機禪榻夜臨窻月臥覺來溪悟昔時非

## 登嵩嶽携程兒

王應鵬

秋郊蹇步信遲遲吏隱吾今兩得之天欲假年逢閏月景當適意侍佳兒子長只了名山債老杜空遺亂世詩閑處光陰應自惜野雲溪月未深知

## 登封尹侯安甫陪謁中嶽

王應鵬

令尹追陪樂事偕探幽攬秀亦吾儕山蟠平野寰間少景到中天分外佳疊嶂籠雲連碧落蔟林輝日接丹崖十年來徃中州路此日投閒夙願諧

## 望少林

王應鵬

半日迴谿路始通僧家遙在翠微東目隨飛鳥依青嶂心與浮雲入太空木落秋颸雙澗碧日銜西壁萬山紅到門應看花臺月試問當年面壁功

## 嵩山

王尚絅(山西參政)

丹峰黃葉淨秋顏鳩杖芒鞵出舊關日脚已曛雙乳洞月明先宿二熊山融融潁谷瞻雲外歷歷箕峰想樹間獨向空巖慚病體誰將玉屑飯吾還

## 嵩嶽

蔡汝楠

東來伊洛訪名山二室崚嶒霄漢間石壁雲橫迷鳥道嵩門月出見天關蛟龍吐霧晴嵐濕虎豹生風夕草班萬歲峰頭瞻北極恍聞嵩祝動宸顏

## 遊少林寺

李乘雲(陝西參政)

亂峰突兀問嵩林福地煙霞望處深石壁倚天清漠漠女蘿懸霧碧陰陰落花風定栖禪影樵唱月明應梵音獨坐悠然塵慮息不知身世有華簪

## 遊盧巖寺

徐南金(監察御史)

岩巃嵩嶽與雲連攬勝尋幽洞壑邊古寺紆隨蒼徑轉層崖直傍紫霄懸金鰲日暎氷霜石珠縷空飛霹靂泉獨憶高風唐諫議宛留真蹟恣攀緣

## 少林寺次華原韻

李仁(河南按察副使)

秋日名山初攬勝青蓮大士舊為家風林晝響千巖瀑繡嶺晴飛百道霞寶相當天流佛日香雲繞座結曇華空門誰解西來意為問恒河幾許沙

## 遊少林

史褒善(河南布政使)

偶因行部陟嵩岑暫駐肩輿訪少林前代古碑蒼蘚合上方精舍白雲深山腰雨過龍歸洞樹杪風清鳥弄音一宿頓忘塵俗慮雅懷渾覺似禪心

## 石道喜雨

趙諫之

百嶮纔登磴坡深雲四面起山阿原田喜足千家雨野水新添數尺波即見青苗生秀色便聞赤子會謳歌故鄉風土渾相似料得流亡起色多

## 磴坡

趙諫之

萬疊峰頭一徑穿亂雲無數水潺湲隨花好鳥啼春晝帶雨農人開石田松菊久荒仍宦迹音書不斷自常年孤舟遊客雙蓬鬢何日西洲釣晚天

## 登嵩山絕頂

溫如璋(都御史)

羊腸仄徑曉攀遊步入層霄山盡頭白鶴觀迎泉水細高登崖轉洞雲浮海邊紅日孤九上天際黃河一線流符籙漢封無寘處佇看寰宇小中州

## 宿少林寺

劉紹恤(雲南按察僉事)

萬峰疊疊漸崚嶒逕入轅轅興轉增黃葉滿前猶作客白雲深處且依僧中原月度三更夜少室天開第一乘試望高臺甘露色不妨重藉玉蓮燈

## 首歲寓登封

項璁

新年騎馬到登封遙望天門第幾重曲坂三三通輦轂群峰六六秀芙蓉吟看少室山頭雪臥聽嵩陽寺裏鐘明日又從清潁去遠尋巢父舊遊蹤

## 登天中閣

周鑑(巡撫河南都御史)

高閣凭虛萬仞顛四圍山色淨娟娟白雲時自封中出玉鏡遙從象外懸曉日氤氳張彩幕秋風蕭瑟韻氷絃飄飄為問吹笙侶月下歸來不記年

## 登嵩嶽

穆文熙(考功員外郎)

六十峰高望欲平何年神降甫申生形分二室盤中土地接三川走上京恆道達磨能面壁傳來子晉解吹笙逃空我欲成小隱未許盧鴻浪得名

## 五言排律

## 宿少林寺寄余何二分教兼呈松庭長老

山錫之

看山投晚寺緣徑入幽林蓮宇瞻弘敞龍宮聳鬱森塔鈴傳梵語松吹響潮音雲起千巖白泉流萬壑淙天風飄靜院寶月印禪心翠閃山窺戶金輝閣暎岑蘚埋碑篆古花覆石幢陰愈覺真源迥何曾俗垢侵迢遙懷勝景邂逅愜幽尋借衲依禪寂拈花啟笑吟寄言分教容仙境幸同臨

## 遊嵩少

劉紹恤

河洛呈天瑞嵩高協地靈雲連平埜白日擁萬峰青應宿中為火居方鎮是星上公崇秩祀貝闕儼儀形歷代陳圭壁層巒列障屏瑤函開寶籙絳節引琱軨客有吹笙嶺僧留面壁亭鶴能驂叱馭石亦解談經玉井涵仙液金壺注淨缾丹砂因頌顯青鳥應時停箕潁瓢無跡浮丘洞自扃栢猶稱漢將槐更肇秦庭演法曾留偈登封早勒銘霓裳侵晚度清梵夜淙聽暮靄唫楓葉朝霞覆茯苓煙嵐晴裊裊花雨晝冥冥月冷虛堂鉢風傳高閣鈴十年塵外想百念靜中寧倏爾超三界悠然小四溟采真疑汗漫泛泛愧流萍

## 中嶽

唐順之(巡撫都御史)

巫閭控北戶蔥嶺奠西隅茲地陰陽合中天洞壑孤黃樞標正位紫氣護真圖近接浮丘宅淙藏軒后符疏峰連太乙列館象清都圜宮猶漢築馳道尚秦除肅肅泥書秘森森羽蓋趨仙遊微見迹帝幸暗聞呼露洗千齡栢霜封九節蒲星榆臨砌發月莢應時敷將訪三山記猶迷七聖途今朝陪廣樂直擬到方壺

## 遊嵩山少林寺

唐順之

淨域龍巖上香臺鷲嶺邊山由巨靈闢教以法王傳二室圍蘭若三花接梵筵土中元此地檻外即諸天複岫低衡岱迴軒寫澗[涯-圭+墨]雲衣披雜樹虹影度飛泉綴牖皆青壁緣堤盡白蓮神猿參講幕馴鴿繞罏煙慧月秋逾徹泥珠夕更鮮谷將鐘迸響潭共鏡爭圓萬刼終成幻三生併是緣願假金篦力一為照迷川

## 嵩陽宮栢

唐順之

嘉樹植崆峒年長勢更雄已無秦帝幸尚有漢皇封幹比孤生竹根猶半死桐靈泉玉女灌甘雨嶽神通葉密鶯難度枝樛葛易蒙垂陰九華帳弄影五雲宮色掩重巖翠聲含眾竅風賓來虬蓋偃仙去鶴巢空非因不材壽春秋自無窮

## 遊少林寺

穆文熙

海內稱名剎無如此地偏蓮華九頂出玉乳五峰連甘露瀰金界慈雲護梵天法輪西域轉象教震方傳唐碣推神武秦槐飛斷煙齊心依靜土不是野狐禪

### 五言絕句

## 過崇福宮

李元

散步長松下時聞出世音山泉煮山茗小啜洗塵心

## 遊嵩少二首

李元

聞道少林好百年欣此遊金仙杳何處山頂白雲流

其二

境勝神自清魔輕睡難箸孤榻坐深更天風語簷鐸

**盧巖飛瀑**

王尚絅

雲崖掛罘罳磴石橫玳瑁晚霽試凭闌釣月明珠碎

**早發嵩嶺**

趙諫之

鼓吹落微月旌旗暎曉林竹深山復靜一鳥送清音

**再過嵩嶺**

趙諫之

秋草連天碧秋雲萬里長日西過嵩嶺少室在蒼茫

七言絕句

**少林寺僧話二首**

喬宇

甘露臺邊秋月明偶逢曇彥話二生藜牀獨坐心如水夜半空山有磬聲

其二

步入招提日未斜香臺片片落空花少林合是禪棲地常有山僧誦法華

**釣魚臺**

何天衢(河南府知府歷尚書)

臺前落日塞鴻哀臺下西風潁水來一曲滄浪秋寂寂白雲紅葉好登臺

### 盧巖飛瀑

王尚絅

飛流曾向詩中覓倒硤今從畫裏看不知雪浪高多少能遣茅齋六月寒

### 少林雜詠

沈應乾(戶部郎中)

疊疊層巒翠欲流峰迴嶂轉跨中州靈車霞佩杳然去目斷飛雲天際頭

甘露臺前雷雨飛碧巖突兀暎煙扉葛巾野服沾雲濕疑是金牛頂上歸

少室縈迴太室西松風蘿月近丹梯攀緣欲探金明草回首煙霞路又迷

亭亭御砦禪關北兩兩龍泉虎澗西雲霧叢中瞻佛榻薜蘿密處聽猿啼

### 少林寺

趙震

三十六峰凌紫霞白雲深處有僧家影搖絕壁菩提樹香藹空門般若花

### 日晚憩少林二首

趙貞吉(大學士)

崑崙東下海天迴翠疊嵐重二室開欲訪琳堂問仙藥金童疑在碧雲隈

其二

東周鶴與洞簫回西竺人隨折葦來塵世未逢浮海筏青山空繞謫仙臺

## 同登封令汪君循嵩麓至盧巖二首

趙貞吉

秦槐漢栢瞰扶桑瀚海雲波歲月長獨有游人驚物候六花飛盡又三陽

其二

雲蒸縹[緲-目+耳]出蓬壺雪液嵌空噴玉珠幽棲高士不可見悵望冥鴻天際孤

## 遊少林用趙內翰韻四首(今錄二首)

楊洞

山僧午夢乍驚回報道高人勒馬來步入叢林最僻處不知塵世有麟臺

其二

蒼茫海日上扶桑禪榻雲深夢正長一枕青山天地晚何妨松影轉斜陽

門人(魏三槐　張孔修)校字

嵩書卷之十五終

嵩書卷之十六

## 韻始篇五

### 大明(萬曆年詩上)

#### 五言古詩

### 孫熙宇令登封三年嵩高諸峰尚未識焉戲為此嘲

李化龍(少傳兵部尚書)

嵩高插天中二室遙相向絕巘倚雲開幽壑臨虛壙下有將軍栢偃蹇一何壯我為探奇來攀躋窮諸嶂山靈如有嗔使君何孟浪此山有主者不識作何狀出入頻戴星三載日無曠叢桂與寒巖可聞不可望我為山靈言若翁自高尚神可遊八極胸原羅萬象五嶽五卷石四溟四潦漲么麼一嵩高安得屈俶儻嵩高不可屈其高信無上

### 由二祖菴登鍊魔臺眺望

周夢暘(河南提學副使)

二祖巖既奇鍊魔臺益矯石磴上盤雲曲徑羊腸遶捫蘿陟其巔身入星辰表四壁勢削成巉巖礙飛鳥把盃矚遠天翻覺神州小黃河崑崙來經過細如沼亦有伊洛流茫茫一綫渺西華與東岱彷彿煙村杳中多白玉膏服之輕且[亠/(馬-(烈-列)+衣)]清晨如露漙飲此世絕少我志愛餐霞坐待天將曉

### 少林寺

王士崧(刑部主事)

嵩少夫何極中嶽名獨尊杖策千里外陘峴手自捫揭來梵宇憩不數秖樹園古樹浮夕靄蒼翠明朝[目*敦]形勢互迴薄週遭虎豹蹲雲霞麗丹闕日月夾層軒佛燈燃長夜鐘聲時在門游絲靜不飛春鳥爭自喧奇趣茲已窮洗心道亦存素衷諒有孚勝游竟難諼卜築行拂衣無令孤願言

## 甘露臺

王士崧

振衣登層臺雲物互森爽縱睇臨空闊矐矚極泱漭暄陽散長阡曙煙晴浩蕩白日麗平原碧草萋萋長高情恣凌厲健步愜心賞遠目無近尋倏然祛俗想猶憶甘露溥彷彿仙人掌仰身挹天瓢超超謝塵坱

## 法王寺

王士崧

訪勝屢回往寄興良不匙漠漠岫煙霏泠泠巖露泫沾濡意已困憩頓聊所遣倚策玉柱峰歷覽信窮遠連巖互參錯雲物森婉孌古剎制未頹高棟負絕巘方池不盈咫洞徹足清淺采采金蓮花盈盈玉鑑展紛吾塵滓隔心顏藉霑洗慷慨有涘衷從茲卸軒冕

## 遊嵩山四首

區大相(左中允調南太僕丞)

名嶽宅中土生賢借奇巘圖為風雨會地以揖讓顯崖嵎雖峻極崗阜亦平衍憩麓果紆迴登崇更凌踐夙多遺世踪到此塵慮遣箕潁信高蹈陽城道未貶揆迹有絀伸忘懷任舒卷素風諒不遐幽意得所展欲去還復留低回不能返

其二

尋真紫芝館訪古白雲衢年代一何杳輦道尚盤紆秦槐餘一樹漢栢有三株金丹既淪沒玉檢亦荒蕪神仙術久閟多慾為累愚千秋與萬歲無乃太矯誣

其三

薄遊吹笙嶺回憩擣衣石玉女不可遇青童似相識遺我一廂藥金膏和玉液服之容色改自然生羽翼體輕若黃鵠一舉凌八極顧視讓王人累累塚上石天地可齊年浮名竟何得

其四

二室麗中天三花落雲外遠勢浮河洛穹標掩華岱珍木自成陰瑤草何曾溉神膏沆瀣霏金砂碧潭碎風從箕山來思與逸駕會天路杳難即霞術久蕪穢獨見周王子吹笙遊鶴背青宮生塵埃紫房絕情愛逍遙白雲間欲歸迷所在

## 山中贈丁元父給諫(時謫令登封)

區大相

謫宦嵩山陽山深意不俗巖扉時自開雲構何常卜隱几見少室三花媚林麓簿書展長松印綬掛深竹山僧似定猿吏人偶馴鹿褰霞上高嶺採秀入幽谷攬古將軍樹息蓋帝休木石泉夜雨聲數寸階苔綠自關道氣清豈受塵網束正直神不欺幽閒理自足時有箕潁人相過論心曲

## 登少室絕頂

區大相

二室俱造天少室難與侔將凌岩嵲險遂涉清淺瀏陰磴煙尚霏陽崖雨乍收曳曳雲觸石洎洎溪亂流攀崖苔蘚滑踰嶺徑未修下窺元氣合上列象緯周霞彩席間發嵐氣衣上浮彈琴眾山響吹萬群壑幽方茲展奇眺聊用豁遠眸顧瞻盡河洛表裏見神州海客談員嶠羽士慕丹丘茫昧理豈設想像步難留平生徒欣仰即事恣冥搜寄言賞心客去此復何求

## 登箕山

區大相

杖策訪名山夙慕良有以素琴石上橫清風松下起昔日讓王人含芬遺垢恥飲泉想棄瓢臨流思洗耳太古多逸民中世寡奇士回策下巖翠放歌入煙紫白雲何時來荒途誰與理終願畢吾志抗手謝塒滓

## 城潁

區大相

停車指城潁芳躅何繽紛巢許既高蹈千載離垢氛如何遺羹子純孝至今聞揖讓君臣全憤爭骨肉分積憾天性蝕微言大義存至情在感發口舌徒云云荒隧淪故道薄采奠孤墳寄言茅焦者潁谷有餘芬

## 潁陽道中贈登封燕明府

區大相

王喬玉舄飛方朔金門待久聞有仙吏思願與之會君宦嵩山陽而與箕潁對案牘積煙霞訟庭落蒼翠人吏青巖中簪紳白雲外有時驅馬出獨晤飲牛輩雖復稍逢迎顧少風塵態乍到賞心愜久遊神理會臥理時自閒撫字亦勞瘁洗耳未必賢折腰豈為累我尋五嶽期君報三年最何日丹砂成乘鸞謁華蓋

## 將游嵩少發偃師曉行田間

周傳誦(河南按察使)

蚤起穿林薄零露濕人衣禾黍滿周原果實垂葳蕤驅車尋曲徑攲蓋避低枝鳴蟬高樹發兩耳清風吹青山若相呼白雲夙有期回首戒從人毋得田間馳田間幾莖禾農家數口饑勿以游觀故而令向隅悲問俗數憑軾野老對歔欷數載空皮骨茲庶免仳離但恐征求急不得救然眉殷勤慰野老努力畎畝為歲時有豐歉帝澤無偏私願告司牧者痌瘝尚念茲

## 同傳元鼎遊中嶽(有序)

高出(南京戶部郎中)

盧氏去嵩山五百里往令多不至予實慕嵩兼甚慕元鼎特往游焉遂與元鼎登其巔

嵩高自上古峻極造太清嶸嵲表天柱欻吸絕生成三花發瑤檢露葉夾雲莖二室相橫亘揖讓若弟兄决眼入三河他山皆硜硜登陟愜心期招攜兼友生平生五嶽興茲也結初盟主賓在不負俱留千載名悠悠一世人歷覽各含情相對盡為客偶爾感合并飽聞前朝事萬乘擁霓旌秩祀隆百代壯哉帝玉程山川紀功德星辰揚光精牲[辟/王]久滅沒探策竟誰明後世絕省方黎庶適無驚禮樂貴通變馨香惟利貞四月旱頗甚茂宰憂如酲為君鼓薰風一為解慍鳴神嶺白日蔽高閣丹霞平渺渺懷古仙登舉鴻毛輕願隨浮丘伯雲中學吹笙

## 同元鼎遊盧巖寺

高出

盧巖嵩之坳崖根豁一半前賢所隱居跡為名勝冠絮雲冐重岫光華常似旦飛泉闘流霞俯注谿砑散濤聲懸百尺碧與千頃亂琪花飄香雨紫蠙穴空岸石壁白日藏金沙明珠燦晤賞睠伊人道契同汗漫朗詠大人歌超哉凌風翰孰令意不酬臨觴喟三歎

## 箕山

高出

箕山於太室如岱有梁甫輔嶽並稱尊他山遑敢侮潁水源更清石流歷可數所以讓王人洗耳臨其滸一瓢棄陶唐飲牛愧巢父後代鮮若儔高風激千古緬懷睠有遇嗟哉不復覩惟見波湛湛雲氣朝如雨褰裳行欲涉身上慙絓組孰云能曠覽徒羨翩翩羽茲意諒自解來者將可補

## 贈別傅元鼎三首(有序)

高出

盧氏之役予假公事入嵩者再矣己酉冬量移南戶曹乃三入嵩山別元鼎共被信宿元鼎宴送天中閣揮泣賦別不勝離群之感也時大饑當事者憂礦寇為變擬調元鼎代予元鼎辭故末章及之

嵩高浮白日北風天地凉翳翳黃蓋峰執手臨其陽晤笑一室內頃刻來蒼黃行子歸匹儔飛鳥迴且翔馬嘶人無聲潁水不可航吾子揚惠聞予其歸故鄉路岐再三歎沾灑征衣裳

其二

衣裳柰天風伊洛揚廣瀾贈我西方綺輕毳可禦寒相思南國深采寄江之蘭石上秀菖蒲可以助加餐各慎千金體默默兩無言志士聊慷慨且使崇令顏

其三

令顏誰不觀傾城入宮忌樂哉為新知猶恐傷憔悴中夜忽忘寢思惟子同被恩愛暫虧隔沒齒慎失墜豈不念風波難為他人媚與子相代治快亦千古事北風雪霰零蒼然自酸鼻鴻鴈東南飛時寄一掬淚

## 登太室

穆光胤(中書舍人)

平生有癖性好入名山遊方壺與員嶠杳冥不可求晨起策玉杖翛然望嵩丘仲冬野草枯高巖古木稠穿雲惟樵徑赴壑有奔流野猿引我去超距衣自摳迴沓千萬轉雨汗不能休飲澗飛虹斷駭人猛獸遒伯昏無絕技若士有天遊齊梁分遠界伊闕來中州天風黃鵠下白日蒼雲浮五色拾金草三花獻玉樓振衣星漢落高呼帝座愁下界疑無地諸天接斗牛元氣空中合嵐光望裏收晚燈遺野燒斜月半縣鈎歸路煙霞滿回身係望周何當為麋鹿日走北山頭

## 元鼎令君招同王義華戚不磷遊盧巖二首

崔萬仞(舉人字元暉)

青山含素氣谷隱多真賢聞昔盧徵君結菴太室前策馬尋幽踪行行異山川林木悅我目流石契我偏嵃嵃削峻壁泠泠掛飛泉萬事自陵谷舊地列諸天吾友稱靜者歌吹列華筵客遊不知疲四座意悠然感慨有餘情含語俱未宣我為前致詞興盡且言旋廢興自有數喧寂亦有緣冉冉下夕陽歸路聽潺湲

其二

人命如朝露舉世悞榮華徵君抱遠性日日臥雲霞諫議非不貴等之若泥沙天子不能屈貞心誰可磨嵩嶽高不極與爾共嵯峨蔥蔥二室下是處有煙蘿誰能待婚嫁願此長婆娑何必求勾漏特地就丹砂

## 夏日同元鼎遊石淙過告成劉先輩叔姪見邀飲觀星臺

崔萬仞

久雨暑氣薄聯翩出城隈縣令愛敬客冠蓋行趨陪道逢衣帶士邀我登高臺高臺臨測景仰懷元聖才荒荒眾山裏前階盡草萊他鄉如舊識傾意倒樽罍情長苦日短倒景忽相催我行為山川自勸覆餘盃

## 望嵩嶽寄傅元鼎明府

釋欽義

託身寄孤雲飄零慙飛蘬生不羨榮名死只躭丘壑曉發大梁城暮宿武關郭據牀望嵩陽巖巢隱林薄清川寫幽谷浮嵐噴樹末揮手鳴瑤琴懷人發腦豁倚杖冀王鳧延頸佇緱鶴安得一携手舒嘯登嵩嶽

## 登嵩嶽四首

戚伯堅(布衣字不磷)

夙昔秉微尚目欲覽八荒寄身菰蘆中窘步乖騰驤聿來登嵩高浩若升混茫連山亘百里窈窕踰崇崗崖傾不留趾石破馬足傷盤盤歷御道封禪思前王天高氣爽清身遠目蒼黃窮陰懍萬壑珍木含群芳列岫爭輔佐大小紛翱翔卻立覽季室傍若右臂張高情恣凌踐升險神肅將解纓濯天池醉倚仙臺傍自覺非世人天風灑衣裳

其二

少室如蓮花一朵高插天低昂互分態開合左右連石脊盤迂途渺若孤線懸猿猱為之卻況乃通人煙天門壯崇墉俯睇伊洛川萬里豁遐矚兩戒分幅員谷空答清嘯塵淨無鳴鳶忽逢浮丘子羽騎何蹁躚手持相鶴經云與俗世傳捧讀再三歎茫然昧道詮

其三

朝攀萬歲峰暮躋定心石懷仙儻一遇雲開晃石室三花燦戶牖日月影倒射別具壺中天五穀爛狼藉中有白髮翁紅鑪煉靈液玉漿注瓊椀芳氣滿瑤席一飲清肌骨再飲生羽翮煙霞嬉遨遊體輕異疇昔咄嗟住世人忽為出世客紫簫曲未終桑滄幾遷易

其四

夜永晦群景遠壁明璵璠稍稍天地啟千峰延朝暾爽氣散林籟雲英相吐吞黃河落眼前萬里波濤奔捫天摘白榆西笑卑崑崙始知崇嵩高獨邁五嶽尊山花異世植帝休蟠石根食者捐妬性仁義草木存垂老踐靈境久悲蝨處褌王喬儻相招誓判骨肉恩

## 登嵩山

傅梅

太室似龍眠少室如鳳舞左石鬱相望維嶽重千古往來凌其巔去天餘尺五顥氣連鴻濛煙塵隔下土黃河一線明女几列眢宇洛邑鼎既沈梁園簡亦腐中原興廢地蒼茫不可數予本曠放人偶然披紳組雖為世網攖幸作名山主天池朝濯纓御砦暮陳俎長風襲奔雲時常爭步武高峰采丹砂遂井采雲母聊以遠穢濁非為慕輕舉茲意難具陳四顧空延佇滄溟與崦嵫日月自吞吐

## 中峯

清晨欣褰帷息軌翠微路捫蘿陟中峰遠覽策高步青天曠浩蕩下界迷煙霧不遇浮丘公何能展心素

## 中天池

傅梅

嵩山神仙館絕頂有天池靈源應銀漢砥柱命玄夷玉漿任上薰石髓受下滋飲此可遐舉不必求刀圭

## 逍遙峪

傅梅

奇陟追夙懷靈山每獨往遵巖過平峪物境愜心賞松頂峰霞飛松根石瀨響前賢迹已陳徘徊空瞻仰

## 天門泉

傅梅

崇巘闢天門劃然湧清泉濺拂雲根潤圓折地寶宣度林平鋪練逼潫細調弦清游暢玄覽一酌心瑩然

## 石樓洞

傅梅

扶笻下崇椒爰循芳麓遊積嶂忽復啟中有巖洞幽天然匪結構麗名蘊石樓寢憩煩勞釋遺家欲終晤

## 少陽河

傅梅

少陽峰下水宛轉流成河在山傳清瀨出山揚素波芳樹蔭華渚白鳥行青莎欣此滄浪趣不聞孺子歌

## 石柱川

傅梅

雙石昂壁立中豁廣川流雨挾疊浪急風襲漣淪稠浦深堪垂釣岸曲詎容舟放游增浩歎逝者空悠悠

## 雲母井

傅梅

遂井倚崇丘幽襲坤元厚甘泉靡機引中間生雲母寶韞每輝崖光揚時耀斗安得常服食歲與籤鏗久

## 織錦臺

傅梅

石臺啟石堂疊嶂隱層崿石文如錦綺玄黃紛相錯既無天孫機亦匪蜀江濯終古七襄文永言章名嶽

## 待仙峽

傅梅

少室如蓮華廣峽東方通崇巖與峻嶺刻削千仞隆雲端啟碧洞真仙在其中身非生羽翰仰眺使心忡

## 搗帛石

傅梅

嶽頂一片石瑩潔平如砧玉女夜搗帛山中聞杵音霞衣何用濯霓裳常如新天上無刀尺聲傳恐非真

## 拜馬澗

傅梅

王子本仙骨學道茲山中引轡出天閑揚鞭能追風一旦忽冲舉留馬表奇蹤澗邊群下拜馬亦化為龍

## 東龍門

傅梅

少室伊闕回太室此間盡巍巍界中央配天雄作鎮左右稱龍門禹跡曾兼濬地僻雲樹深茫茫誰復問

## 三臺山

傅梅

東龍門外山書中稱三臺維嶽資屏幛雲物時往來斷崖俄已失曲嶠忽復回漢皇巡行後輦路生荒苔

## 黃城

傅梅

箕陰潁水傍云是古黃城許由辭帝禪于此隱躬耕棄瓢巖已古洗耳池猶清停轅弔遺址願言謝世榮

## 遊石羊關外諸山遂窮玉谿之勝入夜遡潁而歸走筆有述

傅梅

入山旭光迎出山明月迫山氣兩岸青一罅豁天白眾水滙中流四望千層碧遠烟含細浪水天去咫尺問津得漁郎深入自决策清湍滌茂林泠然人境隔閒雲時來往每抱山中石絕嶠立誰扶斷崖疑鬼坼雙屐數滯停雨餘苔蘚積始窺貪幽奇久娛忘險窄舍杖捫脩蘿縮縮驚魂魄歸路已更深官燭遙相逆野人住巖阿夕火照空壁雞犬自成村駴見城中客感此厭塵諠百念俱蕭瑟所欽古真隱終身樂山澤

## 七言古詩

### 送人遊嵩山

趙南星(吏部考功郎中)

我昔騎龍遊嵩山三十六峰飛紫煙玄鶴化為白玉童為報子晉來翩翩道我何事久不至共傾金液長松前子晉為我歌鳳皇為我鳴妙音不可辨隨風滿太清慇懃留我住瑤闕雲中揮手風前發徑須身致宇宙平然後于此鍊真骨石上空留紫茸花林中長掛青天月誰知世事多錯迕塵沙空短英雄髮時望嵩山雙涕流逢君今向嵩山遊贈爾破山之寶劒服食石髓延千秋為我致聲山中客明當歸來臥雲石

### 潁陽三月雨雪歌贈丁元父

區大相

潁陽山中三月雪拂石點苔映春月行人三日嵩峰遊欲行不行心斷絕古稱洛邑天地中三月胡為尚朔風巖前看竹微微翠澗底尋花悄悄紅登封主人有異政去國憂讒時臥病無乃此事于天和不然何以乖時令世途反覆那可知把酒且唱游仙詞雪晴驅馬朝天去爾對三花採寄誰

### 次新鄭寄懷登封令傅元鼎

閔繼迪(吏部司務)

萬樹霜清孤月白溱洧城頭有羈客祠下聊聽東里歌洞中一訪軒轅迹徘徊獨上具茨峰二室芙蓉開咫尺風流為政有王喬三十六峰飛兩舄有時灑墨蝌蚪巖有時醉酒銅駝陌作吏翻驚詞賦多彈琴不遣簿書積只今聲譽滿河洛況復瓊瑤美標格欲往從之身無翼河水盈盈情脉脉

### 登封仙令歌(并序)

王穉登(太學生字百穀)

嵩山為五嶽首而少室峰巒與之並峙稱嵩少焉皆隸登封境內登封令傅君元鼎邢州才子詞人而善為吏訟堂蕭寂謳歌載道烹鮮之暇不廢游覽探奇選勝播之篇章若雲霞丘壑日在几席余讀其嵩吟如挾子晉遨浮丘吹笙跨鶴翱翔其間為政風流真仙令哉因作歌貽之以申嚮往之懷

邢州傅君號才子墨綬銅章宰百里牛刀小試不勝割仁風四達歌聲起五嶽嵩高稱最尊嵯峨少室亦當門千年漢武登封處玉檢金泥彷彿存誰道山城小如斗鼠雀蠹魚無不有目中不復有全牛剨然奏刃庖丁手單父鳴琴不下堂中牟雉雊遶車傍卓令循良如魯令河陽詞賦勝漁陽三花樹下嘗留客二室山中嘗布席秦槐漢栢盡停車禪宮道院皆題壁讀君嵩吟數十篇篇篇俱似賦游仙座上每看雲冉冉牀頭如聽水濺濺田郎風采人爭羨姓名先入蓬萊殿璽書不久下登封天子傾心思召見清朝莫謂諫書稀好取山龍補袞衣卻笑當年彭澤令纔憶黃花便賦歸

## 嵩陽宮作歌

高出

乾河礧礧山巃嵸四月天黃赤日風麥隴半枯蜻蜓舞逢人復問嵩陽宮故基遺搆不可覩惟有三栢鼎樹摩蒼穹曲凹十圍深隱馬幹禿皮皴僵如虹半死半生鬼神護倏東倏西日月通傳言漢封頗未辨唐人之碑亦豐崇牧牛磨角龍篆沒蒼苔濯雨蟲書同憶昔武帝巡幸日千乘萬騎鬱菁蔥誰其聞者呼萬歲荒唐信之終愚蒙即論此宮金銀闕鸞鶴葳[(糸毛-允+豕)-毛+生]三花紅瑤殿翠華安在哉豈意於今蒿草叢三栢閱世幾千載風霜屢入感慨中古今鐫題詩有篇其人往往逐飛蓬嗚呼使我不悲嵩陽宮

## 登少室同傅元鼎戚不磷

穆光胤

昔覽五嶽圖名山稱嵩少拄杖未能臨徒買山靈笑探奇今有嵩山長拉予欲踏青雲上御砦高盤天棧開砯崖轉石愁偃仰主人閨中出絳綃數回宛轉各纏腰前者攀援方汲引後者肩負復騰蹻鄧艾垂川那可見分明千尺接引之猿猱天風忽送意飛揚疊鼓鳴鑼雲麓傍餘音澗底驚雷起狐兔潛踪鸛鶴翔聞道奇峰有六六排空一一刺人目若箇耕雲種紫芝時走金牛與白鹿撲面蓮花片片開熊山大小逐人來洛陽城郭

還如故獨有東流去不迴搔首高吟萬仞巔八極揮斥几席前眼看世界歸葽蘼未許維羅有大千當年李渤托高隱拾遺不拜甘匱韞太白狂言索價高肉 食不解翻成哂我欲名山老此身每逢巖壑轉相親何時遁迹方山下巢許盧鴻好結鄰

## 移石幢(有序)

穆光胤

元鼎既建存古堂凡二室殘碑斷礎但有古人片語隻字者悉出荊榛瓦礫中移集于此復另作一齋官衙之右移戒壇石幢樹之齋前石幢唐物也邀余與戚子飲其下余為作歌

古壇敲側石無數慧日茫茫起煙霧石幢壁立幾千秋苔碧土花空朝暮令君好奇未可儔移來獨置小齋頭雕紋篆刻重磨洗金界靈文燭斗牛白鶴空歸非華表香煙雲氣成繚繞夜來習靜魂夢清風幡自定青山小

## 嵩高行

葉秉敬(河南提學副使)

嵩高壁立天中起卓絕真人獨艮 止少室相從會好朋大河環繞澄心水雲巒瓣瓣蓮花開瀑布霏霏塵滓洗定後難搖八面風興來忽散千峰綺最憐平易喜親人不作巉巖拒俗子一任塵凡日日過穿脇摩肩如集蟻嵩高之量如天寬至人心事應爾耳

## 萬歲峰嵩呼行

葉秉敬

君不見嵩山無人寂無說萬歲傳呼驚欲絕誰識千年峻極區都來一片廣長舌開脣剛只作三聲千載茫茫舌似結祇今不語卻如雷面壁磨翁得秘訣

## 嵩陽宮三柏歌

傅梅

突兀三柏插天中碧鱗剝脫如蒼龍拗雪凌霜鬬日月拏雲攫兩吼雷風旁蔭嵩陽一千畝爭雄二十四高峰山中之人相傳聞漢武曾封三將軍御蹕巡遊幾千載斷碑磨滅無完文從幸諸臣知多少人人先此將軍老隋唐戰骨久成灰矍鑠三君獨矯矯人言不死是神仙子晉吹笙去不還煮石蒸霞何地覓琪花瑤草空蒼烟滄海桑田變朝暮種樹者誰今何處閱盡遊人誰復來日見新墳高古墓吾聞泰山有松今未枯秦皇亦封五大夫後凋皆與山同壽片時虛爵何為乎政也徹也俱多事松兮柏兮蒙其污我來幸作名山主每過遺宮悲稷黍徘徊樹下不能歸有懷欲向將軍語此間箕潁有天人敝屣曾輕萬乘主況與衛霍同一流人奴齷齪何足數三君果受漢家封萬古高風讓巢許

## 少室行

傅梅

鴻濛下墜元氣結巨靈劈天天柱折大禹安所施神功五丁蜀道翻疑拙寒玉削成萬仞高森森畫戟排天闕遊人多在側背行誰識此山真奇絕前日我從臨汝來方知山面西南開百里巑岏看九頂蓮花一朵誰為栽四下群山低若水丹崖翠嶂凌波起韡韡正如菡萏舒亭亭直上雲霄裏端整巍峩若冕旒宋人所以稱冠子近山步步漸易形三十六峰插青冥疑神駭鬼紛難狀吐霧吞霞了不停似獅似象似奔馬如笏如几如張屏看山到此愜幽賞雙眼生饞雙足癢脫却青袍箸短衣捫蘿捋葛披榛莽絕嶠谿砑斷忽連幽崖磥砢窄還廣同遊二客俱好奇穆君翩翩戚君爽絳綃十丈代藍輿百夫更挽作前驅凌險狎危賈勇進十里五里纔須臾麋鹿豺狼俱逃遁惟有騰猿飛鳥相追呼絕頂振衣何所見石粼粼兮雲片片京洛依稀幾縷烟黃河彷彿一條練西天門內鐵窻遙玉膏神霧時時變帝休貝樹生何所萬壑千巖目欲眩三定思過眼界空全山一副羅心胷向背參差不必問根枝脉絡遙相通錦繡臺中猶爛熳光明穴裏自玲瓏來仙靈隱群真府寶勝清凉列梵宮巃嵸石笋暎瓊壁白鹿金牛堪共櫪歌山舞水能娛人昔日雲鐘聲未寂檀香紫薇原有種雲母丹砂亦可覓石室無主石床寒玉笈琅函空歷歷連天高接紫霄分白道洞邊多白雲此間便好尋仙去緱嶺吹笙咫尺聞藥堂藥草多難識神芝甘果長芳芬一丈鍾乳千歲穀冥搜未遘西日曛二君勸我觀且止歸來黯澹思無已隱士惟知索價高縉紳絕無濟勝趾方今領畧屬何人揮毫一雪名山恥吁嗟乎樓异之賦二千言描畫色澤都且美後來楊奐十字詩分明寫出神共髓予懷正與昔賢同萬古山靈有知己

## 白鶴觀古松引

傅梅

嵩山之奥多古樹幽巖滶澗紛無數愛此突兀一老松巍然獨秀仙人宮跨鶴之事若可信我來不見王子晉惟有此松常閱人榮枯代謝春復春遠望亭亭如車蓋風入松濤鳴天籟千仞盤桓眼界寬東西日月飛雙丸龍蟠虬蟄石罅裏震雷破嶽驚不起從來神物難久羈如何不離此山垂我欲叱之乘雲走駕我天池摘星斗白雲空繞故宮飛誰見白鶴復來歸教人却憶丁令威

五言律詩

同滕北海管建初二山人暨幻休上人遊二祖菴遇雨

黃洪憲(少詹事掌翰林院)

迢遞青山暮崚[山*層]石磴斜孤雲生杖履細雨濕袈裟古井餘雙栢煙嵐散五花何年謝軒冕此地學丹砂

遊達磨面壁洞

黃洪憲

躡屐上層岑千峰帶夕陰芙蓉青嶂合芳草白雲滶洞迴迷人徑壇空只梵音相看面壁處聊足洗煩襟

謁初祖

孫繼皐(吏部侍郎)

雲開初祖殿清磬禮香筵座擁三花淨燈明幾葉禪山屏圍積靄石室寫流泉欲問西來意天風為灑然

面壁洞

孫繼皐

一葦何年渡千春此洞存身留片石現道與孤峰尊曲磴陰雲入層崖古雪翻西來本無意吾對亦忘言

## 游少林寺

周夢暘

長日驅塵境今依梵帝筵栴檀風氣逆寶剎歲華偏龍象諸天迴香花二室連未能拋世慮聊此一逃禪

## 少林寺夜坐待月

周夢暘

萬籟此俱寂空山星宿稀挂林殘月吐入定一僧歸岐路誰招隱風塵未息機鄉思渾不滅幾欲遂初衣

## 贈無言禪師住持少林二首

李言恭(臨淮侯)

一衲孤雲外遙棲帝釋家結茅依二室飛錫采三花蓮是談經座杯為泛海槎予方迷彼岸肯為指津涯

其二

有相皆為幻無言始是真爾能通大慧我欲悟前因孤月懸心印三天轉法輪達磨千載後面壁更何人

## 贈少林無言法師二首

宋世恩(西寧侯)

道自西方至僧從上國來繙經留二室演法駐三臺錫掛嵩雲破杯浮海月迴貝多何處樹到日幾花開

其二

鹿苑曾傳法龍宮暫說經蓮花披寶藏貝葉啟珠扃禪定方離日名高已應星猶聞銅銚在為我訊山靈

## 謁嵩嶽廟

萬象春(巡撫山東都御史)

紫蓋開中嶽瑤宮逼上霄四圍山拱伏萬仞壁岧嶢神降傳周詠壇封侈漢朝空庭瞻拜畢歸路隔笙簫

## 天中閣

萬象春

摳衣上危閣一望思無窮地擁天中勝山標海內崇煙光平入望雲樹遠連空對酒清歌發泠然欲御風

## 使大梁因遊少林寺

潘豫之

駐節且逃禪清凉此地偏雲深孤磬濕寺古一燈縣閱樹知僧臘鐫碑紀佛年媿非蓮社客空對遠公賢

## 三栢

李思孝(巡撫河南都御史)

崒嵂生崖表移根遂不群月陰千畝落風葉半空聞比嶽將同壽為靈欲化雲作梁誇漢史何事號將軍

## 甘露臺

李思孝

曲徑經臺出齊心謁四禪鳥鳴春欲盡林霽日初懸忍草披香徑靈花覆法筵願將甘露瑞遙祝聖人年

## 寄傅元鼎明府于嵩山

于若瀛(巡撫陝西都御史)

迢迢嶽色明君去宰瑤京才豈嫌煩劇閒堪養性情堂高雲不遠山近月偏明怪得稱仙令時聞子晉笙

## 少林晚坐

區大相

山扉橫夕景石室吐晴煙門對吹笙嶺窗臨洗耳泉巖陰迴竹院香梵起花天坐待浮丘鶴歸來松上眠

## 面壁洞同丁元父給諫

區大相

震旦初來日煙霞啟洞扉苔生面壁石雲濕坐禪衣五葉燈前度三花頂上飛不知傳教後何事又西歸

## 題無言上人溪南精舍二首

區大相

一燈傳教後此地又開山二室三花裏千峰萬木間香臺携客上竹院待雲還既了安心義何須長閉關

其二

居士住人天精廬水石邊傍林開寶界持鉢酌香泉花發傳燈後鳥歸鳴磬前上方留客處松月共安禪

## 偕朱非二入少林至初祖洞

袁宏道(吏部郎中)

宿世同來否青山記夢登雲分新墜石樹老舊扶藤古蘚番文印胡鬚壁影僧磨公真狡獪隻履去何曾

## 話無言上人方丈

袁宏道

杖子撥秋煙堂頭二十年還君半面識乞我一蠡禪石壁分窗看松風對榻眠浮生成泛泛俱有雪毛縣

雨後登嵩山

張邦紀(右贊善)

攀雲凌昊杳芳樹綠參差春盡花仍發雨餘山更奇青童空碧草丹竈隱靈芝探勝懷高士煙霞洞口披

雪中同劉用貞孝廉訪無言禪師

楊玉潤(蘄州知州)

寒日朔風急披裘向少林雪巖群玉合霜逕萬山深豈謂探奇至還因訪道臨遠公曾有約今到虎溪尋

寄懷戚不磷于登封時客傅元鼎明府

馬之騏(翰林院編修)

憶爾遊河洛翛然一劍從勝應窮少室重想托臨邛尊酒堪誰共盤餐仗僕供轉嗔分手易空此惜萍踪

春分日送戚不磷重遊嵩少兼柬傅元鼎

王穉登

栁色綠於染折來重送君路從江便隔春與客同分鴈度嵩山月猨吟少室雲到時花滿縣仙令共論文

龍潭

穆光胤

寺下澄潭靜不緣風雨驚披雲雙鷺起入夜九龍鳴穎水分餘脉嵩陽助早耕安能當此際揮手試星精

## 紫雲洞

穆光胤

滽洞何年鑿清虛對石堂泉飛花片片雲起水茫茫鍾乳仙人館紫芝白鹿鄉誰能當此地不遣世緣忘

## 嵩嶽詩二首

杜文煥(副總兵官)

山色碧嶙峋山形若鬼神佛圖金作像嶽廟玉為人獨鶴何年駐三花幾度春晚風吹几杖縹緲出松筠

其二

浮雲觸石低嶽色與天齊有穴通仙館無人狎隱棲玉漿甘似酒石髓細如泥勝具吾真有何時一上躋

## 遊盧巖寺觀瀑布水率爾有作

魏大儒(蠡縣訓導)

萬疊雲流處飛泉一道清風迴長練捲日射碎珠明隔樹青天色環亭驟雨聲天然此真境夢想若為情

## 少林寺二首

方承郁(南京兵部主事)

一入轘轅嶺盤紆見少林白雲僧衲冷黃葉寺門滽果出菩提種泉飛梵唄音清凉靈境別最好滌煩襟

其二

五乳開初地高僧立雪年燈光熒碧漢香氣吐青蓮藤結三花樹經傳六葉禪勞勞人世裏從此息塵緣

## 少林寺四首

傅梅

石磴接金繩揆奇次第登野雲閒似吏古柏禿如僧梵韻千林雨禪心萬壑水西來無一字何處別三乘

其二

山葉欲紅秋山泉滿澗流叅禪知政拙到寺覺心休塔影斜書漢鐘聲晚咽樓伊蒲清供罷欲去更淹留

其三

日落萬山蒼天風[(林/日)*夕]晚凉開簾雲入座傍屋樹成墻塵慮空花盡清言漏水長青蓮何處是飛唾口餘香

其四

樹密晝長陰山雲白可尋欹松寒抱石細澗遠穿林香[(林/日)*夕]真如地燈明不二心遠公容入社誰復戀華簪

## 過鶯鳴澗懷高計部孩之

傅梅

褰帷省稼穡攬轡過林丘黃鳥鳴高樹丹崖束眾流幽懷聊獨往同氣阻相求何日山陰道重來訪戴舟

## 漁樂坡

傅梅

倚巉編茅屋臨流繫釣船已教山作主更以水為天閒網當風掛輕簑選石眠避秦疑此地莫向世人傳

## 存古堂

傅梅

披荊尋斷石剝蘚列空堂鐘鼎千秋色圖書四壁香靈開嵩室秘奇類酉山藏流覽生遐想前修詎可忘

## 醉雨亭

傅梅

向日壺觴地悠然見此亭兩年頭欲白四野地重青命駕看禾黍開筵問醁醽豐年真有瑞不必獨為醒

## 渡潁水有感

傅梅

洗耳逃名位高風自潁濱山川無定主天地幾閒人逝水悲前代浮雲歎此身褰裳歸未得低首任紅塵

## 盧巖寺看瀑布

傅梅

鳥道任躋攀泉飛萬仞間亂流爭漱石群籟欲聾山施食魚遊壑翻經鶴守關乍臨人境外長日飽潺湲

## 客有獨登太室者問之

傅梅

聞君登太室嗟我未能從陟巘應千仞穿雲約幾重有無菴控鶴多少穴藏龍石室曾誰遇歸聞何處鐘

## 秋雨初霽率爾登山有作

傅梅

秋日山行好秋山雨乍晴有巖皆作瀑無水不成聲墜葉沾衣潤飛雲拂蓋輕歸途天欲暝灼灼片霞明

## 七言律詩

## 登中嶽

李化龍(少傅兵部尚書)

獨步嵩峰最上頭憑凌萬里見高秋西連紫塞千山出東指黃河一線流漢畤秦封何處所盧巖許嶺自清幽登臨頓失風塵色極目浮雲澹不收

## 嵩陽宮

李化龍

懸崖壞壁草芃芃傳是嵩陽舊日宮何處閒雲飛嶺外有時佳氣起封中螭紋剝落唐碑古虬樹陰森漢栢雄指點千年成感慨悲風蕭颯萬山空

## 天中閣

李化龍

橫天飛閣俯神州漠漠中原此上游地轉三河紛秀色窻開八極起凉颼峰頭夜聽玄猿哭檻外朝看白鹿遊回首漳川何處是仲宣無賴賦登樓

## 少林寺

張維新(陝西布政使)

躡屐名山若有期秋霖忽霽萬峰奇慈雲初結曇花蕊甘露低垂祇樹枝上界鐘鳴僧定後西山日落鳥歸時一塵不到禪關掩何處風翻貝葉辭

## 少林寺

馬化龍(天津兵備副使)

維嶽曾聞六十峰偶依禪室寄閒蹤諸天鐘磬穿雲度萬壑煙霞拂檻濃古栢森森標漢跡高槐矗矗識秦封撚燈欲問西來偈尚逐塵緣未許從

## 登嵩山禱祠夜宿少林值雪志喜

徐申(南京通政使)

中嶽曾聞漢代封諸天秀色攬群峰千年玉檢藏靈琐萬壑松濤雜暮鐘弭節三川如可抱振衣二室若相從喜看瑞雪垂垂合回首巖巒吐玉龍

## 遊中嶽

丁應泰(兵部職方主事)

謫籍天中吏事閒扶藜名嶽幾飛攀昔聞武帝鸞輿至晚待浮丘鶴馭還隔嶺春雲分二室垂巖寒瀑響千山遲迴獨立嵩呼地青瑣猶然憶舊班

## 遊少林寺

丁應泰

青山空曲地清嘉紺殿中藏帝釋家秖苑禪枝開五葉珠林仙樹採三花天空池水沈孤月日射爐煙結彩霞直悟一乘窺最上何須重問白牛車

## 登太室

俞安期(布衣字羨長)

石室逶迤石徑通艱危雙履出巃嵸峰懸午日天中定河引春流洛浦同雷動呼聲傳武帝雲扶鶴駕望仙翁神漿更在三臺上乘月思過玉女宮

## 登少室

俞安期

嵩高中斷並神丘杖底泉開穎水流低度嵐陰連太室遠分山色繞中州掛衣春樹三花滿擁幔晴雲五彩浮遙傍星樓天半宿少微永夜在峰頭

## 題少林寺

方大美(太僕寺少卿)

余自乘驄度石關少林野寺枕嵩山臺承甘露禪牀淨樹擁慈雲客舍閒萬象不離生滅外諸天多在有無間達磨面壁西歸後誰讀楞嚴解八還

## 遊嵩少酌盧巖同燕明府

黃輝(少詹事兼侍讀學士)

太室少室蓮花巾大熊小熊巢父鄰喜從黃社遭賢令笑共青山閱過人茶竈煮來秋月苦芝藍提去夕陽貧盧巖已不知鴻一名姓何勞着片珉

## 二祖菴在鉢盂峰同秦京作

黃輝

澗響藤枝百折秋萬峰荒翠鉢盂收轅轅鳥跡空中下河洛龍光天外流石怒亂隨獅子擲塔靈高許鴈王投眼看浩刼長如此誰道真僧有去留

## 嵩陽院觀漢封三栢

區大相

嵩陽宮外栢三株漢帝遺封今記無翠靄尚留龍馭遠青天時有鶴群呼年深飽歷風霜色世渺全荒玉檢符欲問興亡千載事不知人代幾榮枯

## 遊少林值雨

區大相

清晝入門春霧濃坐深簷溜遞疎鐘泉聲欲過三花樹雲氣常生二室峰入夜蕭條清客夢翻堦滴瀝滯遊踪明朝儗趁嵩高目好放晴光隨杖龍

## 謁中嶽

李思孝

崚[山*層]神嶽拔千尋曉望空濛瑞靄侵松檜曲連天路遠風雲高護古祠深百王秩祀昭靈貺八郡災祥見心槩戟暫停瞻禮切瘡痍滿目罷登臨

## 遊少林寺贈無言上人

張邦紀

琳宮崒嵂據高峰禮佛遙聞樹杪鐘古殿拂雲巢燕雀蒼松蟠蓋偃虬龍譚經法座天花密入定幽巖霧靄封願待向平婚嫁畢遠公蓮社合相容

## 題達磨面壁

金忠士(河南巡按御史)

渡江一葦浪花飛九載跏趺坐翠微面壁已知僧入定巢肩亦是鳥忘機無生色相俱成幻有漏人天總悟非何事宋雲蔥嶺見少林風雨悵西歸

## 望少林

曾用升(河南巡按御史)

群峰擁翠自芊芊靈鷲飛來不記年縹[緲-目+耳]浮屠參碧落微茫曇樹隔蒼煙探奇業負三花勝問俗心懸匹馬前欲起瘡痍渾未得忍將遊豫漫流連

登太室絕頂(山行二十餘里覓古今人題壁不得一字欲窮天泉石樓之勝而壞祠無可栖止者嵩遊之廢久矣)

袁宏道

礫瓦紛紛雨洗斑嵩峰久矣閉仙關雲開忽見玲瓏壁水外微鋪淡遠山古道熟知龍洞嶮僧云勝在石樓間幽巖欲去無栖處獵火燒空照夜還

觀盧巖寺瀑布二首同朱非二傅元鼎

袁宏道

百尺煙中紫翠分水光搖日雪紛紛長風碎曳千年石飛雨斜侵半壁雲澗底有人穿洞出山間投礫隔村聞仙家只在深嵐裏松腹猶存鳥篆文

其二

洞門長是帶雲關竹杖深穿杳靉閒醉裏放杯眠澗水夢中和雨入廬山霞光射壁殘碑出松影流堦處士還潭下老龍呼不起携將新月過煙鬟

贈登封令傅元鼎(嵩山之奥有白鶴觀遺址偃蓋松一株亭亭可愛元鼎圖復此地故末句及之)

袁宏道

麈尾一麾案牘稀石淙潭水洗秋衣公庭葉落書常滿絕壁雲開舄自飛入寺每同求蘚蹟上山親與勘松圍夢中白鶴如相語君是重來丁令威

嵩陽宮古栢封于漢非漢物也傅元鼎以為三代時物信然

袁宏道

看窮人代只青蔥山鬼那能記始終手把洛書逢大禹眼窺日表見周公龍鱗抉石方知地鵬翮搏天始送風縱始文成能誑語問渠霞壁幾時紅

## 宿少林寺

房楠(工部郎中)

纔過空門性自閒松風寂歷鳥間關得逢金[鎞-囟+(奐-大)]蓮生火但解天弢簣即山香渡[窓-夘+(囟-乂+夕)]虛秋桂發韻從天外暮鐘還更闌拾履層階上雲淡波澄月一彎

## 謁中嶽廟

吳用先(浙江左布政使)

嵩陽宮殿倚雲隈六六峰頭秀色來遶郭層巒螺髻列插天群嶂錦屏開蒼松翠栢煙凝樹玉笈金函霧鎖苔縹[緲-目+耳]洞簫丹鳳下誰言塵世隔蓬萊

## 會善寺示傅元鼎年丈(時修嵩書)

吳用先

香臺古剎冷遙岑捫石穿榛恣討尋刮盡豐碑荒草沒蝕殘斷礎臥雲滾蒐羅詞翰堪追雅收拾煙霞足賞心欲拂瑤琴山水奏況逢同調有知音

## 太室

黃承玄(河南右布政使)

萬疊長巒臥紫煙幾朝名剎倚諸天嵩門曉控真人鶴玉柱晴飛太乙泉綠字碑函唐禪日蒼崖樹老漢封年捫蘿若遇浮丘子便欲餐霞薄世緣

## 少室

黃承玄

携笻何處問三花望入層嵐路不賒雨過半空懸石髓雲消九頂見蓮華珠林月挂神光錫玉洞丹留子晉砂極目更憐殘照裏群峰片片倚青霞

## 少林寺

周傳誦(河南按察使)

目極嵩高幾十年暫從野衲了山緣峰回五乳臨初地雨挹三花淨法筵面壁人亡空說影安心語竟別無禪諸天不染風塵色坐看藤蘿月正圓

## 石淙

周傳誦

山中到處可彌留一壑誰知此地幽磵道天開石笋出奔濤雪捲浪花浮遙分嵩少千峰色絕勝陂塘五月秋解綬抽簪茲未得暫將清興托滄洲

## 少林寺夜坐

鄭振先(禮部主事)

一到靈山意嗒然那知淨念亦因緣識神纔起微塵滿聲臭全銷萬用圓不向眼前尋實地更從何處契先天旁參漫自勞終夜道力初持恨未堅

## 遊少林寺

王元翰(工科給事中)

跏趺大士背巖扉草樹離離佛日輝面壁幾年能透石渡江片葦為傳衣三花香散飛黃葉五乳峰高上翠微夜半風鳴幡影動誰知隻履未西歸

## 同傅元鼎明府謁中嶽飲黃中樓得門字

張季彥(兵部主事)

巑岏嶽色散朝暾二十四峰此獨尊時有黃雲浮紺殿俄聞清磬度松門空堦剝落螭文古斷碣模糊鳥跡存醉倚危樓舒遠眺亂山積霧鎖黃昏

## 中嶽別傅元鼎二首

高出

三載頻看二室松風塵杖履那相從翠巖石隱前賢跡黃蓋雲生歷代封雪樹迴懸平樂澗雨花遙落少林鐘異時箕潁還相憶悵望中原六十峰

其二

勞勞行色笑遷官積素蒼茫紫氣寒地主若為愁判袂山靈真欲惱彈冠鴻途千里從茲遠馬首群峰不好看西北浮雲休苦望相思頻折潁陰蘭

## 遊少林寺宿無言上人精舍同戚不磷四首

馮時可(雲南參議)

大乘神州氣鬱蔥琳宮梵闕倚巃嵸青蓮爭護傳燈影瑤草深依立雪踪千澗玉流塵自洗諸峰龍抱秀偏鍾誰人能解西來意不羨緱山笙鶴逢

其二

杖屨高標物表風誰知身世在天中鳥喧叢薄山偏靜雲撥虛堂境自空嶺外河流今古白林間葉醉淺深紅唐碑漢碣終磨滅惟有禪心萬刼通

其三

河洛離宮久已淪禪林獨揭典型存虹梁霧閣臨仙壑月榭霜臺通帝閽二室近攀稱伯仲群峰遙拱作兒孫悠然清舉塵情斷一榻松風警

夢魂

其四

名境精藍七寶房淋漓雲氣和天香千年樹與碑俱古百轉峰將壑並藏僧指翠微標勝蹟客磨蒼蘚覓鴻章無論問法傳心事只此幽居興亦長

## 嵩山雜詠四首

馮時可

萬古宅開萬國中兩山鎮壓兩河雄龍眠鳳舞奇形別玉積蓮苞秀色同雲氣往來常自接天門呼吸近能通仙源有路誰招引八翼泠然好馭風

其二

仙關淙渺閉絪緼萬仞崔巍勢獨尊水外飛霞銜御砦巖頭垂瀑震天門光浮玉鏡常懸月墨灑金壺未滅痕安得青童遂相引剛颸吹翼薄崑崙

其三

鬼谷龍潭蔽草叢獨餘古色似鴻濛四封嶽瀆環為輔九野星辰拱此中雲裏雙笙仙下上嶺頭隻履佛西東幽奇欲討無栖處他日重來捫大熊

其四

蒼然嶽色壓天中陰壑陽崖望不同遠水如雲浮落日飛泉似雪舞回風石牀夢醒群魔伏金地心開萬境空誰可入林相把臂朗公今在玉溪東

## 令君傅元鼎邀遊上盧巖嵐寒逼人令小史酒余醉且二三寒氣若失喜而有作蓋余不食酒數年矣

馮時可

徵士幽居建佛菴到此不飲樂寧耽敵嵐三酌聖能中對瀑連觴禪可參小史紅顏堪引滿令君青眼易成酣松陰山翠煩雲護他日飛鳧再試探

## 寄贈元鼎世丈于嵩陽

馬之騏(翰林編修)

使君有子更雄飛載剖單符出帝畿文筆東京推伯仲治聲西漢共光輝窺簾一鶴乘雲入拂席三花帶雨霏早晚若聞天上召瑣垣清切嗣前徽

## 寄贈傅元鼎明府

馬之駿(戶部主事)

三臺春暖沸絃歌縹[緲-目+耳]瑤笙舄影過勝蹟每先猿鶴到新篇翻比簿書多捲簾石髓青常滴推案雲峰翠不磨解識遊仙兼吏隱風流輸爾獨婆娑

## 寄答元鼎世兄

馬之駿

懷人嵩少鬱千盤交定飜憐識面難課吏秫田常共客尋僧芒屩不知官書成字肯懸金易政暇琴唯閉閣彈可是君家饒治譜桐鄉今已祝衣冠

## 夏日元鼎招飲天咫樓(樓在登封北城門上乃元鼎創建者)

崔萬仞(舉人)

新搆高樓欲近天青山一帶供華筵太室少室綺疏外小熊大熊朱檻前始信向來詩有畫試看今日令如仙探奇何地宜先發笑指石淙月滿川

## 訪登封傅元鼎明府

穆光胤(中書舍人)

縹[緲-目+耳]嵩雲近帝居此中仙令定何如栽花赤縣聲堪埒種秫公田政有餘馬上看山神色爽巖頭覓句禮文疎因君動我煙霞癖回首應焚學士魚

## 寓登封贈傅元鼎明府

戚伯堅(布衣字不磷)

白鹿青童久寂寥美人為政擅風騷名隨伊潁流俱遠身主嵩陽望並高問俗閭閻無逸事題崖靈怪助揮毫三花即是甘棠樹父老春秋瀉翠濤

## 石淙

戚伯堅

境外尋真境亦真空山雨洗壁痕新怒流亂射泉千鏬砥石中蹲座百人花罨綺筵張繡幕草深碧澗走朱鱗幽巖若可添茅屋臥聽松風老此身

## 登嵩山

白南金

塵俗難分半日閒嵩高今始一躋攀黃河影接中天上玉壁光搖二室間聽講龍來曾入座吹笙人去幾登山峰頭六十多仙藥何處丹砂可駐顏

## 登測景臺

葉秉敬(河南提學副使)

朝出陽城霧色籠登臺如夢見周公臨高洞識陰陽會測景全看天地中二室雲開花爛熳千畦泉繞玉玲瓏前旌指點石淙路馬首徘徊未忍東

## 偕傅元鼎遊石淙望潭而飲尚欲添一斗牛槎也遂成一律

葉秉敬

驅車未到已聞聲隱耳輕雷笑不驚石湧參差人坐立潭開瑩徹鑑空平徐風入澗迴環轉曲水浮觴委宛行欲借傅君舟楫用不教河漢隔盈盈

## 登嵩山二首

方承郁(南京兵部主事)

宛轉丹梯歷幾重削成二十四芙蓉秋聲不斷天中雨朔氣疑吹澗底鐘突兀岡頻空翠染叅差碑半古苔封興來直借浮丘鶴為上嵩高第一峰

其二

遙遙空際晝陰冥為愛名山選勝停帝遣五丁丹嶂擘道迷七聖白雲局何年玉笥藏金簡自古祈靈有勒銘休問前朝封禪事宮亭寂寞石花青

## 抵登封柬傅元鼎明府時元鼎先遣吏候予于轘轅

方承郁

曾從玉井掩雙扉更向嵩陽一振衣候吏徒勞望紫氣美人真自拂金徽停軺朗月秋空淨入郭薰風朔色微指點群峰青不斷願期仙舄與同飛

## 望子晉峰

王孫昌(舉人)

不二門開第一山少陽東去水潺潺峰懸五乳中天下磴歷千盤出世間面壁空留石影在吹笙不見鶴飛還稔聞九頂蓮花砦白玉膏吞可駐顏

## 遊達磨洞

陳文燭(大理寺卿)

岩巃葱嶺萬重雲策杖登臨日欲曛五乳高峰人不到九年空影石為群寶光尚映遺碑字梵宇偏從古樹聞况是友人能解脫夜深還檢釋迦文

寄題中嶽(余少有五嶽之志不幸牽於世網並未得遊萬曆壬午以計吏北上途中偶爾興懷寄託)

屠隆(禮部主事)

高柱劒天白日停千峰迴合晝冥冥鶴乘秋日笙俱冷虎嘯空巖殿不扃一夕風雷松壑徒九年霜雪石花青竦身欲挂藤蘿外夜聽金臺玉笥經

寄題嵩山二室二首

王履和(字仲美邢臺庠生)

太室

巑岏萬仞倚晴空只赤人間路不同誰遣巨靈開鳥道翻從勝槩弔雄風憑凌星斗三千外指顧河山百二通大地茫茫看一氣不知何處問鴻濛

少室

九頂蓮華葉葉分旭光一抹淨塵氛洛川風起晴飛雨崿嶺烟封曉度雲萬壑鐘聲通窈窕千秋劍氣吐氤氳漢唐御蹕從何識古木蕭蕭鳥自群

太室

傅梅

峻極名山稱地主振衣二十四峰高遙看海日生朝曙下見河流捲暮濤古寺空傳龍送水仙壇猶有鶴鳴皋自從漢武登封後多少盤遊置驛勞

## 少室

傅梅

西嶺天風送鴈羣凌虛千仞人絪緼茫茫貝樹三花落面面蓮華九頂分倚杖漸生梁苑月沾衣幾度洛川雲可憐緱氏笙音斷十八疊中何處聞

## 箕山

傅梅

嵩南特立如嵩輔萬古箕山祀許由異世猶傳高隱蹟當年肯代放勳憂川原寂歷青天暮煙霧蒼茫碧樹秋拜墓自慙紳冤俗孤峰徙倚思悠悠

## 潁水

傅梅

耿山之麓潁源長東過箕山正渺茫我欲開渠成鄴下誰同游樂比濠梁中流汎汎桃花色兩岸依依杜若香洗耳挂瓢何處是可能懷古不懷鄉

## 陽城

傅梅

自從大禹避陽城曆數于今幾代更河洛尚存千載蹟謳歌想見萬方情微茫玉帛荒祠暮寂寞舟車古道平故址不堪搔首望高原惟有野人耕

## 轘轅

傅梅

橫看一嶺側千峰鑿石為關路幾重遠帶河流歸上國平連伊闕列崇墉若令方軌應難度即用丸泥亦可封欲向此間占 紫氣晨昏好聽少林鐘

## 盧巖

傅梅

疊嶂懸崖勢欲傾千尋瀑水落縱橫直穿嵩嶽春雲色常作瀟湘夜雨聲幽洞凉生松影合虛亭塵靜竹風輕高賢舊宅今為寺弔古令人減宦情

## 石淙

傅梅

行春選勝列春筵箕北嵩南此地偏淺澠深潭清自入奇峰平嶂曲相連林帷花草疑無路洞鎖煙霞別有天不分尋常修禊事千秋獨紀永和年

## 過少林寺二首

傅梅

二室巑岏一徑通少林寺在翠微中地從梁魏標靈異僧自隋唐好武功若道傳衣終箸相須知遺履亦非空年來悟得西方旨 才到名山便不同

其二

禪堂寂寂坐更深月上松杉見遠岑地迥樓臺收翠靄山空鐘磬有清音官閒自合無生法政拙還同不住心三十六峰多藥草何時解綬任幽尋

## 春日自嵩入洛四首

傅梅

黃昏昨命嵩山駕清旦今浮洛浦舟千里悠悠成浪跡一官落落寄滨愁新楊新杏爭相媚閒水閒雲好自由無奈歲荒歸未得豈因五斗蹙

淹留

其二

白雲青葢共飄揚滿路鶯花斷客腸[拚-厶+去]以忙官消歲月那堪遊子度春陽邙山洛水渾無異金谷銅駝盡已荒弔古傷今情未已故園書問復茫茫

其三

遠浦微茫接遠岑輕雲輕霧晚陰陰驅車豈敢悲勞役束帶惟愁損壯心花到春殘應棄葉鳥知天暝亦歸林幾回擬作褰衣遁滿目瘡痍軫念深

其四

河汝鄰邦同駐驂謁臺大會古周南論官我亦稱民社量地誰還視子男政拙已知無上考時違爭敢縱深談一行作吏傷心甚豈獨嵇生七不堪

## 陪方伯黃公山遊

傅梅

新秋柴戟下烟嵐六十名峰次第探身立天中見天外路經山北到山南諸方寶樹供揮麈四野甘棠識駐驂下吏祇應前負弩叨陪醼賞挹清談

## 陪憲長周公山遊

傅梅

中原山水嵩為勝憲節今逢按部來白晝微雲開二室清秋皓月照三臺旌旗色與林光合鼓吹聲隨澗響迴聞道霜威凌草木陽春三日感趨陪

## 登嵩八首(有引)

傅梅

予至登封三月後始草草遊觀作太室少室箕山潁水陽城轘轅盧巖石淙近體八章詞無足采而住持道公伐石八條刻少林寺好事者搨去有製作屏風者予見之甚愧恐不足為茲山重也異日見岱史李于田先生督學山東時有登岱八律後來和者往往如其數雖

工拙不同亦豪舉也因思嵩何遜岱此段公案似不可缺遂爾效顰不知果足並傳否時予束裝將上計矣即用以留別山靈可乎

四野耕桑吏事閒嵩高咫尺任躋攀半空煙霧憑凌過中夏封疆指顧間河水明明吞洛水箕山隱隱接塗山坐看暝色千林寂月印天池未擬還

其二

煙消雲淨轉嵯峨搔首青天發浩歌山以鴈行分二室地從鱗次辨三河瑤空風起身堪御銀漢星回手可摩萬壑千巖涼似水石樓無主奈愁何

其三

天雞纔唱見朝暾此地先明下界昏霞彩千重生御砦泉光百道挂天門玉華玉柱遙相接金匱金壺盡可捫潁水若如星宿海中原亦自有崑崙

其四

丹崖翠嶂倚晴空呼吸還疑帝座通至北至南均日景交風交雨列天中高含元氣三台近分奠坤維四嶽同豈為山呼崇祀典虞廷柴望已無窮

其五

雲棧星梯度幾重石林選石臥孤笻紅塵壙埌三千界碧落巑岏六十峯太乙祠前松鬱鬱天封觀外水溶溶豪華轉盱成今古欲問浮丘不可逢

其六

空中九頂似蓮花天際峨嵋未足誇百里蔽虧藏日月四時光怪幻雲霞玉膏石髓神仙饌金界珠林帝釋家綰綬此間真吏隱何須句漏覓丹砂

其七

宛轉羊腸十八盤中峯峻極入雲端九潭下瞰蛟龍宅五渡遙成鴈鶩灘白日忽沈梁苑暮蒼煙不斷洛宮寒徵書自是前朝事巖穴重尋大隱難

其八

憑將勝具縱幽尋臘屐穿山深更深峰有奇文傳灑墨泉多妙響號鳴琴琪花瑤草無冬夏白鶴玄龜自古今邑小官閒聊寄傲淹留五載未抽簪

門人(焦弘祚　陳懋齡)校字

嵩書卷之十六終

嵩書卷之十七

## 韻始篇六

### 大明(萬曆年詩下)

#### 五言排律

### 寄嵩山何野鶴

黃輝(少詹事兼侍讀學士)

二室峰爭秀君栖第幾層巖歸依虎跡壑轉斷人踪白石連雲煮黃精帶雪舂沾衣霞片片遶戶水溶溶徙倚龍潭月盤桓鶴觀松向平雖有約咫尺眇相從

### 石淙同元鼎修禊事

高出

眾壑淵源合飛淙倚伏斜勢吹星宿海聲折斗牛槎天后摩崖古群公麗藻賒蒲茸穿玉髓石乳帶芹芽濯足滄浪闊醒心碧落華車廂亦有谷衣帶若為遐上已欣和暢名賢足怨嗟傾壺臨險仄惆悵渺雲沙

### 春日偕元鼎沿洛入嵩

高出

方駕春花內青袍照眼新仙才俱不世吾道孰能馴雨裊垂絲淨風翻落蘂勻煙墟含白羽漲岸帶青蘋玄鶴瞻緱氏明珠贈洛神乾坤三月麗山水兩心親群鳥還求友雙龍怕近人五噫去梁子百謫滿陳遵矜誕論文日幽偏種藥春好尋梅福跡時事倍沾巾

### 後遊少林寺兼呈道公

高出

眾山趨少室古寺帶滜堂日奪三花曜泉飛五乳香鼏燈懸縹[緲-目+耳]寶塔半低昂苓术精靈久松杉雨露長摩尼侵隱映梵鐸殷微茫石壁人間有金田異代荒千秋聖諦義萬丈白毫光藤葛春俱蔓雲霞遠益蒼跋陀啟檀越惠遠擅蓮塲三笑從茲去同遊耿不忘馴禽疑解語伏虎欲相將苦更憐桃栁風前劇太狂

## 觀星臺

高出

山豁陽城內雲涵穎水東觀臺銜睥睨漏刻隱蒿蓬泉注丹型舊銘湮石磴同風雷遭忽仄天地劃當中禮樂繁周室星辰擁漢宮登臨美人思今古慨無窮

## 寄贈傅元鼎明府時予渡河將遊嵩山不果遂訂後期

穆光胤

四顧河山勝中原未可方嵩峰連地起洛水接天長有美邢州彥分星列穎陽丰標來自晉詩句妙于唐日有林泉約都無簿領忙三花爭獻秀二室藹生光筆底煙霞滿胸中丘壑藏明珠投客歲夜月想空梁自媿逃名淺獨憐寄興狂春來雲作駕天外羽為裳已度洪濤險欲憑華蓋傍遠心陟絕巘浪跡阻他行日影誰能測鶴仙祇自翔盧敖歸杖穩宗炳靜琴張把酒頻懷友聽鶯幾斷腸雄雌曾合劍風雨會連牀偶有雙魚便因裁寸楮將他時能過訪傲吏是吾鄉

## 少林寺觀十二靈芝圖

穆光胤

勝地鍾靈異托根自不常千年白玉碣十二紫芝房燦燦珊瑚色熒熒寶樹光風臨三秀動雲護九莖長隱士商山曲仙人瀛海傍披圖當此際盛代想休祥

## 嵩山少林寺月夜譚禪一首

王世懋(太常寺少卿)

少室少林寺何年中嶽中人天正南北吾道自西東藤秀三花老燈傳六葉紅我來尋祖義師老振門風步入嶺雲盡坐滾山月空何須問密印祇自證玄同枕簟清無夢津梁去不窮君看王逸少理得似支公

## 恭謁中嶽廟禮成賦十六韻

傅梅

縹緲神人宅穹窿帝者宮靈蹤千祀在美利萬方同分野從周啟明禋自漢崇金泥朱闕表玉輦翠華叢指顧天門近吸呼帝座通土圭均日景玉像鎮天中傑閣翔威鳳脩梁駕彩虹青牛曾化樹白鶴每盤空瑤草當階碧璦霞暎壁紅含生歸浩渺列象毓洪濛宸獻通幽遠神功翊運隆坤維資奠麗元氣鬱蕭蔥故檢疑終秘遺碑自昔豐皇恩晞湛露民慍解薰風肅肅虔將祀明明恪在公登封稱奉邑柴望永無窮

## 少林寺贈道公

傅梅

傳衣登法席卓錫倚嵩峰[泳-永+(瓜-丶 )]自曹溪衍人從嶨嶺逢青林甘露降紺宇碧雲封燈續光常燦香添氣轉濃簷窺初入鴿鉢隱舊降龍聽講淹星駕參禪過夜鐘一乘歸淨業半偈豁塵胷潔比箕山雪癯同太室松到來風謖謖定後月溶溶豈礙朱門入還期白社從師應歸正果吾亦重南宗每到臨岐處溪邊見虎蹤

## 春日送客即事

傅梅

送客翻閒適揆奇過遠鄉峰紋看錦繡鳥語聽笙簧暎水花饒態迎風竹有香漁樵分飲食爾汝話農桑雅喜淳風在兼便苛禮忘忙官真火宅此際暫清凉

# 七言排律

## 遊象極洞(有引)

傅梅

金壺峰下大石踰畝面開一洞厥形正圓俗以雞卵名之左右雙井可探而酌天然之奇非人力也自道士建老君祠蒙冒其外而洞與井不見天日矣予遊此决計欲毀之易以今名實夢中所得見靈緒篇洞去逍遙谷尚遠向附會潘師正恐未必然為賦十四韻

誰剖鴻濛開太極包涵元氣鬱蕭森疑經鬼斧中央劈應遇仙軿下界臨穿自雲根通地肺劃從石竇見天心青蘿密抱喬松老碧草紛隨曲徑深背倚孤峰惟鳥度面開雙井待龍吟玉漿穴古非難覓丹竈烟寒尚可尋何物羽流增小築遂教真境閉重陰寧知柱史非應祀若遇梁公定毀淫策屐徒令生俗障飛觴何以爽塵襟易名表箸神為助違眾更張令獨任引水便應通別澗凭虛從此見長林夢回還憶山靈語歸去生憎暝色侵幾縷穎烟看漠漠一輪嵩月望沉沉清遊轉盼成陳跡物換星移自古今

## 五言絕句

### 達磨面壁石

李化龍

達磨面此壁形踪如何辨飛空本無迹遺像終成幻

### 登二祖菴四首(菴在鉢盂峰磴道險絕蓋少林苦無水而茲峰有四井故獨勝焉)

周夢暘

孤峰接天雲斗絕無可儷欲參斷臂師排雲入天際

其二

跋陀叱水後二祖據峰巔卓錫一以定雙雙玉井泉

其三

二祖覓心時師與安心竟持鉢還峰頭境淨心亦淨

其四

捫蘿陟峰頂頓令猿鶴驚忽爾萬籟發如聞鉢盂聲

秦槐

張應登(陝西按察副使)

槐樹何年植秦時大數[圍-(舛-夕)+巾]待[圍-(舛-夕)+巾]三百尺化作老龍飛

面壁菴

龍膺(陝西按察副使)

觀相原無相言心即着心蔥菁巖下栢霜雪鬱森森

少林寺達磨像

陳繼儒(布衣)

西來初祖像人天共瞻仰若問祖師禪罪福原無相

四樓詠(有引)

方重(舉人署登封教諭)

令君傅公元鼎既城登封撤舊堞而更新之又改作四門各創建高樓三楹規制弘敞並錫以佳名予每同諸子登其上輒留連忘歸漫為四詠焉

考辰樓(下為春雨門)

登高騁遠目四野動春耕暝色澹忘返鐘聲雜雨聲

大觀樓(下為黃離門)

四山如郛郭蒼翠入高樓樹杪看飛練遙遙潁水流

寶成樓(下為鴻澤門)

少室對孤城寒色滿林薄禾黍自垂垂三花何處落

天咫樓(下為萬歲門)

新閣倚嵩山去天不盈咫直北盡浮雲長安何處是

達磨面壁石

杜文煥

四大非我身况此虛無影我來一仰瞻豁然發深省

天中閣

杜文煥

高閣在天中去天更幾許舉首撼天關欲與天人語

詠六祖栢

王孫昌

千年栢尚存杵臼人難遇自謂無菩提如何更有樹

六十峰詩

傅梅

青童峰

青童者誰子捧書自來去山高白雲深茫茫不得語

黃盖峰

一峰出木末端整更無奇只有黃雲色東南覆嶽祠

浮丘峰

浮丘棲隱地雲白與山青自從仙舉後惟傳相鶴經

**三鶴峰**

當年李道士煉藥峰之下若更來三鶴吾甘棄駟馬

**遇聖峰**

仙人垂大耳石上采菖蒲漢主無仙骨重逢更有無

**萬歲峰**

漢皇修大禮龍駕此間登可歎三呼後無人問茂陵

**玉鏡峰**

峰上無所有人傳一鏡懸若云天上月何得夜長圓

**獅子峰**

擊象曾有圖似麟亦充貢如何入嵩山斂形不敢動

**虎頭峰**

山頭似虎頭常在此山踞只為守陰符不肯渡河去

**起雲峰**

古稱雲從龍雨降雲先起望不慰三農漫天亦徒爾

**鳳凰峰**

地本屬潁川吾以潁川治但願鳳凰來不願黃金賜

**金壺峰**

老子出關日尹喜彊著書不知金壺墨較此色何如

**華蓋峰**

華蓋最高峰呼吸通帝座不敢發嘯聲恐振星辰墮

**玄龜峰**

直北峰頭水泠泠玉井寒若開蓮十丈人擬華山看

**臥龍峰**

蟠結如龍臥一臥幾千年猶勝南陽客當時臥未堅

**會仙峰**

羣仙曾會奕奕罷仙蹤絕不似世局長悠悠未可結

**子晉峰**

王子飛升去千山空月明我來峰上坐猶似聽吹笙

**玉柱峰**

山形真奇絕一柱插青天日月東西轉亭亭不記年

**老翁峰**

我歎此老翁跏趺常在此不似面壁人空自留隻履

**玉人峰**

山中見玉人云是嶽神像至今古殿裏精光不可望

**玉女峰**

玉女何年至天書七字符靈文人不識非是篆糢糊

**金匱峰**

石作黃金色崔巍何壯哉儻移易水北便道是燕臺

積翠峰

登眺趁朝暉夕陽未擬歸山中積翠色似欲上人衣

太白峰

太白本庚星化石在此處若教化為人應又騎鯨去
右太室二十四峰

朝嶽峰

二室如弟兄鴈行左右立此峰獨居前東望常拱揖

望洛峰

山頭瞻洛水滔滔日向東洛京興廢事都在逝波中

太陽峰

离位自文明孤峙無所庇太陽一當空何處容魑魅

少陽峰

怪得滿山紅高巖暎海曙殘霞落水中流下潁川去

石笋峰

山形真似笋誰錫以佳名常作含苞色不聞解籜聲

檀香峰

林是旃檀林外更無雜樹可怪卓錫人不在此峰住

丹砂峰

我笑葛稚川迢遞求勾漏何如嵩山長丹砂亦可就

鉢盂峰

高峰宛如鉢卓錫有清泉坐到會心處不必鳥巢肩

**香鑪峰**

香鑪不焚香雲氣如香氣似為供如來常傍少林寺

**連天峰**

山腰散白雲連天一色碧怪我未得歸峰高礙雙舄

**紫霄峰**

高峰連紫霄轉盼別昏曉因觀日月流方知天地小

**羅漢峰**

五百阿羅漢住世亦無住見色非真實標謂恐成誤

**七佛峰**

七覺開世迷七花屏塵相分茲黃金身偶現此峰上

**靈隱峰**

有山無人隱山靈轉自驕我向山靈語山林亦市朝

**來仙峰**

仙人有時來仙人有時去來去兩茫茫仙人在何處

**清凉峰**

上有清凉峰下有清凉寺願以清凉心消除火宅事

**寶勝峰**

寶勝峰前寺寺亾峰獨存多寶即無寶合掌問世尊

**瑞應峰**

疊嶂鬱參差連雲迴相蕩中有神仙人光彩真難望

**瓊壁峰**

初日紅于染山光相映明人傳是瓊壁我道是赤城

**紫蓋峰**

纔御青蓋來又登紫蓋住我自慚我俗山靈當自喻

**翠華峰**

輦路生荒草山形空翠華浮雲復滿目那得不長嗟

**紫薇峰**

上山采紫薇下山棄山下豈不愛榮華此物終凋謝

**藥堂峰**

山中多藥草因有藥堂名不須求服食無生即長生

**白道峰**

青山是主人隱士暫為客主已冐客名客子竟何適

**帝字峰**

嶽神比公秩望祭夷臣位太室效三呼少室尊一字

**卓劒峰**

從軍不可佩為客不可彈夜夜龍光起只愁星斗寒

**白雲峰**

出岫本無心從龍亦有會此中可卜居組繫身無奈

**金牛峰**

金牛臥少室不知幾千齡平地皆蜀道何方驅五丁

**明月峰**

山本無消長月自有盈虧此中覺少趣月明山靜時

**凝碧峰**

愛此山中石一色如凝碧振衣陟其巔塵勞得暫釋

**迎霞峰**

山體本常靜霞光只暫明物情偶自值何處用逢迎

**玉華峰**

孤城堪吏隱春晝早分衙說駕桑田處褰帷看玉華

**寶柱峰**

石光成五色壁立入青冥磨崖留姓字猶勝勒燕銘

**繫馬峰**

黛色滿千林清光連四野吾自愛山遊峰頭堪繫馬

**白鹿峰**

山遠往來閒雲深眠食穩莫為梁稻謀走入宜春苑

**石城峰**

御砦雲連處高城亦石頭乍看如白下只少大江流

右少室三十六峰

## 增定太室十二峰詩

傅梅

### 雞鳴峰

海日未生紅雞聲聞四野試問山下人誰是起舞者

### 春震峰

山上幾縷雲山下幾片水時聞霹靂聲應有蟄龍起

### 懸練峰

峰頭瀑布水寒色動諸天遠望青林外還疑疋練懸

### 周道峰

千載登封地鑾輿曾此過一片荊榛色幾聲樵牧歌

### 勝觀峰

岸幘坐高峰聊用祛塵俗雲氣蕩寬胸嵐光送遠目

### 石幔峰

山名太室古峰名石幔新如何常入室不見幔中人

### 松濤峯

半空響秋濤翛然下白鶴不似泰山松辱以秦時爵

### 河帶峰

山足陟山顛天中見天外黃河萬里流隱隱如衣帶

### 桂輪峰

雙闕拔地起一鏡繞天飛每遇中秋夜遊人不肯歸

**立隼峰**

突兀峰頭石穿雲復幾重近天常立隼我欲射高墉

**觀香峰**

仙子本王姬學道辭世榮至今溱山裏如聞環珮聲

**望都峰**

嵩山望洛都一朝一興敗洛都望嵩山萬載常不壞

六言絕句

## 嵩麓四大寺偶題

傅梅

**少林寺**

跋跎臺銷甘露達磨洞鎖慈雲西來文字不立十方武藝相聞

**法王寺**

殿角峰標玉柱座前地湧金蓮正趣已歸上果化城獨表中天

**嵩嶽寺**

梵剎俯臨雙闕浮圖高出九城洞裏常傳靈異潮音足破迷情

**會善寺**

碧樹高連鴈塔丹崖忽瀉龍泉蔭覆菩提聖種波流十萬福田

七言絕句

## 初祖庵示幻休上人二首

王世懋(太常寺少卿)

新裁居士薜蘿衣偶愛嵩山到翠微聖祖西來本無義野人乘興亦東歸

其二

常持般若覓知音喜有高僧住少林莫怪相逢易分手扁舟不住似禪心

## 少林雜詩四首

徐學謨(禮部尚書)

禪棲幽洞三三載法箸名山六六峰隻履無端葱嶺去至今惟有白雲封

其二

名香古殿自氤氳舞劍揮戈送落曛怪得僧徒偏好武曇宗曾拜大將軍

其三

丹崖青嶂燦雲霞殿閣參差帝釋家寶樹珠林生欲滿不知何處有三花

其四

五乳危峰飛刺天長松落落注雲烟雪巖久滅高人

(迹石同空存老衲禪)

## 五品封槐

李化龍

禿枝老幹已龍鍾道是曾銜五品封誰向山中招大隱由來捷徑在嵩峰

## 嵩山道中

劉楚先(禮部侍郎)

鄉心先曉促寒旌却為名山緩客程萬壑煙濛千嶂雪夜深猶在半空行

### 望嵩少二首

袁宏道

客程行盡太行山又見嵩高紫翠間料得有人山上笑紅塵如海沒朱顏

其二

欲從影裏問胡僧車馬勞勞謝不能縱有洗塵千澗水夏蟲那可叩堅氷

### 觀嵩陽古栢口占二絕

袁宏道

苔甲生生裂水波蒼皮十度手摩抄問君那只高如許漢壘唐基積幾多

其二

雲散煙飛岫亦枯風霜不上老肌膚山中怪事知多少石母生兒定有無

### 欲登嵩嶽先呈傅元鼎令君二首

項士美(山人)

嵩峰聳翠鬱天中二室盤紆鳥道通我欲乘風登絕巘翩躚好看舄翔空

其二

百里花成萬戶春琴堂咫尺絕無塵看山不比來看竹問勝先須問主人

### 和傅元鼎嵩陽十八詠

高出

## 嵩嶺穿雲

二室中分豁一門岩巉萬仞上轘轅千秋輦路生春草不待啼鵑已斷魂

## 盧巖飛瀑

太室東來第幾峰孤巖側削半芙蓉親看飛瀑三千尺直透春雲一萬重

## 少室朝暉

八百餘疊涵翠微三十六峰天外飛寒巖別有達磨影時帶朝霞終不歸

## 嵩門秋月

嵩陽宮外碧雲輕秋色年年月倍明騎鶴仙人來往地知他何處試吹笙

## 箕陰避暑

幽壑虛嵐太古春前賢遺跡棄瓢新枕流多少高人臥不獨當時洗耳人

## 潁水耕春

潁陰春水抱城阿穀雨朝時布穀多縣尹勸耕車遶雉飽聽于蔦野童歌

## 中峰長嘯

縹[緲-目+耳]中峰四望平天風萬里步虛聲擬攀星斗歸瑤闕鸞鳳同聞子晉笙

## 御砦高吟

明霞掩暎御帷滾想像鑾輿不可尋少室千年山色在看人寂寂古還今

石淙修禊

風雨他年上巳時石流瀺灂酒觴遲但看應制唐人句無讓蘭亭數子詩

玉溪垂綸

春流窸窣漾迴溪彷彿桃紅客更迷時倚晴雲一垂釣石羊關外午鶯啼

雲洞探奇

吞呷陰森古洞滾紫雲蒼莽一龍吟幽探時擬看神物風雨茫茫不可尋

星臺望遠

千秋逝矣美人哉縹[緲-目+耳]天中百尺臺圭刻茫茫人不識猶餘佳氣日徘徊

秦槐蔭日

獨樹祇園歷歲華根柯百畝影龍蛇遊人多作三生夢時逐旃檀落細花

漢栢參天

參差三栢插天中蕭颾長鳴漢代風下馬徘徊還下拜離離麥秀滿遺宮

鶴觀棲霞

王子吹笙月滿庭丹霞隱暎旦雲青萬年仙觀留芝檢傳得浮丘相鶴經

熊山積雪

縹[緲-目+耳]熊山五月寒中天積素倚巉岏分將群玉峰頭色一半峨嵋頂上看

九潭風雨

空門漠漠白雲還雲外春潭鏡裏山獨有鉢龍眠不穩時來行雨到人間

五渡煙波

仙源圓折抱嵩流石戴菖蒲一萬秋漢主可憐仙骨少封中只有白雲愁

余嘗遊嵩若嶨嶺則所經行者也嶽祠少林則所信宿而旅禮者也盧巖曾午憩之矣秦槐漢柏亦所手度者也其他諸勝則見於元鼎之記述而已然余皆嘗望之聞之若可想像在目昔聞語長安者猶羨西笑况曾掛眼二室之巔哉余詩不逮元鼎乃不為無徵方且倚和章圖後遊庶幾余附元鼎之遇山靈不誣矣○右孩之和詩與所自跋俱從盧隱集鈔來後和者益眾不能盡收也

## 嵩陽十八詠(有序)

傅梅

今天下郡邑志率有所謂八景者以供題詠即境甚無奇亦必牽強紐造效姑蘇之顰學瀟湘之步若登封志亦然則可議矣嵩下山川如錯繡異蹟勝界不可枚舉乃儉于八焉寧免遺珠之歎乎暇日稍為增益遂定十八目各詠一詩盖為地靈昭雪耳非鋪張也

嶨嶺穿雲

崚嶒九折入高雲一嶺東西二室分遊宦地如棲隱地北山不必更移文

盧巖飛瀑

度嶺穿谿蠟屐勞飛泉如練下嵩高臨流暫濯塵纓色似聽秋江萬里濤

### 少室朝暉

孤城四面四山圍少室雲開出翠微歷歷晴峰三十六朝來各自領春暉

### 嵩門秋月

坐久天風散白雲嵩門中斷月華分不知子晉仙遊去何處吹笙夜半聞

### 箕陰避暑

箕山林水自成陰萬古蕭然洗耳心一自挂瓢何處樹清風習習到于今

### 潁水耕春

匹馬郊行勸稼初即看潁水動春鋤山迴又過荒蕪地誰引西門十二渠

### 中峰長嘯

中嶽中央獨此峰振衣千仞暫從容一聲長嘯秋天碧不是孫登可易逢

### 御砦高吟

御砦梯雲登少室蓮花九頂轉分明朗吟謝眺驚人句太華如何獨擅名

### 石淙修禊

峰巒疑自太湖分曲曲清流眾響聞石笋浪花能戀客一觴一詠落斜曛

玉溪垂綸

孤村流水漲秋山綠樹風微鳥共閒釣罷玉溪垂落虹白雲偏護石羊關

雲洞探奇

石堂山對潁陽城山下流泉不記名洞裏若非龍臥處何緣歲歲紫雲生

星臺望遠

成周禮樂久塵埃弔古強登百尺臺滿目浮雲何處望愁看洛水自西來

秦槐蔭日

獨蔭祇園隔世塵相傳手植自西秦我來不識槐安國時作三生夢裏人

漢柏參天

參天三柏倚嵩峰武帝曾經駐六龍閱盡隋唐爭戰色至今不改漢家封

鶴觀棲霞

白鶴長飛幾歲華孤松猶自屬仙家丹砂不必求句漏我欲朝餐五色霞

熊山積雪

大小熊山列案齊同雲積雪遠天低郊行不見袁安臥獨有寒聲送馬蹄

九潭風雨

暝色招提四望平九潭風雨一時生長林豐草情何限都入蕭蕭此夜聲

### 五渡煙波

縈迴東谷響流泉一水煙波五渡連不信菖蒲堪服食石根靈氣幾千年

## 續嵩陽二詠(有引)

傅梅

予既作嵩陽十八詠高孩之和如其數並刻嵩吟中傳播詞林久矣後友人崔元暉曰可增至二十乎予曰可遂再作二詠以孩之既去不欲更張姑續于後以存之

### 少林翠靄

少室如屏隱少林松杉翠靄講堂深閒來頻對高僧坐便是當年面壁心

### 嶽廟黃雲

五嶽分封代有祠三呼漢帝至今疑黃雲只在東南上風雨天中感歲時

## 嵩山四詠

傅梅

### 嵩山雨

二室春深花欲稀朝來一雨澹林霏不知新畝耕多少添得巖泉百道飛

### 嵩山雲

天中嶽色秀芙蓉縹[緲-目+耳]奇雲繞漢封朝暮城頭常自見飛來海外幾千峰

## 嵩山月

南樓清興倚胡牀雲淨天空夜未央六十峰頭秋月色一聲長篴盡如霜

## 嵩山雪

東閣疎花入曉寒嵩高一望雪漫漫群峰乍可如群玉絕勝峨嵋天際看

門人(高亮　郭國器)校字

嵩書卷之十七終

## 韻始篇七

### 古今諸賦

#### 懷舊賦(有序)

晉潘岳(散騎侍郎)

余十二而獲見於父友東武戴侯楊君始見知名遂申之以婚姻而道元公嗣亦隆世親之愛不幸短命父子凋殞余既有私艱且尋役于外不歷嵩丘之山者九年于茲矣今而經焉慨然懷舊而賦之曰

啟開陽而朝邁濟清洛以徑渡晨風凄以激冷夕雪暠以掩路轍含水以滅軌水漸軔以凝沍塗艱屯其難進日晼晚而將暮仰晞歸雲俯鏡泉流前瞻太室傍眺嵩丘巖巖雙表列列行楸既興慕於戴侯亦悼元而哀嗣墳纍纍以接隴栢森森以攢植何逝沒之相尋曾舊草之未異余總角而獲見承戴侯之清塵名余以國士眷余以嘉姻自祖考而隆好逮二子而世親歡携手以偕老庶報德之有鄰今九載而一來空館閒其無人陳荄被于堂除舊圃化而為薪步庭廡以徘徊涕泫流而霑巾宵展轉而不寐驟長歎以達晨獨鬱結其誰語聊綴思於斯文

#### 山呼萬歲賦

唐張仲素(中書舍人)

天作太室巍乎蒼蒼立極正位含精降祥惟漢武之肇祀聞嘉言之孔彰告盈數以不忒鬱希聲之載揚于時五輅既臻千官畢會望嶄巖之絕壁升縹[緲-目+耳]之華蓋排羽衛於山前刻金石於天外諒精誠之至感致天地之交泰於是騰洪音流翠靄始則數乎雷殷終不因於地籟惟天祚聖谷得一而盈惟嶽降神聲至三而大夫其登封則千古是追峻極而四方是維瑞載光於漢史德且詠於周詩動合休徵有異坻頹之震響合靈祀且殊大塊之噫是時也百神受職萬靈獻功霽山霧收山風福穰穰於宇內聲隱隱於封中且啟迪之微延洪是表因勒成而響答殊卜祝之占兆憑乎物隱石言之不臧錫自天歎夢齡之尚少懿乎胎合散乎絪縕邈崇丘之□□伊仰止而敷聞掩龜格與鳳降軼神光與慶雲獨得乎數千百祀何慙於七十二君稽彼眾山咨夫四嶽或泥金於杳靄或瘞

玉於綿邈封並聞夫再三響未效於清濁方今文物芬郁寰瀛廓澄我后堯讓謙勤夙興己固如山之壽式當如日之升所以下臣獻頌望翠華之是登

## 測景臺賦

唐范榮

大聖崇業萬象潛通據河洛之要創造化之功建以黃壤亘以紫宮右輔伊闕左連轘嵩銀臺比而可擬瀛壺方而詎同掩扶桑於日域包蓬萊於海濛式均霜露之氣以分天地之中於是仰玄穹之文俯黃壤之里下壓坤德上羅乾緯垂刑象物既不假於銀衡司刻探玄何必邀於銅史其細也難究其妙也若此斯豈光陰而若易從且夫聖不可測道實兼致天地與能幽靈必契囊括眾巧網羅群藝自然而來疇能比計今來古往時移道替滋歲月以成朽覺風塵之漸異人有代兮俗疑沒地有形兮□無制零落空階莓苔被砌但覺蕭條頹墉迤邐高阜荒涼寒城蕪翳攀聖迹而難企感吾徒而流涕猗歟成周系聖纂極君少臣政流言更逼自陝卜洛其儀不忒公敷其化人盡其力惠而不費功成事息欽聖德之微奧豈賦者之能識

## 少室山三十六峰賦(有序)

宋樓异(登封令)

余少聞洛邑之盛在唐宋為東西都而山川形勝之富視他州為傑觀昔韓退之白樂天見於歌詩形容勝槩有詠歎不絕之意後歐陽文忠與梅謝諸賢相繼為僚友數遊嵩少間至今以為美談余幸以不敏得令嵩高縱觀諸境未有過少室者而巉巖聳拔乃在戶牖間朝夕博望歷歷可數因作三十六峰賦以自廣非敢竊比古詩之流云

伊浮雲之公子兮訪道於林丘而棲神於巖谷超然有遊方之志兮乃東升於岱頂而西謁於華麓雖衡陽之南兮與夫恒山之北靡不窮探歷踐兮游心而騁目獨怡然而忘歸兮內欣然而自足忽御風而行兮排空濛而造中域徐睥睨以四顧兮意恍惚而有失遭嵩高之丈人而問津兮曰游四方而真有得何高之不登兮何危之不陟今乃四望兮岌然而聳峙雄柱天綱兮橫亘於地軸連絡偃覆兮龍盤而虎伏雖華以九而巫以十二兮未覩奇峰之六六丈人放杖而笑兮秋水方至而河伯自溢子烏覩海若之難匹兮獨不聞中天之少室其高則嶢屼嵲崒崧岑鬱茀兮

十有六里而疊有十八其深則環紆縈繞盤糾紛錯兮上方十里而周圍一百包嵩陽以作鎮兮截轘轅以為郭眷歌山之所聞兮觀舞水之所樂其上則有嘉禾甘果兮神芝與仙藥石柱若承露之盤兮帝休若楊枝之葉石指所滴兮飲之可以長上古玉膏在巔兮服之可以揖羽客雲母之井兮寶所聚光明之穴兮晝所鑠一丈之鍾乳兮可餐千歲之資糧兮不絕其中可避兵水之災兮自有經書之博其神異則玉女爛織錦之文兮金人迷白露之落雲洞警時聞之鐘兮石井泣哀鳴之鶴王子晉環之以為疊兮阿育王寶之以為塔此皆公子之所未知兮而丈人之所安宅丈人曰名生於實兮義設於適子知其一兮未知其二子識其外兮未識其內是徒知六六之所有兮而烏覩六六之名義東朝嶽祠儼百神兮西望洛邑鬱千宮兮太陽少陽山之明兮石城石笋天所形兮檀香丹砂寶所鍾兮鉢盂香鑪狀所肖 兮連天紫霄勢之窮兮羅漢七佛像設留兮靈隱來仙洞府深兮清凉寶勝梵剎標兮瑞應瓊壁祥光紛兮紫蓋翠華煙靄凝兮藥堂紫薇花草靈兮白道天德名字偉兮卓劍白雲形實紀兮金牛明月色像起兮凝碧迎霞天光聚兮玉華寶柱金石瑩兮繫馬白鹿神仙眾兮此則六六之名義兮而未覩六六之景氣丈人曰方春陽之盎盎兮燒痕蕪而青青紛紅紫之繡錯兮引百囀之幽禽雄樓傑觀兮切星辰而上侵玉仙神女兮乘輜軿而下征朱明草木之扶疎兮蔽大明之午升山椒雲氣之冉冉兮若復甑而鬱蒸忽雨聲於天外兮勢翻盆而倒傾惟紫芝與黃鶴兮舞長空而產英金颺之警葉兮山空落石若仙人之鍛聲夜月白而風冷冷兮玉笙清徹而彌聽暨玄陰林柯之脫盡兮山形瘦而骨稜稜氷雪橫積于千仞兮玉龍飛而白虎亭亭惟四時之出沒變態兮顯晦陰晴不可得而盡名豈得仰觀俯聽自辰及酉應接之不暇兮以盡朝昏此雖丈人之所不能形容兮而豈公子之所可預聞丈人曰突兀撐空兮千變萬狀山經地志兮不可究量或背若相戾兮或面若相向或竦若相鬬兮或揖若相盼或散若相忘兮或聚若相訪或後者若和兮而前者若唱或卑者若下兮而尊者若上或喜兮若相攜或怒兮若相抗或若秦晉兮相匹或若楚越兮相望或聳瘦兮若峨冠或臃腫兮若挾纊或蹲伏兮若駝虎或崇聚兮若甕盎或威嚴兮若壯士或勇猛兮若驍將或決驟兮若風馬或浮空兮若船舫或若遊郊原兮累丘墳而包柩槨或若入宗廟兮紛豆登而鬱秬鬯戢戢兮森劍戟落落兮列屏障勢領略兮斷而還連狀容與兮宛而復壯超然若三十六天兮神仙之洞宅妊然若三十六宮兮妃嬪之游燕昂霄聳壑冠佩悠兮泉飛霞傾爵觶流兮天闊星熒玉枰成兮松篁瑟瑟鈞天迎兮嬌雲曲月鬢眉新兮煙斜霧蒸龍麝焚兮霞舒霓卷舞袖張兮雷霆轟轟宮車還兮言未及而公子頹然如醉兮灑然如醒非丈人無以藥之使瘳兮刮之使明僕未能窮茲山之勝踐兮究茲山之曜靈請執杖屨兮以從後塵

## 太室二十四峰賦(有序)

明曹璉(河南按察僉事)

按白虎通云嵩山者中央之嶽獨加高字者以其居四方之中而又高且峻也故詩曰崧高維嶽峻極于天此之謂歟山有二十四峰皆遠近齊高無低昂之態有凝重之勢誠非天下山川比予因駐節騁目乃併志其名于左方以自適奚敢擬諸古賦云其辭曰

維登封之堙墟當胚腪之正中聳嵩高之嶄絕屹千仞而穹窿託扶輿以正基應房宿以曜空結根彌於崑崙直指超乎崆峒靄輪囷之繚繞迎曦馭之曈曨匪嵯峨之莫測抑迢遙之難窮控齊梁之渺渺襟河洛之溶溶俯首陽之隱隱超太行之重重回盤嶮巇奔突巃嵸峻極形於周雅配天始於唐封彼岱華衡恒之四嶽各分鎮於南北西東此則茲山之勝槩冠古今而獨雄也其為寶藏也則金砂之璀璨璞玉之璘瑀表中原之異產充上國之奇珍其為靈蹤也則石室據其陽天池在其頂敞金剎於少林閟瑤宮於真境其為品彙也則凡根荄之屬飛走之群時涵時育以萃以榮超乎閬苑之蓊鬱甲乎靈囿之縱橫是雖博物之張華無以辨其類洽聞之郭璞曷能究其名也若夫豐隆停震飛簾捲霽嵐光浮漢林影篩日班二十四峰之駢羅脫瑤簪於螺髻肖迸筍之巑岏侔列戟之排立卓乎彩筆書空而作軸儼乎玄圭平水而初錫聳乎蟠虬昂角而崢嶸矯乎驚鵬垂翼而奮擊高低起伏遠近濃麗鄙羅浮三百里之磅礴陋武夷五千丈之崒嵂彼巫峰之十二匡廬之五老又奚可比而儔擬而匹也予嘗駕天風遊玉柱訪青童攀玉女尋子晉之奇蹤步老翁之幽趾捫虎頭而舒嘯憩黃蓋而徙倚面玉鏡之光芒盻三鶴之軒翥過遇聖之浮丘躡玄龜兮如砥駭臥龍兮之起雲間跨獅子兮之會仙侶覽鳳凰兮雝雝灑金壺兮墨泚瞻華蓋兮亭亭呼萬歲兮鼓舞挹玉人兮太白眺積翠獨秀兮延竚已而夕陽隱映而銜山歸鳥喧囂而投林蒼狗靉靆而四塞螮蝀泯沒而曳陰麕鹿相牽而呼友猨[狂-王+冗]聚嘯而長吟蟪蛄噪而鳴咽於菟嗥而蕭森斯時也予亦慄然而懼悚然而驚矯回首於盤谷遘一老而便輕冠高冠之岌嶪佩長佩之琮琤質銷鑠而灼約神杳眇而粹精歷玄冥之微徑乘間維而上征視倏忽而逾遠超寥廓於無聲欲從之而不可得乃托長歌而放情歌曰嵩山之谷兮虛明嵩山之泉兮澄清泉澄清兮可濯纓谷虛明兮彷彿蓬瀛追仙翁而邈乎難及兮聊徜徉而尋盟載歌曰嵩之山兮儲英嵩之神兮效靈神效靈兮海宇平山儲英兮俊駢生吾知申甫其復出兮又將為後徵

## 嵩山賦(有序)

五嶽惟嵩居天地之中而其峰巒之秀偉亦非他山之可及故古今騷人墨客往往見之歌詠予不自揣亦掇拾餘意而為之賦曰

翳山阜之停峙切胚暉於玄黃諒凝形之有異故奠位而不常惟嵩高之為嶽獨穹窿而直方雖同列於下土實尊處乎中央右襟帶乎河洛左控制乎齊梁前屏列乎崆峒後幃障乎太行彼泰華衡恒之四鎮各東西南北於一方茲蓋造化者自然之功巧俾其與天地同一久長夫豈若是尋常之培塿而屑屑然與群峰較利於毫芒也哉觀其元氣淋漓靈根蟠結磅礴縈紆巉嶔巃嵸質厚重而不遷勢蜿蜒而聯接量含洪而有容神昭貺而莫測萬象翕欻兮森羅四時光景兮明滅燁燁大士之瑞芝森森將軍之封栢猗猗九節之菖蒲粲粲三花之貝葉彼四萬八千丈之天台固僅能方其太室之三尖而根盤五百里之匡廬曾何足抵其少室之數疊若乃時和景霽天高氣清風生鶴唳日出雞鳴霞彩颺兮錦繡錯嵐光蕩兮圖畫呈於斯時也凌絕頂履崚嶒恍兮惚兮蓋不知此身之在人世而別有所謂崑崙之與蓬瀛也其或月暈星藏煙霏霧暗陽烏匿彩虹霓橫漢轟雷霆兮一聲分晴雨兮山半於斯時也挾天風遊汗漫窈兮閬兮亦不知此身之在人寰而又有所謂青城之與赤岸也雖然此特其朝暮陰霽之常態而未覩其倏忽變化之形容苟不究其所以則雖智者亦莫得而窮彼其兩室諸峰層出疊起不參不差無偏無倚在少室者三十有六在太室者二十有四或崒嵂而崔嵬或秀偉而妍媚或迤邐而婆娑或隱約而虧蔽或羅列如兒孫或比肩如兄弟或尊嚴如父師或卑猥如媵婢或瀟散如神人或俊拔如豪士或如蛟走而蚪蟠或如牛眠而馬駛或如理木之連枝或如芙蓉之並蒂或如舟楫之浮空或如兵車之趨市或如忠臣之赤心或如艷姬之高髻矯矯兮如飛而翅飄飄兮如行而止于于兮如醉而醒怡怡兮如悲而喜凡茲山之奇勝所可愛者如此然不指而稱焉則亦莫能默而識之矣故夫青童太白子晉浮丘玉人玉女會仙虎頭老翁遇聖兮相向黃蓋華蓋兮疊稠鳳凰鳴陽獅子號秋玉柱壁立玉鏡光浮三鶴積翠兮排闥萬歲獨秀兮凝眸臥龍起雲兮淨如洗金壺玄龜兮翠欲流此則太室勝槩之奇而天下之為峰者莫得而侔也若夫東朝嶽祠西望洛中白雲連天紫霄凝碧鉢盂丹砂之可觀香煙檀香之堪挹羅漢寶勝之可尋七佛靈隱之難覓太陽少陽之嵯峨石城石笋之屹立紫薇兮藥堂寶柱兮瓊壁來仙卓劒兮孤高翠華繫馬兮峻極紫蓋迎霞兮如丹玉華白道兮如[辟/王]明月清凉瑞應天德白鹿留形金牛現跡此則少室勝槩之奇而天下之為峰者又孰能與之敵也他如琳宮梵宇佛洞仙巖蝌蚪出而書見菡萏發而霜零龍潭隱靈物兮潛處天池通神水兮潺湲歷代封禪則有封祀之壇往來經行則有轘轅之關凡若斯之歷歷皆可考而班班者也至若名傳於今事出於古測景定於

周公墜石疑於啟母御筆書於則天金鼇築於漢武隱有棄瓢之許由廉有洗耳之巢父道有奕棋之八仙佛有面壁之一祖出而重於世也則有索價之山人居而莫知其向也又有擣帛之仙女其他奇蹤燦然可數既不暇於細推亦無能為之悉舉也嗟夫拳石無情與時屯亨況非逢千載之景運抑安能得夫一時之謚寧惟聖皇之在上屢賜寵而賜榮崇嘉號兮以禮尊祀典兮以誠故嵩之德以之而益著嵩之神由之而益靈自今以往吾知大嶽之儲精必降申甫而再生于以列乎屏翰于以充乎帝廷俾海宇之臣子咸永樂於昇平則吾又當秉霜臺之白筆以專紀乎三呼之頌聲也

## 新增太室十二峰賦(有序)

傅梅

合二室成一嶽太室實大於少室而峰之數殺焉前人傳之後人守之予所不平也領縣以來久欲增定嫌於妄作逡巡未敢暇日翻閱他書見盧鴻四銘有所謂雞鳴望都二峰者不在二十四峰之內始爽然有悟此山遺珠固多矣遂決策曉陟其巔自東而西一一相閱峰之秀出者不啻百也三日選汰僅取其十錫以佳名並盧所銘者得十二焉合之舊為三十六峰與少室均俾天下後世知中嶽實有七十二峰自今日始知我罪我俱不得辭於是作新增太室十二峰賦以明之其辭曰

維茲中嶽巍煥神奇功參玄化德贊靈祇外方肇紀於禹貢嵩高載詠於周詩太室詳馬遷之史嵩丘見潘岳之詞望之渾淪而端整即之浩渺而嵬嶷層巒疊嶂兮崒嵂廣峽幽谷兮逶迤雲光霞彩兮燦爛零雨湛露兮淋漓珍禽怪獸兮盤旋奇花異木兮離披黃帝稱會神之所周公立測日之圭累朝崇祭享之廟歷代樹封禪之碑宮觀列仙真之府伽藍精戒律之儀軋坤資其鎮奠日月為之蔽虧此皆畧述其顯明之梗槩而未暇詳及於靈異之隱微也若與少室而比方實則難兄而難弟所並駕者外貌之高華所齊驅者中藏之深邃微有不同各極其致此雄偉而豐腴彼森削而秀麗此廣濶以能容彼挺拔以自異此如龍眠於海隅彼如鳳翥於天際此有大君穆穆之顏彼有羽客翩翩之氣欲論二山之大小必數諸峰以為對少室何為侈於三十六太室何為儉於二十四皆前人已錫之佳名實千古不平之怪事得非巉屼者眼界之易[(冰-水+丨)*夕]而漫衍者足跡之未至光豔者群情之所欣而醞籍者獨知之難覬乎昔賢既三緘於其口予也實百慮於其胸苟此案之不翻豈為政之至公況受命稱維嶽之主亦非局外旁觀者可同於是盡披千古之簡策對按百里之巃嵸劃然若天地不愛其寶而豁然疑鬼神陰牖其衷既獲畫

圖於宋時之樓异復得刻銘於唐代之盧鴻始知世所傳者出靈跡之記於道藏而世所遺者[(冰-水+丨)*夂]紀異之文於天中即僅存者之久秘悟見遺者之無窮况茲山也三臺夾於左轅轅輔於右熊山衛其前黃河界其後周遭足十舍之遙徑直亦千頃之厚環其外非再日不能旋穿其中豈刻期之可透峰之狀也實繁峰之名也未授或圍繞兮如屏或掩暎兮如袖或特立兮如笏或羅列兮如豆或臃腫兮如牛或軒翥兮如鷲或潔白兮如絲或華彩兮如繡或鋒穎如劍之卓或攢簇如輻之輳或平方如舟之橫或圓滿如釜之覆或綽約如女之遊或怒激如兵之鬬或倒懸如堂之垂或飛瀑如簷之澍千態萬狀廻合紛紜於今始見在昔杳聞予欲補偏於舊令兼之充廣於徵君刪庸纂異屏穢標芬東起西結域別區分首尾兩仍乎舊貫中間悉搆以新文僅取均嵩少之體未便超伯仲之群其目維何如左所云雞鳴朝氣昂也春震龍乘陽也懸練瀑布光也周道萬乘行也勝觀景物彰也石幔杖履藏也松濤喬木良也河帶美封疆也桂輪秋輝揚也立隼遠有方也觀香紀非常也望都鑒興亡也一一錫名歷歷在目新故相參作述遞屬古畧今詳人棄我錄若冀野市上駟之馬若鄧林伐隆棟之木若合浦采照乘之珠若崑岡剖連城之玉將綽然而任其有餘豈[舀*欠]然而憂其不足惟是吏事多梦暇晷常促勝具每停隻眼為局而欲斟酌山川進退陵谷狹小前人更制變俗籠千古於數行包大地於一掬是何異全豹為管孔之窺滄溟用蠡穴之矚片紙裹司農之錢而一瓶貯太倉之粟也哉

門人(劉湛然　袁嵩秀)校字

嵩書卷之十八終

嵩書卷之十九

（文林郎登封縣知縣傅梅元鼎撰）

## 章成篇一

外方長曰昔人往矣其不與人俱往者豈不以文哉文者道之所宣章者文之所粲章成而爛然與天地為昭來者快睹焉斯足貴已予掇拾嵩山遺文而傷焉孔子曰夏禮吾能言之杞不足徵也殷禮吾能言之宋不足徵也文獻不足故也前者已無徵矣失今不採後將何據哉嵩山顯於漢自武帝一詔外他文殊甚寥寥何論三代予出沒巖阿手披榛莽僅得石門古篆數語惜殘缺不可讀矣自唐以後始為差備選義就班分區振藻蓋亦有不得已焉耳易賁之彖曰文明以止人文也觀乎人文以化成天下文無所止其何所定耶後之君子披卷而考代變之實有所益焉是旦暮遇之矣
梁

## 達磨大師碑

武帝

我聞滄海之內有驪龍珠白毫色天莫見人不識我大師得之矣大師諱達磨云天竺人也莫知其所居未詳其姓氏大師以精靈為骨陰陽為器性則天假智乃神與含海嶽之秀抱淩雲之氣類鄔陀身子之聰辯若曇磨弗利之博聞總三藏於心河薀五乘於口海為玉氈久灰金言未普誓傳師化天竺東來杖錫於秦說無說法如闇室之煬炬若朗月之開雲聲震華夏道邁今古帝后聞名欽若昊天於是躍鱗慧海振羽禪河法梁天橫佛日高照爾其育物也注無雨雨灑潤身田說無法法證開明理指一言以直說即心是佛絕萬緣以泯相身離眾生實哉凡哉空哉聖哉心無也剎那而登妙覺心有也曠劫而滯凡夫有而不有無而不無智通無礙神行莫測大之則無外小之則無內積之於無成之於有我真教爾乎於時奔如雲學如雨果而少花而多其得意者唯可禪師矣大師乃舒容而歎曰我心將畢大教已行一真之法盡可有矣命之以執手付之以傳燈事行物外理在斯矣意之來也身之住乎意之行也身之去乎嗚呼大師可謂壽逾天地化齊日月使長流法海洗幽冥而不竭永注禪河滌焚籠而無盡豈謂積善不佑皇天何辜月闇禪庭風迷覺路法梁摧折慧水潛流夜壑藏舟潮波汩起何圖不天俄然往矣神色無異顏貌如常其時也地物變白天色蒼茫野獸鳴庭甘泉頓竭嗚呼無為將來有為將去道寄茲行示現生滅以梁大同二年十二月五日終於洛州禹門未測其報齡也遂塋葬於熊耳吳坂矣於是門人悲感

號動天地泣流徧體傷割五情如喪考焉如喪妣焉生徒眼滅傷如之何嗟乎法身匪一不現無方骸葬茲墳形遊西域亦為來而不來去而不去也非聖智者焉得而知之乎朕以不德忝統天業上虧陰陽之化下闕黎庶之歡夕惕勤勤旰不暇食萬機之內留心釋門雖無九年之儲以積群生之福緬尋法意恒寄茲門安而作之精矣妙矣傳之耳目乃大師苗裔也嗟乎見之不見逢之不逢今之古之悔之恨之朕雖一介凡夫敢以師之於後未獲現生之得覬有當來之因不以刻石銘心何表法之有也亦恐天變地化將大教之不聞式建鴻碑以示來見乃作頌曰楞伽山頂生寶月中有金人被縷褐形同大地體如空心如瑠璃色如雪匪磨匪瑩恒淨明被雲卷霧心且徹芬陀利華用嚴身隨緣觸物常歡悅不有不無非去來多聞辯才無法說實哉空哉離生死大之小之眾緣絕剎那而登妙覺心躍鱗慧海超先哲理應法水永長流何期暫湧還暫竭驪龍珠內落心燈白毫慧刃當鋒缺生徒忽焉慈眼閉禪河駐流法梁折無去無來無是非彼此形骸心碎裂住焉去焉皆歸寂寂理何曾存哽咽命之執手以傳燈生死去來如電掣有能志誠心不疑刼火焚燒斯不滅一真之法盡可有未悟迷途茲是謁

## 勅

### 戒壇勅

唐代宗

戒分律儀釋門弘範用申奬導俾廣勝因允在嚴持煩於申謝

(右勅乃大曆二年十二月會善寺僧乘如因請允分抽東都白馬等寺僧七人赴戒壇灑掃講律具表稱謝帝手勅二十四字答之今碑刻會善寺中字作行書方廣踰二寸精神飛動可愛其碑界作三層上刻中書省牒平章事元載杜鴻漸王縉俱列名中刻謝表真書清勁不俗下刻此勅碑陰刻陸長源戒壇記陸郢書八分遒逸多態不知何時寺僧苦人榻求凡石上會善寺三字皆椎去棄之寺西荒草中為積埃所掩予尋得之歎惋彌日石不踰四尺真行八分三體各臻玅境殊可寶也今仍扶立戒壇之左能保異日長存否)

## 記

### 嵩山會善寺戒壇記

陸長源(汝州刺史御史中丞)

嵩高得天下之中也所謂名山福地異人靈跡往往而有漢晉間高僧植貝多子於西峰一年三花因為浮圖遂為寰中之真境又有兩阜中斷豁為石門飛流縈回以噴薄喬木森竦以布護先是有高僧玄同律師一行禪師鏟林崖之攲傾填乳竇之[窣-米+口][穴/滌]甃玉立殿結瓊搆廊旃檀為香林琉璃為寶地遂置五佛正思惟戒壇思惟者以佛在貝多樹下思惟因名貝多為思惟即三花之義在此自河洛煙塵塔廟崩[社-土+(虎-儿+几)]上都安國寺臨壇大德□如脩慈業廣秉律道尊志度有緣法庇群動慨茲堙墜遂為聞徹尋有詔申命安國寺上座藏用聖善寺大德行嚴會善寺大德靈珍惠海等住持每年建方等道場四時講律藏用上人逸躅徧尋高情獨邁美殿塔之嚴麗賞泉石之勝絕其跡不朽其教益弘於是鐘梵相聞幡蓋交蔭豈獨罏峰名嶽空記遠公之行沃洲精舍重述道林之跡時貞元十一祀龍集乙亥大火西流之月也

## 嵩嶽少林寺新造厨庫記

顧少連(登封令終翰林學士)

啟迪真乘無相之門寂發揮象教有為之功大非無不可以臻極非有不可以化凡亦由瞻影求形見煙知火通如來誘善之路為群暗嚮明之階沿淺詣深其實一也自漢明帝夢金人履殿訊之于庭采傅毅的然之詞得竺乾惟肖之像精廬始構塔廟繼興大抵三教之行各有其屬尊嚴所奉齊壹厥心若遊息不殊則其道閒雜若散漫無守則其風寂寥是以從其先師皆致室處故孔徒有庠序道士有樓居而釋流謂之寺此聖人所以崇其教也少林寺者蓋權輿於太和中廢於承光更名於大像錫田於開皇若乃應天順人擒盜助信摧魔軍於充斥保淨土於昏霾此又昭彰於我唐也其神異之尤若跋跎之經始靈塔刼火不焚指眄泉流使之西注稠公揮杖而二獸解鬬惠可割臂而三業息塵荃蘭蔟植於緇林鸞鶴連翔於法界則有惠光曇隱播芳烈於前玄素明遵嗣徽音於後戾止者皆同一姓來儀者無復二乘蓋釋氏之淹中西方之別館也况其土圭表正風雨所均嵩高峻極山嶽之秀交艮兌之清氣積靈仙之秘蹤故其志道之人好奇之士繫塵籠者屢至求宴坐者永栖菩薩色身未能忘食芯芻老病斯用依仁而庫舍不營坊厨偪陋每王城信士供施所儲栢谷上田穫斂所入雖真如之性不假多藏而大道之行惡其棄地釋法真聿來從學雅尚住持永言翬立志在弘濟乃誓于僧眾陳于上官願因農隙以果營建河南尹杜公黃裳多歷勝因素崇淨業聆風響應如契夙心於是躬主辦之勤假清白之俸復次都人白仙鶴李秀孫光杜珍等共殖嘉苗用滋景福脫鄙吝之韁鏁成智慧之舟航錢財無翼而自飛寒暑不期而繼至單貧展效富有匱財神龍施珠香象均力加以寺半崖巘路躡淩兢伐松栢於山巔治瓠甓於巖下佛教善誘人忘其

勞爰始爰謀是啟是辟平其坎窞相其廣輪梓人作程郢匠施巧積幹如阜運斤成風真公杖錫指麾語言溧□先饑以班食伺渴而饋漿酬以壯傭任以老事期不揆日工無廢時為[木*尊]為櫨為桴為桷洪纖合度尋尺中規鑿枘靡垂樸斲惟稱板幹既具墻垣以興支樘得其宜締搆取諸壯以周[飢-几+熹]爨用固扃鐍風雨攸除塵泥莫侵若乃曲突以舒煙疏竇以流惡陳其鼎鬲扃其釜鬻釋之蒸之惟精惟潔俾其潘汁有所注氣焰有所通香風時來蕩滌煩燠斯乃厨之制也溱中以虛受闔扉以制出陳其□杙施其緘縢取之用之不費不約必使公供無所耗歲計惟其明玄關載施成我密固此又庫之宜也乃崇佛宇欄楯孔嚴乃飾僧堂屋壁增煥新亭弘敞閱香積之飯危樓聳擢俯耆闍之山每至華鐘大鳴旭日三舍緇徒總集就食于堂莫不永歎表誠肅容膜拜先推尊像次及有情洎蒲牢之吼餘海潮之音畢五鹽七菜重秬香秔來自中廚列于廣榭咸造勿[廾/執/衣]已事而踆勤求者無次第之勞暮齒者有終焉之託不[億-音+(天*天)]于素克壯其猶檢校上座僧淨業寺主靈湊都維那智寰典座道悟惟清老宿圓濟僧如空惟陟等虔奉矢謀式昭畢務故得莊嚴寶地豐潔中餐纂紹前規招延後學以是功德侯其禕而夫教不自弘因人而大有以法從中得默契真空有以事假外緣用扶正諦總是二者其維真公真公俗姓張杭州鹽官人也歷刼勤道髫年出家雖冥心於此山蓋授記於前□不然者安得弘誓既發群心悅隨興立招提如此其盛大曆之季少連嘗吏登封暇日之遊竹園伊邇次宗之依惠遠鑿齒之慕道安塵俗之人幸不遐棄一行入仕二紀于茲前年典選洛師邂逅相遇名山在目道友依然願言從之王事拘我於是得其軌躅作厨庫記云時貞元戊寅歲皇帝纘服之廿載也

## 少林寺碑

裴潍(太子賓客謚曰懿)

原夫星垂梵界聖緣開萬化之先日照王宮神跡蘊三靈之始包至虛以見世象教久傳於曠刼籠群有以示凡法身初應於中古見神通之力廣拔苦門開智惠之門溱明樂界鶴林變色觀其戀慕之心鴈塔開扉通其瞻仰之路少林寺者後魏孝文之所立也東京近甸太室西偏正氣居六合之中清都控九州之會緱山北峙亘宛洛之天門潁水南流連荊河之雲澤信帝畿之靈境陽城之福地沙門跋陁者天竺人也空心玄粹惠性淹遠傳不二法門有甚溱道業緬自西域來游國都孝文屈黃屋之尊申緇林之敬太和中詔有司於此寺處之淨供法衣取給公府法師廼於寺西臺造舍利塔塔後造飜經堂香水成塗金繩為約苦心精力俾夜作晝多寶全身之地不日就工如來金口之說連雲可庇西緣長澗夾松栢之蕭森北拒溱崖覆筠篁之冥密煙花濃靄暝下天香泉籟清音曉傳空樂跋陁息心茲地樂靜安

居感而遂通境來斯證寤寐之際若有神人致石磬一長四尺規制自然聲律咸具得之河曲空聞漢使之談浮於泗濱徒入夏王之貢管弦風夜合清響於中天鐘梵霜晨諧妙音於上刼時有三藏法師勒那酈譯經論遊集剎土稠禪師探求正法住持塔廟虬箭不居光塵易遠虹梁所指象設猶存周武帝建德中納元嵩之說斷釋老之教率土伽藍咸從廢毀明皇帝繼明正位追崇景福大象中初復佛象及天尊象廼於兩京各立一寺因孝思所置以陟岵為名其洛中陟岵即此寺也隋高祖受禪正朔既改徽號已殊惟此寺名特令仍舊開皇中有詔二教初興四方普洽山林學徒歸依者眾其栢谷屯地一百頃宜賜少林寺大業之末九服分崩群盜攻剽無限真俗此寺為山賊所刼僧徒拒之賊遂縱火焚塔院院中眾宇倏焉同滅瞻言靈塔歸然獨存天龍保持山祇福護神力所及昔未曾有寺西北五十里有栢谷墅群峰合沓深谷逶迤[社-土+复]磴緣雲俯窺龍界高頂佛日傍臨鳥道居晉成塢在齊為郡王世充僭號署曰轅州乘其地險以立烽戍擁兵洛邑將圖梵宮皇唐應五運之休期受千齡之景命掃長虵薦食之患拯生人塗炭之災大宗文皇帝龍躍太原軍次廣武大開幕府躬踐戎行僧志操惠瑒曇宗等審靈睠之所往辨謳歌之有屬率眾以拒偽師抗表以明大順執充姪仁則以歸本朝太宗嘉其義烈頻降璽書宣慰既奉優教兼承寵錫賜地四十頃水碾一具即栢谷莊是也迨海寓既平憲章云始偽主寺觀盡令廢除僧善護洞曉二門遠該三行詣闕進表特蒙置立武德中寺有白雀見貞觀中明禪師造重塔之辰白雀復瑞見[琥-儿+(((嘹-口)-小)-日+目)]圖肇啟初欲呈祥寶殿纔興遽聞相賀高宗天皇大帝光紹鴻業欽明至理嘗因豫游每延聖敬咸亨中乘輿戾止御飛白書題金字波若碑留幡像及施物永淳中御札又飛白書一飛字題寺壁雲開顧鶴電轉遊龍神草競秀於椒塗雲泉迴飛於錦石雕甍增耀若綴春葩金疊分輝似懸秋露天皇升遐則天大聖皇后為先聖造功德垂拱中有冬竹抽笋塔院後復有藤生證聖中中使送錢於藤生處修理階陛寺上方普光堂功德隨日修造自爾飛鳥莫敢翔集此寺跋陁疏置業造神微皇家尊崇事光幽秘珍符[竺-二+存]臻於動植靈應亟發於庭除累聖屬心每頒渥澤王言宸翰既疊暎於鷄峰寶像珠幡亦交馳於龍壑皇上睿圖廣運神用多能藉明臺之化清繹天池之墨妙以此寺有先聖締搆之跡御書碑額七字十一年冬爰降恩旨 付一行師賜少林寺鐫勒梵天宮殿懸日月之光華佛地園林動煙雲之氣色漢元魏武徒衒奇於篆素鍾繇蔡邕虛致美於緗簡日者明勑令天下寺觀田莊一切括責皇上以此寺地及碾先聖光錫多歷年所襟帶明山延袤靈跡群仙是宅邁羅閱之金峰上德居之掩育王之石室特還寺眾不入官收曾是國土崇絕天人歸仰固以名冠諸境禮殊恒剎矣高僧跋陁明三藏心禪諸門弟子惠光道房稠禪師等精勤梵行克傳勝業惠光弟子僧達曇隱法上法師等十大德亦號十英復有達磨禪師深入惠門津梁是寄弟子惠可禪師等玄悟法寶嘗託茲山周大象中寺初復選沙門中德業灼然者置菩

薩僧一百二十人惠遠法師洪遵律師即其數也皇唐貞觀之後有明遵慈雲玄素智勤律師虛求一義洞真諦之源復有大師諱法如為定門之首傳燈妙理弟子惠超妙思奇拔遠契玄蹤文翰煥然宗塗易曉景龍中勑中嶽少林寺置大德十人數內有闕寺中抽補人不外假座無虛授澄什聯華林遠接武星霜殆周於二紀蘭菊每芳於十步上座寺主都維那等牢籠法藏遊息禪林德鎣神珠戒成甘露海內靈嶽莫如嵩山山中道〔場〕茲為勝殿二室迴合八谷潺湲地迺貝花門連石柱妙樓香閣俯暎喬林金剎寶鈴上搖清漢法界之幽贊如彼皇家之福應如此天長地久不傳忉利之宮刼盡塵微孰記鐵圍之會精求貞石博訪良工將因墨客之詞或頌金仙之德聿宣了義遠喻真空其詞曰恒沙國土微塵品類妄見飛奔正心蘊櫃昏途莫曉淨根將墜樂於蓋纏若安夢寐烝哉大聖降跡閻浮潛迴寶軸廣運慈舟實無滅度示有降柔紺宮西闢白馬東流迷因慢生悟為信起玉剎斯建寶山載峙花臺竹林清泉妙水靜唯真相湛然攸止巖巖嵩嶺河洛巨鎮下屬九溪上干千仞天磴重阻仙都清峻式創招提是資誘進婉彼上德載誕耆闍傳業西土演教中華孝文申敬恩賜仍加經營宴室迴出雲霞中嶽北阯嵩高西麓斜界玉池洞開栢谷紆餘崗澗連延水木鬱起旃檀云誰卜築吾師苦行清修道場勵精像宇專力經堂金界繩直椒塗水香散花有地栖禪得方解空應真默識開士乘盂遊集振錫戾止翻譯幽偈發揮妙理仙罄感靈神雀降祉運交土木代歷周隋刼火遞起魔風競吹法身咸翳淨國同隳或聞興復詎振崩離神堯應期撥亂反正皇矣覺力大弘福慶式遏醜徒聿扶興聖累降恩旨 兼敷錫命高宗時豫先后卜征亟迴雕輦屢倚虹旌巖題玉札地振金聲珍符薦至在物斯呈我皇龍興有典咸秩懿茲上界式儲神筆雲搖大圍鸞迴少室草垂仙露林昇佛日護持八正每候能仁跋陁降德稠公有鄰厥後真侶更傳了因辯才高行無替清塵倬焉梵眾代有明哲今我諸公蘊彼禪悅芳越蘅杜淨踰冰雪遠締津梁無非苦節穎上靈嶽山間寶殿秀出梵天孤標神縣芥城可竭桑田有變貞石永刊靈花常遍

## 嵩嶽寺碑

李邕(北海太守)

凡人以塔廟者敬田也執於有為禪寂者慧門也得於無物今之作者居然□乎至若智□不生妙用不動心滅法滅性空色空喻是化城竟非住處所以平等之觀一洗於有無自在之心大通於權實□□假其方便法雨潤其根莖流水盡納於海濡聚沙俱成於佛道大矣廣矣不可得而談也嵩嶽寺者後魏孝明帝之離宮也正光元年牓閒居寺廣大佛剎殫極國財濟濟僧徒彌七百眾落落堂宇踰一千間藩戚近臣□將衣止碩德圓戒作為宗室及後周不祥正法無緒宣皇悔過道叶中興明詔兩京光復三所議以

此寺為觀古塔為壇八部扶持一時靈變物將未可事故獲全隋開皇五年隸僧三百人仁壽一載改題嵩嶽寺又度僧一百五十人逮[豸*寸]狼恣睢龍象凋落天宮墜搆刼火潛燒唯寺主明藏等八人莫敢為尸不暇□補且王充西拒蟻聚洛師文武東遷鳳翔巖邑風承羽檄先應義旗輓粟供軍悉心事主及傳奕進計以元嵩為師凡曰僧房盡為除削獨茲寶地尤見褒崇賞典殊科明勑洊及不依廢省有錄勳庸特賜田碾四所代有都維那惠果等勤宣法要大壯經行追思前人髣髴舊貫十五層塔者後魏之所立也發地四鋪而聳陵空八相而圓方丈十二戶牖數百加之六代禪祖同示法身重寶妙莊就成偉麗豈徒帝力固以化開其東七佛殿者亦曩時之鳳陽殿也其西定光佛堂者瑞像之戾止昔有石像故現應身浮於河達於洛離京轂也萬輩延請天柱不迴惟此寺也一僧香花日輪俄轉其南古塔者隋仁壽二年置舍利於群嶽以撫天下茲為極焉其始也亭亭孤興規制一絕今茲也巖巖對出形影雙美後有無量壽殿者諸師禮懺誦念之塲則天太后護送鎮國金銅像置焉今知福利所資演成其廣珠幡寶帳當陽之舖有三金絡花鬘備物之儀不一皆光滿秋月色陵渥丹窮海縣之國工得人天之神妙逍遙樓者魏主之所搆也引流插竹上□登樓菱鏡漾於玉池金虬飛於□水食堂前古鐵鐘者重千斤函二十石正光年中寺僧之所造也昔兵戎孔殷寇攘偕作私邑竊而為□公府淪而作□後有都維那惠登發夕通夢遲明獨往以一己之力抗分眾之徒轉戰而行踰晷而至雖神靈役鬼風雨移山莫之捷也西方禪院者魏八極殿之餘址也時有遠禪師座必居山行不出俗四國是仰百福攸歸明準帝庸光啟象教南有輔山者古之靈臺也中宗孝和皇帝詔於其頂追為大通秀禪師造十三級浮圖及□□靈廟極地之峻因山之雄華夷聞傳時序瞻仰每至獻春仲月諱日齋辰鴈陣長空雲臨層嶺委鬱貞栢掩映天榆超進寶階騰乘星閣作禮者便登獅子圍遶者更攝蜂王其所內焉□□然矣若□以達磨菩薩傳法於可可付於璨璨受於信信咨於忍忍遺於秀秀鍾於今和尚寂皆宴坐林間福潤寓內其枕倚也陰陽所啟居四嶽之宗其津梁也密意所傳稱十方之首莫不佛前受記法中出家湛然觀心了然見性學無學自有證明因非因本來清淨開頓漸者欲依其根設戒律者將攝乎亂然後微妙之義滾入一如廣大之功遍滿三界則知和雅所訓皆荷法乘慈悲所加盡為佛子是以無言之教響之若山不舍之檀列之如市則有和尚姪寺主堅意者憑信之力統僧之綱崇現前之因鳩最後之施相與上座崇泰都維那曇慶等至矣廣矣經之營之身田底平福河流注今昔紛擾雜事夥多是以功累四朝法崇七代感化可以函靈應緣起所以廣玄□故得尊容赫曦光聯日月廈屋弘敞勢蹙山川□向有足度四生鍾重有足安萬國豈伊一丘一壑之異一水一石之奇禪林玲瓏層滽隱見祥河皎潔丹艧澄明而已哉咸以為表於代者業以成形藏於密者法亦無相非文曷以陳大略非石曷以示將來乃命道奐禪師千里求蒙一言書事專精每極臨紙屢空媿迷津之未悟期法王之可通

其詞曰西域傳耆闍山世尊成道於其間南部洲嵩嶽寺達磨傳法於茲地天之柱帝之宮赫奕奕兮飛九空禪之門覺之徑密微微兮通眾聖鎮四國定有力開十方惠有光立豐碑之隱隱表大福之穰穰

(李北海邕以書法名于唐若秦望山法華寺及東林寺岳麓寺諸碑俱傳于世而嵩岳寺舊志載碑文一篇為李邕作想亦其所自書也寺廢已久予屢覓無所得徘徊瞻眺惟見荒煙野草瀰漫山谷而已言之黯然)

## 永泰寺碑

釋靖彰(天寶間隆興寺僧)

觀夫聖應無方等曜靈之流萬象覺海玄曠若溟渤之含百川凝然居眾妙之先煥矣處有空之際於是慈光西燭慧液東飛廣開擢實之門爰啟布金之義粵茲寶界創自後魏正光二載即孝明帝之賢妹也乃居寵若驚克修雅志礭乎出俗入道為尼以誠信有徵勑為置明練之寺兼度士庶女等百有人矣頃遇周武不敏正教陵夷至隋氏開皇重加修復又度尼廿一人以崇景福暨有唐貞觀三載議將尼寺居山慮恐非人侵擾勑令移額於偃師縣下置此因廢焉至神龍二載七月廿五日有嵩嶽寺都維那僧道瑩奏聞此故寺依山帶水形勝幽棲不假多工便堪居住伏惟故永泰公主器韞冲和承規帝闕庶增瓊萼冀保瑤枝何圖厭代辭榮遷神遂遠二聖痛金娥之殞兆人興玉碎之悲凡厥有情孰不傷悼至論潛祐必賴薰修伏望天恩為永泰公主於前件故伽藍置寺一所請以永泰為名特望度僧二七人庶使福資冥路竊惟聖不孤運會緣必興建寺立僧寔由於此自茲已降暨乎至今亦有別勑配居或牒兩京名德翼翼清眾五十餘人咸以軌範端融心澄海月鵝珠育物禮誦無虧常懷報國之恩庶願福增皇祚千佛二古塔者昔明練之所起亭亭四照嶷嶷搖空龕室肹朧重光迴暎其閒大窣堵波者隋仁壽二載之所置文帝應命感異稀奇忽得舍利一鉼雪毫燦爛火焚益固擊之逾明乃詔天下梵場令起塔供養為蒼生之祈福也規制妙絕神工未方永鎮檀林以昭盛烈東有兩支提者昔寺主道瑩上座崇敬遺教門人之所造也二長老僧[恭-八+小]國寶振古超今息化歸真法俗追悼故起斯塔前門樓浴室食堂經藏者即大德曇陟律之所搆也律師宿智圓明知微察物少編僧錄風骨天然精持大乘玄通數部不住無相兼崇有為沙門思晤者心燈獨知跡無住處諸佛遺旨 必能竭其筋力諸魔動念必不愛其死生乃跋涉江山樸斲杞梓食堂之力頗有助云九級浮圖者比丘真一敬為故兄寺主真藏之所建也禪師積德累仁果曾慈惠玉昆金友俱離塵籠弟子沙門志堅及陳留郡封禪寺都維那僧希宴等敬為和尚樹茲景業藏寺主絢彩凝華心鏡虛朗再成寶殿重立尊儀但有闕遺盡加營葺并鑄大銅鐘一口重四千斤函廿石裝飾嚴麗備物維新金容將滿月齊暉玉相

與日輪爭曜簷宇四繞迴廊復周蹬道淩虛懸階數帀風鈴夜警聲聲流解脫之音曉梵朝吟一一讚苦空之偈嘉木繁植祥花接異菓恒春膏柳垂幡喬松結蓋而雲際前寺主道演前上座智光前都維那元順皆體道歸一異本同源逍遙林泉躑履雲壑復有沙門法意敬一等至樂大乘沈心不二一日必葺當賈勇而行諸六時精勤縱力極而不廢其寺也嵩巖右脅龍津左傍前眺案崗萬公居後地形澄坖幽磎對靈鎮之臺山勢巍峩峰頂與層巒俱峻昔跋陀三藏懸記此方人安眾和福利彌廣時上座明信寺主道俊都維那敬一並操履霜潔動成紀綱德義相資同知寺任但恐三輪一轉海際塵驚若不刊勒貞璆何以表之靈跡靖彰內慚深定外謝多聞敢違宿心昧揚休烈其詞曰佛性微遍含識隱顯自在兮無量力開秘藏耀無疆寶剎嚴凝兮仙路長韻慈鐘震懸極警眾沈昏兮清閻域光勝宅啟津梁淨彼地獄兮與天堂昔明練今永泰跋陁遠記兮斯為大刻珍石炳微言曠代昭宣兮萬祀傳

## 書

### 告柏谷塢少林寺上座書

太宗

太尉尚書令陜東道益州道行臺雍州牧左右武候大將軍使持節凉州總管上柱國秦王世民告柏谷塢少林寺上座寺主以下徒眾及軍民首領士庶等比者天下喪亂萬方乏主世界傾淪三乘道絕遂使閻浮蕩覆戎馬載馳神州糜沸群魔競起我國家膺圖受籙護持正諦馭鴈飛輪光臨大寶故能德通黎首化闡□林既沐來蘇之恩俱承彼岸之惠王世充叨竊非據敢逆天常窺覦法境肆行悖業今仁風遠扇慧炬照臨開八正之塗復九寓之跡法師等並能深悟機變早識妙因克建嘉猷同歸福地擒彼兇孽廓茲淨土奉順輸忠之効方著闕庭證果循真之道更弘像觀聞以欣尚不可思議供養優賞理殊恒數今東都危急旦夕殄除並宜勉終茂功以垂令範各安舊業永保休祐故遣上柱國德廣郡開國公安遠往彼指宣所懷可令一二首領立功者來此相見不復多悉

(右書乃唐文皇圍洛陽時以少林寺僧建功遣使致書獎慰之今書鐫豐碑樹東廊鐘樓前額隸云太宗文皇帝御書額下橫書云已上七字開元神武皇帝書乃知書為太宗親筆而額為玄宗親筆二帝之字俱遒逸有法可寶也王司寇謂書為幕僚筆而以開元等七字疑後人所妄加失在未見碑額耳下層刻裴懿公崔自書碑文字秀勁多態足稱能品)

### 御製修少林寺書

武后

暑候將闌炎序彌溽山林靜寂梵宇清虛宴坐經行想當休悆弟子前隨鳳駕過謁鷲巖觀寶塔以徘徊覩先妃之淨業薰脩之所猶未畢功一見悲驚萬感兼集攀光寶樹載深風樹之哀弔影珠泉更積寒泉之思弟子自惟薄祜鎮切煢懷每留秋期倍軫摧心之痛炎凉遞運逾添切骨之哀未極三旬頻鍾二忌恨乘時而更恨悲踐露而逾悲唯託福田少申荒思今欲續成先志重置莊嚴故遣三思齎金絹等物往彼就師平章幸識斯意即務修營望及諱辰終此功德所冀罄斯誠懇以奉津梁稍宣資助之懷微慰煢迷之緒略書示意指不多云

## 銘

### 少林寺靈運禪師功德塔碑銘(并序)

崔琪(大理評事)

虛空廣大乎其體智慧圓融乎其用凝而不生湛爾常寂離修離證非色非心歷微塵刼遞周沙界無量國土皆清淨無量昏暗皆光明誰其得之吾聞諸上人矣上人諱靈運蕭姓蘭陵人梁武帝後皇考翥號州恒農縣尉初上人之生也戒珠孕於母胎定水徵於孩性內典宿植外學生知白雲凝其高志明冰峻其苦節泛如也時不能知常以為幻境非實泡身是妄五色令人昏五音令人聾五味令人爽噫輪彼生迹移歲遷則物換況法興化永念從心積豈可使上人之高歿而不紀是斲片石以旌斯文銘曰上人伊何傳我法印其體也寂其行也順紛彼識浪汩夫夢情非照不曙非澄不清作大毉王為大禪伯嶽立松古蓮青月白一朝化滅六合悽愴世界颯空雲山忽曠色身謝兮法體存金界慘兮鐵圍昏噫我所留者唯心源

(嵩山之下塔銘甚多在唐為尤侈大抵皆僧輩勦詞與鬼不足存也靈運禪師碑僅四尺許在少林寺首行題下刻宣德郎試大理評事崔琪撰次刻聖善寺沙門勤六字下碑角刓缺二字必此僧書耳筆法無一畫不類聖教序者足見古人心力精專雖方外之人臨池不苟若此予每至寺中輒坐臥其下撫玩良久不忍便去恐世久磨滅特為表出欲比韓陵一片石蓋以字不以文也)

### 少林寺戒壇銘(并序)

釋義淨(開元時僧)

粵以長安四年歲次甲辰四月七日此寺綱維寺主義獎上〔座〕智寶都維那大舉法濟禪師及徒眾等(是以)少林山寺重結戒壇欲令受戒儀儀共遵其處遂乃遠之都下屈諸大德慇懃致禮延就山門是時我老苾芻義淨及護律師瑾禪師思禪師恂律師暉律師恪律師威律師等既至寺所解舊結新僉議此邊名滅無時息焉吾將歸根以復於正因遊嵩山至少林寺有始終之意焉會舅氏據於高平而上人遂緇於此郡玉立凡石不可喻其炯然日暎眾星無以方其明者竟移隸茲寺以副乎夙心無何習禪決於龐塢珪大師潛契密得以真貫理照十方於自空脫三界於彼著慧眼既淨色身亦如始知夫心外無法所得者皆夢幻耳然後觀大地土木無非佛剎焉空山蒼然窮歲默坐猿對茶椀鳥棲禪庵彼嶺雲無心即我心矣彼澗水無性即我性矣夫如是孰能以凡聖量之乎故吾在造化中如夢中也粵開元十有七祀夏五月廿二日不示以疾汩然而終苦霧晦黃於天地悲風哀咽於草木吁崩吾禪山涸吾法海空吾世界使凡百含識大千有情荼於是火於是可勝言哉故門人堅順獨建靈塔於茲山奉遺教也夫碩德丕發不有超世先覺而出夫等夷者則曷能傳我法印以一燈然千萬燈乎彼上人者嶷然倬立以定慧為藏以涅槃為山圓通於不住之境出沒於無涯之域適來時也適去順也今則絕矣瞻仰如之何夫事往則為小界標相永定冀無疑惑于時護鵝珍之嘉士無召自來存草結之英賢不期而會數逾一百行道三旬共繫頸珠俱修趺足誠五濁之希有慕四依之住持虛往實歸紹隆無替庶乎桑田屢改長存立石之基砂界時遷無爽布金之地恐地成碧海嶺變青山迷此結辰乃為銘曰羯磨法在聖教不淪式傳金口是敬是遵目觀西域杖錫東巡覩盛事而隨喜聊刊紀乎斯文

## 碑

### 嵩山會善寺碑

王著(翰林學士)

夫日月運行因太虛而顯象山河駢列自不宰以成形惟通幽以洞微乃依空而立實如來之道妙用歸真蓋憑有相之宗方悟無為之理何名有相度人煩惱之流孰曰無為捨筏涅槃之岸伽藍所設像教如然雒邑舊都嵩山勝槩蒸騰雲霧呈奇於三十六峰棲止聖賢垂化於百千萬劫會善寺者基搆資始本後魏孝文之離宮棟宇相循為澄覺禪師之精舍恭陵王乃一時哲士施作福田澄覺師則六祖名流淨其心地出於宿種同植善根隋開皇年中賜名會善逮及唐室增餚梵宮窣堵波上戛彤霞琉璃壇下鎮金地賢才紀其靈跡宸翰降其標題歲成具戒者盈千日受潔供者數百靈山之內寺為首焉頃屬梁祚始興神京久圮徹溧嚴之寶殿增壯麗於國門甲

子再周壞而弗葺聿興盛事必有良時我國家化洽九圍道隆千古薄俗增厚澆風變淳印土僧來獻龍宮之貫綖梁園起剎比鷲嶺之開蓮茲寺住持僧奉言故壇長賜紫大德敬溫之門人也戒行珠圓律儀冰潔扣大雄之法鼓洞至妙之言筌後有憩鸛山崇慶禪院僧全審者樹下三衣虎[堂-土+耳]隈衲冢間一飯鬼每分餐巡禮而來於焉至止覩遺基而浩歎與眾意以同符各勵丹誠誓修紺宇冐風塵於千里歷寒暑於九衢眾乃降心人皆聳善或捐重貨或捨奇珍數稔之間淨財告足乃於舊址特創新規蓋成大殿一座七間石柱森羅寶堦縈繞丹楹刻桷下捧上承繡棟雲楣外華內實鴛鴦逐瓦得侶還來螮蜳隨梁逢時復見熒煌熠煜臺山金燭之明嵽崒巍峩閬苑瑤峰之勢列數筵之寶座儼三世之睟容眾訝奇功甲諸靈境矧況明神宅於茲嶽巨福異於他山中天王昔備信心珪禪師曾受淨戒移高峰之松檜用爾變通抑上界之雷霆聿明昭報所以王之享祀今弗食薰將榛栗以易牲牢陳茗蓛而代酒醴諒惟玄貺別濟群生每至林壑秋凉煙花春煦車馬絡繹絲竹和鳴士人奔湊於靈祠蹊逕皆由於厥寺罔不開襟蘚石濯足珠泉月照松軒共起清虛之思雲歸乳洞皆生寂滅之心利樂有情不言而信至矣善逝化諸後來足躡解脫之門以方便故人自弗知身沈苦惱之津以冥暗故人終不覺惟會善之靈應如彼惟佛殿之興隆如此非言公等與審公精進化導猶涉海以無舟非白眾與黑眾等勇猛修行若冲虛而乏翼誓願已足功德再圓如是則結施名檀必具恒沙之福因心闡法將為登地之流著也居含識中仰菩提道初聞創制願為裁文不敢妄言謹為銘曰興雲雨兮會神龍峙嵩嶽兮天之中惟會善之聖地繼天竺之真風有窣堵波兮栖靈骨有琉璃壇兮鎮梵宮寺由賢哲兮立規制殿遇昏狂兮為壞空今景化兮淳和浹洽有苾芻兮精進修崇寺載隆兮殿載建美哉享福德兮無窮

## 雜文

### 達磨頌

黃庭堅(吏部員外知太平州)

少林九年垂一則語直至如今諸方賺舉

### 達磨面壁大師贊

蘇軾(團練副使贈太師謚文忠)

少林素壁不以為礙彌天同輩不以為泰稽首六師昔晦今明不去不來何損何增俯仰屈伸三十一年我雖日化其誰能遷

## 嵩山祝文

蘇轍(大中大夫謚文定)

轍昔緣吏役自陳如洛道出嵩少秋雨方淫繁雲如絮纏覆山上究觀近麓莫矚諸嶺據鞍默禱庶幾一見俛仰未幾豁然雲移如卷重帷卻置山後連峰角立草木可數驚顧竊歎莫知其由昔韓愈南征有感於衡豈以無似克配前烈默然慙惕不以語眾至于今日十有八年永懷疇昔有不能已謹遣家兵以茶酒香燭及佛經疏伸導薄誠神鑒不昧景響昭答

## 嵩山紀行

邵伯溫

司馬公居洛嘗同范景仁過韓城抵登封憩峻極下院登嵩頂入崇福宮會善寺由轘轅道至龍門遊奉仙諸寺上華嚴閣千佛巖尋高公堂渡潛溪入廣化寺觀唐郭汾陽鐵像渡伊水至香山皇龕憩石樓臨八節灘過白公影堂凡所經從多有詩路險策杖以行故嵩山題壁曰登山有道徐行則不困措足於平穩之地則不跌其旨 遠矣
金

## 記

### 重修面壁菴記

李純甫(京兆府判官)

屏山居士儒家子也始知讀書學賦以嗣家門學大義以業科舉又學詩以道意學議論以見志學古文以得虛名頗喜史學求經濟之術涖愛經學窮理性之說偶於玄學似有所得遂於佛學亦有所入學至於佛則無可學者乃知佛即聖人聖人非佛西方有中國之書中國無西方之書也吾佛大慈皆如實語發精微之義於明白處索玄妙之理於委曲中學士大夫猶畏其高而疑其涖誣為怪誕詬為邪淫惜哉龍宮海藏琅函貝葉無慮數千萬言頂之而不觀目之而不解且數百年老師宿德又各執其所見裂於宗

乘汩於義疏吾佛之意掃地矣悲夫梁普通中有菩提達磨大士自西方來孤唱教外別傳之旨 豈吾佛教外復有所傳乎特不泥於名相耳真傳教者非別傳也如有雅樂非本色則不成宮商如有甲 第非主人則不知庭戶自師之至其子孫徧天下多魁閎磊落之士碩大光明表表可紀劇談高論逕造佛心漸於義學沙門波及學士大夫潛符密契不可勝數其著而成書者清凉得之以疏華嚴圭峰得之以鈔圓覺無盡得之以解法華穎濱得之以釋老子吉甫得之以注莊子李翺得之以述中庸荊公父子得之以論周易伊川兄弟得之以訓詩書柬萊得之以議左氏無垢得之以說語孟使聖人之道不墮於寂滅不死於虛無不縛於形器相為表裏如符券然雖狂夫愚婦可以立悟於便旋顧盼之頃如分餘燈以燭冥室顧不快哉道冠儒履皆有大解脫門翰墨文章亦為游戲三昧此師之力也新學晚生愧無以報今因少林主人志隆命其侍者海淨問訊屏山曰照了居士王知非暨劉菩薩并其徒儲道人重修面壁菴既已落成請記其歲月時大金興定四年中元之前一日也隨喜之餘又洗手焚香而為之贊曰玄關未啟玉鎖生苔靈臺未洗金鏡塵埋鐵牛穿鼻石女懷胎孰為具眼鼻祖西來舟行萬里禪心如灰壁觀九年梵音如雷不戒而戒不齋而齋一衣一鉢五葉花開或杖或拜或嗔或舞聲欬揚眉顰呻舉武或咄或咦或吽或普柏樹藥欄燈籠露柱彈指張弓吹毛擊鼓跌宕形容逕庭言語太漫汗中剔渾淪處有者箇在又恁麼去津然可口如甘露漿薰然入骨如蒼蔔香如發管鑰如施印章金仙海藏同時放光竊吾糟粕貸吾粃糠粉澤孔孟刻畫老莊八萬四千清凉道塲屏山說破誰敢承當

## 新修雪庭西舍記

李純甫

昔達磨大士面壁九年神光宿業儒術且尚玄學遂見祖師於此地立雪斷臂方得西來意盡發孔老言外不傳之妙大顯於世士大夫有疑之者僕作面壁菴記已辨之矣此記既出諸儒有譁而攻僕者曰觀密二師固學佛者李翺王介甫呂 惠卿蘇子由張天覺亦佞佛之徒耳如伊川東萊無垢諸先生其視佛老如仇讐然子以為得佛之道不亦誕乎僕笑應之曰諸先生之書尚在所謂陽擠而陰助者多矣真得祖師掃蕩之意學者疑其云云是對癡兒不得說夢也如致堂先生胡寅在伊川門下排佛之尤者著崇正辨七十餘篇詬罵靳笑無所不至雖然止罵像季以來破戒僧耳近得其所著讀史管見其言歷詆諸儒謂荀况正而失之駁董仲舒粹而失之泥楊雄潛而失之憒王通懿而失之陋韓愈達而失之淺由秦漢至五代千三百年無知道者至於斲輪操舟之工雕刻刺繡之巧累丸升竿之習及其精也疑於不可思度况人之所以為人有大於此者乎老氏知之故有真以治身土

苴為人之說佛氏知之故有不立文字指心見性之傳又曰老莊之言奧窈宏達非荀楊諸子所能及又曰滾讀佛書其庭戶未易知其奧窔未易窮其辨未易折其精極之地未易到豈老莊所得擬哉其說如此學者當熟思而詳考之吁陳無已謂儒者不得其傳固得罪於儒者僕謂儒者亦得其傳又得罪於儒者然則儒者果得其傳乎果不得其傳乎得與不得相去幾何嗚呼噫嘻孔老復生不廢吾言矣遂書此言以為雪庭西舍記

## 嵩頂重修峻極禪院記

釋道琇(大定時戒壇院僧)

二曜當天逐千波而肆影一真澄湛應萬彙以分形悲則不住涅槃智則不隨有海緣會也嵐園示跡緣散也雙樹潛輝隱之則三界暝曚顯之則十方洞曉興之則福田茂盛建之則列剎交光非小智之所為誠大雄而可爾嵩峰絕頂者得中原之最勝也可謂三峰插漢五嶽居中瑞雲罩頂偏招賢聖潛居霧瑣青松時有高人隱迹法華嵓畔珪師開甘露之門[山*(罕-干+大)]岘峰前天后立聖神之銘雲生西嶺點破太虛日照東山曜開禪目由是一毛孔內千里仍觀萬象頭中百通一致梵剎靈祠開列二諦交參仙宮紫府雲排清虛一味風聲谷響談不二圓音碧綠青黃現色身三昧勿謂五峰嚴麗鷲嶺超奇顧此嵩峰斯為上矣峻極禪院者古昔周晉之間所建也時號天成有僧安禪師自金陵來駐足名峰潛神斯地禪師四儀庠序一志孤高禪月輝輝照破群生暗願心珠朗朗明開向上機關當知覺樹華開乾坤洞曉優曇蘂綻遠邇聞香未逾數祀感文殊降迹遂修殿一所後至天福年中乃蒙賜額峻極禪院次第經久頗有隳壞又至宋末王貴妃自備俸錢重修大殿繼遭兵革廢蕩罄無迄至於今荒殘甚矣今有忠公禪師者乃關中京兆人也雲門後裔五乳嫡孫師自從幼歲不濫俗流一志空門堅求出離改元大定落髮披緇負鉢携笻恭參知識禪林徧訪處處投機後至陸海因緣相會可謂赫日當天難藏瑩彩明珠出海詎掩光輝時遇州主刺史率眾官宰及諸僧首請住靈泉師既事不獲已不免依從自此鉗鎚密用與禪人拔楔抽釘法綱鋪舒於苦海撈龍打鳳次後三住大剎四眾依棲自覺緣會緣離古今常爾遂將衣盂罄捨獨步嵩峰晦跡韜光棲神數載為見聖基殘毀歎而可傷纔興一念之心四遠檀那悉委助功助手有若雲臻供利供材還同雨至門徒來往不憚崎嶇衲子參求曷辭嶮阻未逾周歲院宇重新結制安居家風似舊莫不是孤峰頂上餬餅重香古剎頹基寒灰再焰將此大業欲示未來宜在刻石可傳永久囑余為記匪敢固辭不揆荒才聊申歲月耳

## 少林禪師裕公碑

程鉅夫(翰林學士承旨)

皇慶元年春集賢大學士榮祿大夫臣陳顥奏請封贈少林開山住持光宗正法大禪師福裕制贈大司空開府儀同三司追封晉國公命詞臣文之碑臣鉅夫奉職惟謹佛法相傳有信具至達摩持以航海梁武帝問道不契去之魏隱於嵩山少林寺面壁九年為禪宗鼻祖六傳而至大鑒復派而為五師所居達摩處也其宗以湛然常寂為真空洞不虛為實廣大不蕩為際其教人亦惟曰性善其論曰推一而萬則事無非真混萬而歸一則真無非事故曰當仁又曰能仁陰有以格君心而賛皇猷未嘗以福田利益嘐嘐語人而慈雲法雨陰覆潛被歷代帝王意欲清心靜治使萬姓蒙福謂浮圖言可底行奉之深至此其大略也歲乙巳世祖潛邸命師少林大作資戒會俾建精舍於故里曰報恩給田若物以飯眾戊申定宗詔住和林興國未朞月憲宗召詣帳殿奏對稱旨 俾總領釋教授都僧省之符優復僧尼得廢寺二百三十有七區庚申世祖即祚因論辨偽經馳驛以聞火其書仍襲爵賜光宗正法之號時萬壽祖席無可當之者眾請師主之計以堂鉢之費未免經葺得都南柳林閑田二百頃餘辟玉泉北墅觀音別院自餘藥室浴宇賈區拾其贏以卒歲尋分建和林燕薊長安太原洛陽為五少林始終萬壽十四夏主護之力居多既老倦於接納歸棲嵩陽未久示微疾書偈告終俗壽七十三僧臘五十二嗣法小師三十人度弟子千餘指奉戒者莫可紀嗚呼師去世已遠今上皇帝寵以贈典言行而道大也皇帝若曰洪惟世祖神武不殺本仁祖義以一天下朕欲昭我祖德持盈守成惟爾克紹乃初祖永孚於仁以弘濟我兆民顧先哲其逝朕弗克見於茲邈焉雖去來夢幻無得而名封謚哀榮豈不在我其尊爾官隆爾爵以寄予思以廸後人以永譽於萬世師之住世也三閱藏典而成誦誘掖後學無倦色通群書善翰墨吟詠提唱普說幾十萬言播在叢林而師未始以為能事幼遭世變茕然無依道逢老比丘勸以學佛曰能誦法華足矣師曰佛法止是乎比丘異之與偕謁休林古佛於仙巖曰此龍象種也當為大器即為祝髮授具與雙谿廣公同執事者七年遊方來燕親炙萬松師又十年道益隆名益著學者日益廣其住少林也萬松老師實為之主屬嵩少煨燼之餘蹔憩緱氏之永慶已而興仆起廢訓徒說法施者如丘山來者如歸市嵩陽諸剎金碧一新洛陽白馬經筵不輟皆師力也師瞑目宴坐彌寂默若無與焉至元八年春詔天下釋子大集於京師師之嗣法者居三之一其盛哉師剛果彊毅公勤廉明平居風神閒敞襟度夷曠復嵩山如祖師再出世倡道垂教於天壤間如鼓雷霆而揭日月所謂大善知識標準斯世沒而不朽者歟師字好問以雪庭自號太原文水張氏子九齡入學日了千言鄉閭曰聖小兒方娠母有異夢及生家有吉徵其說法也涸池出泉古殿有光瑞應非一端云門人慧慶以師平昔著述刻梓既壽其傳仍以道行碑輒請於上追念父師少不失報効之義是可銘銘曰佛以仁傳聖以仁治其仁伊何此心而已混未嘗混照徹大地推

未嘗推淵澄止水梁皇有為不諧其旨 誰直其宗曹溪東逝逮我裕公道還北矣師少不凡見稱州里休林古佛真源指示至老游參持戒律已萬松休林合辭招致參從渡河幾三百指緇俗趨走營施山委嵩陽諸剎金碧翬跂洛陽大講經歲不弛二百四區群廢盡起僧無[彳*(采-木+(工/止))]役大眾歡喜曰一佛出世遇明天子其人已滅其道不死不空不住天地終始帝命曰咨章服是宜百世其承之四方其則之惟爾法是依惟爾言是師臣拜稽首聖敬不違播為聲詩永之茲碑

## 重建少林寺達磨大師碑

歐陽玄(翰林學士承旨)

臣玄敘曰維昔達磨大師掩室龍門藏舟熊耳時君蕭梁武帝追述慧命親製穹碑世代推遷舊刻既泐遺文僅在皇元至元五年倉龍己卯少林長老息菴將鑿石洛汭樹表禪源遣徒了辯走京師命萬壽禪寺住持勑賜領曹洞宗惟賛奉福住持思[辟/王]暨釋教之都壇主普乘希旨 今朝求證當世於是內侍貴臣同知延慶司事烈思八班具事以啟賛天開聖仁壽徽懿宣昭貞文慈祐儲善衍慶福元太皇太后有旨 命翰林侍講學士歐陽玄為敘其事奎章閣學士院大學士康里[山*(廾/(止*白*匕)/夕)]為書其文同知徽政院事趙世安為篆碑首臣玄等奉命共恪載唯東土初祖達磨正宗粵自乾竺遠來震旦時則典午倡清虛之言幽沈至道蘭陵崇營繕之役凋弊含生師發大慈躬拯斯弊露真常之體以偃疑憧破惑業之根以祛見障騁雄五衍之涂而不詭闡微八正之戶而不空故凡梁武薦況穹祇集勝塔廟雖或琅函山委緇眾林臻師輒指為人天小果有漏之因茲蓋衛法之金湯拯世之藥石也迨夫自牖之明弗售納履之去斯決古之聖賢以道事君不可則止進退之正復何加焉梁武雖乏鍼芥相投之分曾微枘鑿不侔之跡觀其臨文嗟悼篤意歸崇君臣之道交盡始終之義彌篤至於宋雲邂逅蔥嶺蹁躚悟生滅之本無信去留之莫測猶撢奧旨 不替遐思四諦兼融三身同壽蓋有足徵者矣洪唯我元廣大無外恢弘不二用能燭曠刼猶一息囊法界猶一家龕金中土屋宋南社其名山大川前代偉蹟不加隳廢兼示幬持太皇太后克循祖訓密契佛乘推其公天下之心施諸出世表之法譬若雷行無妄萬物一機月照無私千江一影遂使大師之德因昭代以重宣前王之文假徽音而復著何其盛歟玄承乏北門職當論述闇於內典罔罄讚揚顧蕭氏所製舊文汲簡如新魯貫仍故靡資潤色重勒左方永錫鴻休貽諸來世云爾

## 雜文

## 請寶公長老住持嵩山會善寺疏

無名氏

竊以飲光得處契拈花微笑之機達磨傳來明立雪安心之印自後花芳五葉焰續千燈不有當人孰為宗匠伏惟寶公長老靈機迅發逸辯高超傳祖佛心驪珠獨耀於滄海開人天眼桂輪孤朗於碧霄法席既虛宗師遴選海濱岸上希收舡子之綸嵩嶽山中願列曹溪之派遡流舉棹順水張帆願馳雲馭而來俯慰眾情之望

## 會善寺茶牓

釋溥光(禪師官大學士)

竊以隨緣應物無非囘向菩提指事傳心總是行深般若欲破人間之大夢須憑刼外之先春伏惟佛覺普安慧湛弘教大宗師寶集正宗轉輪真子學冠於竺乾華夏顯密圓通神遊於教海義天理事無礙笑辟支獨醒於一己擬菩薩普寤於群生借水澄心即茶演法滌隨眠於九結破昏滯於十纏於是待蟄雷於鹿野苑中聲消北苑採靈芽於鷲山頂上氣靡蒙山依馬鳴龍樹製造之方得法藏清凉烹煎之旨焙之以三昧火輾之以無礙輪煮之以方便鐺貯之以甘露盌玉屑飛時香遍閻浮國土白雲生處光搖紫極樓臺非關陸羽之家風壓倒趙州之手段以致三朝共啜百辟爭嘗使業障惑障煩惱障即日消除資戒心定心智慧心一時灑落今者法筵大啟海眾齊臻法是茶茶是法盡十方世界是箇真心醒即夢夢即醒轉八識眾生即成正覺如斯煎點利樂何窮更欲稱揚聽末後句龍團施滿塵沙刼永祝龍圖億萬
春

門人(高亮　郭國器)校字

嵩書卷之二十一終

## 少林寺重建初祖殿記

羅洪先(翰林修撰)

達磨止少林面壁九年未嘗誦經卻時時顯釋迦以來教外別傳口口密義是常誦真經答梁武論功德不數造寺卻處處立妙淨莊嚴佛土是常造寶寺縱使具長廣舌盡十二部妙論徧三千大千界中殿臺亭閣旛蓋香花魚磬鼓鍾種種色色微細備足一切俱令滅度了無所在亦無餘剩方名究竟平等又况西來單傳直指有說法否有三十二相否雖然釋氏視少林猶吾黨洙泗洙泗所傳一貫當時實鮮與聞顧又謂能距楊墨即聖人徒灑掃應對精義無二由是而觀有能升孔氏堂群洙泗弟子數千人鳴弦歌習俎豆其間不厭不倦此其人難耶易耶有不與其進耶自達磨入震旦稱初祖五傳黃梅法門益盛雖頓漸分途總歸含育持偈禮像隨資應機至於手挈衣鉢乃在初來嶺南獦獠必俟雪中斷臂始堪顧盼則堂前茂草誰誘眾生是知有言無言有為無為迷悟差殊不可執著蓋其設教彌近故易熾而不墜若此然超此二見亦必待人以是少林住持咸相讓避餘三十年而今有宗書宗書名大章本順德南和李氏子自幼受度歷叩名僧參詰省解京師貴人延供騰譽嘉靖三十六年丁巳河南府廉其名招致授牒曾未四載起廢約渙朝梵夕定玄風流遠時舉單傳直指衍奧撥疑千人心降并食聚仰間出餘力大葺故剎己未臘月八日重建初祖殿舊面壁處高三十二尺廣增二十有二而深視高強其三位爽勢尊楹棟壯堅瓴甋澤好儀序丹藻靡有損缺凡八越月告成累千百金不動聲色左右兩翼各聯七室區息禪誦身依茇舍被露席蓐律戒謹嚴少林大眾歎未曾有故友天真往遇衡山假此因緣遣徒光護千里重趼乞言表信予笑謂曰吾當距楊墨寧爾貸辭光護哀請浹旬弗怠憐其專誠足以激發吾黨且資廣譬為記建殿歲月書貽以歸

## 遊嵩記

喬宇(吏部尚書)

辛卯秋八月予歸自京口取道為嵩嶽之遊道出亳州州人薛君采來迓予往官吏部時君采嘗為郎屬因拉之同行九月七日丁巳抵登封縣八日戊午謁中嶽廟廟在黃蓋峰下去縣東八里許退觀歷代碑刻中一斷碑八分書也字畫勁美類唐徐浩疑為唐碑餘碑約五六十皆宋元金并我朝所樹立者閱之不能徧也出廟東北行四里為盧巖又三里為盧巖寺俗呼為上盧巖蓋唐盧鴻居地自下寺至此崖谷幽邃竹樹陰翳嵩少之佳處也

寺後有瀑布泉尤為殊勝泉出巖頂下瀉石壁長踰數百尺闊止尺餘寺僧云泉舊闊二三尺今歲旱泉勢頓減然即如茲所見者亦甚奇麗正德庚午予奉命祭山東沂山其山亦有瀑布二泉形致相類並北方之名泉也九日已未出邑北門行五里遊崇福觀又二里次山下自此登山而行山路詰曲循峰而西路皆斗絕行十五六里經西流泉山氣凄烈冰已厚寸許又四五里至白鶴觀觀去絕頂尚二三里時日已將晏廼坐觀前飲酒數行飲畢予上造北極廟蓋嶽之絕頂廟側有玉井冬夏不竭始予入登封境遠望嵩嶽未知嶽之高也至於山麓所見猶然比登絕頂四顧群山拱列於下北眺大河迤邐而東然後知嶽之崇高也君采素我一籌矣其亦用老子之道辟盈而後人邪歸抵縣已二鼓十日庚申復出城西北行五里至嵩陽宮觀三將軍栢其最大者圍用六人相傳漢武帝所封在漢時已為鉅木則斯木之壽遠矣歷年既久狀特奇怪予往歲代祀平陽媧皇廟廟有古木與此木可伯仲意天下之木殆未有甲於二木者午後至少林寺是夜宿寺中翌日辛酉遊初祖菴菴在寺後林壑之美倍於盧巖自菴後陟五乳峰即少室之別峰行十清臞至觀前已疲甚不能絕頂予歸顧而笑曰若輸餘里始至峰頂有達磨面壁洞下望諸山宏闊不逮嵩嶽而峰巒四合攢叢映帶亦少室諸峰之冠云十二日壬戌出少林過轘嶺口渡伊洛水抵偃師世嘗謂遊五嶽為物外之福予素愛山水不減昔人而遊山之福似為過之恒泰華三嶽往歲皆嘗寓目自餘名山如句曲清凉之屬非五嶽列者尚不與焉今老矣復得歷覽嵩嶽之勝五嶽之中所未遊者獨衡嶽耳昔賢有缺陷世界之語謂人間之福不宜備享况物外之福可盡取乎由是言之予阿堵中雖欠祝融諸峰未為不可也山遊凡五日共得詩若干首具遊嵩集中嘉靖辛卯九月

## 遊嵩陽記

周敘(翰林編修)

宣德丙午三月十五日予在鞏祀宋陵畢瞻望嵩少諸山慨然想其勝與廣文宜春吳公遜志約遊焉行李僕御已戒至期聞有達官至吳君不果行越二日予遂携邑庠生王庸劉清李暄同往行二十五里至黑石渡沿洛南上河水清駛水濱山石犖确下步行二里餘午食將軍趙仁家又行半舍許地曰漫流岡上有郭汾陽廟環廟古栢數百株蒼翠蔚然可愛有碑二通一金元光二年天黨越琢譔云汾陽嘗領兵清河上至是索芻粟不獲里人告以是邦西南崗嘗出毒霧為災故田穀不秋無以供餉汾陽乃旋軍登其上以壓之毒因以息里人遂立廟祀之相傳祠下有洞時有聲隆隆然蓋毒霧所出處予惟古人稱掃清氛祲汾陽之謂矣一則緱山東老人所題老人逸其名必宋元顯者夜宿原良村王庸家自鞏至是七十餘里翌旦遵趙城陟轘轅道石徑崎嶇盤迴以上中有關名轘嶺老卒數人守之時天旱邑人

祈禱甚久忽微雨從西北來予顧謂二生曰今日之遊固樂天復雨又樂之尤也轉南僅五里入少林寺竹木蔽翳仰不見日花草餘香郁郁襲人寺在五乳峰麓少室山當其南隱若屏列寺僧聞客至迎迓甚恭佛殿後為講堂堂後有立雪亭則佛徒惠可受法於達磨處惠可嘗侍達磨雪深至腰不去竟得其法予因歎曰昔游定夫楊中立立雪於程門卒傳其道惠可學佛法亦然使世之為弟子者皆若此其學詎有不成者邪因觀歷代所建碑刻其文最舊則有梁武帝御製達磨大師贊前刻歐陽圭齋序餘皆唐宋以下文字又向西北循山厓深入三里許攀援而上山勢岈然環抱視寺之臺殿山之林壑若在席下是為達磨面壁菴菴有石影云達磨面壁九年之遺跡也時雨止雲收煙霧澄霽幽鳥玄蟬鳴聲上下倏然有塵外之想僧云西南八里巔有惠可菴有卓錫泉以榛莽蒙翳不果上寺主僧曰圓宗者甚能言相與論辯亹亹亦自可敬飯畢啟行逾十里則嵩山少室東西對屹山色掩映蒼翠如滴路循深洞灘石礧磈按轡徐行髮毛森竪俄經一小土神祠南忽有赤衣童子疾趨道左令導途者索之稱久不見竊自念曰連月旱暵而赤色者南方朱火之象也是豈旱魃之流歟因相與名其地曰赤童子山又行十里憩郵亭中亭後一里有寺名會善刻元雪菴所書茶榜字徑三寸許遒偉可觀觀畢既出晚至登封假館學宮自原良至是又六十里明日同廣文劉仲武司訓吳永康謁中嶽神祠且默禱久旱祈賜雨澤禮畢而縣丞李政繼至祠在縣東八里嵩山之陽中原壤地平曠有山亦培嶁不崎嶇唯嵩山綿延磅礴騎奔雲矗長數十里屹然在天地之中諸山環列勢若星拱蓋乾坤秀粹所鍾宜神靈之宅也祠規制極宏壯峻極殿南為降神殿三面皆圖申甫像丹青頗剝落而筆意蒼古督李丞命畫工模之宋金以來石刻以百數惟王曾奉勑撰者碑最穹壯字體雖甚勁麗文漫滅不可讀并命諸生用紙墨摹搨以考其舊既出李具酒殽於道室相與宴飲甚歡室後有竹數百竿微風度之鏗然有聲如擊金石此又洛中之僅見也又明日與仲武永康循北門遊嵩陽觀觀久廢惟古栢三株存大者圍幾三丈高兩倍之相傳漢武帝封為大將軍有石刻識其下次者亦幾二丈圍云望之如張幃幄如擁車蓋風動如聞絲竹之音相對久之不能去前有天寶三載紀聖德感應碑高大異常制書法極妙又從東度涸澗尋崇福宮即太乙觀林深從者迷失道往返數四始達宮亦屢廢惟三清殿存亦至元間重修者旁屋近燬於野火道官依殿以居舊有奕棋樗蒲泛觴三亭今俱圮有泉名太乙歲久亦湮則泛觴亭之故址也二宮觀俱漢唐宋以來天子巡幸暨王公卿士宴遊之所方其盛時珠宮琳館金碧交暎鑾輿所至草木生輝及其廢也荒煙斷礎鞠為丘墟樵人牧竪得而辱焉噫方外之流恒自視其道與天地長久永存今既若此豈非物之興廢固自有時哉升高以望遠則箕潁諸山川隱然如畫追想巢由之高風西則少室三十六峰綺綰繡錯高插霄漢深悲李山人之陳迹目與景接心契神會超然若御灝氣游鴻濛而不知其所止也稍東有啟母石云塗山氏所化其說怪誕不經極西有法王寺亦名剎殿宇頹圮

惟浮屠儼然南下則有周公測景觀星二臺廢址北顧嵩高二十四峰舒奇獻秀歷歷可指並山頂而東則又有所謂盧鴻巖投龍洞皆嵩陽勝處擬次日再約往遊是夕予冒風寒頗不懌且疲於登陟遂不果而顧予先後之所已賞者其所得亦可謂富矣因累書其事於簡以識予是遊之勤并各書一通一以遺鞏邑廣文吳公俾想見茲遊之勝一以留登封學宮以備他日好遊者之故實云

## 遊嵩山記

都穆(工部主事)

癸酉十一月朔予至洛陽欲圖嵩山之遊二日丙寅至偃師縣三日丁卯離偃師沿洛河南行五里渡河十里登唐盧陵王墓上石人馬暨石表猶存中一碑高大字漫滅不可讀三十里至嵳嶺口兩山對峙石道崎嶇乃唐高宗幸少林寺時所鑿山行八里至少林寺在少室山北麓後魏主孝文為胡僧跋陀建一碑刻唐太宗為秦王時賜寺僧御劄有云王世充叨竊非據敢違天常法師等並能深悟機變早識妙因擒彼兇孽廓茲淨土聞以欣尚不可思議今東都危急旦夕殄除並宜勉終茂功以垂令範蓋當時寺僧之立功者十有三人惟曇宗授大將軍其餘不欲授官賜地四十頃此可補唐書之缺惜無有知之者少林僧至今以武勇聞則其所從來遠矣寺佛殿後為講堂後左右有立雪亭昔僧惠可嘗侍達磨雪深至腰不去卒嗣其法今僧中稱為二祖出西廊百步有甘露臺胡僧跋陀於此翻經天降甘露故名西北上山二里至達磨菴殿前有六祖手植栢又上一室門外石刻達磨面壁之菴六大字宋蔡卞書室中塑達磨像案置一石高僅二尺廣尺餘其上達磨之形宛然拭之益顯蓋菴之上四里有達磨洞茲石廼其九年所面古謂精誠可通金石諒哉回至方丈適登封令李性甫遠來相迓夜酌同宿寺中四日戊辰性甫以事先去寺主僧文載言經閣後有古槐一株視之其高十丈圍三十尺文載誦文潞公遊寺詩有五品封槐今尚在之句則其壽可知第未知封自何時莫能考也出寺東行十五里折而東北三里至戒壇寺入門破屋三楹其中碑四刻元學士李溥光所書茶榜字徑三寸遒偉可愛後即戒壇傾圮已久旁有唐大曆二年勑戒壇寺碑寺左百步為會善寺法堂中有後魏嵩陽寺碑後刻云大唐麟德元年移植於此可謂古矣佛殿右偏有泉出自山中惟供寺中之汲通之俾資灌溉則伏而不流僧云唐有高僧晏公於此講法華經龍作人來聽晏知其龍也告以寺乏水遂送此泉蓋其相傳如此東南行時有飛雪十里至登封察院雪乃大作性甫張燕陪飲者學諭尹亨伯司訓梁文升皆予同郡人也五日己巳雪猶未止亨伯招飲學宮六日庚午雪霽登封東行嵩山近目雪蒙其顛而玉田璚樹復相帶暎其清逼人恨無驚人之筆如范寬輩者以圖之耳八里至嵩山神祠祠在黃

蓋峰下蓋嵩山巍然中國之中其週圍二百里群山拱列有類兒曹宜其秀鍾靈聚為五嶽之尊而黃蓋一峰在山東南盡處其宅神靈尤宜祠之外有亭翼然過客憚於入謁多展拜於此入門三重咸有古栢或喬或偃或俯或伏或屈而蟠或怒而攫或奮而欲騰又或如帷幄之張車蓋之擁幾二百株三門之內四嶽神祠分列左右又入門有降神殿壁繪生甫及申像歲久惜多剝落謁嶽神殿其西為御香亭每朝廷降香悉貯於是祠多歷代碑刻不能盡讀午飲祠之公宇飲畢東行二里折而北二里山之北麓入盧巖寺蓋唐盧鴻隱處後遂為僧廬其上四里復有盧巖上寺聞石壁飛瀑數丈視此殊勝路陡雪深竟莫能至七日辛未登封北三里至嵩陽廢觀其中所存惟唐李林甫聖德感應頌元五祖七真堂記二碑及三古栢栢之高皆不逾三丈大者六人圍之下舊有石刻云漢武帝封大將軍其次四人圍之不盡道士云此次將軍也皆形狀怪甚不可圖繪夫漢武迄今千五百年栢在當時則已受封其壽固不測以今視之殆殷周時物耶其又次亦三人圍之予平生見栢之古者多矣若二封栢豈惟予所未見盡天下之壽木或未有能過之者奇哉奇哉又東三里據山之陽者為崇福宮其後名為萬歲山昔漢武帝臨幸聞空中呼萬歲者三因即其地建萬歲觀唐更名太乙宋於此奉安真宗御容設提舉管勾以祝釐中故有奕棋樗蒲泛觴三亭今唯存泛觴之石予命道士引泉委曲流之立飲其上而寒風砭人數盃即罷下山東行一里觀啟母石石旁之祠及唐崔融碑今皆不存按啟母石事見淮南子其說不經後之人蓋嘗辨之四里還察院宿

## 宿煖泉寺遊嵩山少林寺記

王世懋(太常少卿)

余以東還困於顧募之費乃謀買小舟自洛入長河既抵洛陽即以一僮先令至孫家灣覓舟孫家灣者負山面洛去偃師縣東二十里而近余未至偃師僮來言已得下賈舣艋日下舂抵灣欲入舟舟人告未備乃之煖泉寺宿焉寺在洛北兩山夾泉下注於洛循澗入可一里許見石上流泉瀰漫居民就泉種稻稻香四發心殊樂之已入寺寺頗窄僧貧甚就中庭施坐憩焉已乃携姚生出寺觀所謂煖泉者僧指示泉出處縷縷潛布而已入溝始涓涓有聲已匯為一大池池底如碎珠上溢不可勝數其泉至冬時煖甚夏秋間溫於他水而已余步臨池岸目翫黃柳手弄珠泉忽舉頭見南山一帶蒼翠異常問之即嵩山二室也為程幾何曰七十里而近余東躋泰岱西登華山南上匡廬太和獨以中嶽未游為平生歉見此不覺神飛即謀以二日往返不至滯長年而姚生亦相從臾遂命僮募土人舁輿决策裹糧乃返方丈飯畢遲月且上顧謂姚生曰若知吾待月意乎出此百武水泉流大石上真佳境也不可當吾暇失之生曰吾固念此乃挾乙瓢酒削囊中脯出寺行

久之至石間蓋其地三泉所會也煖泉之東泉自山北出者為大澗煖泉據高西南行至石間始欲下墜入澗而山之西忽一澗旁出水淙淙東注與煖泉爭流石罅間已乃併入窠臼下墜澗底其石坡陀可容數十人余乃選勝趺坐悠然命酒時月甫上復為陰雲所翳余謂毋遽坐可銷浮雲也久之果瑩無纖雲朗耀如晝童子赤脚水中壅石激水而决其上流二渠轟然四注飛濤雨噴臥石盡如沐浴獨余所坐最高不能濡也月光皎皎射之珠迸玉碎其聲則砰訇錚錚大者如鳴百鼓細者如奏笙竽平生快意不數有也坐將夜分恐宓妃竊聽翠羽凌波姍若有人乃振策而返四顧閒然惟聞隔山犬吠而已賦得二詩質明而起就輿渡洛南望少室如屏若在衡前東瞰原隰土阜廩起前後相望舁夫云此趙宋太祖太宗陵也皆在鞏縣界偃師得分祭云上下山坂四十里而遙始抵招提寺一飯而行寺老僧出迓甚恭云去此二十里入山以十里上山入少林僧請為導而行出寺渡澗而南則登封官道也近山一大村市荷擔者絡繹於道始知登封縣在山南鑿山為道而過輿至山上二里許見一石門天險兩崖皆奇石陡立輿夫云舊有巡檢司今革去而峽以北為偃師界峽以南為登封界云下輿縱步回視洛南北百里如掌望少室峰皆重巒削成環偉特出意其下必有奧壤豈其為少林所卓錫耶行久之見路有二岐南上者登封大道也稍折而西果繇少室下趨少林蛇行三四里許漸入西徑山圍欲盡而少林殿角已掛林端矣山門前跨大澗泉淙淙自西而東不知所從始亦不知何所出山林木蔽虧藤垣蘿壁迤邐下上及門二綽楔徑窅如也殿庭老栢森列碑碣羅立大雄殿不甚宏而制度堅雅猶是宋時重建者入殿禮佛畢西參六祖殿東謁錦那羅錦那羅者元末神僧怖紅巾不入寺者也故即為寺伽藍云拜畢住持法師常潤號幻休者始出迎初猶以世禮見而微有傲色余與俱入方丈指所著衣謂曰昔現宰官身今成居士服願與法門遊毋為世禮局余拜師亦拜便欣然對坐而談訝其聲不似北僧叩之則江西進賢人也初余寓京師廣慧寺談少林廣慧僧云此非有德望者不能居昨以禮幣來聘得一名僧主之矣及是行也雅欲遇高僧與談問之輿夫云此山有一僧能不食數日不畏虎狼已成道矣欣然問招提僧冀一遇之僧云此僧已久去今住持亦高僧可談者也語次因問此僧師云誠有之此僧無名不知何處人亦不知夏臘幾何人以僧著大鞋呼之即應因即名大鞋生不識一字遇寺開講亦輒來聽居五乳峰上達磨洞中冬夏一衲每日下山三四里許乞食常以二更時獨行歸洞如遇大雨雪即四五日不出好事者訝而尋之見儼坐如常間有携之飯者固卻即留亦不食云本欲省事恐緣此遂煩人也心如墻壁真能離恐怖者諸人問道隨意答之語必簡而玄一縉紳固叩真詮答云君輩每患口有是言心不能然但能認真幹去便是何必它問此語尤切中今時士大夫病問其所以去曰為人尋覓漸多恐尚有損漏已入終南山矣因歎渠功行至此猶恐為世緣累吾輩火宅蓮花豈易生長師語次知余為太倉人因問與王荊石侍郎同宗否余答以至親相厚師已知曇陽大師事矣且問

朝事作何處分余曰已寢因出大師傳贈之師且具齋為欵相與登方丈後高臺上瞻眺因謀與游曰近此惟初祖菴最勝可即日游餘勝處非竟二三日不可余謝舟人不待乃亟就方丈齋畢與師偕出寺西行時日已崦嵫矣上下山麓間望少室蒼翠轉來相逼使人應接不暇其東高山雲氣晻靄於上曰太室太室最東曰黃蓋峰峰下有中嶽神廟焉就山中視之太室為高師云出山則少室巋然矣且語且行先至一所曰講經臺乃高僧菩提流支講經處也有小菴僧居之臺亦具延覽之勝覽畢下臺因問流支何以毒初祖曰此亦示魔耳余因語調達事師亹亹能講更西則五乳峰盡出祖菴老僧出迎胡跪道左師笑曰此好道王先生毋用此法待之因與共登菴上謁祖師像畢出視庭前四栢樹皆合抱參天而三株為老藤所纏生理稍困圍殺無藤者十之三師曰此即所謂少室三花也殿後更一室前種二松偃蓋古色其藤亦三百年外物也即松栢可知矣殿西一室祖師面壁像塑焉傍立二祖雪中而前置一石即祖師面壁影也石不盈二尺師像眉目胡髯皆具袈裟紋如西域衣石理亦光潤可愛先是招提寺中亦有一石作祖師披巾像不能甚分明云亦自嵩山得之竟不知其所以師云五乳峰形如鳳張兩翅而祖菴正當鳳頭即少林寺形勝不能逮也須菴後視之乃盡勝槩因與步菴後平地將十餘畝松栢森列五峰了了可觀真如鳳舞師云祖取五乳後派果有五支達磨洞在峰半隱隱可望云亡它奇可毋登也余謂此山形勝如此世主得無有垂涎者乎師曰昔跋陀三藏開創時有讖云後五百年當有女主來欲葬此因叱水不令東流唐則天后果至此欲奪其地竟以無水而止云出菴再望少室西角峰巒尤異劃如有缺菴僧云此少室西天門也蓋其上有四天門中有三十六峰泉石天池之勝不可殫記特未易登耳然三門猶可攀掖至獨西天門缺處望之一鐵楞窻儼然玲瓏竟不可踐其處師云似群仙所往還也余素聞長老言少室勝於太室今見果爾恨不能一躡其巔又少室下一臺高百餘丈當菴之西南面其地似勝詢之為二祖菴其上乃有泉可汲一僧居之問可登否曰步而上上下可六七里顧日力足力俱不能佇視恨恨而別返入方丈已昏黃矣與師各歸房小憩余飯畢草四絕句贈師師亦篝燈覽曇陽大師傳略畢頃之月上命童子視師則已就寢呼之起三人坐庭中山月皎甚少室當前房櫳閒靜松蘿隱約命童出囊中天池茶供師師首問傳中僧乃隆魁耶渠昔從二三僧來受法老僧為人最誠實有學業是宜其獲遇因與縱談禪旨 師言無生理山河大地俱為妄念所結余因發一難使當刼初不起一幻念即佛亦無如此則理何所寄今卻緣有此身然後得成是佛然則無生乃從生得乎師笑曰此論誠有之其解難亦不甚透余謂圓覺經中以幻修幻四字便了師偶未之及也坐將夜分別去次晨起師復設飯飯畢贈以詩慇懃不能別謂余路頭既正便須精進做上勿墮小果且託寄聲道印道印者即隆魁也步出庭中請余觀宗伯陸公穹碑文甚瓌偉而盛稱師解悟功行當主是山之義蓋其徒走華亭求得之者怪師拳拳道陸公不已蓋有以也人正是去此名根難耳下山

復飯招提入舟促長年鼓舵行十餘里而少室猶在空際依依若相送者潤師言不誣矣初余意雅慕少林願與高僧談而嵩山之勝止一寓目不求甚竟且以不誤行色為快故紀游特稱少林寺云

## 嵩游記

王士性(南京鴻臚卿)

蓋予少懷向子平之志足跡欲遍五嶽乃今始得自嵩始云時歲在辛巳六月余以朗陵令滿秩繇宛赴汴跂足可得望二室乃以日壬戌入登封界步騎上下山坂繇鳥道中出江北多土山童峙有河瀆而無澗溪獨此石棧宛轉草木離披縈溪水其下恍惚如行天姥嶺亦嵩山首途一勝也未至登封二十里遙望疊巘如蹲虎豹意奇之問牧者云此名御砦即少室是夜入縣宿風雨驟翻盆下暝不見山質明稍霽起出戶視之則嵩山兀立縣城之北而少室從西峙二室皆白雲衣其半余乃策騎北門時細雨猶拂人面先繇崇福宮稍東為啟母石石正方三十尺而厚稱之余笑為塗山氏即示化當不至膨脝如是宮後奕棋樗蒲二亭俱廢止存泛觴遺石轉而西二里入嵩陽宮外立唐鉅碑碑後植漢封三栢其最大者南枝一節癭甚從者指此木癭也空其中余遂割癭注酒滿引之畢入拜二程夫子像復西五里法王寺寺前石池丈許紫金蓮開中秋一月云神光說法時從地涌也土人往往移去即斃惜不及其開時見之日午寺僧以笙簫度法曲飯畢出山門復西二里會善寺乃嶽神受戒於珪禪師處右為戒壇今亦廢惟餘四天王石柱門外樹李學士溥光茶榜筆陳如列戟復西二十里少林寺寺桓楹礙日龍象如山長夏無暑碑刻種種蘇子瞻趙孟頫輩其尤者殿前檜栢入霄漢問秦封槐則風摧二十年矣今寺東一槐亦可數百年黠僧往往謬指以誇遊人無辨者寺八百餘僧自唐太宗退王世充賜曇宗官僧各習武藝俱絕寺為跋陀所創後四十年而達磨來自西竺跋陀翻經處天降甘露西有甘露臺是夜宿方丈聽律師大千為眾僧說法推極禪宗亹亹至愉快也明日詣初祖菴行里許入謁祖白皙脩眉鳳目僧言此太子東渡像也後居東土嘗六毒面雖稍赤然非今所傳巨眼胡僧云菴前三花樹蓋淩霄藤附檜而生者花正開深紅可愛自達磨未至時有之左一栢高與花樹並云盧能鉢盂中帶至也余為書六祖手植栢字菴後一小亭為達磨面壁影石頑高可三尺隱隱一僧坐石中比丘無言指石曰公知祖之苦心乎晉魏末世人脩齋誦經佛正法眼藏失故祖不立文字以九年寂坐見性遺影而示之教所謂金石可貫也余曰唯唯第此跡還當掃卻楞伽四卷何必非文彼其三周渡海暫以指迷不則頑寂枯僧墮落外道又此胡引之也為書偈曰活人做死事難向一切說打破這片石方許見如來無言首肯久之相携登五乳峰蓋山形為飛鳳又若五乳然者時白雲復靉靉起山腰咫尺不見人纍隨六

里許雲過處則以袖藏之至洞揮袖片雲從掌畔飛出也洞在右乳入洞則寒冽粟起不可禁傍陷一隙無底僧云洞初為火龍居祖至從此中去也下山轉而南十里上二祖菴菴前巖壁繡綴井四為二祖卓錫而成者泉相去丈許味各異南上一里為祖煉魔臺登臺則見伊洛二河環遶其下河外邙山橫亘山外復為黃河一線西來河北又見中條諸山逶迤不絕二百里內皆一目盡之卓哉觀也此去少室絕頂不遠欲遂登之以時大雨後山澗流水急沒人脛且山陡無別道故不果也下山再宿次日轉而東數十里至嶽廟廟亞少林壁畫申甫二像大樹林立從黃蓋峰下仰視東峰凹處是稱嵩門乃由黃蓋峰上挹盧巖瀑布不啻龍湫此去嶽頂不數里亦以雨不果行而嵩嶽之遊止是矣山亘數百里大都皆巖石蒼翠相間峭壁環崖而立如芙蓉城列抱於上太室其大者少室鉢盂子晉諸峰皆然而三十六峰則[卄/凶/ㄆ][卄/凶/ㄆ]如吐蕊遠望之共成一山也其寺皆隋唐以前建而法王一剎則漢永平佛法初入時在達磨四百年之先其碑刻穹窿數十百道多古今名賢手筆而唐碑皆刻佛像無數於上亦與今製異其樹多檜栢即秦五品漢三將軍外古木蘸天亦多與寺俱起經千百年此宜他寺所不得伯仲也然余獨怪宇內名山亡論岷峨王屋即余家八千丈下猶窮日乃陟其巔二室頂不三十里而遙而以為神州首嶽至詩稱峻極于天豈此山巇嶙岝㟧突出於平原大陸內以自軒翥特標所勝為奇耶抑戴日至下為天中鍾顥蒼最清淑之氣以總領諸嶽而然乎或謂山高為崧詩稱嶽之崧高非崧嶽之高也蓋堯時止有四嶽余聞於楊用修之言云

## 嵩少遊記

周夢暘(河南提學副使)

余生平有山水癖一移中州經年走平陸往聞天中山在汝陽索視無有祇虛得名耳南陽亦稱隆中山然菫菫據高地竊吾郡之似而實則非也庚寅冬十月始有汝洛之往於是西取中牟鄭州道不至鄭三十里榜列子故居於道傍亟喜立視無所見是周雅所稱圃草圃田處也以鄭圃當之誤矣由鄭州入密多行夾道中若澗底忽出平壤則西山一抹隱隱眉睫間將至密三四里有松數十仞一株出地而三岐自七尺許品分之膚白如雪柔澤如凝脂指掐之液輒津津出香氣可挹相傳黃帝時有三女俱得道一夕逝合葬其下明年松生焉即未必實然然亦奇矣出密縣而西上下岡阜嵩山青翠英英來逼人而迤南一孤峰巋然獨秀問其名曰御寨也余視御寨若嵩山首耳既至嵩乃知遠數十里為少室派不相蒙矣羽士以樂來迎至別室改服謁中嶽廟祀之廟當黃蓋峰東麓即漢武登禮時見有黃雲起如蓋故以名登封弟子員肅然在列余訝其遠來觸吾禁而有司者以觀禮告遂不復問禮成謝去諸生徒徧視碑碣唐僅二宋金元獨多東下稍偏為神

庫守以四鐵人像亦奇醜然不免雜夷意蓋金元人所鑄也神安得有私藏即有之亦何煩此四介士為之一笑又出二戟門為天中閣其制閎敞鉅麗眺覽無際閣下一偃松根迸起出地外榦去地不盈尺藉別木支撐之而枝葉蒼茂與植者無以異其為漢唐間物不問可知矣東南望有周公觀星測景臺許由棄瓢巖以多澗谷不欲往會日莫止登封宿平旦北出城詣嵩陽宮宮當嵩山之陽翠屏如帶唐玄宗煉藥於此有李林甫穹碑頌之字為八分書頗足觀而世以其人故不甚傳碑之傍三鉅栢漢武帝所封三將軍也大者在中央七人圍次居南圍六人又次居北圍亦可四人紋理紐拗絕不類近代樹因念帝以求葡萄善馬不難貳師將軍封廣利何如此栢為不朽哉宮名數更易旋亦廢嘉靖初有知縣侯泰者飭為嵩陽書院尚 二程像於其中不識何以竟澌滅今祇頹垣耳其東有啟母石方廣數丈謂為啟母所化啟從此中出也殊怪誕不足信事在淮南子孫尚書原貞著為文辨之循嵩陽西走少林道道傍浮屠以十數制特偉迫而視之有稱特進光祿大夫大司徒者歎元人重僧至若此乃知山之岫會善寺在焉披萊折而入其中唐碑一宋元遺跡獨多泉自山巔來灌寺中至山門匯為池絕不欲出門外即雨甚亦不溢也是殆不可解寺刻元人布袋和尚像並有贊俱雅馴惜其石斷而為三余命山僧砌合之又西為戒壇寺寺已廢其基址不甚闊而石人石磴石梁石級皆曲盡工巧與余所見大內中遼后梳粧臺基無以異門房不能蔽風雨下貯充學士李溥光茶榜文甚麗字畫亦古健有晉人風讀罷而去下峻坂走夾澗十餘里蒼翠巃嵸應接不得暇顧見碧琉璃色象殊異高與山齊從者曰此毘盧閣也少林近矣縱轡而前林益密林之中忽出簫鼓則寺僧業已導余行入禪林列栢如戟東偏僧舍間蔽陰數畝無異盛夏者秦時槐也葉不能不凋然獨後於諸樹氣王故耳登大雄殿禮佛佛像莊嚴其殿亦壯固堅質佛前供鑪文古而細必宋以前器本朝無此殿後為堂殿方丈者四每登輒高數十尺最後為道間所見毘盧閣慈聖宣文皇太后建以貯藏經鑿山為基其制閎曠無與比董其事者一中貴人出而肅余禮甚備欲請從余遊許之於是周覽碑刻林林四出目不及瞬余命主僧指唐宋碑示我其所知僅則天詩與唐宋二三文賦耳余自偶辨五七通為唐刻主僧不能知也西出走五乳峰下求初祖菴曲澗盤旋步武多石磴而樹根參差出若虬龍然蓋三里許始至菴菴凡三重最後塑達磨像其前一立石可二尺則面壁時所映影也菴前五栢樹其一六祖所手植端偉暢茂截然參天其三蒼藤緣之度春夏間盛長必有異山中人謂為少室三花者非是蓋不得其說而為之辭耳下菴至甘露臺樹亦異遙望鉢盂峰頭二祖菴如在天際矣余問道所從上中貴人色怖不能徃謝別去余獨欣然往登之崖磴絕險過一峭壁下勢如削成僧謂此子晉峰也而前僧樂忽作若子晉吹笙迓我者為之解頤是時峰頭多墜葉高下不可辨捫蘿拾級而上久之始至菴負陽抱陰臺上下有井四比比相向汲之為啜數口蓋少室苦無水盡為跋陀叱而西而是峰有之良足異已上菴門樓望煉魔臺道不甚隔遠

然峭峻不可近僧謂遊人鮮至二祖菴及至煉魔臺者益少余笑而去須臾陟其上諸峰盡低太室當前亦似不敵也振衣四顧見西北平衍雲樹蓊翳有白如練者若滅若沒僧謂此黃河之流其西兩細線伊與洛耳往午霽時見之甚分明不似此余甚歎不得際此霽而又幸不為僧所愚觀亦奇矣既下菴曰已薄崦嵫卻望茲峰上廣下銳乃其中又特汙世以鉢盂名之者近似還少林返照在壁楓樹遠近相暎帶目光欲眩因憶沈佺期紺園澄夕霽之句有味也中貴人邀飡余余不能拒與談禪頗亦能解膚間語漏下而別不欲遂就寢坐待月挂殿角間乃入寐遲明啟行僧以余獨未觀轉輪藏也復止往觀之伏數人於下藏為一迴余指問僧此將法華轉抑將轉法華僧不能答是法華轉耳不告而去就肩輿復過御寨望所謂天門則一壁如削飛鳥不度是宜古今人不能至矣然時時回首顧不能釋也周子曰余既遊嵩山少林寺已愜夙願而尤以盧巖未至為憾盧巖者唐隱士盧鴻潛修處也景絕勝在登封東自密來道甚近至少林始訪求遠矣豈天不欲窮吾觀留待異日耶

## 嵩遊第一

袁宏道(吏部郎中)

度緱嶺越轘轅關西南折入山坳則少林寺也少室截然橫其前諸山懷之天然回合如有尺度京洛之間古蹟廢盡獨此寺猶存典型日者過東都覓故宮遺址了不可識詢李文叔所記名園亦無有而伊闕兩崖廢像殘碣崩剝苔蕪間令人墮淚此中差強人意不復為此寂寂歎矣樗道人曰今好事家所貴者曰古曰完曰欵識山狩于虞古也霧窻雲寮飛布崖壑完也隋唐以來碑碣森列庭中欵識也堂頭僧曰道人欲置茲山于貫城市耶請以一轉語酬價矣道人曰有大力者負之而趨余大笑堂頭僧者曹洞下兒孫主斯院者也從院東西穿詰曲磴道中過甘露臺有古樹根如敧石虛處如梁已出寺西折行觀初祖影石石白地墨繪酷似應真像老僧曰澗中自有此石能為水樹雲影余曰然石以影重逵摩之重不以影不以石不以面壁此中不須蛇足也已從菴後出行三十餘盤得初祖洞洞中石如波卷不盡五乳峰者數丈已下山度南嶺十餘里得慧可覓心臺臺形如盂倚翠壁下臨伊洛黃河蒼莽行綠煙中已歸院遍歷軒除庖湢休于丈室顧樗道人語曰是中有余衣屨跡焉雲樹煙巒若舊識者余夢遊茲山久矣曉起出門童白分棚立乞觀手博主者曰山中故事也試之多絕技欲登少室無所得路乃止少室奇秀迫眎不可見遠乃得之行修武道者望若古鐘仰出諸山上從汝來者唯見千葉芙蓉與天俱翠搖曳雲表而已山四市皆壁群山翳其外迫之乃不見巔而見翳遊人多不愜夫豪傑之偶于眾也凡才得肩而蔽之及時地既遠肩蔽者與腐草俱盡而天下始望之若飛仙獲其隻字以

為至寶士患不特達耳余數年前走南陽道見遠翠干霄土人曰九頂蓮花寨也了不知所謂及過嵩嶺忽有舉此名者始知所見在五百里外也少室之秀特可知矣

## 嵩遊第二

出東關里許有皂巾而敝藍者請曰由西華道耶余不解及至嶽祠從垣之西竇入不覺一笑祠在黃蓋峰下偏峰之左東行數里得澗寂無人聲蘆風水響環繞山砦沿澗而北得山足澗與山曲折如月半弓漸高得寺寺盡而巖盧浩然舊居也至今猶襲其姓山至此忽兩分如人張左右臂當胸腹處削壁千仞根虛而卻如割大甕之半水從丫處出初猶粘壁霧雪紛飛忽然墜空千絲直下激石為屑散布一澗時方下舂日與煙相薄而瀑濺之風復生態其間正視不一色去瀑十許步巨石岌嶪遊人各踞一石望瀑而飲回風忽射稀點灑面起立欲避而雨腳已斜卷去朱非二曰少時讀天台賦知有瀑布不知其奇麗如此問余余曰三見之矣見于五泄者如奔雷其觀偉見于黃巖者如立玉其觀逸若夫蒼寒霏微簾披綃曳此為最幽矣登封令傅元鼎曰嘗夏月雨後經此飛濤挂壁激石倒立如柱響震一山余曰然古人謂夏山如滴冬山如睡瀑亦有之夏瀑如怒冬瀑如喜此正盧君喜時也壁石多奇或為霞或為紺或為嵐而根下有石數丈雲巒洗出其紋如刻畫澗中多白石墨浪界之與影石相似獨不能為人物耳澗西有小洞容數人其下流峽中石几石龕石版遒妍不一與碧潭相映為山中絕景

## 嵩遊第三

道陽城廢址入會善寺寺半圮有泉泠然及門而沒西去數十武為戒壇頹欄敗砌皆鏤隋唐佳句人物山水細入毫髮石柱上有唐宋題名字極精寺故魏孝文避暑宮也唐以來習毘尼者居之遂有壇古碑刻完好者菩薩戒經大曆十三年協律郎高堅書魏天平二年嵩陽寺碑不著撰書姓氏末云唐麟德元年九月庚申從嵩陽觀移來乃知嵩陽古梵剎也門之右有大曆二年中書門下牒其下勒代宗手敕二十四字無一筆蝕者碑陰勒戒壇記汝州刺史陸長源撰河南陸郢書隸法遒逸戒壇西南麥畦中有開元十五年道安禪師碑廣平宋儋撰兼書末云建塔僧破竈損一字蓋神僧破竈墮也塔已荒不可識而碑尚可搨今人但知戒壇寺茶榜可發一歎山僧云古碑甚多磨為時貴書且盡余自少林入嵩廟閱碑如林然耳目可及或無他厄數碑沈淪恐不免聊載之以竢永叔德甫耳東過嵩陽宮觀漢三粨大者七人圍皮如皴石望之若山榦不甚脩者土掩其本也今宮之石柱猶存其一掘三尺餘乃見礎古宮殿基高常踰仞栢之地視堦不當高于基三尺也栢之得封也必以偉在漢已為故物前此之積埃又不知幾許余意非

去土數丈不能盡其脩偉也舊志謂石上有韓文公題名歐陽文忠公跋遍覓無有偶見石柱上有宋人書崇寧三年三月十日觀退之題其半沒土具鍤求之左方得邢和叔題名右方有云余與子由攷試西洛進士畢同遊二室諸寺最後過天封精思觀道子晝遂行熙寧五年九月十日也其下不書欵又稱子由不以氏語氣酷似大蘇是時子由以忤安石出為河南府推官而子瞻送杭州進士詩序有云熙寧五年錢塘之士貢于禮部者九人十月乙酉宴于中和堂公是年監試杭州不應復至洛也其人定佳士當是西京教授王平甫輩耳韓歐書竟不見退之題最簡古今載集中郡邑志俱不收韓集非僻書也永叔跋見集古錄郡志有之永叔先後凡數至其一與梅聖俞俱即跋中所云登峰頂觀龍潭石記者也其一與謝希深諸人俱有見神清洞一事希深書云師魯語怪永叔子聰歌俚調幾道吹洞簫往往令人一笑絕倒至今數百載如見其眉目也野史載錢思公守西都歐謝同在幕下一日自嵩山歸暮抵龍門香山雪大集忽煙靄中車馬渡伊水則思公遣厨傳歌伎來到因傳語曰山行良佳少留龍門賞雪無遽歸也宋人風韻乃爾栢之右豐碑一與太室爭傑其文不足言書則徐浩八分體字字生動欲飛書家所云怒猊抉石渴驥奔泉不虛也東過崇福宮宮荒寂甚即有宋諸賢所嘗提舉者宮之左為啟母石石三丈餘旁裂小石事載淮南鴻烈甚誕而唐崔融啟母廟碑云漢臣之筆墨泉海陳其令名秦相之一字千金敘其嘉應又引郭璞李彤為證則謂真有其事矣石之前疊石為門其半已頹右方有字皆大篆風雨蝕且盡視元魏碑尤古年號上隱隱一光字而戶曹史某及辛癸之間數字尚可識

## 嵩遊第四

古云華山如立嵩山如臥二語勝畫非久歷煙雲者不解造是語也然余謂華山如峩冠道士振衣天末嵩則眠龍而癯者也登嵩之路凡數處從萬歲峰者為漢封故道迂回二十餘里至中峰巔下視諸峰危石削壁或懸或仄態貌奇古因憶謝絳與梅聖俞書所謂玉女窻搗衣石八仙壇者按圖索之去此當不遠然石上無片字從者百許人無一導引者可恨也山顛一頹室側有古井甚晶瑩旱歲不竭前復有小峰疑即古封禪壇規制亦敞余問道士此為峻極上院耶道士茫然余笑曰若得劉伯壽為導當無此苦矣稍東為白鶴觀故址背負三峰左右皆絕壁大熊諸山屏其前橫者如案擁者如髻列者如眉幽邃平遠寔太室之奧宅也一松亭亭立秀傑非常觀廢已久山中樹大于腕者動遭翦伐而此松獨存殆有物護之松下遺跡宛然募童子能得片碣者與百錢得故瓦礫者數錢一時隸卒散盡披荊求之得古瓦數片皆琉璃龍其首唯碣不可得欲過別峰而暝色已迫余謂元鼎曰松間得一亭旁搆小室遊者宿其上五日始為不負此山也山之奧處不必論其指名者如韓公之龍潭歐公之天門泉范公之三醉石皆不能以一日

窮今之遊者一宿少林輿而過太室之前至嵩廟天中閣倚欄一觀歸而向人曰吾已盡嵩山矣是尚未觀其膚也東行里許天昏黑不可得舊道從者曰從野猪坡下稍近但嶮耳余笑曰嵩山無嶮乃杖策行崎崖中約十五里至山足是日曉出城未至門百步許見城外有白煙突起以為爆煙也頃之忽化為環大可數圍直入雲際不滅者久之

## 嵩遊第五

石淙非嵩也繫之嵩後者水從東澗注嵩之餘也曉起見簷外絲雨頗不快倚軒瞻太室翠色若滴知非雨候也馳而出東門纖塵不起翻以為樂過箕山望許由塚雲片鱗鱗如欲坼至測景臺乃見日折而東倚澗行山皆土阜甚舒緩將至石淙半里許漸聞水聲及至一澗皆石如稠林之笋四顧不得寸膚不知是石何時飛來轉盼之間向之土阜何處徙去也石錯立波中布置獧巧四帀之山宜高則為峰為巘為屏若約吾目使不外見其朴也中央之山宜平則為砥為嶼若以供吾布席置酒之用也石之大者可坐十許人小者可分棚角飲飛籌走兕近可手攬遠可繩度也當澗之衝列三峰以拒水水漱其根如甕如齒斜飛正射交注潭中激以觀其怒也遶石皆深潭幽冷如黛渟以觀其色也至澗之下流石忽自夾兩崖青壁削立長可十餘丈水至此如匹練所以蓄其浩瀚逸其奔放也石之麗在壁水之麗在峽踞中央欣然以喜或黯然以悲因其細而思其大因其所僅存者而思其所久亡者油油然興好古之懷津津然行復古之事比閭族黨則而象之有不知其所以然而然者請始終以醫喻此則子前所云節宣調適和其榮衛暢其精神時矣作存古書院記

## 序

### 贈潤上人住持少林寺序

李維楨(陝西右布政使)

余自通籍以來抗塵容而走俗狀者六年矣意稍稍倦游若禽鹿苦羈紲必長林豐草然後為快也而釋氏者流性獨愛蓮華以謂是出汙泥而不滓故其宮室啟處食飲衣服非一無藉於世之人而徽纏有所不能糾垢氛有所不能染無論上乘即其下者亦得以宴然各適其志而無患私心蓋竊好之有浮屠法空者與余游余楚人法空亦楚人也聽其析義持論未嘗不跫然大喜如空谷之聞足音已復涊然汗下浹踵媿無能舍所學而從彼而日以其身行乎憂患之途莫之返也久之法空為余言其同學幻休常潤者知見精確道行清苦今且拜少林寺住持行矣而徵文於余以為贈余聞佛

之道一也漢魏而下三藏諸師教人以防過絕非由身達心以入於道謂之曰律其功在約身而先立戒齊梁而下天台諸宗教人以由經發解由解趨行以入於道謂之曰講其功在約心而先立慧達磨而下教人以不立文字直下見性以入於道謂之曰禪其功在約性而先立定三者殊塗同歸大都以禪為至而少林者達磨之所從入禪也遺蹟真詮往往而在今處其地踐其事其所為設教者將何塗之從乎少林為域內巨剎緇衲之倫聚處者以千數皆俛首聽命於住持而賓客之還往錢穀之出納公私旁午亦無異乎宦遊者之鹿鹿也幻休故傳小山心印果能視喧寂華素平等一相無親疎彼此乎其或六塵宰於外四蘊結於中與夫富貴利達之徒異名而同嗜乎脫有之其不為珠林寶地之羞者鮮矣余未登彼岸而與幻休素不相習幻休家在南昌進賢南昌有二太史張明成鄧汝德者深於幻休之學者也余與明成約旦晚謝病歸將為太和南嶽之游暇則登嵩山謁少林以求真際所詣幻休儻有得異日幸以語我

## 贈無言道公慈惠道場徹座還山序

丘禾實(翰林檢討)

西方之學初未嘗有宗教之分也自曹溪妙契掃却一切語言文字而宗始分宗非利根不契非密證不顯非時節因緣不至單傳直指兩人莫逆譬之紀昌飛衛相遇而射於道勢無並勝卒之矢鋒相觸墜於地而塵不揚故宗者徹則俱徹鋒相觸而不覺迷則總迷矢集身而不知夫宗何易言之也末法以來宗門漸寂即有所傳又皆即言語文字而衍之夫衍之紙上與了之胸中何翅千里舉前人口中珠似人在在皆寶然覓之非吾家物如童子塵飣塗羹非不快意不可言飽夫宗何易言之也少林為震旦初明之地宗風之盛千載一日嗣其傳者於今為無言禪師師之言曰言者疑之府也無者執之根也然與疑人無寧執我以此字曰無言夫師欲無言寧不謂利根不值棒喝無施乎正為棒喝無施庶幾藉大善知識金口而木舌故師之所不能言者師無以言為若人所為即師言者師不得辭言也余素聞師名無緜一至少林叩之頃以慈慧壇陳中貴昇之迎杖錫來京闡宗風於慈慧禪林凡六閱月嗟乎此師所為不得辭言者乎予觀林公慧遠之流造詣深至不可涯涘然機鋒所觸有不能忘師非其人乎師闡義不遺餘力然所契合常在不言之際如巧斲輪不在規矩如善命中不在彀率顧學者機緣未至率以耳食或者矢集身而不知耳余始憶師必豪舉者既而見之恂恂如也由此以觀師雖不能辭言亦何嘗有言乎但自了了寧忌紙上前人口中珠安在非大眾家常茶飣學者第驗往歸時實耶虛耶當知師之不以塵飣塗羹遇世也先是陳中貴既赴少林迎師上忽有所震怒逮者十人中貴與焉已而聞中貴行寔以師乃嘉歎併九人宥之嗟夫中貴之願力方虔而師

之慈航已度及十人矣何論法雲廣覆一月普現言下省悟者寧有量哉法願既畢師覓故錫還山至尊前後錫予漠然不與獨中貴等欲以余言為贈余告之曰爾師隨緣度世執心頓化然言與言不言與不言其意安在爾不能往受棒喝而欲以余言為師贅龐乎師聞之一笑

## 碑銘

### 嵩山少林寺禪師道公碑銘

董其昌(湖廣提學副使)

佛者凡夫之覺者也凡夫以不覺故身口意為三業佛以覺故在身為律在口為經在意為禪禪之於佛焉近矣而不足以傳佛之心若夫震旦之少林其西竺之靈山乎故海內之名藍淨剎曰律寺曰講寺曰禪寺而少林得稱祖庭其高僧尊宿曰律師曰法師曰禪師而少林得稱宗師雖世諦流布乎亦非諸方所敢望矣其祖達磨而宗曹洞何也蓋自藥山雲巖以寶鏡三昧羽翼別傳而价寂二公立為五位君臣正偏回互之旨開無門之門施出楔之楔所以提綱宗揀魔異者視諸家為獨密故五宗皆法王也而周過其曆時惟曹洞少林之於曹洞亦猶魯之秉周禮也宗則言路絕矣其舉揚頌古若雪竇圜悟天童投子之評唱又何也契經不云乎麤言及細語皆歸第一義良以情封則棒喝皆接響見瞥則回互無停機上士以之契同下士以之憤悱故頌古非洞宗也而洞宗寄也吁初祖懸絲之記亦可念也已自唐以來代推一人主持法席二十五代為幻休休公得法子以百數道公為最休公沒諸龍象眾欲以事休公者事之公固讓不敢應浮沈雲水者十有四年法堂草深宗徒雨散於是登封令請於宗伯循故事署公住持少林時則皇帝萬曆壬辰之十月也師自領眾以來十有七載戒行冰潔機辨泉流或升堂普說或入室小參莫不摧彼疑城登之覺岸明鏡屢照而不疲洪鐘待叩而輒應典刑卓爾清規肅然作賓王家名動京闕於是有貝葉之藏五銖之衣精鏐出於尚方綖功傳於中使瓔珞供養金湯護持固以續諸祖之慧命亦以廣聖主之福田者矣師雖心冥一乘而行崇六度諸所檀施斥脩漏因其居也有幻出之寶坊其遊也有隨身之香積頃者飛錫山海瞠目雲霄欲得人而傳衣乃處陰而息影曰吾將面壁老矣少林之開堂者必有記師之上足通慧等屬不佞昌記之憶師昔為休公謁文故宮保陸文定公時惟不佞昌與徵士陳繼儒皆締蓮社之交徵栢亭之義廿年心許今始酬因爾師名正道字無言洪都新建胡氏子父永泰母楊氏初祝髮於上藍寺璘和尚年二十從知休禪師受禪那大旨居南嶽淨缾厓不甚契乃謁遜菴於樹屏聽法於東巖大方受戒於無盡徧參諸方至少林而得法於幻公幻公陞座問如何是洞上家風幻公曰月下三花樹峰前雙桂枝又問曰和尚還

別有麼曰惟此一事實師於言下大悟即呈偈曰雲攢峰頂月鎖幽巖木人拊掌石女舒顏休公印可賛之以偈蓋許為人天師云系之銘曰嵩高少室天地之中大乘氣象鬱鬱葱葱破顏末會面壁真風祖佛非殊惟變乃通(其一)般若無知靈光不昧如清凉池如大火聚直下便是擬向即背奇哉眾生具如來慧(其二)五家宗旨 如世畫師虛空可拈丹青不施泥牛月吼木馬風嘶不居空刼不落今時(其三)爰有道公僧中之傑傳涅槃心吐廣長舌雙桂開敷三花屹嵲一代時教永存珉碣

## 達磨頌

馮時可

西方何來東土何往折蘆無著影壁有像而虛虛身而實實相小果不希漏因不獎廓然無聖寧有伎倆心境圓通神變惚恍以上乘機解下褪網誰折誰影而不能想

又

來自天竺去向葱嶺何去何來是形是影不來不去無動無靜面壁行腳即心生境面誰腳誰即心除境三行理超六宗法屏大乘氣象茫茫孰省

## 達磨賛

陸樹聲(禮部尚書)

竺土東來有何本據默望隈巖明中顯異撥草瞻風當機不契潦倒西歸失卻隻履饒他不涉程途惹起風波滿地

## 少林寺戒壇銘跋

王世貞(南京刑部尚書)

少林戒壇銘開元三年為學生張傑書當是時傑應尚少且不以書名而筆法老成乃爾又時未盡習帝書故猶有瘦勁意

## 唐文皇告少林寺書跋

王世貞

文皇圍洛城時以少林寺僧建功遣使致書存問且為護持之書法不甚工而亦不俗當是幕僚筆內世民二字行草是親押耳首有開元神武皇帝書後人所妄加也今少林寺僧猶以白棓高天下豈佛教所謂護法者其時已爾耶

## 少林寺靈運禪師碑跋

王世貞

靈運碑者唐崔琪撰末云聖善寺沙門勒下殘缺二字當時僧書耳文淺陋不足道書法絕類聖教無一筆不似後世傾側偃臥以取恣態者其人材雖足稱要之有愧於此髡也

## 裴漼少林寺碑跋

王世貞

裴懿公漼書少林寺碑開元十六年建又在嵩山而金石錄不載何也裴少時負文筆號霹靂手而雅不以八法名此碑辭至沓拖不可讀而書頗秀勁多媚態得非時代為之耶傳不載階封此書銀青光祿大夫正平縣子亦可補傳之闕

## 雪菴茶榜跋

王世貞

元僧溥光書茶榜其辭紫方袍底語耳不得禪悅真味書法風骨頗遒勁略具顏柳及眢山豫章結法惜胸中無卍字骨令天趣流動筆端結習未忘超灑不足所書官學士後贈司徒唐不空三藏且爾胡俗無足怪也

## 書雷轟道安禪師碑事

傅梅

戒壇院西南荒壟中有開元十五年碑隸書額唐嵩山故道安禪師碑九字有古法首行廣平宋儋撰兼書文尚可讀字行書遒勁多骨而風致超逸出李北海上末云建塔僧破竈下損一字袁中郎謂為神僧破竈墮予細辨損處下從木不似墮字豈嵩山有兩稱破竈者乎可疑也一日予命人搨

得五本歸燈下展玩心口自語儋不以書名筆法精絕乃爾明發當多搦以傳久之甫就枕聞風雷聲大作平旦雨霽巡役來告云夜半前碑雷轟碎矣異哉萬曆庚戌七月六日也向疑李邕嵩嶽寺碑為寺僧所瘞予欲具三百人餱糧勒十日限大索土中歲儉未果今乃知此物鬼神所秘非人力可致也遂已之並記於此
嵩書卷之二十二終

## 嵩書後序

嵩書者宇宙間必不可無之書也周官天子有內史外史內史掌敘事之灋受納訪以詔王聽治外史掌四方之志及三皇五帝之書惟時列國無私史其國中之事志而藏於王室即史也故天子時巡以察之皇華使又比而奏之上以此同文下以此攷政於四方之掌故若無藉焉至杞宋無徵宣尼致嘆則三代而後文獻之關大也况名山大川為天地陰陽之會帝王望秩之所神聖賢哲孕毓之區仙釋靈異之所託財用之所出禮樂名物之所興固可委諸草莽為古今來一大缺政哉文獻之謂何此吾邢傅元鼎先生嵩書所繇成也先生居嵩五載始至治盜二年救荒三年城城百廢修舉四民順化嵩人社而稷之而先生精神不與也語曰用志不分乃凝於神則嵩之有書也先生之精神為之也嵩於古為外方地亦曰泰室亦曰密高書成而弁以嵩者尊嶽也王者法天而立極星野者以辨風雨災祥天氣與地氣通也先王體國經野所以重人事也故首書之也山自二室三臺五乳而外即一峰一巒一拳石一抔土必以大書經之而小書緯之也嵩之甲天下者山也故書不厭詳也惟水亦然故潁洧瀙休而外即谿澗陂堰之必疏其支而窮其委也建置有關於嵩者頹垣圮蹟遺宮夜臺之無遺焉其無關於嵩者雖麗弗書也故編戶履畝畝之不具舉也志嵩非志邑也書宸望者秩祀祭告以禮陰而禮陽也籩豆之事則有司存非守土責而誰責也其生於嵩而書之者其事嵩其人嵩也其仕於嵩隱於嵩而書之者其人非嵩其事嵩也其它有其人無其事與有其事逸其人者之寧退弗書傳信不傳疑也示不敢濫也有記載而無褒譏者褒譏史事也示不敢僭也仙籍禪宗之不外焉者騰光吐圖皆休禎也非以是為其異也而志之也金石丹砂草木鳥獸凡為嵩之所有即非書之所無者乃成其為嵩也陰陽之會鬼神所憑其間奇靈幽怪上林子虛所不載而亦載之也神道設教聖人所不廢也詩首大雅而文苑首宸翰也以正始也以化成天下也而自著附焉者書先生自書以明謙也考證必本之六經而叅以史者正經也君子反經而已經正則庶民興也為篇十有三為卷二十有二而或以為博焉而或以為文焉者非先生意也先生固慎於選言者也它日先生入為司寇郎默定大獄以靖非常讞晉獄牒為近代法家所無先生每語人曰吾得之為令者多也志不忘嵩也迨忌者中之先生不為白曰執嵩之人而問之可也然則嵩之有先生也

猶地之有高也先生之有是書也猶嵩之有先生也地與獻與文則天下之三重也大以經天地遠以翼聖真上以贊帝業下以俟來學日月為昭陵谷爭久孔子曰天之未喪斯文也孟子曰予豈好辨哉予不得已也先生曰予亦囿於天道而不能自已也小子和退而志曰嵩書者宇宙間必不可無之書也

里社後學王履和仲美識

# 聯絡我們

財團法人
佛教電子佛典基金會（CBETA 基金會）
CBETA Comprehensive Buddhist Electronic Text Archive Foundation

service@cbeta.org
(02)2383-2182 轉分機 12
官網 https://cbeta.org/
CBETA Online https://cbetaonline.dila.edu.tw/
立即贊助 https://cbeta.org/quick-donate/

# 贊助資訊

CBETA 長年來陸續將歷代重要佛典數位化為「CBETA 電子佛典集成」，不僅收錄了大量的珍貴文獻，更致力於校勘考證用字及增添新式標點，提升佛典的文獻品質及易讀性。「CBETA 電子佛典集成」是大眾廣為運用的公共資源，此成果也獲得國際學界的重視及肯定。

對於一個從事佛法志業的非營利團隊來說，能夠長期埋首理想、踏實耕耘，實屬不易。為了提供更優質的服務，CBETA 基金會擬增聘專業人力，擴大組織規模，懇請大家慷慨解囊、熱情贊助，讓未來有更多更好的電子佛典。

贊助捐款

「水滴雖微，漸盈大器，凡福充滿，從纖纖積。」
—— CBETA 2024.R2, T04, no. 210, p. 565a5-6